

令和2年度

修士論文

立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態
に関する研究
ー東海4県を対象としてー

指導教員 浅野 聡 教授

三重大学大学院工学研究科
建築学専攻

興津 舜也

立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態
に関する研究
ー東海4県を対象としてー

目次

第1章 研究の概要

- 1-1 研究の背景
- 1-2 研究の目的
- 1-3 研究の方法
- 1-4 研究の構成
- 1-5 既往研究の整理
- 1-6 用語の定義

第2章 都市再生基本方針及び都市計画運用指針における記載状況

- 2-1 都市再生基本方針
- 2-2 都市計画運用指針
- 2-3 災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況
- 2-4 災害ハザードエリアの分類
- 2-5 災害ハザードエリアの現地状況
- 2-6 小括

第3章 近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組状況

- 3-1 近年の頻発・激甚化する自然災害と今後のまちづくりの方向性
- 3-2 都市計画基本問題小委員会
- 3-3 都市再生特別措置法等の改正
- 3-4 小括

第4章 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外状況

- 4-1 調査分析の概要
- 4-2 災害ハザードエリアの除外状況
- 4-3 災害ハザードエリアの除外状況に関する全体的な傾向

4-4 特徴的な市町の事例

4-5 小括

第5章 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアを除外していない理由

5-1 調査分析の概要

5-2 災害ハザードエリアを除外していない理由

5-3 災害ハザードエリアを除外していない理由に関する全体的な傾向

5-4 特徴的な市町の事例

5-5 小括

第6章 東海4県における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題

6-1 災害ハザードエリアの除外の実態に関する類型

6-2 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状とその要因

6-3 災害ハザードエリアを除外していないことに関する課題

第7章 今後の立地適正化計画の在り方と研究の総括

7-1 法改正を踏まえた今後の立地適正化計画の在り方

7-2 研究の総括

【参考文献】

【謝辞】

【添付資料】

【修士論文梗概】

第 1 章

研究の概要

- 1-1 研究の背景
- 1-2 研究の目的
- 1-3 研究の方法
- 1-4 研究の構成
- 1-5 既往研究の整理
- 1-6 用語の定義

第1章 研究の概要

1-1 研究の背景

近年の人口減少と高齢化等を背景に、将来の都市構造について「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で進めていくことが重要であるとして、平成26年8月に「都市再生特別措置法」が改正され、「立地適正化計画制度」が創設された。国土交通省が公表している「立地適正化計画の作成状況¹⁾」によると、令和2年7月31日時点では、全国1,724の市町村のうち、339の市町が立地適正化計画を作成・公表している。1-3で後述する通り、東海4県(岐阜、静岡、愛知、三重)に関しては、同時点で全160の市町村のうち、44市町が同計画を作成・公表している。

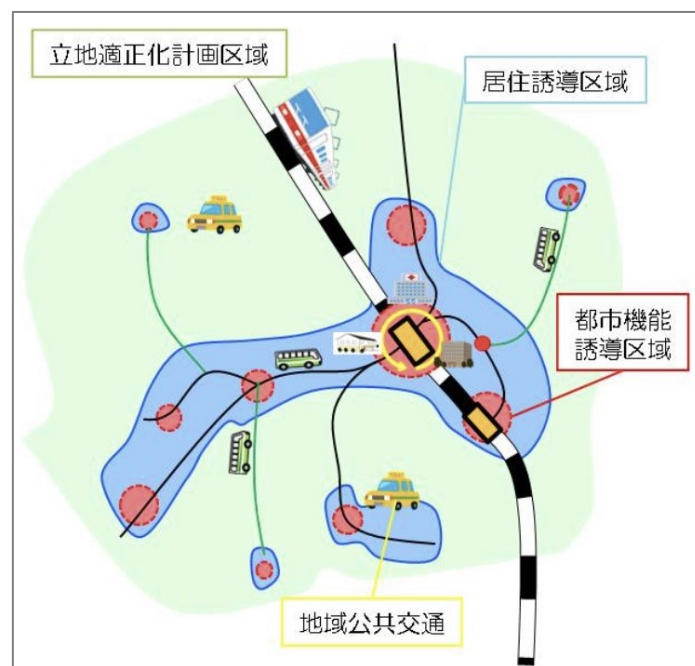


図1-1 立地適正化計画の概要

(出典：立地適正化計画の意義と役割 ～コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進～、国土交通省 HP)

立地適正化計画の作成・公表が進められる中、第2章で後述する通り、国は都市再生基本方針及び都市計画運用指針において、同計画の策定に関する防災を踏まえた方針を定めており、特に都市計画運用指針では、居住誘導区域の設定における災害発生リスクのあるハザードエリア(以下、災害ハザードエリア)の除外に関する具体的な方針を定めている。

また、第3章で後述する通り、令和元年10月の東日本台風や令和2年7月豪雨といった近年の頻発・激甚化する自然災害により、居住誘導区域内で相次いで深刻な浸水被害が生じている。この課題に対応すべく、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等では、災害ハザードエリアに対する除外の厳格化等から、居住誘導区域での安全性確保の推進が図

られている。しかし、近年の頻発・激甚化する自然災害に加え、南海トラフ地震による甚大な被害も想定されている東海4県では、依然として災害ハザードエリアを除外していない状況が確認されている。



写真 1-1, 1-2 令和元年10月東日本台風(左)及び令和2年7月豪雨(右)での被害の状況
(出典：令和元年台風第19号による被害等(左)、令和2年7月豪雨による被害と対応(右)、国土交通省 HP)

このように、立地適正化計画を通して都市構造の再構築のための具体的な施策の推進がなされる中、居住誘導区域の設定においては、災害ハザードエリアの除外に対して、「災害に強いまちづくり^{注1)}」の考え方を取り入れ、適切な施策を講じていくことが切迫した課題であると考えられる。

注1) 本文中の「災害に強いまちづくり」は、「第11版 都市計画運用指針」において立地適正化計画を作成する際の基本的な考え方の一つであり、具体的には災害リスクの低いエリアへの誘導等により、安全な居住の確保を図ることを指す。

1-2 研究の目的

本研究は、東海4県(岐阜、静岡、愛知、三重)の市町によって作成・公表されている立地適正化計画を対象として、同計画の策定の際に、国によって示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針の内容、近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組等を踏まえた上で、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態について調査分析し、除外の実態が異なる現状とそれを生み出す要因、除外していないことに関する課題について考察することを目的とする。また、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、今後の立地適正化計画の在り方についても展望する。

1-3 研究の方法

(1) 調査 1：都市再生基本方針及び都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、立地適正化計画策定の際の指針として、国から示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針である。前者は平成30年7月に一部改正・公表された「都市再生基本方針²⁾」、後者は令和2年6月に一部改正・公表された「第10版 都市計画運用指針³⁾」である。

②調査項目

調査項目は、災害ハザードエリアの除外に関する記載事項である。両者の記載状況进行分析することにより、居住誘導区域の設定における位置づけについて把握する。

(2) 調査 2：災害ハザードエリアの個別法及び都市計画法における開発行為の規制に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、災害ハザードエリアにおける開発行為について、建築物単体に関して規制される災害ハザードエリアの個別法(以下、個別法)及び市街地全体に関して規制される都市計画法である。前者における各個別法の詳細は第2章で後述する通りで、後者は令和2年6月に一部改正・公表された「都市計画法⁴⁾」である。

②調査項目

調査項目は、開発行為の規制に関する記載事項である。両者の記載状況进行分析することにより、災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況について把握する。

(3) 調査 3：三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアの現地状況調査

①調査対象

調査対象は、三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアである。各エリアにおける対象地の詳細は第2章で後述する通りである。

②調査項目

調査項目は、防災対策の整備状況及び住宅等の立地状況である。両者の状況进行分析することにより、居住誘導区域内における災害ハザードエリアの現地状況について把握する。

(4) 調査 4：近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた都市計画基本問題小委員会での取組、令和2年6月の法改正を踏まえ、同年9月に一部改正・公表された「都市再生基本方針⁵⁾」、「第11版 都市計画運用指針⁶⁾」である。

②調査項目

調査項目は、災害ハザードエリアの除外に関する記載事項である。前者は近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた取組の経緯とその内容、後者の2つは改正された内容について把握する。

(5) 調査5：立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、令和2年7月31日時点で立地適正化計画を作成・公表している東海4県の44市町である。ただし、後述するアンケートの回答状況から、記載状況調査も、図1-2に示す43市町を最終的な対象とする。

②調査項目

調査項目は、「災害ハザードエリアの除外状況」及び「災害ハザードエリアを除外していない理由」に関する記載事項である。前者は、居住誘導区域から災害ハザードエリアをどのように除外しているかについて把握する。後者は、災害ハザードエリアの除外状況を踏まえ、同エリアを除外していない市町を対象に、その実態について把握する。

(6) 調査6：立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外に関するアンケート調査

①調査対象

調査対象は、調査5と同様である。図1-2に示す通り、立地適正化計画を作成・公表している東海4県44市町からアンケートの回答が得られた43市町を対象とする。

②調査項目

調査項目は、調査5と同様である。記載状況調査より得られた調査結果から、市町の実態について深掘り調査を行なう。

③アンケートの回答状況

アンケート調査は、令和2年5月25日から6月17日にかけて行なった一次調査、令和2年11月6日から12月2日にかけて行なった二次調査、令和2年12月18日から令和3年2月10日にかけて行なった三次調査で構成される。

立地適正化計画の担当者に対し、一次調査は電子メール、電話で行ない、回答状況は35市町中35市町(100%)であった。二次調査は電子メールで行ない、回答状況は43市町中42市町(98%)であった。三次調査は電子メールで行ない、回答状況は42市町中42市町(100%)であった。

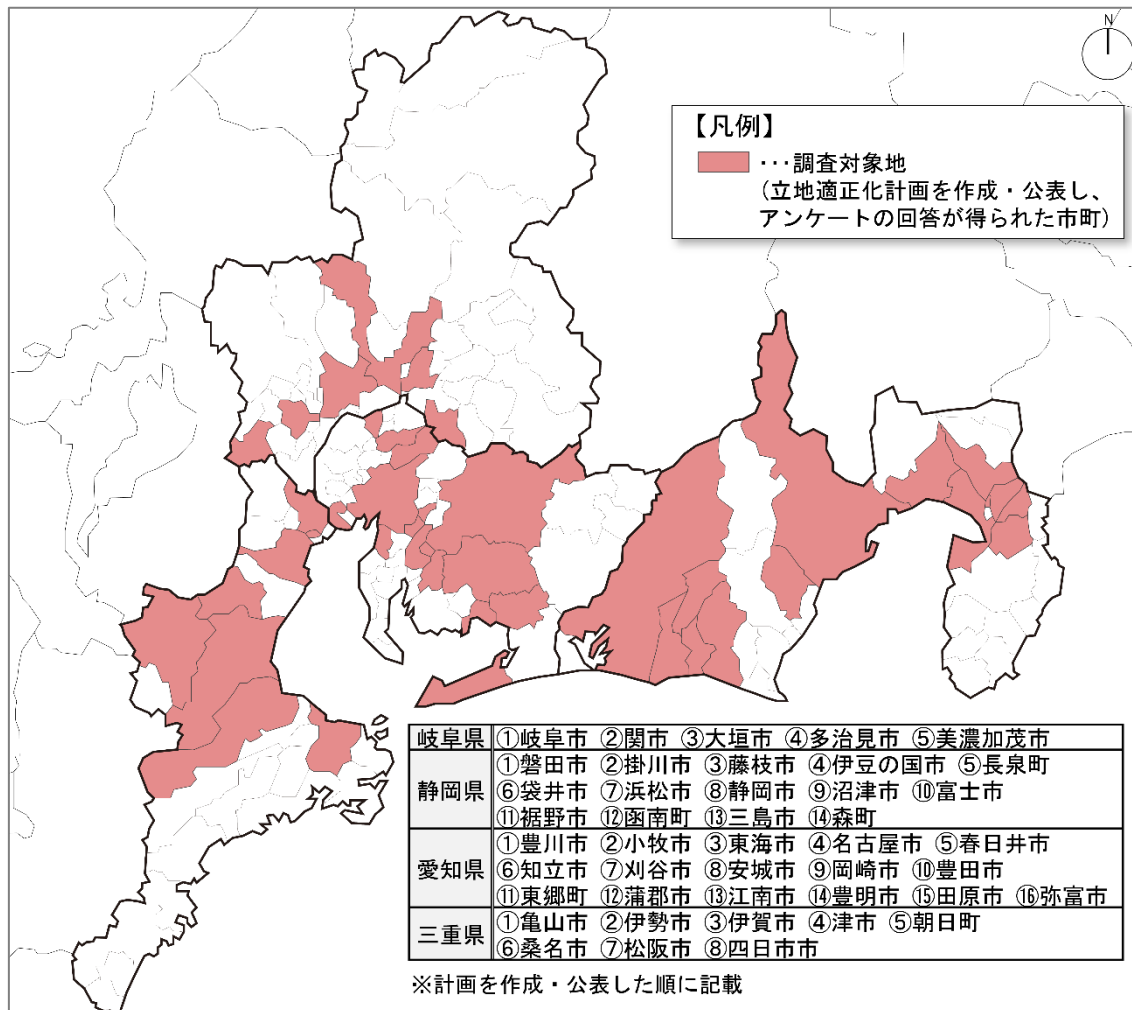


図 1-2 記載状況調査及びアンケート調査の調査対象
 (国土交通省国土地理院における「地理院地図」を基に作成)

1-4 研究の構成

本研究は、全7章で構成されている。

第1章では、研究の背景、目的、方法、用語の定義等について述べる。

第2章では、立地適正化計画を策定する際の指針として、国によって示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針の記載状況等を踏まえ、居住誘導区域の設定における位置づけについて把握する。

第3章では、近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組の経緯とその内容について把握する。また、令和2年9月での都市再生基本方針及び都市計画運用指針の記載状況も踏まえ、改正された内容について把握する。

第4章では、前章までの内容を踏まえ、東海4県43市町を対象に、災害ハザードエリアの除外状況に関する分析を行なう。

第5章では、第4章の分析結果から、災害ハザードエリアを除外していない理由に関する分析を行なう。

第6章では、第4章及び第5章の分析結果から、東海4県における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題について考察を行なう。

第7章では、今後の立地適正化計画の在り方と研究の総括について述べる。

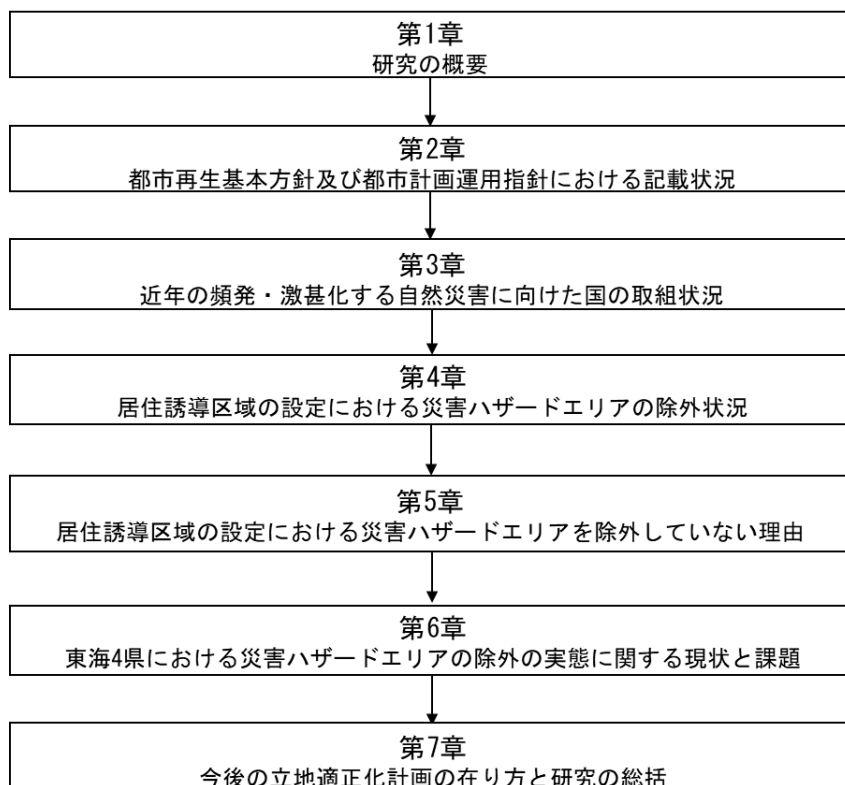


図 1-3 研究の全体フロー

1-5 既往研究の整理

既往研究の整理として、日本建築学会及び日本都市計画学会を対象に、本研究と関連する「立地適正化計画」、「居住誘導区域」、「災害」といったキーワードから検索を行なった。以下にその詳細について示す。

(1) 日本建築学会

① 日本建築学会計画系論文集

「立地適正化計画」「居住誘導区域」で検索したところ、以下の3件が該当した。

No.	タイトル	著者名	巻号	ページ	年次
1	施設誘導による立地適正化計画居住誘導区域の更なるコンパクトに向けた方策に関する研究	西浦定継・小林利夫	773	1459-1467	2020.7
2	立地適正化計画の居住誘導区域設定における低炭素化評価手法の考察	宮内孝・瀬戸口剛・伊藤拓海	761	1601-1611	2019.7
3	立地適正化計画における地域拠点の位置づけ方針と都市構造に関する研究 中心施設と受け持つエリアの設定からみた24都市の分析	石原周太郎・野島慎二・鹿内愛軌	758	883-893	2019.4

「災害」で検索したところ、67件が該当したが、特にまちづくりと関連性の高いものは以下の2件であった。

No.	タイトル	著者名	巻号	ページ	年次
1	徳島都市圏における津波危険性を考慮した住宅立地傾向の分析	渡辺公次郎・近藤光男	730	2713	2016.12
2	岩手県沿岸部津波常襲地域における住宅立地の変遷－明治および昭和の三陸大津波被災地を対象として	村尾修・礪山星	671	57	2012.1

② 日本建築学会技術報告集

「立地適正化計画」「居住誘導区域」で検索したところ、以下の2件が該当した。

No.	タイトル	著者名	巻号	ページ	年次
1	立地適正化計画策定都市の誘導区域と誘導施策に関する研究	宮崎慎也・鵜心治・小林剛士・宋俊煥	60	881-886	2019.6
2	立地適正化計画制度の初動期における計画策定と運用に関する実態と課題－全国アンケート調査の結果から－	尹莊植・山口邦雄・小島寛之	60	905-910	2019.6

「災害」で検索したところ、111件が該当したが、特にまちづくりと関連性の高いものは以下の2件であった。

No.	タイトル	著者名	巻号	ページ	年次
1	津波危険区域の市街化調整区域における開発動向と居住者選好に関する研究 磐田市を対象として	浅野純一郎・菊池留花	58	1221-1226	2018.10
2	津波危険区域の市街化区域における建築動向と居住者意識に関する研究 浜松市舞阪地区を対象として	鈴木貴也・浅野純一郎	61	1293-1298	2019.10

(2) 日本都市計画学会

① 日本都市計画学会学術研究発表会論文(査読付き)

「立地適正化計画」「居住誘導区域」で検索したところ、以下の12件が該当した。

No.	タイトル	著者名	号数	番号	ページ	年次
1	地域交流拠点における面的エネルギー導入の可能性とそのあり方に関する研究-札幌市立地適正化計画に着目して-	中村圭吾・村木美貴	51-3	47	1459-1467	2016
2	立地適正化計画と市街化調整区域の土地利用コントロールに関する論説-市街地拡大に対する考え方と開発許可条例の運用に着目して-	酒本恭聖・瀬田史彦	51-3	83	1601-1611	2016
3	立地適正化計画に基づく居住誘導施策検討のための都市内人口分布推計手法の開発-愛知県豊橋市を対象として-	竹間美夏・佐藤徹治	52-3	122	883-893	2017
4	立地適正化計画と都市計画マスタープランの計画内容の係数に関する研究-都市機能誘導区域図と将来都市構造図の整合性に着目して-	甘粕裕明・姥浦道生・荻谷智大・小地沢将之	53-3	22	1459-1467	2018
5	携帯電話基地局データを用いた立地適正化計画の評価指標に関する研究-宇都宮市をケーススタディとして-	渋谷剛史・浅野周平・十河孝介・森本章倫	53-3	23	1601-1611	2018
6	立地適正化計画に整合した地域公共交通網形成計画の立案手法に関する研究-荒尾市地域公共交通網形成計画を例に-	溝上章志・尾山賢太	53-3	47	883-893	2018
7	都市計画マスタープランから立地適正化計画への目標都市構造の変化に関する研究-拠点構造の階層構成とランクの変化に着目して-	尹莊植・山口邦雄・小島寛之	53-3	103	1459-1467	2018
8	立地適正化計画策定都市での開発許可制度の方針と運用に関する研究	齋藤勇貴・松川寿也・丸岡陽・中出文平・樋口秀	53-3	121	1601-1611	2018
9	人口密度と縮小率に着目した線引き都市における居住誘導区域の指定に関する研究-住環境指標の視点から-	野中健志郎・猪八重拓郎	54-3	29	457-463	2019
10	立地適正化計画と既存都市計画の二層構造における区域設定のあり方に関する研究-誘導区域の類型区分と独自区域の活用に着目して-	尹莊植・山口邦雄・小島寛之	54-3	37	883-893	2019
11	立地適正化計画における居住誘導区域設定の考え方とその背景-市街化区域に対する居住誘導区域の面積比率が対症的な自治体の比較を通じて-	西井成志・真鍋陸太郎・村山顕人	54-3	39	1601-1611	2019
12	立地適正化計画の策定を機にした自治体による立地誘導施策の取り組み実態と課題-立地適正化計画制度創設後の初動期の取り組みに関するアンケート調査の分析-	野澤千絵・饗庭伸・讃岐亮・中西正彦・望月春花	54-3	80	883-893	2019

「災害」で検索したところ、66件が該当したが、特にまちづくりと関連性の高いものは以下の5件であった。

No.	タイトル	著者名	号数	番号	ページ	年次
1	建築基準法第39条災害危険区域に着目した土地利用規制制度の理念に関する研究	児玉千絵・窪田垂矢	48-3	8	201-206	2013
2	東日本大震災後の災害危険区域の指定に関する研究	松本英里・姥浦道生	50-3	145	1273-1280	2015
3	市街化区域と災害リスク区域の関係に関する研究-当初決定とその後の拡大に着目して-	藤裕美・松川寿也・中出文平・樋口秀	54-3	92	931-937	2019
4	津波常習地域における長期間の建物立地変化-岩手県綾里地区を対象として-	饗庭伸	54-3	120	1139-1144	2019
5	津波ハザードマップ見直し後の宅地開発・居住選択意識の変化分析-高知市を対象として-	坂本淳	54-3	112	1079-1085	2019

②日本都市計画学会一般研究論文(査読付き)

「立地適正化計画」「居住誘導区域」で検索したところ、以下の2件が該当した。

No.	タイトル	著者名	通巻	ページ	年次
1	人口フレーム枯渇都市における線引き運用と立地適正化計画の策定方針に関する研究	浅野純一郎・上田政道	52-2	220-228	2017.10
2	線引き地方都市における3指標を基にした居住誘導区域の指定に関する即地的研究	寺島駿・松川寿也・丸岡陽・中出文平・樋口秀	53-1	76-84	2018.4

「災害」で検索したところ、2件が該当したが、特にまちづくりと関連性の高いものは以下の1件であった。

No.	タイトル	著者名	通巻	ページ	年次
1	全国における土地利用及び土地利用規制と災害リスクとの関連性に関する経年分析	松中亮治・大庭哲治・中川大・森倉遼太	53-1	19-26	2018.4

(3)本研究との位置づけ

本研究に関連する既往研究としては、策定済みの立地適正化計画を対象に居住誘導区域の設定における区域内外の施策に関するものとして、災害危険エリアでの土地利用方針について考察した宮崎ら⁷⁾による研究(2019)がある。また、市街化区域及び市街化調整区域における自然災害と住宅及び非住宅立地に関するものとして、津波危険区域内での住宅及び非住宅立地の変遷について考察している浅野ら⁸⁾による研究(2018)、さらには災害リスク区域と市街化区域に関するものとして、地震・洪水・土砂災害のデータと市街化区域の拡大との関係性について考察した蔵ら⁹⁾による研究(2019)がある。

以上のように、一部の災害ハザードエリアを対象に、居住誘導区域内外における土地利用方針、市街化区域及び市街化調整区域における住宅及び非住宅立地の変遷、市街化区域の拡大に関する既往研究があるが、立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題に関する研究は不在であるとともに、東海4県を対象とすることから、本研究には新規性及び有用性があると考えられる。

1-6 用語の定義

本研究における用語の定義を以下に示す。

「居住誘導区域」

人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域のことを指す。

「災害ハザードエリア」

災害発生リスクのあるハザードエリアのことを指す。具体的には、第2章で後述する通り、都市計画運用指針において市町村が居住誘導区域を設定する際に、災害上、居住誘導区域に含まないこと、または含まないこととすべきものとして、除外に関して3つの方針が定められている区域のことである。

「災害ハザードエリアの一部除外」

災害ハザードエリアの全域のうち、特に災害リスクが高いと思われる箇所を除外することを指す。具体的には、第4章で後述する通り、浸水想定区域において浸水深3m以上の浸水区域を除外することや、津波浸水想定区域において浸水深2m以上の浸水区域を除外することである。

「災害ハザードエリアの除外検討」

市町村が居住誘導区域の設定の際に、災害ハザードエリアの除外について検討することを指す。

第 2 章

都市再生基本方針及び都市計画運用指針における記載状況

- 2-1 都市再生基本方針
- 2-2 都市計画運用指針
- 2-3 災害ハザードエリアにおける開
発行為の規制状況
- 2-4 災害ハザードエリアの分類
- 2-5 災害ハザードエリアの現地状況
- 2-6 小括

第2章 都市再生基本方針及び都市計画運用指針における記載状況

2-1 都市再生基本方針

2-1-1 都市再生基本方針の概要

本方針は、我が国の活動の源泉である都市の魅力と国際競争力を高め、都市再生を実現するための共通指針として、平成14年4月に内閣府が作成したものである。平成26年8月には、立地適正化計画に関する規定が初めて追加されるようになり、令和2年6月の都市再生特別措置法等の改正に至るまで、同計画に関する一部の記載内容の変更や追加が行われてきた。

本章では、都市再生特別措置法等が改正された令和2年6月以前の最新のもので、平成30年7月に一部改正・公表された「都市再生基本方針²⁾」を対象に、災害ハザードエリアの除外に関する記載状況について整理する。

2-1-2 災害ハザードエリアの除外に関する記載状況

本方針においては、「第五 立地適正化計画の作成に関する基本事項」において同計画に関する記載がみられる。ここでは、都市のコンパクト化に向けた包括的なマスタープランとして作成することや作成時の基本的な視点等が記載されているが、災害に関しては、立地適正化計画は防災に配慮する必要があるために防災や土木等を担当する部局と十分な連携や共同での検討作業を行っていくこと、といった作成時の合意形成や連携・調整に関する記載のみであり、災害ハザードエリアの除外に関する記載は不在である。

2-1-3 都市再生特別措置法等における記載状況

本方針の根拠法である都市再生特別措置法^{注2)}では、同法第81条第19項において、居住誘導区域は立地適正化計画の区域における人口、土地利用及び交通の現状及び将来の見通しを勘案して、良好な居住環境が確保され、公共投資その他の行政運営が効率的に行われるように定めるものとし、災害危険区域(建築基準法第39条第1項(第2項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されているものに限る))^{注3)}については定めのないものとする、といった災害ハザードエリアの除外に関する記載がある。

注2) 本文中の「都市再生特別措置法」は、令和2年6月10日に改正されたものを指す。

注3) 本文中の「災害危険区域(建築基準法第39条第1項(第2項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されているものに限る))」は、後述する「災害危険区域(住居の用に供する建築物)」と同等のものである。

2-2 都市計画運用指針

2-2-1 都市計画運用指針の概要

本指針は、都市計画制度の運用について解説した指針として、平成12年12月に国土交通省が作成したものである。平成26年8月には立地適正化計画に関する規定が初めて追加されるようになり、令和2年6月の都市再生特別措置法等の改正に至るまで、同計画に関する一部の記載内容の変更や追加が行われてきた。

本章では、都市再生特別措置法等が改正された令和2年6月以前の最新のもので、令和2年6月に一部改正・公表された「第10版 都市計画運用指針³⁾」を対象に、災害ハザードエリアの除外に関する記載状況について整理する。

2-2-2 災害ハザードエリアの除外に関する記載状況

本指針においては、「IV-1-3 立地適正化計画」において同計画に関する記載がみられる。ここでは、立地適正化計画の基本的な考え方や策定主体等について記載されているが、災害ハザードエリアの除外に関しては、その中の「3. 記載内容」及び「7. 策定に当たって配慮すべき事項」において記載がみられる。以下にその詳細について示す。

(1) 災害ハザードエリアの除外に関する方針

「3. 記載内容」－「(3) 居住誘導区域」－「②居住誘導区域の設定」において、災害ハザードエリアの除外に関する方針が、以下に示すように、除外に対する厳格さの程度の違いから、3区域に区分して記載されている。表2-1にその詳細を示す。

第一に、「居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅰ)完全除外区域)」であり、災害危険区域(住居の用に供する建築物)^{注4)}が該当する。

第二に、「原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅱ)原則除外区域)」であり、土砂災害特別警戒区域、津波災害特別警戒区域、災害危険区域(その他の建築物)^{注5)}、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域が該当する。

第三に、「それぞれの区域の災害リスク、警戒避難体制の整備状況、災害を防止し、又は軽減するための施設の整備状況や整備見込み状況等(以下、災害リスク等)を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅲ)要検討区域)」であり、土砂災害警戒区域、津波災害警戒区域、浸水想定区域、都市洪水想定区域、都市浸水想定区域、災害の発生のおそれのある区域(土砂災害防止対策の推進に関する法律に規定する基礎調査、津波防災まちづくり法に規定する津波浸水想定における浸水の区域や調査結果等に基づくもの)が該当する。

注4) 都市計画運用指針では、建築基準法第39条第1項に規定する災害危険区域のうち、同条第2項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されている区域と記載しているが、本研究では、これを「災害危険区域(住居の用に供する建築物)」と呼称している。

注5) 都市計画運用指針では、建築基準法第39条第1項に規定する災害危険区域のうち、災害危険区域(住居の用に供する建築物)を除いた区域と記載しているが、本研究では、これを「災害危険区域(その他の建築物)」と呼称している。

表2-1 都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する方針

都市計画運用指針における 災害ハザードエリアの除外に関する方針		災害ハザードエリア	記載箇所
(Ⅰ)完全除外区域	居住誘導区域に含まないこととすべき区域	災害危険区域 (住居の用に供する建築物)	2)イ
(Ⅱ)原則除外区域	原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域	土砂災害特別警戒区域	3)ア
		津波災害特別警戒区域	3)イ
		災害危険区域 (その他の建築物)	3)ウ
		地すべり防止区域	3)エ
(Ⅲ)要検討区域	それぞれの区域の災害リスク、警戒避難体制の整備状況、災害を防止し、又は軽減するための施設の整備状況や整備見込み状況等(以下、災害リスク等)を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域	急傾斜地崩壊危険区域	3)オ
		土砂災害警戒区域	4)ア
		津波災害警戒区域	4)イ
		浸水想定区域	4)ウ
		都市洪水想定区域 都市浸水想定区域	4)エ
		災害の発生のおそれのある区域	4)オ

(2) 計画策定時における防災対策の検討・記載への配慮

「7. 策定に当たって配慮すべき事項」において、大規模な地震、津波、集中豪雨、土砂災害等の自然災害に備え、災害に強く安全なまちとなるよう、ソフト・ハードの防災対策とあわせて検討・記載することが望ましい。例えば、居住誘導区域に災害ハザードエリアを含める場合には、当該区域の災害リスクを記載するとともに警戒避難体制の整備等の防災対策を検討・記載することが考えられる、といった計画策定時における防災対策の検討・記載への配慮に関する記載がある。

2-3 災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況

都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する方針を踏まえ、本節では、各エリアにおける開発行為の規制状況について、個別法及び都市計画法の記載から以下の通りに整理する。

(1) 個別法における規制状況

表 2-2 に個別法と記載内容、図 2-1 に例として、土砂災害特別警戒区域における開発行為の規制状況について示す。なお、第 4 章で後述する通り、災害の発生のおそれのある区域については、津波浸水想定区域と土砂災害危険箇所等がみられたことから、当該 2 つの区域を対象としている。

①(Ⅰ)完全除外区域

災害危険区域(住居の用に供する建築物)

災害危険区域(住居の用に供する建築物)とは、建築基準法第 39 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、条例で住居の用に供する建築物の建築が禁止されている。

②(Ⅱ)原則除外区域

土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域とは、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第 9 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制がされている。

津波災害特別警戒区域

津波災害特別警戒区域とは、津波防災地域づくりに関する法律第 53 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、一定の開発行為及び一定の建築物の建築又は用途の変更の制限がされている。

災害危険区域(その他の建築物)

災害危険区域(その他の建築物)とは、建築基準法第 39 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、条例で住居の用に供する建築物を除いたその他の建築物の建築が制限されている。

地すべり防止区域

地すべり防止区域とは、地すべり等防止法第 3 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、地すべりの発生を助長・誘発するおそれのある一定の行為(例：地すべり防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。

急傾斜地崩壊危険区域

急傾斜地崩壊危険区域とは、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第 3 条によるものである。開発行為の規制に関する記載があり、急傾斜地の崩壊を助長・誘発するおそ

れのある一定の行為(例：急傾斜地崩壊防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。

③(Ⅲ)要検討区域

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域とは、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律第7条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。

津波災害警戒区域

津波災害警戒区域とは、津波防災地域づくりに関する法律第72条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、当該区域における津波による人的災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。

浸水想定区域

浸水想定区域とは、水防法第14条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、河川の氾濫^{注6)}、雨水の排除ができないことによる出水^{注7)}、高潮による氾濫^{注8)}が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。

都市洪水想定区域

都市洪水想定区域とは、特定都市河川浸水被害対策法第32条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、特定都市河川のはん濫による都市洪水^{注9)}が想定される区域を指す。

都市浸水想定区域

都市浸水想定区域とは、特定都市河川浸水被害対策法第32条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、都市浸水^{注9)}が想定される区域を指す。

津波浸水想定区域

津波浸水想定区域とは、津波防災地域づくりに関する法律第8条によるものである。開発行為の規制に関する記載がなく、津波が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。

土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所とは、個別法が無い。当然ながら、開発行為の規制に関する記載がなく、土石流、地すべり、がけ崩れが起きた場合に土砂被害が想定される箇所を指す。

注6) 国土交通大臣が同法第10条第2項又は第13条第1項の規定により指定した河川、または都道府県知事が同法第11条第1項又は第13条第2項の規定により指定した河川を対象としている。

注7) 都道府県知事が同法第13条の2第1項の規定により指定した排水施設等、または市町村長が同法第13条第2項の規定により指定した排水施設等を対象としている。

注8) 都道府県知事が同法第13条の3の規定により指定した海岸を対象としている。

注9) 同法3条の規定により、国土交通大臣が一の水系に係る一又は二以上の一級河川、都道府県知事が二級河川の中で指定した区間を対象としている。なお、都市浸水想定区域についても同様である。

全体的に、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では建築物の建築や用途の変更等が規制されているが、(Ⅲ)要検討区域では規制されていなく、警戒避難体制の確保のため、災害リスク情報の提供等が市町によって実施されている。

表 2-2 災害ハザードエリアの個別法と開発行為の規制に関する記載

災害ハザードエリアの個別法と開発行為の規制に関する記載		災害ハザードエリアの個別法	記載箇所	開発行為の規制に関する記載
(Ⅰ) 完全除外区域	災害危険区域 (住居の用に供する建築物)	建築基準法	第39条	記載あり。条例で住居の用に供する建築物の建築が禁止されている。
	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第9条	記載あり。一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制がされている。
(Ⅱ) 原則除外区域	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	第53条	記載あり。一定の開発行為及び一定の建築物の建築又は用途の変更の制限がされている。
	災害危険区域 (その他の建築物)	建築基準法	第39条	記載あり。条例で住居の用に供する建築物を除いたその他の建築物の建築が制限されている。
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	第3条	記載あり。地すべりの発生を助長・誘発するおそれのある一定の行為(例：地すべり防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第3条	記載あり。急傾斜地の崩壊を助長・誘発するおそれのある一定の行為(例：急傾斜地崩壊防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第7条	記載なし。当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。
(Ⅲ) 要検討区域	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	第72条	記載なし。当該区域における津波による人的災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。
	浸水想定区域	水防法	第14条	記載なし。河川の氾濫、雨水の排除ができないことによる出水、高潮による氾濫が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	第32条	記載なし。特定都市河川のはん濫による都市洪水、都市浸水が想定される区域を指す。
	都市洪水想定区域 津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	第8条	記載なし。津波が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。
	土砂災害危険箇所	(個別法はなし)		



図 2-1 土砂災害特別警戒区域における開発行為の規制状況
(国土交通省 HP における「土砂災害防止法の概要」を基に作成)

(2) 都市計画法における規制状況

都市計画法では、第33条第1項第8号において、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域で自己の居住の用に供する住宅以外(例：賃貸住宅、貸ビル、自社ビル等)を対象に、建築の前段階としての宅地造成等が規制されている。

(3) 開発行為の規制が及ぼす居住誘導への影響

以上より、個別法は建築物単体、都市計画法は市街地全体に関する規制で、相互補完的に(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域が規制されているといった特徴がみられる。また、居住誘導への影響に関して、居住誘導区域に指定されると、区域内では宅地造成や建築物の建築等が行われていくが、規制のある災害ハザードエリアを含む場合、これらの行為は容易ではなくなることが考えられる。

2-4 災害ハザードエリアの分類

災害ハザードエリアは災害の種類の見点から、4 つ(地盤災害、津波災害、洪水災害、その他)に分類することができる。具体的には以下の通りである。なお、第4章からは、3 区域を含めた 2 つの見点から、災害ハザードエリアの除外の実態に関する全体的な傾向について分析を行なっている。

(1) 地盤災害

地盤災害は、土砂災害特別警戒区域、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所が該当する。

(2) 津波災害

津波災害は、津波災害特別警戒区域、津波災害警戒区域、津波浸水想定区域が該当する。

(3) 洪水災害

洪水災害は、浸水想定区域、都市洪水想定区域、都市浸水想定区域が該当する。

(4) その他

その他は、災害危険区域(住居の用に供する建築物)、災害危険区域(その他の建築物)が該当する。

また、開発行為の規制状況について、表 2-2 を踏まえると、地盤災害、津波災害、その他では規制のある区域を含むが、洪水災害は一つも含まないといった特徴がみられる。

2-5 災害ハザードエリアの現地状況

三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアについて、各災害における対象地の詳細を図2-2に示す。なお、第4章で後述する通り、三重県津市で居住誘導区域から除外していない災害ハザードエリアは、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域、浸水想定区域の5つであるが、本調査では、地盤災害、津波災害、洪水災害を対象としており、災害の種類ごとに、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域、浸水想定区域の3つを選定している。

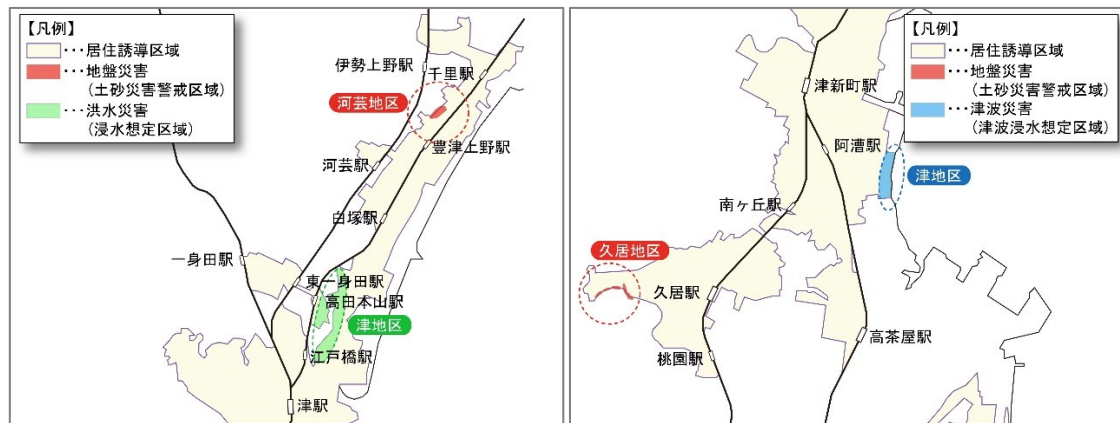


図2-2 各災害における対象地

(三重県津市HPにおける「津市立地適正化計画」を基に作成)

(1) 地盤災害：土砂災害警戒区域

居住誘導区域が設定されている3地区(河芸地区、津地区、久居地区)で、当該区域が指定されている中、河芸地区及び久居地区の2地区において現地調査を行なっている。



写真2-1：居住誘導区域内における地盤災害の現地状況

(左：河芸地区 右：久居地区)

(2) 津波災害：津波浸水想定区域

河芸地区から香良洲地区にかけて、海岸沿いに当該区域が広範囲に指定されているが、津地区においては海岸線に接するような形で居住誘導区域が設定されていたことから、同地区を対象としている。

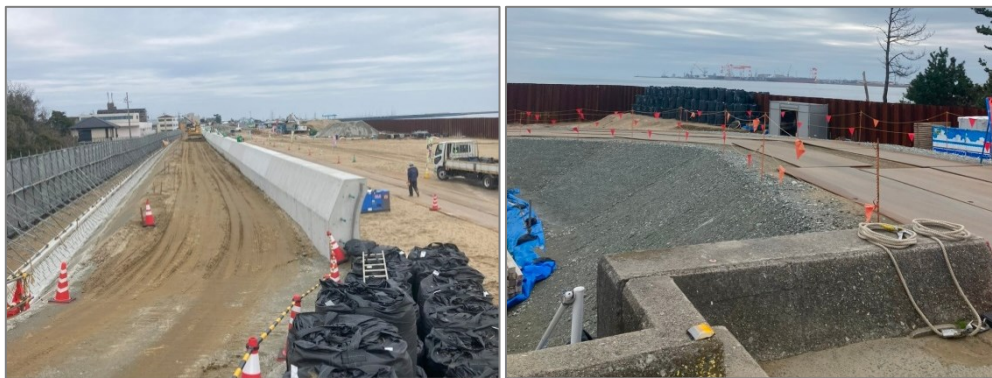


写真 2-2：居住誘導区域内における津波災害の現地状況
(津地区)

(3) 洪水災害：浸水想定区域

居住誘導区域が設定されている4地区(河芸地区、津地区、久居地区、香良洲地区)とも、河川沿いに当該区域が広範囲に指定されている中、現地調査では津地区を対象としている。



写真 2-3：居住誘導区域内における洪水災害の現地状況
(津地区)

以上より、災害ごとに、擁壁工、防潮堤、河岸堤防といったハード対策が整備されているが、いずれも居住誘導が進む現在で、既にエリア内に住宅等が建ち並んでいる状況がみられる。

2-6 小括

以上より、災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられたのは、都市計画運用指針であり、具体的には、災害ハザードエリアが、除外に対する厳格さの程度の違いから、3区域（（Ⅰ）完全除外区域、（Ⅱ）原則除外区域、（Ⅲ）要検討区域）に区分して記載されていた。

また、これらの区域は災害の種類の視点から4つ（地盤災害、津波災害、洪水災害、その他）に分類することができた。さらに、災害ハザードエリアの開発行為の規制状況から、地盤災害、津波災害、その他では規制のある区域を含むが、洪水災害は一つも含まないといった特徴がみられた。

第 3 章

近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組状況

- 3-1 近年の頻発・激甚化する自然災害
と今後のまちづくりの方向性
- 3-2 都市計画基本問題小委員会
- 3-3 都市再生特別措置法等の改正
- 3-4 小括

第3章 近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組状況

3-1 近年の頻発・激甚化する自然災害と今後のまちづくりの方向性

地盤災害、津波災害、洪水災害と様々な災害を受けやすい我が国では、近年、地球温暖化による気温上昇の影響から、地盤災害や洪水災害を引き起こす大雨や短時間強雨の回数が増加している。「日経アーキテクチュア¹⁰⁾」によると、この影響で、令和元年10月の東日本台風による福島県須賀川市、令和2年7月豪雨による福岡県大牟田市では、居住誘導区域内の相次ぐ深刻な浸水被害等により、いずれも2名が死亡する事態となった。

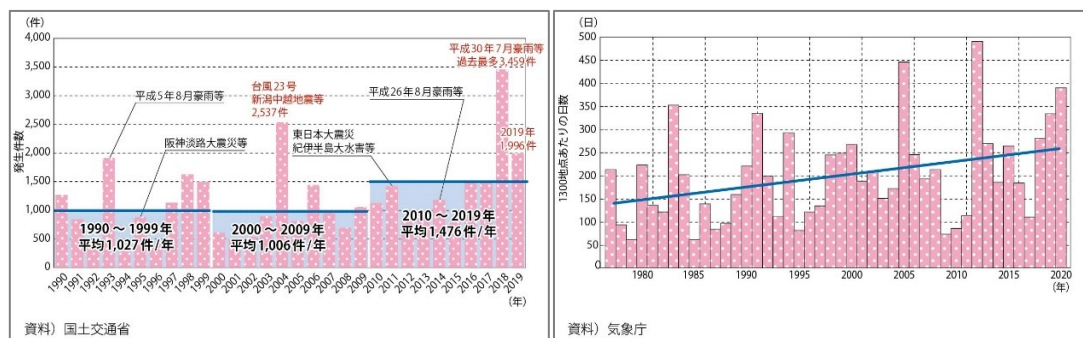


図 3-1, 3-2 地盤災害(左)及び洪水災害(右)の発生件数の推移

(出典：国土交通白書 2020、国土交通省 HP)

このような頻発・激甚化する自然災害に対応するため、今後の我が国のまちづくりにおいては、コンパクトシティに向けた取組の中で、近年の災害の発生状況を踏まえ、水災害リスクの低減にも配慮して居住や都市機能の立地を誘導することが極めて重要であるとされている。^{注 10)}

注 10) 令和2年8日に、国土交通省が公表した「水災害対策とまちづくりの連携のあり方について 提言」から引用。

令和2年9月時点で、国土交通省が近年の頻発・激甚化する自然災害に対応するために行なってきた取組は以下の3つである。なお、本章では、令和2年6月に都市再生特別措置法等が改正されることとなった第一及び第二の取組についてまとめている。

第一に、国土交通省が所管する都市計画基本問題小委員会において、令和元年2月から令和2年1月にかけて、災害ハザードエリアの除外に関する提言が行われてきたこと。

第二に、上記の取組を基に、令和2年6月に都市再生特別措置法等が改正されたこと。

第三に、上記の法改正を機に、立地適正化計画作成の手引きが改編されたこと、コンパクトシティ形成支援チーム防災タスクフォース(防災TF)^{注 11)}が設置されたこと。

注 11) 防災TFとは、市町村の相談体制として、防災指針の作成や施策の推進を支援するために設置されたものである。

3-2 都市計画基本問題小委員会

3-2-1 都市計画基本問題小委員会の概要

都市計画基本問題小委員会とは、近年における都市のスポンジ化、コンパクトシティの在り方に対し、解決に向けた施策の方向性を幅広く検討するため、平成29年2月に国土交通省が所管する社会資本整備審議会に設立されたものである。本委員会は、設立されてから最新である令和2年1月の開催に至るまで、計16回の報告資料と計2回の中間とりまとめを公表している。このうち、第1回、第9回～第16回の報告資料と中間とりまとめ(令和元年7月)において、災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられる。

ここでは、特徴的な記載がみられた中間とりまとめ(令和元年7月)と第16回都市計画基本問題小委員会(令和2年1月)の報告資料について、以下の通りに整理する。

3-2-2 中間とりまとめ(令和元年7月)

中間とりまとめ(令和元年7月)とは、第15回都市計画基本問題小委員会(令和元年6月)までの報告資料についてまとめたものである。災害ハザードエリアの除外に関する記載は、「6. 立地適正化計画等と防災対策を連携させること」でみられるが、特に「(2)ハザードエリアを踏まえた居住誘導区域の設定」においては、以下の2点について提言を示している。

(1) 土砂災害特別警戒区域等(レッドゾーン)^{注12)}を含めている市町について

居住誘導区域に含めている理由としては、(a)レッドゾーンの区域が小規模で中抜きができない、(b)居住誘導区域設定の直前・直後にレッドゾーンに指定されたため対応できなかった、(c)レッドゾーンに係る防災対策により区域指定が解消される見込みがある、等が挙げられているが、少なくとも(a)、(b)は住民等への説明責任を果たし得る理由とは考えにくく、早急に居住誘導区域から除外すべきである、と提言している。

注12) 土砂災害特別警戒区域、津波災害特別警戒区域、災害危険区域(その他の建築物)、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域のことを指す。本研究では、前述した(Ⅱ)原則除外区域と同等のものである。

(2) 土砂災害警戒区域等(イエローゾーン)^{注13)}を含めている市町について

居住誘導区域に含めている理由としては、(a)防災対策を講じて安全性の確保が図られている(対策を検討している)、(b)今後の都市拠点・地区拠点となる重要な区域である、(c)居住誘導区域設定の直前・直後にイエローゾーン等に指定されたため対応できなかった、等が挙げられているが、少なくとも(c)は住民等への説明責任を果たし得る理由とは考えにくく、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、早急に居住誘導区域から除外すべきである。また、(b)はまちづくりの観点から考慮しなければならない側面がある一方、必要な防災対策が伴っていなければ居住誘導区域に設定したと整合せず、(a)も必要な防災対策が具体的に示されていることが必要である、と提言している。

注13) 土砂災害警戒区域、津波災害警戒区域、浸水想定区域、都市洪水想定区域、都市浸水想定区域、災害の発生のおそれのある区域のことを指す。本研究では、前述した(Ⅲ)要検討区域と同等のものである。

3-2-3 第16回都市計画基本問題小委員会(令和2年1月)

第16回都市計画基本問題小委員会(令和2年1月)には、防災・減災等のための都市再生特別措置法等の改正内容(案)に関する報告資料が公表されている。ここでは、災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられ、具体的には以下の2点について提言を示している。

(1) 災害レッドゾーン^{注14)}の除外について

第10版 都市計画運用指針の災害レッドゾーンにおける「原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域」に対して、原則除外を明記すると、提言している。

注14) 土砂災害特別警戒区域、津波災害特別警戒区域、災害危険区域(その他の建築物)、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域のことを指す。本研究では、前述した(Ⅱ)原則除外区域と同等のものである。

(2) 防災指針^{注15)}の作成について

立地適正化計画の記載事項として「防災指針」を追加し、市町村は居住誘導区域内等で行なう防災対策・安全確保策を定めることと、提言している。

注15) 防災指針とは、コンパクトで安全なまちづくりを推進するため、居住誘導区域に残存する災害リスクに対して、計画的かつ着実に必要な防災・減災対策を定めるものであり、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等で新たに規定されたものである。具体的には、①災害リスクの分析から災害リスクの高い地域を抽出し(図3-3)、②リスク分析を踏まえた居住誘導区域の見直しから、③必要な場所に必要の防災・減災対策を講じることである。

組み合わせる情報 (ハザード情報)	組み合わせる情報 (都市の情報)	分析の視点
浸水深 (洪水、雨水出水(内水)、高潮、津波)	建物分布 建物階数、建築物の高さ 避難施設分布 都市機能(特に病院・福祉施設等) 都市機能(特に病院・福祉施設等) EV設置状況 道路網(アンダーパス) インフラ(上・下水、排水機場等)	垂直避難で対応できるか 例1 避難施設が活用できるか 施設が継続利用できるか 要配慮者の垂直避難ができるか 避難路として活用可能か 浸水による機能停止がないか
浸水深 浸水到達時間 (浸水深変化)	建物分布 都市機能(特に病院・福祉施設等)	急激な浸水深変化の恐れがないか 例2 急激な浸水深変化の恐れがないか 例3
浸水到達時間 浸水開始時間(津波)	道路網 高齢者分布	継続的に避難路として活用可能か 早期避難に困りがあるか
浸水継続時間 (洪水、雨水出水(内水)、高潮)	人口分布 避難所分布(備蓄量含む) 都市機能(特に病院・福祉施設等) インフラ(上・下水、排水機場等)	早期の避難必要か 避難場所の備蓄が足りるか 要配慮者・病人の生命維持に危険がないか
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)	建物分布 木造建築物分布	長期に使用不可のエリアがないか 家屋倒壊の危険性がないか
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	建物分布 道路網(アンダーパス)	家屋倒壊の危険性がないか 頻繁に浸水する家屋がないか
過去の浸水実績	道路網	早期に不通になる避難路がないか 例4
土砂災害警戒区域		道路寸断、集落孤立がないか
洪水・雨水出水(内水)・津波・高潮・土砂災害(各ハザードエリアの重ね合わせ)		複合災害のおそれがないか

図3-3 防災指針の作成における災害リスクの分析
(出典：立地適正化計画作成の手引き(令和2年9月版)、国土交通省HP)

3-3 都市再生特別措置法等の改正

近年、居住誘導区域内で相次ぐ深刻な浸水被害や都市計画基本問題小委員会での取り組みを背景に、令和2年6月に都市再生特別措置法が改正されることとなった。一方、立地適正化計画策定の際に、国によって示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針については、いずれも同年9月に一部改正・公表されることとなった。両者の具体的な改正箇所については以下の通りである。

3-3-1 都市再生基本方針

令和2年9月に一部改正・公表された都市再生基本方針では、改正前にみられなかった災害ハザードエリアの除外に関する記載が新たに追加されている。具体的には、「第五 立地適正化計画の作成に関する基本的事項」において、以下の2点が示されている。

(1) 災害ハザードエリアの除外に関する方針

災害の発生のおそれのある区域は、災害リスクの種別を踏まえ、警戒避難体制の整備状況、災害を防止・軽減するための施設の整備状況や整備見込み等を総合的に検討した上で、災害リスクの種別も考慮し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域である、としている。^{注16)}

注16) 「第10版 都市計画運用指針」における災害の発生のおそれのある区域に関する記載内容と同等のものである。

(2) 防災指針の作成に関する方針

防災指針は、各都市が抱える防災上の課題を明確にしたうえで、ハード・ソフトの両面からの防災対策・安全確保策を位置付けること。また、その際には、短期、中期、長期等の目標年次に応じた施策のスケジュールを明示することが望ましい、としている。

3-3-2 都市計画運用指針

令和2年9月に一部改正・公表された都市計画運用指針では、改正前の「IV-1-3 立地適正化計画」-「3. 記載内容」-「(3) 居住誘導区域」-「② 居住誘導区域の設定」における災害ハザードエリアの除外に関する方針に、新たな方針が追加されている。具体的には、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域について以下のように示されている。

(1) (Ⅱ)原則除外区域の除外に関する方針

(Ⅱ)原則除外区域の除外に関しては、災害危険区域(その他の建築物)において想定される浸水深以上の高さに居室を設けることが義務付けられている地区、地すべり防止区域において地すべり防止工事が完了している地区、急傾斜地崩壊危険区域において急傾斜地崩壊防止工事が完了している地区など、災害防止上必要な対策がなされている地区については、関係部局と協議の上、居住誘導区域とすることが考えられる。この場合、居住誘導区域への追加は対策の完了後に行うことが望ましい、としている。

(2) (Ⅲ)要検討区域の除外に関する方針

(Ⅲ)要検討区域の除外に関しては、人口・住宅の分布、避難路・避難場所や病院等の生活支援施設の配置などの現状及び将来の見通しと、想定される災害のハザード情報を重ね合わせるなどの災害リスク分析を適切に行うことが必要である。浸水想定区域については、浸水深が深く浸水継続時間が長期に及ぶ地区や、氾濫により家屋倒壊等のおそれがある地区など特にリスクが大きな地区が存在しうること留意すべきである。(Ⅲ)要検討区域を居住誘導区域に含める場合には、防災指針において当該地区の災害リスクを踏まえた防災・減災対策を明らかにすることが必要である、としている。

ただし、防災指針を定めれば、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域を居住誘導区域に含めることが可能になるという趣旨ではないことに留意する必要がある、としている。

また、「3. 記載内容」には、新たに「(6) 防災指針」が追加され、ここでは、災害リスクの分析や防災指針に基づく取組の検討等が記載されているが、特に「① 基本的な考え方」では、居住誘導区域を設定する際の防災指針の位置づけに関する記載がみられる。具体的には、以下に示す通りである。

(3) 防災指針の作成に関する方針

様々な災害のうち、洪水、雨水出水、津波、高潮による浸水エリアは広範囲に及び、既に市街地が形成されていることも多いことから、この範囲を居住誘導区域から全て除くことは現実的に困難であることも想定される。このため、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められる、としている。

3-4 小括

以上より、近年の頻発・激甚化する自然災害を背景に、コンパクトシティに向けた取組の一つである立地適正化計画においては、居住や都市機能の立地を誘導する際、災害リスクの低減に配慮することが重要であるとされていた。また、改正前から災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられる都市計画運用指針では、法改正により、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域に対する除外の厳格化や防災指針の作成に関する方針が新たに追加されており、居住誘導区域での安全性確保の推進が図られていた。

第 4 章

居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外状況

- 4-1 調査分析の概要
- 4-2 災害ハザードエリアの除外状況
- 4-3 災害ハザードエリアの除外状況
に関する全体的な傾向
- 4-4 特徴的な市町の事例
- 4-5 小括

第4章 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外状況

4-1 調査分析の概要

4-1-1 記載状況調査

本調査では、前回のアンケート調査で回答が得られなかった豊橋市を除き、令和2年7月31日時点で立地適正化計画を作成・公表している43市町を対象とし、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外状況について調査分析を行なっている。表4-1に43市町における立地適正化計画の概要、図4-1～図4-4に各県における43市町の位置関係について示している。

表4-1 東海4県43市町における立地適正化計画の概要

	調査対象	立地適正化計画の名称	策定期
岐阜県	①岐阜市	岐阜市立地適正化計画	H29.3
	②関市	関市立地適正化計画	H29.3
	③大垣市	大垣市立地適正化計画	H30.4
	④多治見市	多治見市立地適正化計画	R1.3
	⑤美濃加茂市	美濃加茂市立地適正化計画	R2.3
静岡県	①磐田市	磐田市立地適正化計画	H30.3
	②掛川市	掛川市立地適正化計画	H30.3
	③藤枝市	藤枝市立地適正化計画	H30.3
	④伊豆の国市	伊豆の国市立地適正化計画	H30.6
	⑤長泉町	長泉町立地適正化計画	H30.7
	⑥袋井市	袋井市立地適正化計画	H30.9
	⑦浜松市	浜松市立地適正化計画	R1.1
	⑧静岡市	静岡市立地適正化計画	R1.3
	⑨沼津市	沼津市立地適正化計画	R1.3
	⑩富士市	富士市集約・連携型都市づくり推進戦略	R1.3
	⑪裾野市	裾野市立地適正化計画	R1.3
	⑫函南町	函南町立地適正化計画	R1.7
	⑬三島市	三島市立地適正化計画	R1.8
	⑭森町	森町立地適正化計画	R2.6
愛知県	①豊川市	豊川市立地適正化計画	H29.3
	②小牧市	小牧市立地適正化計画	H29.3
	③東海市	東海市立地適正化計画	H29.3
	④名古屋市	なごや集約連携型まちづくりプラン	H30.3
	⑤春日井市	春日井市立地適正化計画	H30.3
	⑥知立市	知立市立地適正化計画	H30.3
	⑦刈谷市	刈谷市立地適正化計画	H30.6
	⑧安城市	第三次安城市都市計画マスタープラン	R1.2
	⑨岡崎市	岡崎市立地適正化計画	R1.3
	⑩豊田市	豊田市立地適正化計画	R1.3
	⑪東郷町	東郷町立地適正化計画	R1.3
	⑫蒲郡市	蒲郡市立地適正化計画	R1.7
	⑬江南市	江南市立地適正化計画	R2.3
	⑭豊明市	豊明市立地適正化計画	R2.3
	⑮田原市	田原市立地適正化計画	R2.3
	⑯弥富市	弥富市立地適正化計画	R2.6
三重県	①亀山市	亀山市立地適正化計画	H29.1
	②伊勢市	伊勢市立地適正化計画	H30.3
	③伊賀市	伊賀市立地適正化計画	H30.4
	④津市	津市立地適正化計画	H30.5
	⑤朝日町	朝日町立地適正化計画	H30.6
	⑥桑名市	桑名市立地適正化計画	R1.3
	⑦松阪市	松阪市立地適正化計画	R1.3
	⑧四日市市	四日市市立地適正化計画	R2.3

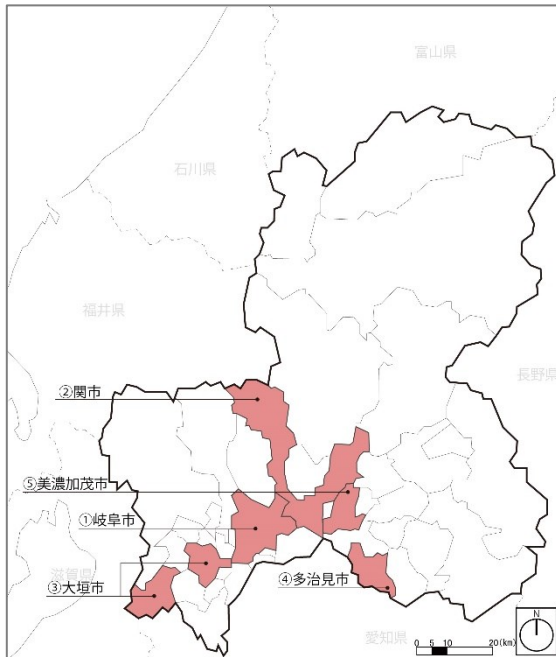


図 4-1 岐阜県 5 市の位置関係
(国土交通省国土地理院における
「地理院地図」を基に作成)

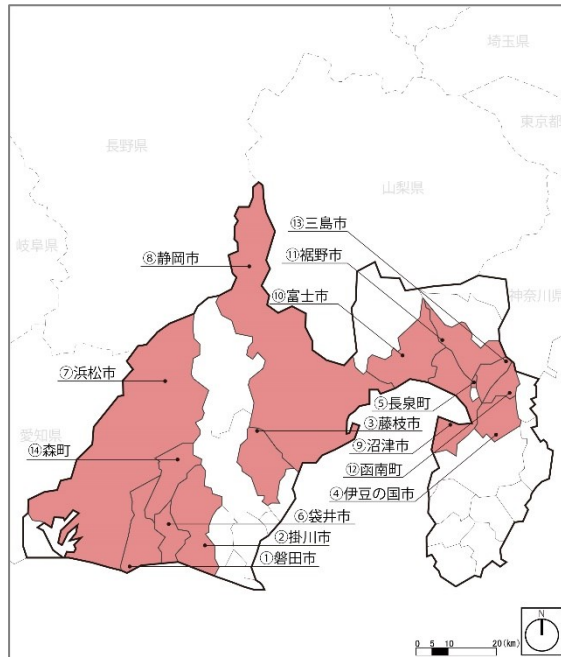


図 4-2 静岡県 14 市町の位置関係
(国土交通省国土地理院における
「地理院地図」を基に作成)

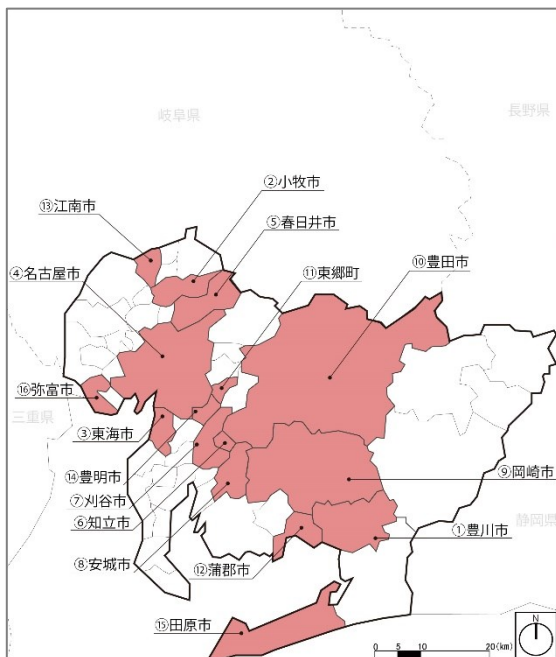


図 4-3 愛知県 16 市町の位置関係
(国土交通省国土地理院における
「地理院地図」を基に作成)

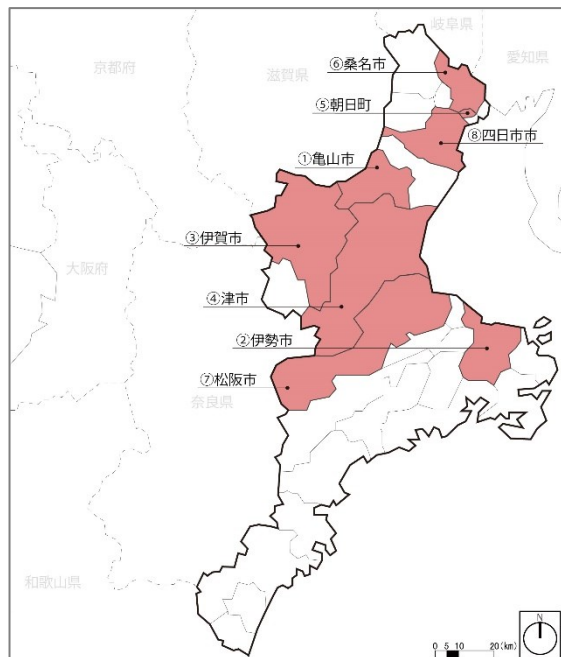


図 4-4 三重県 8 市町の位置関係
(国土交通省国土地理院における
「地理院地図」を基に作成)

4-1-2 アンケート調査

本調査では、上記の記載状況調査より得られた調査結果から、市町の実態について深掘り調査を行なっている。表4-2に、アンケート調査の実施状況について示している。なお、立地適正化計画の担当者やアンケート内容等の詳細については、【添付資料】にまとめている。

表4-2 アンケート調査の実施状況

調査対象	災害ハザードエリアの除外状況に関するアンケート調査					
	一次調査		二次調査		三次調査	
岐阜県	①岐阜市	◎ 2020/6/1	—	◎	2021/1/14	
	②関市	◎ 2020/5/29	—	◎	2020/12/21	
	③大垣市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/24	
	④多治見市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/22	
	⑤美濃加茂市	—	◎ 2020/11/25	◎	2020/12/22	
静岡県	①磐田市	◎ 2020/5/25	—	◎	2020/12/24	
	②掛川市	◎ 2020/5/25	—	◎	2020/12/21	
	③藤枝市	◎ 2020/5/28	—	◎	2021/1/12	
	④伊豆の国市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/28	
	⑤長泉町	◎ 2020/6/2	—	◎	2021/1/4	
	⑥袋井市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/28	
	⑦浜松市	◎ 2020/5/27	—	◎	2020/12/22	
	⑧静岡市	◎ 2020/5/29	—	◎	2020/12/28	
	⑨沼津市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/21	
	⑩富士市	◎ 2020/5/25	—	◎	2020/12/22	
	⑪裾野市	◎ 2020/5/28	—	◎	2021/1/20	
	⑫函南町	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/22	
	⑬三島市	—	—	◎	2020/12/22	
	⑭森町	—	◎ 2020/11/19	◎	2020/12/22	
愛知県	①豊川市	◎ 2020/5/27	◎ 2020/11/19	◎	2020/12/28	
	②小牧市	◎ 2020/6/17	—	◎	2020/12/21	
	③東海市	◎ 2020/5/26	×		—	
	④名古屋市	◎ 2020/6/2	◎ 2020/11/27	◎	2021/1/7	
	⑤春日井市	◎ 2020/6/3	—	◎	2021/2/10	
	⑥知立市	◎ 2020/5/28	—	◎	2020/12/24	
	⑦刈谷市	◎ 2020/6/1	—	◎	2020/12/23	
	⑧安城市	◎ 2020/6/2	—	◎	2020/12/24	
	⑨岡崎市	◎ 2020/5/27	—	◎	2020/12/22	
	⑩豊田市	◎ 2020/5/28	—	◎	2021/1/4	
	⑪東郷町	◎ 2020/5/27	—	◎	2020/12/24	
	⑫蒲郡市	◎ 2020/5/28	◎ 2020/11/25	◎	2020/12/23	
	⑬江南市	—	—		—	
	⑭豊明市	—	—	◎	2020/1/4	
	⑮田原市	—	—	◎	2020/12/25	
	⑯弥富市	—	—	◎	2020/12/21	
三重県	①亀山市	◎ 2020/5/29	—	◎	2020/12/22	
	②伊勢市	◎ 2020/5/29	—	◎	2020/12/23	
	③伊賀市	◎ 2020/5/29	—	◎	2021/1/4	
	④津市	◎ 2020/5/29	—	◎	2021/1/8	
	⑤朝日町	◎ 2020/6/4	—	◎	2020/12/21	
	⑥桑名市	◎ 2020/5/29	—	◎	2020/12/24	
	⑦松阪市	◎ 2020/6/4	—	◎	2020/12/25	
	⑧四日市市	—	—	◎	2020/12/28	

凡例：◎…実施 —…未実施 ×…実施したが回答得られず ※日付けはアンケート回収日

4-1-3 災害ハザードエリアの除外状況に関する評価基準

記載状況調査及びアンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアの除外状況(◎：除外している、×：除外していない、－：対象外である)に関する評価基準を以下のように定める。

「◎：除外している」

災害ハザードエリアを居住誘導区域から完全に除外していることを指す。具体的には、市町によって地区ごとに災害ハザードエリアの除外を検討している例が考えられるが、本研究では全ての地区で災害ハザードエリアが除外されていることを指し、一部の地区でも居住誘導区域から除外していない場合には「×：除外していない」に含まれる。

「×：除外していない」

前述の通り、災害ハザードエリアを一部の地区でも居住誘導区域から除外していないことを指す。

「－：対象外である」

災害ハザードエリアが居住誘導区域に指定されていなく対象外であることを指す。当然ながら、居住誘導区域を包括する市街化区域、都市計画区域に指定がないことも、「－：対象外である」に含まれる。

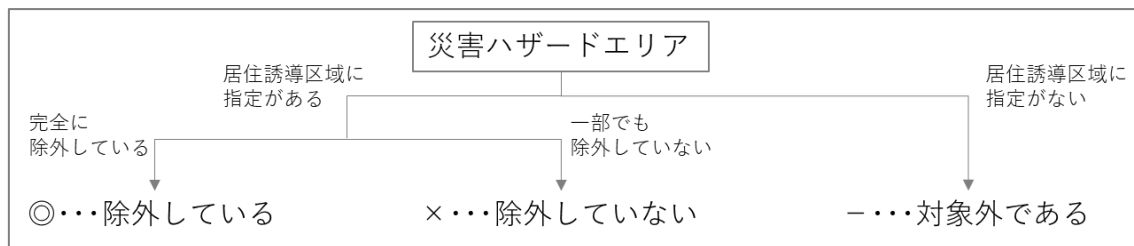


図 4-5 災害ハザードエリアの除外状況に関する評価基準

4-2 災害ハザードエリアの除外状況

各市町における災害ハザードエリアの除外状況の調査結果は、表 4-3 の通りである。なお、調査の結果、災害の発生のおそれのある区域については、津波浸水想定区域、土砂災害危険箇所(土石流危険渓流、急傾斜地崩壊危険箇所)、砂防指定地、その他として液状化や地震に関する区域がみられたことから、津波浸水想定区域以外の区域を土砂災害危険箇所等にまとめて分析を行なっている。これは、第5章以降も同様である。

表 4-3 各市町における災害ハザードエリアの除外状況

各市町における 災害ハザードエリア の除外状況		地盤災害					津波災害					洪水災害			その他	
		(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅱ) 原則除外区域		(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域
		土砂災害 特別警戒区域	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険区域	土砂災害 警戒区域	土砂災害 危険箇所等	津波災害 特別警戒区域	津波災害 警戒区域	津波浸水 想定区域	浸水想定 区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	災害危険区域 (住宅に供する 建築物)	災害危険区域 (その他の建築 物)		
		土砂災害 特別警戒区域	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険区域	土砂災害 警戒区域	土砂災害 危険箇所等	津波災害 特別警戒区域	津波災害 警戒区域	津波浸水 想定区域	浸水想定 区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	災害危険区域 (住宅に供する 建築物)	災害危険区域 (その他の建築 物)		
岐阜県	内陸部	岐阜市	◎	—	◎	◎	—	—	—	×	—	—	◎	—		
		大垣市	◎	—	◎	◎	—	—	—	×	—	—	—	—		
		多治見市	◎	◎	◎	◎	—	—	—	×	—	—	◎	◎		
		関市	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	×	—	—	—	×		
		美濃加茂市	◎	—	◎	◎	—	—	—	×	—	—	—	—		
静岡県	沿岸部	掛川市	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	×	×	—	—	—		
		富士市	◎	◎	◎	◎	—	—	—	×	×	—	◎	◎		
		磐田市	◎	◎	◎	◎	—	—	—	×	×	—	◎	◎		
		浜松市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	—	—	◎	◎		
		静岡市	◎	◎	◎	×	×	—	—	×	×	×	◎	◎		
	内陸部	沼津市	—	—	—	◎	—	—	—	×	×	—	—	—		
		袋井市	—	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—		
		函南町	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	×	×	—	—	—		
		藤枝市	◎	—	◎	×	—	—	—	×	—	—	◎	◎		
		伊豆の国市	◎	◎	◎	◎	×	—	—	×	—	—	◎	◎		
		裾野市	◎	—	◎	◎	—	—	—	×	—	—	◎	◎		
		長泉町	◎	—	◎	◎	◎	—	—	×	—	—	—	—		
		三島市	◎	—	◎	◎	—	—	—	×	—	—	◎	—		
		森町	◎	—	◎	×	×	—	—	×	—	—	—	—		
		蒲郡市	◎	—	◎	×	×	—	×	×	—	—	—	◎		
愛知県	沿岸部	東海市	◎	—	◎	×	—	×	×	×	—	×	◎	◎		
		名古屋市長	◎	—	◎	◎	×	—	×	×	×	×	×	×		
		豊川市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	×	—	◎	◎		
		弥富市	—	—	—	—	—	—	×	×	—	—	—	—		
		田原市	◎	—	◎	◎	◎	◎	◎	×	—	—	◎	◎		
	内陸部	岡崎市	◎	—	◎	◎	◎	◎	◎	×	—	—	◎	◎		
		東郷町	◎	—	◎	◎	◎	◎	◎	—	—	×	◎	◎		
		刈谷市	—	—	—	◎	—	◎	×	×	×	×	—	—		
		豊田市	◎	—	◎	◎	◎	◎	◎	×	—	—	◎	◎		
		小牧市	◎	—	◎	◎	×	◎	◎	×	—	×	◎	◎		
		春日井市	◎	—	◎	×	—	◎	◎	×	×	×	◎	◎		
		安城市	—	—	—	◎	◎	◎	◎	×	—	×	◎	◎		
		知立市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	—	◎	◎		
		江南市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	—	◎	◎		
		豊明市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎		
三重県	沿岸部	桑名市	◎	—	×	×	◎	◎	×	×	×	◎	◎			
		津市	×	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎			
		松阪市	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎			
		朝日町	×	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎			
		伊勢市	×	◎	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎			
	内陸部	四日市市	◎	◎	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	◎			
		亀山市	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎			
伊賀市	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎				
凡例：【調査時(令和2年11月27日)での除外状況】 ◎◎除外している ××除外していない —対象外である																

凡例：【調査時(令和2年11月27日)での除外状況】 ◎…除外している ×…除外していない —…対象外である

表 4-3 を踏まえ、災害ハザードエリアごとの除外状況に関する市町数と割合についてまとめたものを表 4-4 に示す。

(1) 地盤災害

土砂災害特別警戒区域では、除外しているのは 32 市町(74.4%)、除外していないのは 4 市町(9.3%)、対象外であるのは 7 市(16.3%)であった。

地すべり防止区域では、除外しているのは 13 市町(30.2%)、除外していないのは不在で、対象外であるのは 30 市町(69.8%)であった。

急傾斜地崩壊危険区域では、除外しているのは 30 市町(69.8%)、除外していないのは 4 市町(9.3%)、対象外であるのは 9 市(20.9%)であった。

土砂災害警戒区域では、除外しているのは 23 市町(53.5%)、除外していないのは 13 市町(30.2%)、対象外であるのは 7 市(16.3%)であった。

土砂災害危険箇所等では、除外しているのは 7 市町(16.3%)で、除外していないのは 8 市町(18.6%)、対象外であるのは 28 市町(65.1%)であった。

(2) 津波災害

津波災害特別警戒区域では、除外している市町、除外していない市町がいずれも不在で、全ての市町が対象外であった。

津波災害警戒区域では、除外している市町は不在で、除外していないのは 6 市(14.0%)、対象外であるのは 37 市町(86.0%)であった。

津波浸水想定区域では、除外しているのは 1 市(2.3%)で、除外していないのは 18 市町(41.9%)、対象外であるのは 24 市町(55.8%)であった。

(3) 洪水災害

浸水想定区域では、除外している市町は不在で、除外していないのは 39 市町(90.7%)、対象外であるのは 4 市町(9.3%)であった。

都市洪水想定区域では、除外している市町は不在で、除外していないのは 5 市(11.6%)、対象外であるのは 38 市町(88.4%)であった。

都市浸水想定区域では、除外している市町は不在で、除外していないのは 9 市町(20.9%)、対象外であるのは 34 市町(79.1%)であった。

(4) その他

災害危険区域(住居の用に供する建築物)では、除外しているのは 15 市町(34.9%)、除外していないのは 1 市(2.3%)、対象外であるのは 27 市町(62.8%)であった。

災害危険区域(その他の建築物)では、除外しているのは 14 市町(32.6%)、除外していないのは 2 市(4.7%)、対象外であるのは 27 市町(62.8%)であった。

表 4-4 災害ハザードエリアごとの除外状況に関する市町数と割合

災害ハザードエリアごとの除外状況に関する市町数と割合		(Ⅰ) 完全除外区域		(Ⅱ) 原則除外区域					(Ⅲ) 要検討区域						
		災害危険区域 (住居の用に供 する建築物)	土砂災害 特別警戒 区域	津波災害 特別警戒 区域	災害危険区域 (その他の建築 物)	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険 区域	土砂災害 警戒区域	津波災害 警戒区域	浸水想定 区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	津波浸水 想定区域	土砂災害危 険箇所等	災害の発生のおそれ がある区域
◎：除外している	市町数(市町)	15	32	0	14	13	30	23	0	0	0	0	0	1	7
	割合(%)	34.9%	74.4%	0.0%	32.6%	30.2%	69.8%	53.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	16.3%
×：除外していない	市町数(市町)	1	4	0	2	0	4	13	6	39	5	9	18	8	8
	割合(%)	2.3%	9.3%	0.0%	4.7%	0.0%	9.3%	30.2%	14.0%	90.7%	11.6%	20.9%	41.9%	18.6%	18.6%
－：対象外である	市町数(市町)	27	7	43	27	30	9	7	37	4	38	34	24	28	28
	割合(%)	62.8%	16.3%	100.0%	62.8%	69.8%	20.9%	16.3%	86.0%	9.3%	88.4%	79.1%	55.8%	65.1%	65.1%

地盤災害	
<p>土砂災害特別警戒区域</p>	<p>地すべり防止区域</p>
<p>急傾斜地崩壊危険区域</p>	<p>土砂災害警戒区域</p>
<p>土砂災害危険箇所等</p>	
津波災害	
<p>津波災害特別警戒区域</p>	<p>津波災害警戒区域</p>

<p>○ 1市 2% × 18市町 42% — 24市町 56%</p>	
津波浸水想定区域	
洪水災害	
<p>× 39市町 91% — 4市町 9%</p>	<p>× 5市 12% — 38市町 88%</p>
浸水想定区域	都市洪水想定区域
<p>× 9市町 21% — 34市町 79%</p>	
都市浸水想定区域	
その他	
<p>○ 15市町 35% × 1市 2% — 27市町 63%</p>	<p>○ 14市町 32% × 2市 5% — 27市町 63%</p>
災害危険区域(住居の用に供する建築物)	災害危険区域(その他の建築物)

また、浸水想定区域及び津波浸水想定区域に関して、災害リスクが高いと思われる箇所を除外(以下、一部除外)している市町がいくつかみられたことを踏まえ、表4-5に各市町における災害ハザードエリアの一部除外に関する設定状況についてまとめている。なお、記載状況調査及びアンケート調査により、一部除外の設定が確認できた災害ハザードエリアは上記の2つの区域のみであり、前者は浸水深と家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)^{注17)}によるもの、後者は浸水深による設定がみられる。

注17)家屋倒壊等氾濫想定区域は、浸水想定区域の中でも、洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲のことを指し、その要因には氾濫流と河岸浸食によるものの2種類がある。(国土交通省：洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)より)

表4-5 各市町における災害ハザードエリアの一部除外に関する設定状況

災害ハザードエリアの一部除外に関する設定状況		浸水想定区域				津波浸水想定区域		一部除外の設定に関する参考文献
		浸水深	家屋倒壊等		浸水深			
			氾濫想定区域					
		氾濫流	河岸浸食					
岐阜県	内陸部	岐阜市	×	×	×	—		
		大垣市	×	×	×	—		
		多治見市	×	◎	×	—		
		関市	◎ 2m以上	—	—	—	浸水想定区域(浸水深)：特になし	
		美濃加茂市	×	—	—	—		
静岡県	沿岸部	掛川市	◎ 3m以上	×	×	◎ 2m以上	浸水想定区域(浸水深)：住民目線にたった水害ハザードマップのあり方について 津波浸水想定区域(浸水深)：三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針	
		富士市	×	×	×	×		
		磐田市	×	×	—	×	津波浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査	
		浜松市	×	×	×	—		
		静岡市	×	×	×	×		
	内陸部	沼津市	×	×	×	×		
		袋井市	×	—	—	—		
		函南町	×	—	—	—		
		藤枝市	×	—	×	—		
		伊豆の国市	×	◎	◎	—		
		裾野市	×	×	×	—		
		長泉町	×	×	×	—		
		三島市	×	◎	◎	—		
		森町	×	—	—	—		
		愛知県	沿岸部	蒲郡市	—	—	◎ 2m以上	津波浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査
東海市	×			—	×			
名古屋市長久保市	◎ 3m以上			×	×	◎ 2m以上		
豊川市	◎ 2m以上			×	×	×	浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査	
弥富市	×			×	×	×		
内陸部	田原市		—	—	×	—		
	岡崎市		×	×	×	—		
	東郷町		—	—	—	—		
	刈谷市		×	◎	—	×		
	豊田市		×	—	×	—		
	小牧市		×	×	×	—		
	春日井市		×	×	×	—		
	安城市		×	—	—	—		
	知立市		×	×	×	—		
	江南市		—	—	—	—		
三重県	沿岸部	豊明市	×	—	—	—		
		桑名市	×	×	×	×		
		津市	×	×	×	◎ 2m以上	津波浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査 三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針	
		松阪市	×	◎	×	◎ 2m以上	津波浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査 三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針	
		朝日町	×	×	×	×		
	内陸部	伊勢市	◎ 3m以上	×	×	◎ 2m以上	浸水想定区域(浸水深)：住民目線にたった水害ハザードマップのあり方について 津波浸水想定区域(浸水深)：三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針 津波浸水想定区域(浸水深)：津波被災市街地復興手法検討調査 三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針	
		四日市市	×	×	×	◎ 2m以上		
		亀山市	×	◎	—	—		
		伊賀市	×	×	×	—		

凡例：【調査時(令和3年2月10日)での設定状況】
◎…設定し除外している ×…設定していない —…対象外である(表4-3で「◎…除外している」または「—…対象外である」を含む)

凡例：【調査時(令和3年2月10日)での設定状況】
◎…設定し除外している ×…設定していない —…対象外である(表4-3で「◎…除外している」または「—…対象外である」を含む)

浸水想定区域では、浸水深による設定として、3m 以上の浸水区域を除外している市町が 3 市(7.0%)、2m 以上の浸水区域を除外している市町が 2 市(4.7%)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)による設定として、前者を除外している市町が 6 市(14.0%)、後者を除外している市町が 2 市(4.7%)であった。

津波浸水想定区域では、浸水深による設定として、2m 以上の浸水区域を除外している市町が 7 市(16.3%)であった。

以上より、全体的には一部除外に関して設定し除外している市町は少数であったものの、一部の市町で都市計画運用指針等に記載されていない先進的な取り組みがみられた。また、浸水想定区域では 3m 以上、津波浸水想定区域では 2m 以上の浸水区域を除外している市町が特に多くみられたが、各市町が参考にした文献には、以下のような記載内容がみられる。

①国土交通省：住民目線にたった水害ハザードマップのあり方について

当該文献は、国土交通省が所管する水害ハザードマップ検討委員会から公表されたもので、第1回(平成27年12月)から第3回(平成28年3月)まで公表されている。第2回には河川の浸水深に関して図4-6のような基準が示されている。具体的には、3m 以上の浸水深は2階建ての建築物であっても、立ち退き避難が必要とされている。

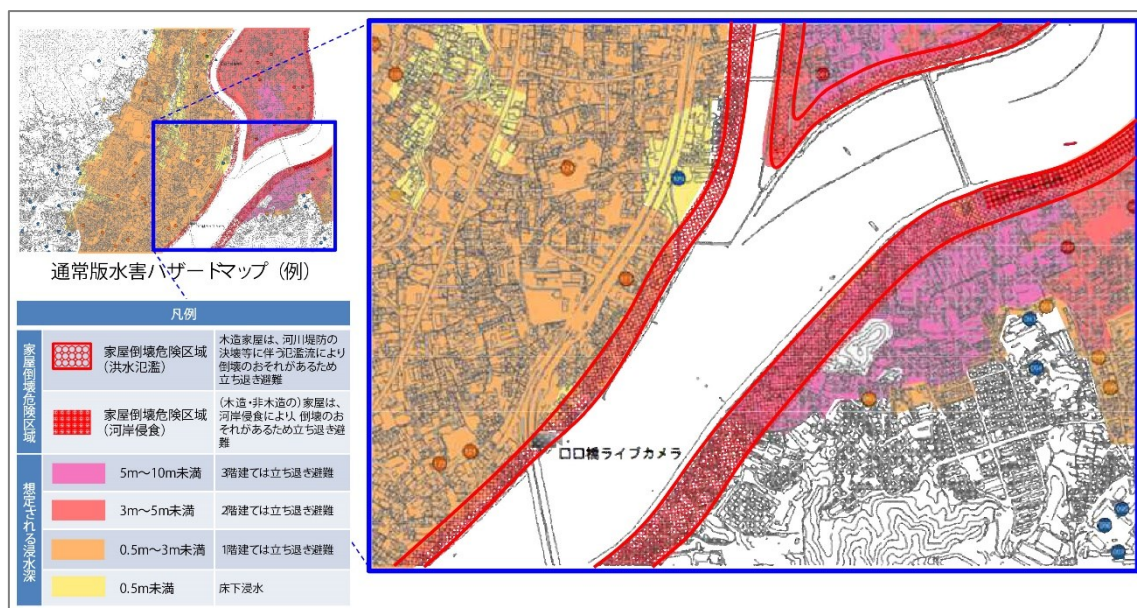


図4-6 浸水深と建物被災状況の関係(河川)

(出典：想定最大規模の水害を踏まえた避難方法、国土交通省 HP)

②国土交通省：津波被災市街地復興手法検討調査

当該文献は、国土交通省都市局から公表されたもので、第一次報告(平成23年8月)から第三次報告(同年12月)まで公表されている。第一次報告には津波の浸水深に関して図4-7のような基準が示されている。具体的には、2m前後の浸水深は被災状況に大きな差があり、2m以上の浸水深は、木造建築物に関して再生不可能な全壊となる割合が飛躍的に増加する傾向があるとされている。また、三重県県土整備部から公表されている「三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針」においても、津波の浸水深に関して同様の基準が記載されている。

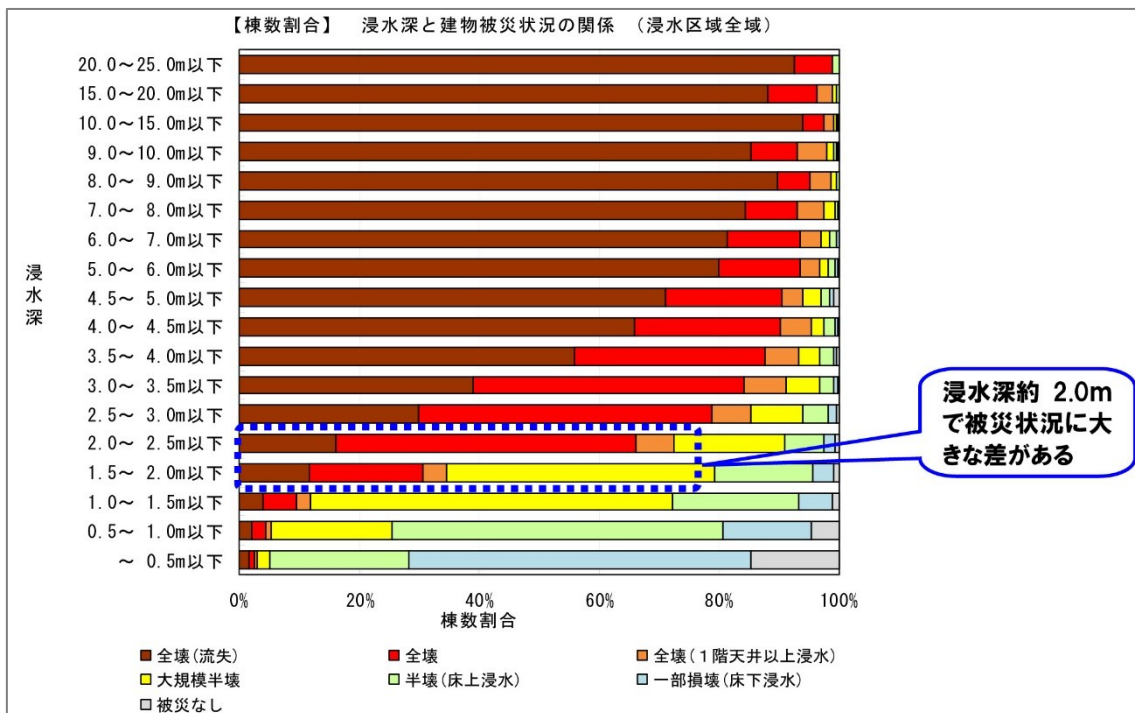


図4-7 浸水深と建物被災状況の関係(津波)

(出典：東日本大震災による被災現況調査結果について(第1次報告)、国土交通省 HP 及び三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針、三重県 HP)

4-3 災害ハザードエリアの除外状況に関する全体的な傾向

全体的な傾向について把握するため、第2章で前述した2つの視点(3区域・災害の種類)から分析を行なった。分析結果を以下に示す。

(1) 3区域の視点

3区域ごとの除外状況に関する市町数と割合についてまとめたものを表4-6に示す。なお、本文中の「市町数(%)」における割合は、(Ⅰ)完全除外区域で43市町、(Ⅱ)原則除外区域で215市町、(Ⅲ)要検討区域で301市町、を各母数としている。

①調査結果

(Ⅰ)完全除外区域では、除外しているのは15市町(34.9%)、除外していないのは1市町(2.3%)、対象外であるのは27市町(62.8%)であった。

(Ⅱ)原則除外区域では、除外しているのは89市町(41.4%)、除外していないのは10市町(4.7%)、対象外であるのは116市町(54.0%)であった。

(Ⅲ)要検討区域では、除外しているのは31市町(10.3%)、除外していないのは98市町(32.6%)、対象外であるのは172市町(57.1%)であった。

②全体的な傾向

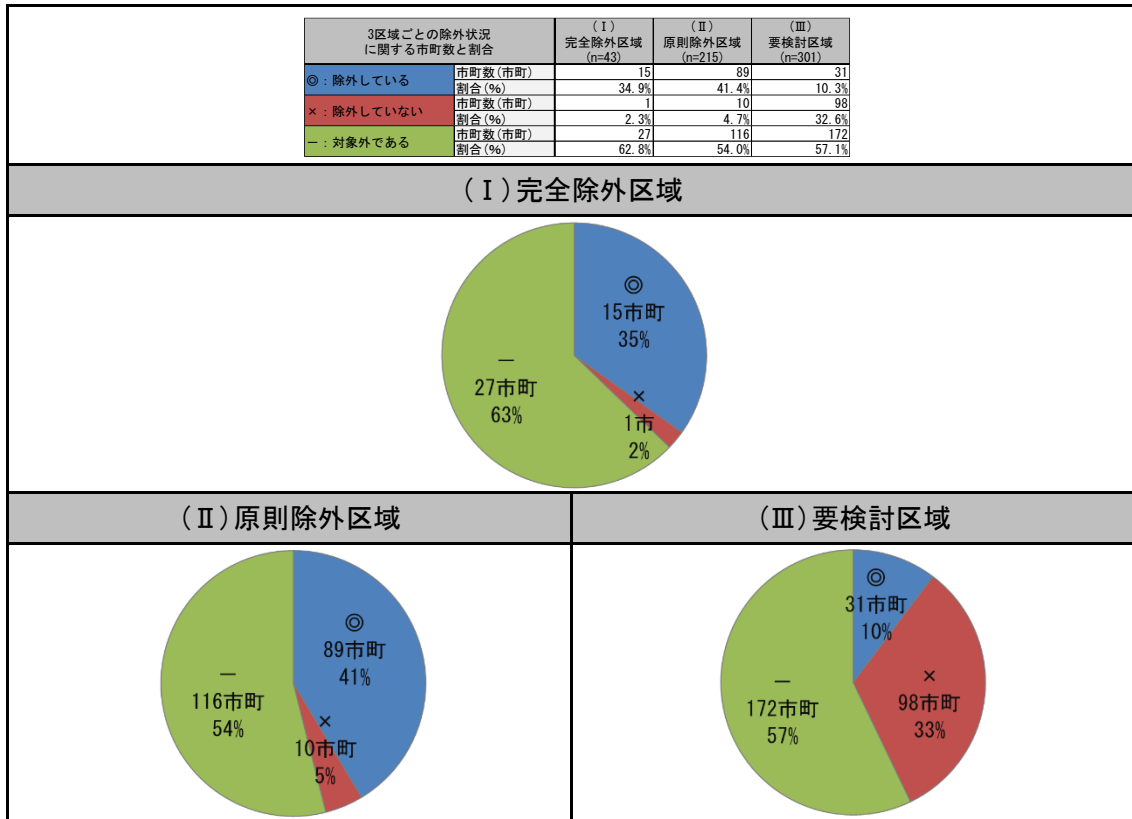
3区域とも指定がない市町の方が多いが、

(Ⅰ)完全除外区域では、指定のある中では除外している市町が多くみられた。

(Ⅱ)原則除外区域では、指定のある中では除外している市町が多くみられた。一方、除外していない市町は(Ⅲ)要検討区域ほどではないがみられた。

(Ⅲ)要検討区域では、指定のある中では除外していない市町が多くみられた。

表 4-6 3 区域ごとの除外状況に関する市町数と割合



(2) 災害の種類の見点

災害の種類ごとの除外状況に関する市町数と割合についてまとめたものを表4-7に示す。なお、本文中の「市町数(%)」における割合は、地盤災害で215市町、津波災害で129市町、洪水災害で129市町、その他で86市町、を各母数としている。

① 調査結果

地盤災害では、除外しているのは105市町(48.8%)、除外していないのは29市町(13.5%)、対象外であるのは81市町(37.7%)であった。

津波災害では、除外しているのは1市(0.8%)で、除外していないのは24市町(18.6%)、対象外であるのは104市町(80.6%)であった。

洪水災害では、除外している市町は不在で、除外していないのは53市町(41.1%)、対象外であるのは76市町(58.9%)であった。

その他では、除外しているのは29市町(33.7%)、除外していないのは3市町(3.5%)、対象外であるのは54市町(62.8%)であった。

② 全体的な傾向

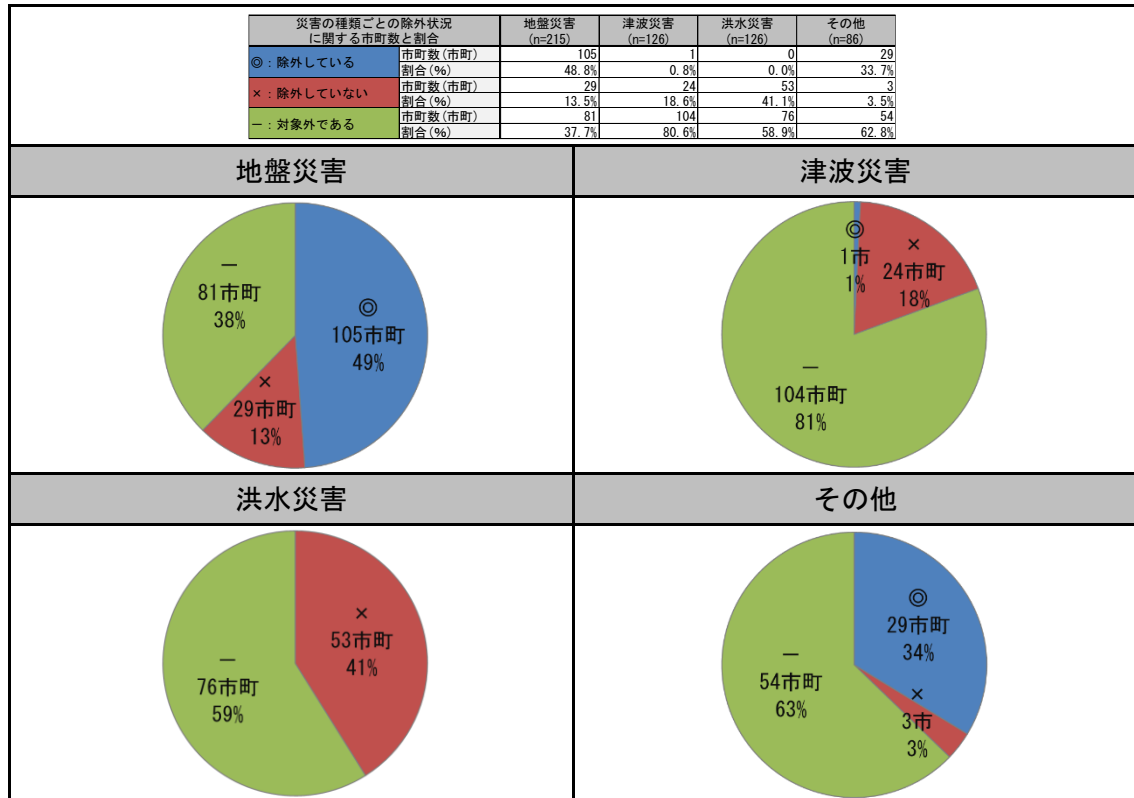
地盤災害では、指定のある市町の方が多く、除外している市町が多くみられた。

津波災害では、指定のない市町の方が多いが、指定のある市町の中では除外していない市町が多くみられた。

洪水災害では、指定のない市町の方が多いが、指定のある市町の中では全ての市町が除外していなかった。

その他では、指定のない市町の方が多いが、指定のある市町の中では除外している市町が多くみられた。

表 4-7 災害の種類ごとの除外状況に関する市町数と割合



4-4 特徴的な市町の事例

記載状況調査及びアンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアの除外状況について特徴的な事例がみられたものを以下に示す。

(1) 災害ハザードエリアを除外している事例

① 浜松市

津波浸水想定区域に関して、大半の市町が当該区域を除外していない中、浜松市では図 4-8 及び図 4-9 に示す通り、唯一除外していた。「浜松市立地適正化計画」によると、当該区域の除外について検討する際、静岡県第 4 次地震被害想定 L2 ケース①の防潮堤整備後の浸水区域^{注 18)}を対象としていた。

注 18) 静岡県は、平成 25 年 6 月に静岡県第 4 次地震被害想定を公表しており、その中で検討されている L2 津波とは「発生頻度は低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波」のことを指す。ケース①とは、平成 24 年に内閣府が示した 11 ケースのうちの一つで、駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域及び超大すべり域を設定したものである。本ケースは静岡県において、被害が大きくなる 3 ケースのうちの一つである。（静岡県：「静岡県第 4 次地震被害想定関連資料」より引用）

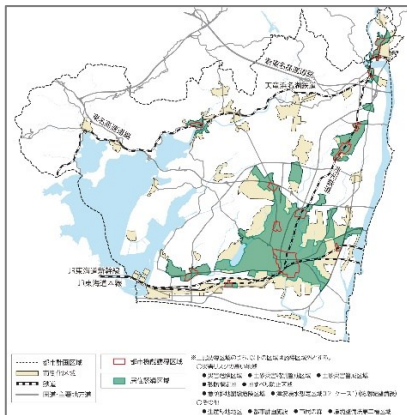


図 4-8 居住誘導区域
(出典：浜松市立地適正化計画、
浜松市 HP)

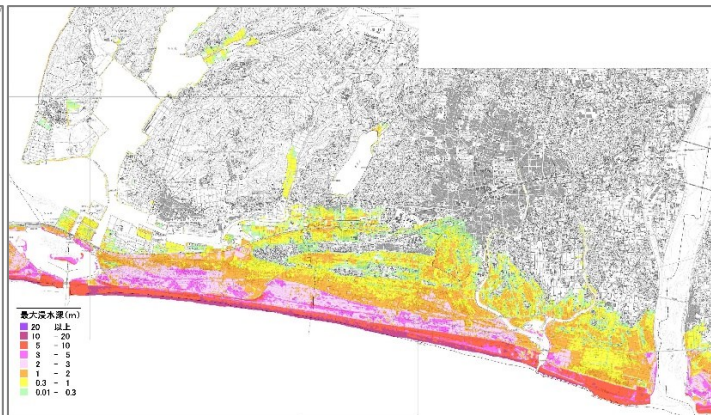


図 4-9 津波浸水想定区域（南海トラフ・L2 ケース①）
(出典：静岡県第 4 次地震被害想定関連資料、
静岡県 HP)

(2) 災害ハザードエリアを除外していない事例

① 関市

災害危険区域（その他の建築物）に関して、大半の市町が当該区域を除外している中、関市では除外していなかった。「関市立地適正化計画」によると、当該区域における災害の種類は土石流、急傾斜地の崩壊である。

② 名古屋市

災害危険区域(住居の用に供する建築物)に関して、大半の市町が当該区域を除外している中、名古屋市では図4-10及び図4-11に示す通り、唯一除外していなかった。また、災害危険区域(その他の建築物)についても関市と同様、除外していなかった。「なごや集約連携型まちづくりプラン」によると、当該2つの区域における災害の種類は高潮、雨水出水である。また、これらは総称して臨海部防災区域と「名古屋市臨海部防災区域建築条例」より定められている。

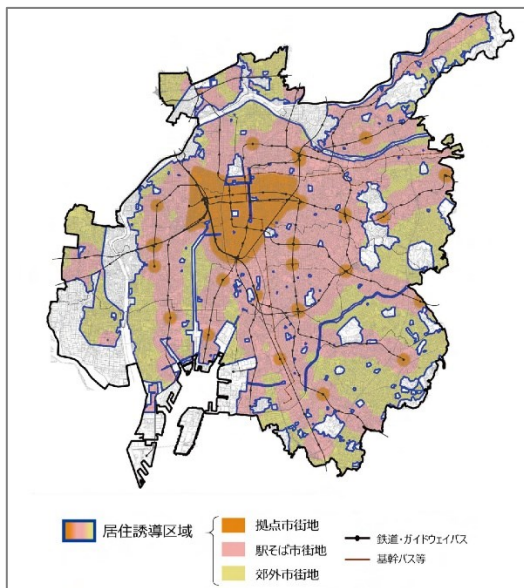


図4-10 居住誘導区域

(出典：なごや集約連携型まちづくりプラン、名古屋市 HP)

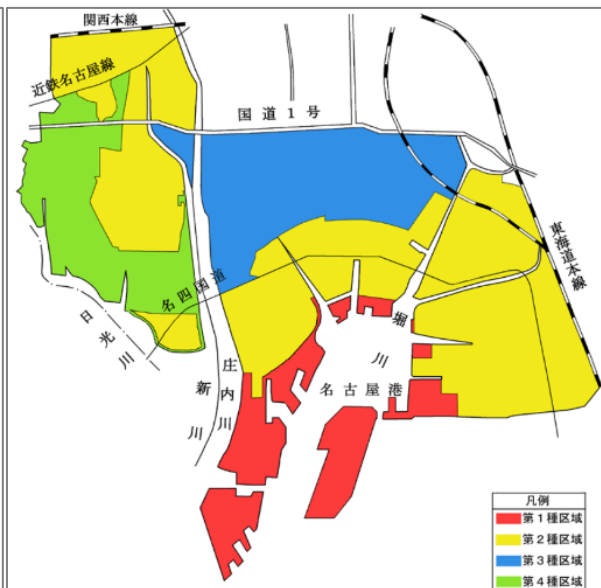


図4-11 臨海部防災区域

(出典：名古屋市臨海部防災区域建築条例、名古屋市 HP)

③蒲郡市、東海市、名古屋市、弥富市、田原市、刈谷市

津波災害警戒区域に関して、愛知県では令和元年7月30日より当該区域の指定が進められてきたが^{注19)}、上記の6市では、いずれも指定があったものの除外していなかった。

注19)愛知県は、令和元年7月30日に各市町における津波災害警戒区域の指定について一斉公表している。なお、津波災害特別警戒区域の指定はなく、まとめて津波災害警戒区域として指定している。

④掛川市

津波浸水想定区域に関して、掛川市では浸水深2mを設定し、一部を除外していた。令和2年5月25日に行なったアンケート調査によると、検討の際、「三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針」を参考としていたが、他県の指針を参考にした理由については、中央コンサルタント株式会社より推奨されたためと回答している。

4-5 小括

以上より、災害ハザードエリアの除外状況について以下のようにまとめる。

第一に、3区域の視点において、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では、除外している市町が多いのに対し、(Ⅲ)要検討区域では、除外していない市町が多くみられた。

第二に、災害の種類視点において、地盤災害、その他では、除外している市町が多いのに対し、津波災害、洪水災害では、除外していない市町が多くみられた。

また、浸水想定区域、津波浸水想定区域においては、一部除外に関して設定し除外している市町がいくつかみられた。具体的には、浸水深による設定(津波浸水想定区域で2m、浸水想定区域で3m)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)による設定がそれぞれみられた。

第 5 章

居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアを除外していない理由

5-1 調査分析の概要

5-2 災害ハザードエリアを除外していない理由

5-3 災害ハザードエリアを除外していない理由 に関する全体的な傾向

5-4 特徴的な市町の事例

5-5 小括

第5章 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアを除外していない理由

5-1 調査分析の概要

5-1-1 記載状況調査

4-1-1と同様である。第4章の調査結果を踏まえ、本章では、災害ハザードエリアを除外していない市町を対象とし、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアを除外していない理由について調査分析を行なっている。

5-1-2 アンケート調査

本調査では、上記の記載状況調査より得られた調査結果から、市町の実態について深掘り調査を行なっている。表5-1に、アンケート調査の実施状況について示している。なお、立地適正化計画の担当者やアンケート内容等の詳細については、【添付資料】にまとめている。

表5-1 アンケート調査の実施状況

調査対象		災害ハザードエリアを除外していない理由に関するアンケート調査			
		一次調査		二次調査	
岐阜県	①岐阜市	◎	2020/6/1	◎	2020/12/2
	②関市	◎	2020/5/29	◎	2020/12/1
	③大垣市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/26
	④多治見市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/16
	⑤美濃加茂市	—	—	◎	2020/12/22
静岡県	①磐田市	◎	2020/5/25	◎	2020/11/24
	②掛川市	◎	2020/5/25	◎	2020/11/13
	③藤枝市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/24
	④伊豆の国市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/16
	⑤長泉町	◎	2020/6/2	◎	2020/11/19
	⑥袋井市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/25
	⑦浜松市	◎	2020/5/27	◎	2020/11/13
	⑧静岡市	◎	2020/5/29	◎	2020/12/1
	⑨沼津市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/25
	⑩富士市	◎	2020/5/25	◎	2020/11/18
	⑪裾野市	◎	2020/5/28	—	◎
	⑫函南町	◎	2020/5/28	◎	2020/11/26
	⑬三島市	—	—	◎	2020/11/18
	⑭森町	—	—	◎	2020/11/19
愛知県	①豊川市	◎	2020/5/27	◎	2020/11/19
	②小牧市	◎	2020/6/17	◎	2020/11/24
	③東海市	◎	2020/5/26	×	—
	④名古屋市中区	◎	2020/6/2	◎	2020/11/27
	⑤春日井市	◎	2020/6/3	◎	2020/11/27
	⑥知立市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/27
	⑦刈谷市	◎	2020/6/1	◎	2020/11/16
	⑧安城市	◎	2020/6/2	◎	2020/11/18
	⑨岡崎市	◎	2020/5/27	◎	2020/11/19
	⑩豊田市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/24
	⑪東郷町	◎	2020/5/27	◎	2020/11/17
	⑫蒲郡市	◎	2020/5/28	◎	2020/11/25
	⑬江南市	—	—	—	—
	⑭豊明市	—	—	◎	2020/11/25
	⑮田原市	—	—	◎	2020/11/20
	⑯弥富市	—	—	◎	2020/11/16
三重県	①亀山市	◎	2020/5/29	◎	2020/11/11
	②伊勢市	◎	2020/5/29	◎	2020/11/25
	③伊賀市	◎	2020/5/29	◎	2020/11/27
	④津市	◎	2020/5/29	◎	2020/11/25
	⑤朝日町	◎	2020/6/4	◎	2020/11/10
	⑥桑名市	◎	2020/5/29	◎	2020/11/9
	⑦松阪市	◎	2020/6/4	◎	2020/11/30
	⑧四日市市	—	—	◎	2020/11/18

凡例：◎…実施 —…未実施 ×…実施したが回答得られず ※日付けはアンケート回収日

5-1-3 災害ハザードエリアを除外していない理由に関する評価基準

記載状況調査及びアンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアを除外していない理由を以下の7つにまとめる。

「(a) 当該区域が広範囲の指定であるため」

災害ハザードエリアの指定範囲が広く、全ての範囲を除外できないことを指す。例えば、岐阜県大垣市では、浸水想定区域が広範囲に指定されており、エリア内に全人口の8割以上が居住している。

「(b) 当該区域が重要な拠点を含むため」

災害ハザードエリア内に重要な拠点があり、除外していないことを指す。ここでの重要な拠点は、市町によって判断の対象が異なる。例えば、静岡県森町では、浸水想定区域内に鉄道駅や商業施設、医療施設等の都市機能施設が含まれている。

「(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため」

災害ハザードエリア内の住民感情を考慮し、除外していないことを指す。住民から直接意見を聞いた上での判断であるかどうかは、市町によって異なる。例えば、三重県朝日町では、土砂災害特別警戒区域において、住民感情を考慮している状況がみられるが、直接意見はきいていない。

「(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」

災害ハザードエリアが計画を策定した後に新たに指定され、除外していないことを指す。指定直後、居住誘導区域の設定に関して見直しを行なったかどうかは、市町によって異なる。例えば、愛知県名古屋市では、津波災害警戒区域が計画作成後、新たに指定されている状況がみられるが、すぐに計画見直しを行っていない。

「(e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため」

災害ハザードエリア内で防災対策・避難対策が図られており、除外していないことを指す。例えば、静岡県磐田市では、浸水想定区域において、ポンプ場の整備、河川改修等のハード対策を行っている状況がみられる。

「(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため」

災害ハザードエリア内の災害リスクが低いと判断し、除外していないことを指す。例えば、静岡県掛川市では、津波浸水想定区域において、避難対策で対応が可能であることから、災害リスクが低いと判断している。

「(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため」

都市計画運用指針に災害ハザードエリアを必ず除外するようにとの記載がなく、除外していないことを指す。例えば、三重県四日市市では、土砂災害警戒区域の除外を検討する際に、指針に必ず除外するようにと記載されていないことから除外しないと判断している。

次に、7つの理由を除外検討の余地の有無から2つに大別し、評価基準を以下のように定める。なお、各理由における除外検討の余地の有無は、市町の実態に応じて判別されるが、詳細は5-2で後述するとし、ここでは、その最終的な結果を以下の通りに示す。

(1) 除外検討の余地がない理由

(a) 当該区域が広範囲の指定であるため、(b) 当該区域が重要な拠点を含むため、が該当する。

(2) 除外検討の余地がある理由

(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため、(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため、(e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため、(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、が該当する。

5-2 災害ハザードエリアを除外していない理由

各市町における災害ハザードエリアを除外していない理由の調査結果は、表 5-2 の通りである。

表 5-2 各市町における災害ハザードエリアを除外していない理由

各市町における災害ハザードエリアを除外していない理由			地震災害						津波災害				洪水災害			その他	
			(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅱ) 原則除外区域		(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域
			土砂災害 特別警戒区域	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険区域	土砂災害 警戒区域	土砂災害 危険箇所等		津波災害 特別警戒区域		津波災害 警戒区域	津波浸水 想定区域	浸水想定 区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	災害危険区域 (住宅に供する 建築物)	災害危険区域 (その他の建築 物)
岐阜県	内陸部	岐阜市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b)	—	—	—	—	—
		大垣市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a)	—	—	—	—	—
		多治見市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(g)	—	—	—	—	—
		関市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b), (g)	—	—	—	(f), (g)	—
		美濃加茂市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(b), (e), (f)	—	—	—	—	—
静岡県	沿岸部	掛川市	—	—	—	—	—	—	—	—	(f)	(f)	—	—	—	—	—
		富士市	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b), (e)	(a), (b), (e)	—	—	—	—	—
		磐田市	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (c), (e), (g)	(a), (b), (c), (e), (g)	—	—	—	—	—
		浜松市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b)	(a), (b)	—	—	—	—
		静岡市	—	—	—	(e)	(e), (g)	—	—	—	(a), (b), (e)	(a), (b), (e)	(a), (b), (e)	(a), (b), (e)	—	—	—
		沼津市	—	—	—	—	—	—	—	—	(b), (e)	(a), (b), (e)	—	—	—	—	—
		袋井市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b), (c), (g)	—	—	—	—	—
	内陸部	函南町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b), (g)	—	—	—	—	—
		藤枝市	—	—	—	(e), (f)	—	—	—	—	—	(b), (e), (f)	—	—	—	—	—
		伊豆の国市	—	—	—	—	(a), (b), (c), (g)	—	—	—	—	(a), (b), (c), (e), (g)	—	—	—	—	—
		裾野市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(e), (f)	—	—	—	—	—
		長泉町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(b), (e)	—	—	—	—	—
		三島市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(b), (e)	—	—	—	—	—
		森町	—	—	—	(g)	(g)	—	—	—	—	(a), (b), (e), (g)	—	—	—	—	—
	沿岸部	藤郡市	—	—	—	(b), (g)	(b), (g)	—	—	—	(d)	(g)	—	—	—	—	—
		東海市	—	—	—	(a)	—	—	—	—	(d)	(a), (e)	(a), (c)	(a), (c)	—	—	—
		名古屋市	—	—	—	—	(g)	—	—	—	(d)	(e)	(a), (b), (e)	(f)	(f)	(a), (b), (e)	(a), (b), (e)
		豊川市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(f)	(f)	—	—	—	—
		弥富市	—	—	—	—	—	—	—	—	(b), (e)	(b), (e)	(b), (e)	—	—	—	—
		田原市	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b), (e), (f)	(a), (b), (e), (f)	—	—	—	—	—
		岡崎市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a)	—	—	—	—
		東郷町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(c), (e), (f)	(f)	—	—
		刈谷市	—	—	—	—	—	—	—	—	(e)	(e)	(e)	—	(e)	—	—
		豊田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (b)	(a), (b)	—	—	—	—
愛知県	内陸部	小牧市	—	—	—	(e), (g)	(e), (g)	—	—	—	—	—	(d), (g)	—	(g)	—	—
		春日井市	—	—	—	(d), (g)	—	—	—	—	—	—	(a)	(a)	(a)	—	—
		安城市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(e)	—	(f)	—	—	—
		知立市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(a), (e)	(a), (e)	—	—	—	—
		江南市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		豊明市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(e)	(e)	(e)	—	—	—
		桑名市	—	—	(e), (g)	(e), (g)	—	—	—	—	(e), (g)	(e), (g)	—	—	—	—	—
	沿岸部	津市	(d)	—	(e)	(d)	—	—	—	—	—	(a), (b)	(a), (b)	—	—	—	—
		松阪市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(e)	(g)	—	—	—	—
		朝日町	(c)	—	(e), (f)	(a), (f)	—	—	—	—	(a), (f)	(a), (f)	—	—	—	—	—
		伊勢市	(d)	—	—	(d)	(g)	—	—	—	(a)	(d)	—	—	—	—	—
		四日市市	—	—	—	(e), (g)	(a), (g)	—	—	—	(e), (g)	(e), (g)	—	—	—	—	—
		亀山市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(b)	—	—	—	—	—
三重県	内陸部	伊賀市	(d)	—	(e)	(d), (e), (g)	—	—	—	—	—	(b), (e), (g)	—	—	—	—	—

凡例：【調査時(令和3年2月10日)での除外していない理由】

除外検討の余地がない理由：(a) 当該区域が広範囲の指定であるため／(b) 当該区域が重要な拠点を含むため

除外検討の余地がある理由：(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため／(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため／(e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため

／(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため／(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため

表 5-2 を踏まえ、災害ハザードエリアごとの除外していない理由に関する市町数と割合についてまとめたものを表 5-3 に示す。なお、本文中の理由の記号と該当した「市町数(%)」は、該当数の多かった順に示している。

(1) 地盤災害

土砂災害特別警戒区域では、当該区域を除外していない 4 市町のうち、(d)は 3 市(75.0%)、(c)は 1 町(25.0%)であった。

急傾斜地崩壊危険区域では、当該区域を除外していない 4 市町のうち、(e)は 4 市町(100.0%)、(f)は 1 町(25.0%)、(g)は 1 市(25.0%)であった。

土砂災害警戒区域では、当該区域を除外していない 13 市町のうち、(g)は 7 市町(53.8%)、(e)は 6 市町(46.2%)、(d)は 4 市町(30.8%)、(f)は 2 市町(15.4%)、(a)は 1 町(7.7%)、(d)は 1 市(7.7%)であった。

土砂災害危険箇所等では、当該区域を除外していない 8 市町のうち、(g)は 8 市町(100.0%)、(a)は 2 市町(25.0%)、(b)は 2 市町(25.0%)、(e)は 2 市(12.5%)、(c)は 1 市(12.5%)であった。

(2) 津波災害

津波災害警戒区域では、当該区域を除外していない 6 市のうち、(d)は 3 市(50.0%)、(e)は 3 市(50.0%)、(b)は 2 市(33.3%)、(a)は 1 市(16.7%)、(f)は 1 市(16.7%)であった。

津波浸水想定区域では、当該区域を除外していない 18 市町のうち、(e)は 12 市(66.7%)、(a)は 8 市(44.4%)、(b)は 6 市(33.3%)、(f)は 4 市(22.2%)、(g)は 4 市(22.2%)、(c)は 1 市(5.6%)であった。

(3) 洪水災害

浸水想定区域では、当該区域を除外していない 39 市町のうち、(b)は 21 市町(53.8%)、(a)は 20 市町(51.3%)、(e)は 20 市町(51.3%)、(g)は 12 市町(30.8%)、(f)は 6 市町(15.4%)、(c)は 4 市(10.3%)、(d)は 1 市(2.6%)であった。

都市洪水想定区域では、当該区域を除外していない 5 市のうち、(a)は 3 市(60.0%)、(e)は 3 市(60.0%)、(b)は 1 市(20.0%)、(f)は 1 市(20.0%)であった。

都市浸水想定区域では、当該区域を除外していない 9 市町のうち、(e)は 4 市町(44.4%)、(a)は 3 市(33.3%)、(f)は 3 市町(33.3%)、(c)は 2 市町(22.2%)、(b)は 1 市(11.1%)、(g)は 1 市(11.1%)であった。

(4) その他

災害危険区域(住居の用に供する建築物)では、当該区域を除外していない 1 市は(a)、(b)、(e)であった。

災害危険区域(その他の建築物)では、当該区域を除外していない 2 市のうち、(a)は 1 市(50.0%)、(b)は 1 市(50.0%)、(e)は 1 市(50.0%)、(f)は 1 市(50.0%)、(g)は 1 市(50.0%)であった。

表 5-3 災害ハザードエリアごとの除外していない理由に関する市町数と割合

災害ハザードエリアごとの除外していない理由に関する市町数と割合	地盤災害					津波災害					洪水災害					その他	
	(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅱ) 原則除外区域		(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅳ) 要検討区域			(Ⅰ) 完全除外区域		(Ⅱ) 原則除外区域	
	土砂災害 特別警戒区域 (n=4)	地すべり 防止区域 (n=0)	急傾斜地 崩壊危険区域 (n=4)	土砂災害 警戒区域 (n=13)	土砂災害 危険箇所等 (n=8)	津波災害 特別警戒区域 (n=0)	津波災害 警戒区域 (n=6)	津波浸水 想定区域 (n=18)	浸水想定 区域 (n=39)	都市洪水 想定区域 (n=5)	都市浸水 想定区域 (n=9)	災害危険区域 (住居の用に供する建築物) (n=1)	災害危険区域 (その他の建築物) (n=2)				
余 地 あり	(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	市町数(市町)	0	0	1	2	1	8	20	3	3	1	1				
		割合(%)	0.0%	0.0%	7.7%	25.0%	16.7%	44.4%	51.3%	60.0%	33.3%	100.0%	50.0%				
	(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	市町数(市町)	0	0	1	2	2	6	21	1	1	1	1				
		割合(%)	0.0%	0.0%	7.7%	25.0%	33.3%	33.3%	53.8%	20.0%	11.1%	100.0%	50.0%				
	(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	市町数(市町)	1	0	0	1	0	1	4	0	2	0	0				
		割合(%)	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	5.6%	10.3%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%				
	(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	市町数(市町)	3	0	0	4	3	0	1	0	0	0	0				
		割合(%)	75.0%	0.0%	30.8%	0.0%	50.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	市町数(市町)	0	4	6	2	3	12	20	3	4	1	1				
		割合(%)	0.0%	100.0%	46.2%	25.0%	50.0%	66.7%	51.3%	60.0%	44.4%	100.0%	50.0%				
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	市町数(市町)	0	1	2	0	1	4	6	1	3	0	1					
	割合(%)	0.0%	25.0%	15.4%	0.0%	16.7%	22.2%	15.4%	20.0%	33.3%	0.0%	50.0%					
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	市町数(市町)	0	1	7	8	0	4	12	0	1	0	1					
	割合(%)	0.0%	25.0%	53.8%	100.0%	0.0%	22.2%	30.8%	0.0%	11.1%	0.0%	50.0%					

地盤災害	
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	1市, 25.0%
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	1町, 75.0%
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	

土砂災害特別警戒区域	
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	4市町, 100.0%
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	1町, 25.0%
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	1市, 25.0%

地すべり防止区域	
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	1町, 7.7%
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	1市, 7.7%
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	4市町, 30.8%
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	6市町, 46.2%
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	2市町, 15.4%
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	7市町, 53.8%

急傾斜地崩壊危険区域	
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	2市町, 25.0%
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	2市町, 25.0%
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	1市, 12.5%
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	2市, 25.0%
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	8市町, 100.0%

土砂災害警戒区域	

土砂災害危険箇所等	
-----------	--

津波災害	
(除外していない市町が不在)	<ul style="list-style-type: none"> (a)当該区域が広範囲の指定であるため 1市, 16.7% (b)当該区域が重要な拠点を含むため 2市, 33.3% (c)当該区域内の住民感情を考慮したため (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため 3市町, 50.0% (e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため 3市, 50.0% (f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため 1市, 16.7% (g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため
津波災害特別警戒区域	津波災害警戒区域
<ul style="list-style-type: none"> (a)当該区域が広範囲の指定であるため 8市, 44.4% (b)当該区域が重要な拠点を含むため 6市, 33.3% (c)当該区域内の住民感情を考慮したため 1市, 5.6% (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため 12市, 66.7% (f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため 4市, 22.2% (g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため 4市, 22.2% 	
津波浸水想定区域	
洪水災害	
<ul style="list-style-type: none"> (a)当該区域が広範囲の指定であるため 20市町, 51.3% (b)当該区域が重要な拠点を含むため 21市町, 53.8% (c)当該区域内の住民感情を考慮したため 4市, 10.3% (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため 1市, 2.6% (e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため 20市町, 51.3% (f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため 6市町, 15.4% (g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため 12市町, 30.8% 	<ul style="list-style-type: none"> (a)当該区域が広範囲の指定であるため 3市, 60.0% (b)当該区域が重要な拠点を含むため 1市, 20.0% (c)当該区域内の住民感情を考慮したため (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため 3市, 60.0% (f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため 1市, 20.0% (g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため
浸水想定区域	都市洪水想定区域
<ul style="list-style-type: none"> (a)当該区域が広範囲の指定であるため 3市, 33.3% (b)当該区域が重要な拠点を含むため 1市, 11.1% (c)当該区域内の住民感情を考慮したため 2市町, 22.2% (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため 4市町, 44.4% (f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため 3市町, 33.3% (g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため 1市, 11.1% 	
都市浸水想定区域	

その他			
(a)当該区域が広範囲の指定であるため	1市, 100.0%	(a)当該区域が広範囲の指定であるため	1市, 50.0%
(b)当該区域が重要な拠点を含むため	1市, 100.0%	(b)当該区域が重要な拠点を含むため	1市, 50.0%
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	1市, 100.0%	(e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	1市, 50.0%
(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	1市, 50.0%
(g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため		(g)指針に必ず当該区域を除外することと記されていないため	1市, 50.0%
災害危険区域(住居の用に供する建築物)		災害危険区域(その他の建築物)	

記載状況調査及びアンケート調査を踏まえ、市町の実態から、除外検討の余地の有無についてまとめたものを理由別に以下に示す。

(a) 当該区域が広範囲の指定であるため

調査の結果、除外する場合には、「多くの住民に移転を強要することになる」、「既存の都市構造を移転することになる」、「移転先の土地を確保する必要がある」等と回答しており、全ての市町で止むを得ず除外できない状況が確認できた。このことから、(a)は除外検討の余地がないと判断できる。

(b) 当該区域が重要な拠点を含むため

調査の結果、重要な拠点として判断しているのは、鉄道駅、行政施設、商業施設、医療・福祉施設、教育・文化施設、金融施設、といった都市機能や市街地全体であった。また、これら拠点を除外する場合には、「都市機能の配置を大幅に変更することになる」、「周辺の居住地に多大な影響が及ぶことになる」等と回答しており、大半の市町で止むを得ず除外できない状況が確認できた。このことから、(b)は除外検討の余地がないと判断できる。

(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため

調査の結果、全ての市町が災害ハザードエリア内の住民からの除外に関する意見を聞いていなかった。このことから、(c)は除外検討の余地があると判断できる。

(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため

調査の結果、全ての市町が災害ハザードエリアの指定後、すぐに計画見直しを行っていない、概ね5年ごとの計画見直しの際に、当該区域の除外について検討するとしていた。このことから、(d)は除外検討の余地があると判断できる。

(e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため

調査の結果、ハード対策として崩壊防止工事、河川改修、津波避難タワーの整備等、ソフト対策として避難訓練の実施、ハザードマップの配布、警戒避難体制の強化等が行なわれており、居住誘導区域に含めるものの、災害リスクを軽減していた。第3章で前述した通り、都市計画運用指針において、防災対策・避難対策を講じれば、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域を居住誘導区域に含めることが可能になるという趣旨ではないと記載されていたことから、(e)は除外検討の余地があると判断できる。

(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため

調査の結果、災害リスクが低いと判断される理由として、大半の市町が「災害時、避難対応が可能なため」、「防災対策を行なっているため」と回答していた。都市計画運用指針では、災害リスクが低いと判断された場合、居住誘導区域に含めてもよいといったような記載はないため、(f)は除外検討の余地があると判断できる。

(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため

都市計画運用指針より、本来、災害ハザードエリアは除外すること、または除外すべきであることとされているため、(g)は除外検討の余地があると判断できる。

5-3 災害ハザードエリアを除外していない理由に関する全体的な傾向

全体的な傾向について把握するため、第2章で前述した2つの視点(3区域・災害の種類)から分析を行なった。分析結果を以下に示す。

(1) 3区域の視点

3区域ごとの除外していない理由に関する市町数と割合についてまとめたものを表5-4に示す。なお、本文中の理由の記号と該当した「市町数(%)」は、該当数の多かった順に示している。

①調査結果

(Ⅰ)完全除外区域では、当該区域を除外していない1市は(a)、(b)、(e)であった。

(Ⅱ)原則除外区域では、当該区域を除外していない10市町のうち、(e)は5市町(50.0%)、(d)は3市(30.0%)、(f)は2市町(20.0%)、(g)は2市(20.0%)、(a)は1市(10.0%)、(b)は1市(10.0%)、(c)は1町(10.0%)であった。

(Ⅲ)要検討区域では、当該区域を除外していない98市町のうち、(e)は50市町(51.0%)、(a)は38市町(38.8%)、(b)は34市町(34.7%)、(g)は32市町(32.7%)、(f)は17市町(17.3%)、(c)は8市町(8.2%)、(d)は8市町(8.2%)であった。

②全体的な傾向

(Ⅰ)完全除外区域では、(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した。

(Ⅱ)原則除外区域では、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した市町が最も多く、次いで(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため、が多くみられた。

(Ⅲ)要検討区域では、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した市町が最も多く、次いで(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、の順で多くみられた。

表 5-4 3 区域ごとの除外していない理由に関する市町数と割合

3区域ごとの除外していない理由に関する市町数と割合		(Ⅰ) 完全除外区域 (n=1)	(Ⅱ) 原則除外区域 (n=10)	(Ⅲ) 要検討区域 (n=38)
余 地 な し	(a)当該区域が広範囲の指定であるため	市町数(市町)	1	1
		割合(%)	100.0%	10.0%
	(b)当該区域が重要な拠点を含むため	市町数(市町)	1	1
		割合(%)	100.0%	10.0%
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	市町数(市町)	0	1
		割合(%)	0.0%	2.6%
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	市町数(市町)	0	3
		割合(%)	0.0%	7.9%
余 地 あ り	(e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	市町数(市町)	1	5
		割合(%)	100.0%	50.0%
	(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	市町数(市町)	0	4
		割合(%)	0.0%	10.5%
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	市町数(市町)	0	2
		割合(%)	0.0%	5.3%

(Ⅰ) 完全除外区域	
(a)当該区域が広範囲の指定であるため	1市, 100.0%
(b)当該区域が重要な拠点を含むため	1市, 100.0%
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	1市, 100.0%
(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	

(Ⅱ) 原則除外区域	(Ⅲ) 要検討区域
(a)当該区域が広範囲の指定であるため	38市町, 38.8%
(b)当該区域が重要な拠点を含むため	34市町, 34.7%
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	8市町, 8.2%
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	8市町, 8.2%
(e)当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	50市町, 51.0%
(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	17市町, 17.3%
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	32市町, 32.7%

(2) 災害の種類の見点

災害の種類ごとの除外していない理由に関する市町数と割合についてまとめたものを表5-5に示す。なお、本文中の理由の記号と該当した「市町数(%)」は、該当数の多かった順に示している。

① 調査結果

地盤災害では、当該区域を除外していない29市町のうち、(g)は16市町(55.2%)、(e)は12市町(41.4%)、(d)は7市町(24.1%)、(a)は3市町(10.3%)、(b)は3市町(10.3%)、(f)は3市町(10.3%)、(c)は2市町(6.9%)であった。

津波災害では、当該区域を除外していない24市町のうち、(e)は15市町(62.5%)、(a)は9市町(37.5%)、(b)は8市町(33.3%)、(f)は5市町(20.8%)、(g)は4市町(16.7%)、(d)は3市町(12.5%)、(c)は1市町(4.2%)であった。

洪水災害では、当該区域を除外していない53市町のうち、(e)は27市町(50.9%)、(a)は26市町(49.1%)、(b)は23市町(43.4%)、(g)は13市町(24.5%)、(f)は10市町(18.9%)、(c)は6市町(11.3%)、(d)は1市町(1.9%)であった。

その他では、当該区域を除外していない3市のうち、(a)は2市(66.7%)、(b)は2市(66.7%)、(e)は2市(66.7%)、(f)は1市(33.3%)、(g)は1市(33.3%)であった。

② 全体的な傾向

地盤災害では、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、に該当した市町が最も多く、次いで(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため、の順で多くみられた。

津波災害では、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した市町が最も多く、次いで(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、の順で多くみられた。

洪水災害では、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した市町が最も多く、次いで(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、の順で多くみられた。

その他では、(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、に該当した市町が最も多くみられた。

表 5-5 災害の種類ごとの除外していない理由に関する市町数と割合

災害の種類ごとの除外していない理由に関する市町数と割合		地盤災害 (n=29)	津波災害 (n=24)	洪水災害 (n=53)	その他 (n=3)
災害の種類 ごとの除外 していない理由	(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	市町数(市町) 3 割合(%) 10.3%	市町数(市町) 9 割合(%) 37.5%	市町数(市町) 26 割合(%) 49.1%	市町数(市町) 2 割合(%) 66.7%
	(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	市町数(市町) 3 割合(%) 10.3%	市町数(市町) 8 割合(%) 33.3%	市町数(市町) 23 割合(%) 43.4%	市町数(市町) 2 割合(%) 66.7%
	(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	市町数(市町) 2 割合(%) 6.9%	市町数(市町) 1 割合(%) 4.2%	市町数(市町) 6 割合(%) 11.3%	市町数(市町) 0 割合(%) 0.0%
	(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	市町数(市町) 7 割合(%) 24.1%	市町数(市町) 3 割合(%) 12.5%	市町数(市町) 1 割合(%) 1.9%	市町数(市町) 0 割合(%) 0.0%
	(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	市町数(市町) 12 割合(%) 41.4%	市町数(市町) 15 割合(%) 62.5%	市町数(市町) 27 割合(%) 50.9%	市町数(市町) 2 割合(%) 66.7%
	(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	市町数(市町) 3 割合(%) 10.3%	市町数(市町) 5 割合(%) 20.8%	市町数(市町) 10 割合(%) 18.9%	市町数(市町) 1 割合(%) 33.3%
	(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	市町数(市町) 16 割合(%) 55.2%	市町数(市町) 4 割合(%) 16.7%	市町数(市町) 13 割合(%) 24.5%	市町数(市町) 1 割合(%) 33.3%
地盤災害		津波災害			
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	3市町, 10.3%	(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	9市町, 37.5%		
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	3市, 10.3%	(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	8市, 33.3%		
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	2市町, 6.9%	(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	1市, 4.2%		
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	7市, 24.1%	(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	3市, 12.5%		
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	12市町, 41.4%	(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	15市, 62.5%		
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	3市町, 10.3%	(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	5市町, 20.8%		
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	16市町, 55.2%	(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	4市, 16.7%		
洪水災害		その他			
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	26市町, 49.1%	(a) 当該区域が広範囲の指定であるため	2市, 66.7%		
(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	23市町, 43.4%	(b) 当該区域が重要な拠点を含むため	2市, 66.7%		
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	6市, 11.3%	(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	1市, 1.9%	(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	27市町, 50.9%	(e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため	2市, 66.7%		
(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	10市町, 18.9%	(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	1市, 33.3%		
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	13市町, 24.5%	(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	1市, 33.3%		

5-4 特徴的な市町の事例

記載状況調査及びアンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアを除外していない理由について特徴的な事例がみられたものを以下に示す。

(1) (b) 当該区域が重要な拠点を含むため

①伊賀市

浸水想定区域に関して、伊賀市では、歴史的風致維持向上計画における重点区域を重要な拠点として判断していた。例として、図 5-1 に青山支所周辺の居住誘導区域、図 5-2 に大村神社と初瀬街道阿保宿区域を示す。

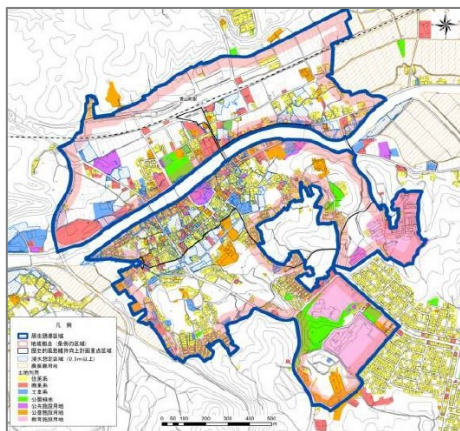


図 5-1 青山支所周辺居住誘導区域
(出典：伊賀市立地適正化計画、
伊賀市 HP)

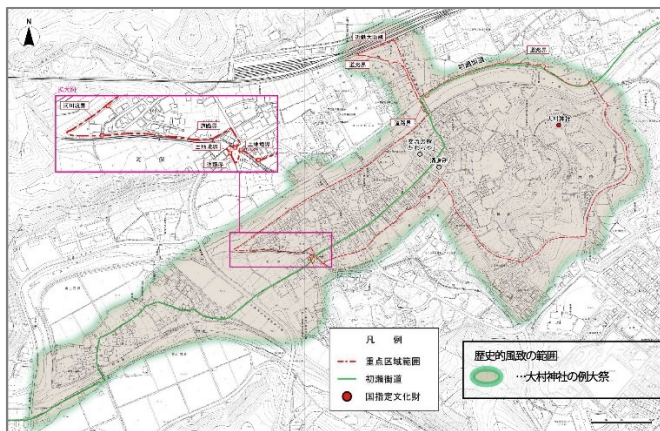


図 5-2 大村神社と初瀬街道阿保宿区域
(出典：伊賀市歴史的風致維持向上計画、
伊賀市 HP)

②蒲郡市

土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所に関して、蒲郡市では、図 5-3 及び図 5-4 に示す通り、鉄道駅を重要な拠点としていたが、除外しても、「特に問題は想定されない」と判断していた。このことから、(b)の中で唯一、除外検討の余地がある理由に分類される。

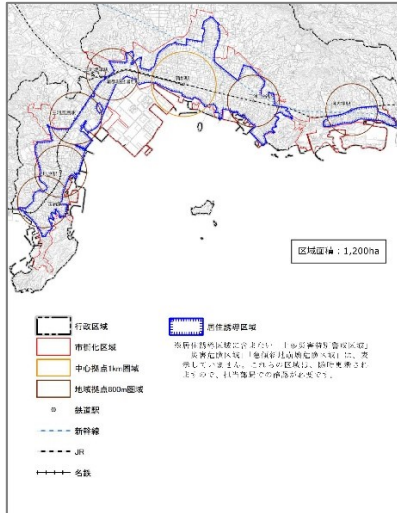


図 5-3 居住誘導区域

(出典：蒲郡市立地適正化計画、
蒲郡市 HP)

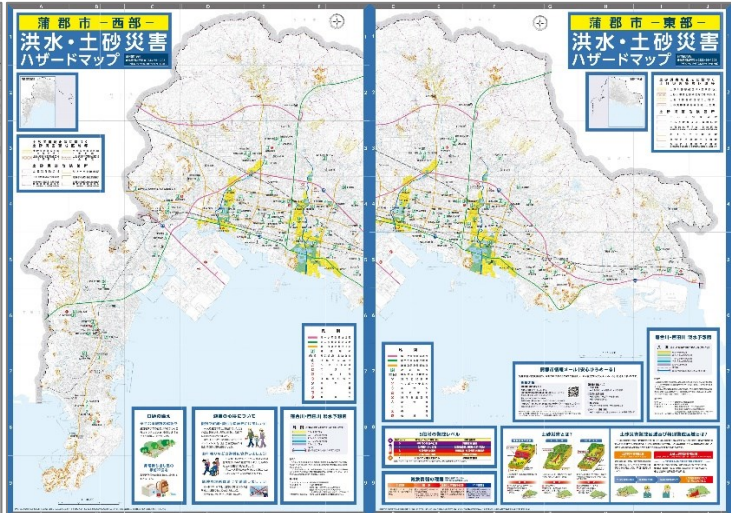


図 5-4 土砂災害警戒区域及び浸水想定区域

(出典：蒲郡市洪水・土砂災害ハザードマップ、
蒲郡市 HP)

(2) (e) 当該区域内の防災対策、避難対策が図られているため

①長泉町

浸水想定区域に関して、長泉町では、鮎壺公園の一部で雨水を貯留することで、周辺への浸水を防止できることから、安全性が十分に確保されていると判断していた。

②名古屋市

災害危険区域(住居の用に供する建築物)に関して、名古屋市では、過去最大規模(伊勢湾台風)の被害想定を踏まえ、1 階床高や構造等についての制限を定めていることから、安全性が十分に確保されていると判断していた。

③安城市

浸水想定区域に関して、安城市では、安城市洪水ハザードマップが 150 年に 1 回程度の雨量(最大規模)を対象としており、堤防そのものはその雨量に対して十分に耐えうる機能を有していることから、安全性が十分に確保されていると判断していた。

(3) (f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため

①関市

災害危険区域(その他の建築物)に関して、関市では、居住地ではなく、水路や道路等のインフラストラクチャーに指定されていることから、災害リスクが低いと判断していた。例として、図 5-5 に一部の居住誘導区域と災害危険区域(その他の建築物)の指定状況について示す。なお、関市において、災害危険区域(その他の建築物)は土砂災害特別警戒区域と同等のものとなされている。

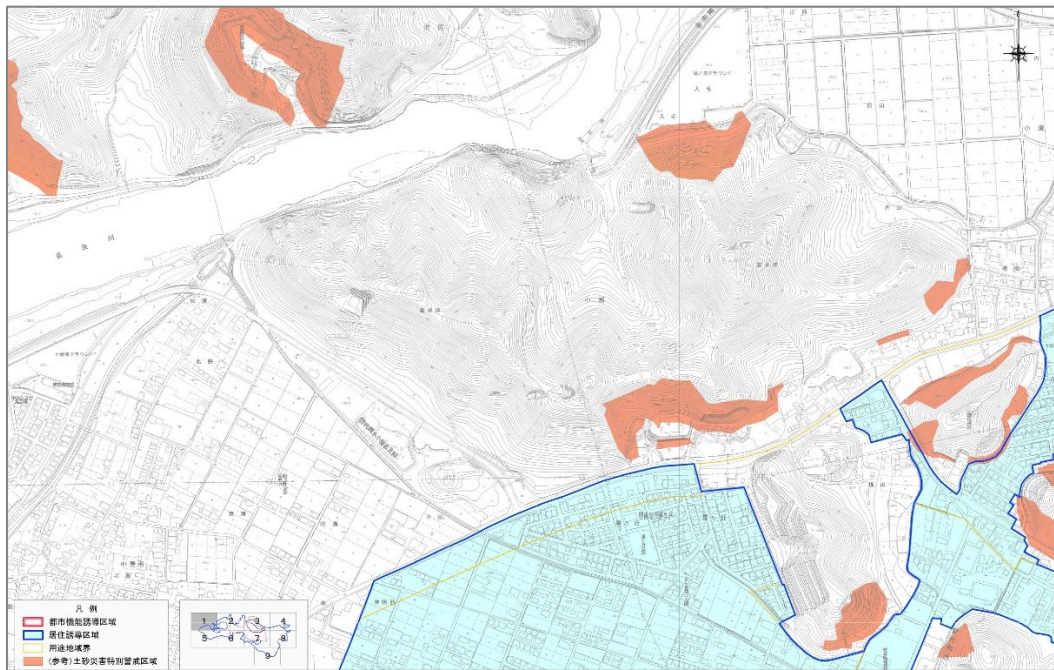


図 5-5 居住誘導区域(一部)と災害危険区域(その他の建築物)の指定状況

(出典：関市立地適正化計画、関市 HP)

②藤枝市

浸水想定区域に関して、藤枝市では、これまでハードやソフト両面から対策を行ってきた結果、昭和 57 年の台風 18 号以降、河川の決壊などの大規模な被害が起きていないことから、災害リスクが低いと判断していた。

③朝日町

土砂災害警戒区域に関して、朝日町では、レッドゾーン(土砂災害特別警戒区域)ほどの影響が見られないことから、災害リスクが低いと判断していた。

5-5 小括

以上より、災害ハザードエリアを除外していない理由について以下のようにまとめる。

第一に、3区域の視点において、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域では、いずれも除外検討の余地がある理由が多く、特に(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、を理由に除外していない市町が最も多くみられた。また、(Ⅲ)要検討区域では、除外検討の余地がない理由が(Ⅱ)原則除外区域よりも多く、(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、を理由に除外していない市町が同程度みられた。

第二に、災害の種類の視点において、地盤災害、津波災害、洪水災害のいずれも除外検討の余地がある理由が多く、特に地盤災害では(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、津波災害、洪水災害では(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、を理由に除外していない市町がそれぞれ最も多くみられた。また、津波災害、洪水災害では、除外検討の余地がない理由が地盤災害よりも多く、(a)当該区域が広範囲の指定であるため、(b)当該区域が重要な拠点を含むため、を理由に除外していない市町が同程度みられた。

第 6 章

東海 4 県における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題

- 6-1 災害ハザードエリアの除外の実態に関する類型
- 6-2 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状
とその要因
- 6-3 災害ハザードエリアを除外していないことに関
する課題

第6章 東海4県における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題

本章では、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題について、前章までの分析結果を基に以下のようにまとめる。

6-1 災害ハザードエリアの除外の実態に関する類型

6-1-1 類型の概要

災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題について把握するため、第4章で示した3つの評価基準(除外している、除外していない、対象外である)、第5章で示した2つの評価基準(除外検討の余地がない理由、除外検討の余地がある理由)を組み合わせ、災害ハザードエリアの除外の実態を図6-1に示す通り、タイプA～タイプEの5タイプに類型化した。

タイプAは、災害ハザードエリアを除外していることを指す。

タイプBは、災害ハザードエリアを除外していない、除外検討の余地がない理由のみで構成されていることを指す。

タイプCは、災害ハザードエリアを除外していない、除外検討の余地がない理由と除外検討の余地がある理由が混在して構成されていることを指す。

タイプDは、災害ハザードエリアを除外していない、除外検討の余地がある理由のみで構成されていることを指す。

タイプEは、災害ハザードエリアが対象外であることを指す。

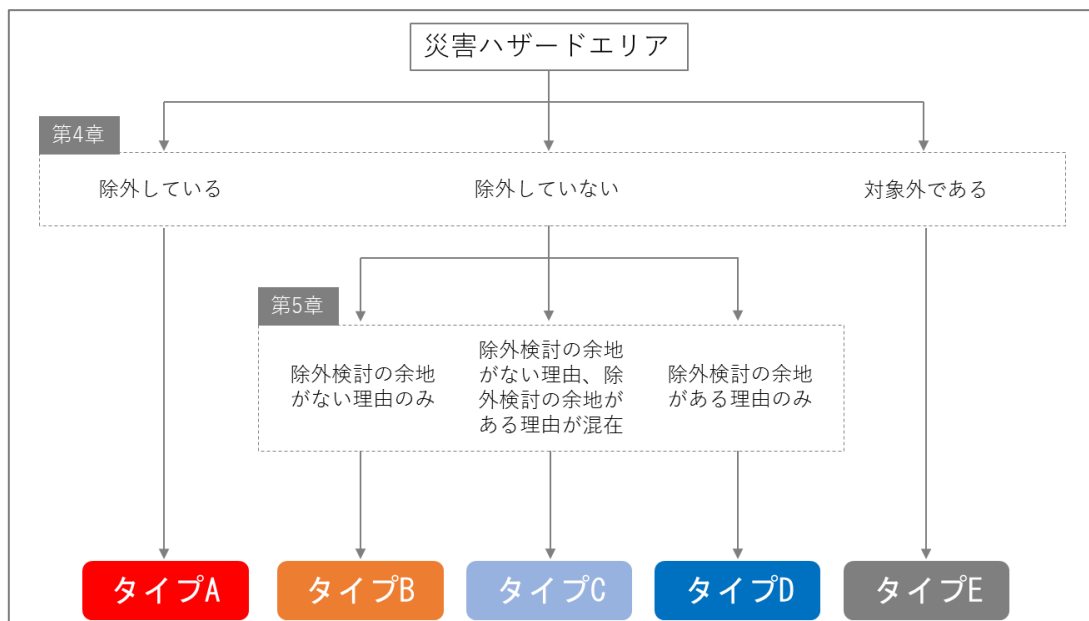


図6-1 災害ハザードエリア除外の実態に関する類型方法

6-1-2 類型結果

前述した類型方法を踏まえ、各市町における災害ハザードエリアの除外の実態に関する類型結果を表6-1に示す。

表6-1 各市町における災害ハザードエリアの除外の実態に関する類型

各市町における災害ハザードエリアの除外に関する類型		地震災害					津波災害			洪水災害			その他	
		(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅱ) 原則除外区域	(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅲ) 要検討区域			(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域
		土砂災害 特別警戒区域	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険区域	土砂災害 警戒区域	土砂災害 危険箇所	津波災害 特別警戒区域	津波災害 警戒区域	津波浸水 想定区域	浸水想定 区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	災害危険区域 (住宅に供する 建築物)	災害危険区域 (その他の建築 物)
		タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	タイプE	タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	タイプE	タイプF	タイプG	タイプH
岐阜県	内陸部	岐阜市												
		大垣市												
		多治見市												
		関市												
		美濃加茂市												
静岡県	沿岸部	掛川市												
		富士市												
		磐田市												
		浜松市												
		静岡市												
	内陸部	沼津市												
		袋井市												
		函南町												
		藤枝市												
		伊豆の国市												
		裾野市												
		長泉町												
		三島市												
愛知県	沿岸部	蒲郡市												
		東海市												
		名古屋市												
		豊川市												
		弥富市												
	内陸部	田原市												
		岡崎市												
		東郷町												
		刈谷市												
		豊田市												
		小牧市												
		春日井市												
		安城市												
三重県	沿岸部	四日市市												
		亀山市												
		伊賀市												
		桑名市												
		津市												
	内陸部	松阪市												
		朝日町												

【凡例】 ■…タイプA ■…タイプB ■…タイプC ■…タイプD ■…タイプE

表 6-1 を踏まえ、災害ハザードエリアごとの除外の実態に関する類型の市町数と割合についてまとめたものを表 6-2 に示す。

(1) 地盤災害

土砂災害特別警戒区域では、タイプ A は 32 市町(74.4%)、タイプ B、タイプ C は不在で、タイプ D は 4 市町(9.3%)、タイプ E は 7 市(16.3%)であった。

地すべり防止区域では、タイプ A は 13 市町(30.2%)、タイプ B、タイプ C、タイプ D は不在で、タイプ E は 30 市町(69.8%)であった。

急傾斜地崩壊危険区域では、タイプ A は 30 市町(30.2%)、タイプ B、タイプ C は不在で、タイプ D は 4 市町(9.3%)、タイプ E は 9 市(20.9%)であった。

土砂災害警戒区域では、タイプ A は 23 市町(53.5%)、タイプ B は 1 市(2.3%)、タイプ C は 1 町(2.3%)、タイプ D は 11 市町(25.6%)、タイプ E は 7 市(16.3%)であった。

土砂災害危険箇所では、タイプ A は 6 市町(14.0%)、タイプ B は不在で、タイプ C は 2 市(4.7%)、タイプ D は 6 市町(14.0%)、タイプ E は 29 市町(67.4%)であった。

(2) 津波災害

津波災害特別警戒区域では、タイプ A、タイプ B、タイプ C、タイプ D は不在で、全ての市町がタイプ E であった。

津波災害警戒区域では、タイプ A、タイプ B は不在で、タイプ C は 2 市(4.7%)、タイプ D は 4 市(9.3%)、タイプ E は 37 市町(86.0%)であった。

津波浸水想定区域では、タイプ A は 1 市(2.3%)、タイプ B は 2 市(4.7%)、タイプ C は 8 市町(18.6%)、タイプ D は 8 市(18.6%)、タイプ E は 24 市町(55.8%)であった。

(3) 洪水災害

浸水想定区域では、タイプ A は不在で、タイプ B は 8 市(18.6%)、タイプ C は 19 市町(44.2%)、タイプ D は 12 市(27.9%)、タイプ E は 4 市町(9.3%)であった。

都市洪水想定区域では、タイプ A は不在で、タイプ B は 1 市(2.3%)、タイプ C は 2 市(4.7%)、タイプ D は 2 市(4.7%)、タイプ E は 38 市町(88.4%)であった。

都市浸水想定区域では、タイプ A は不在で、タイプ B は 1 市(2.3%)、タイプ C は 3 市町(7.0%)、タイプ D は 5 市(11.6%)、タイプ E は 34 市町(79.1%)であった。

(4) その他

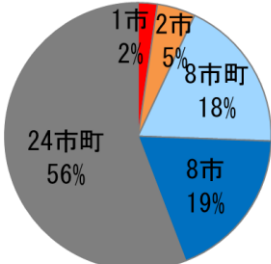
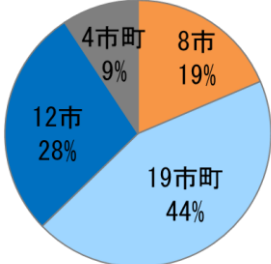
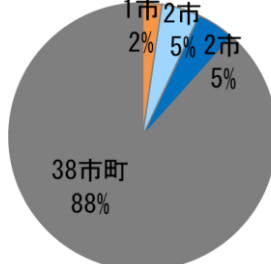
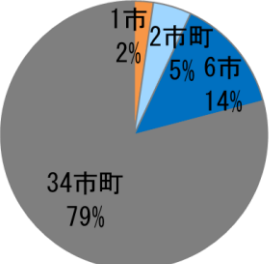
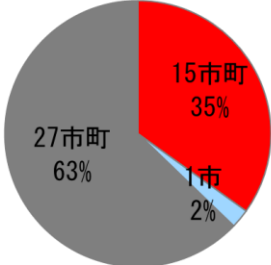
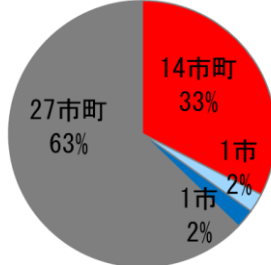
災害危険区域(住居の用に供する建築物)では、タイプ A は 15 市町(34.9%)、タイプ B は不在で、タイプ C は 1 市(2.3%)、タイプ D は不在で、タイプ E は 27 市町(62.8%)であった。

災害危険区域(その他の建築物)では、タイプ A は 14 市町(32.6%)、タイプ B は不在で、タイプ C は 1 市(2.3%)、タイプ D は 1 市(2.3%)、タイプ E は 27 市町(62.8%)であった。

表 6-2 災害ハザードエリアごとの除外の実態に関する類型の市町数と割合

災害ハザードエリアごとの除外の実態に関する類型の市町数と割合		地盤災害					津波災害			洪水災害			その他	
		(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅱ) 原則除外区域	(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域	
		土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域	急傾斜地崩壊危険区域	土砂災害警戒区域	土砂災害危険箇所等	津波災害特別警戒区域	津波災害警戒区域	津波浸水想定区域	浸水想定区域	都市洪水想定区域	都市浸水想定区域	災害危険区域(住宅に供する建築物)	災害危険区域(その他の建築物)
タイプA	市町数(市町)	32	13	30	23	6	0	0	1	0	0	0	15	14
	割合(%)	74.4%	30.2%	69.8%	53.5%	14.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	34.9%	32.6%
タイプB	市町数(市町)	0	0	0	1	0	0	0	2	8	1	1	0	0
	割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	18.6%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%
タイプC	市町数(市町)	0	0	0	1	2	0	2	8	19	2	2	1	1
	割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	4.7%	0.0%	4.7%	18.6%	44.2%	4.7%	4.7%	2.3%	2.3%
タイプD	市町数(市町)	4	0	4	11	6	0	4	8	12	2	6	0	1
	割合(%)	9.3%	0.0%	9.3%	25.6%	14.0%	0.0%	9.3%	18.6%	27.9%	4.7%	14.0%	0.0%	2.3%
タイプE	市町数(市町)	7	30	9	7	29	43	37	24	4	38	34	27	27
	割合(%)	16.3%	69.8%	20.9%	16.3%	67.4%	100.0%	86.0%	55.8%	9.3%	88.4%	79.1%	62.8%	62.8%

地盤災害	
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域
急傾斜地崩壊危険区域	土砂災害警戒区域
土砂災害危険箇所等	
津波災害	
津波災害特別警戒区域	津波災害警戒区域

	
津波浸水想定区域	
洪水災害	
	
浸水想定区域	都市洪水想定区域
	
都市浸水想定区域	
その他	
	
災害危険区域(住居の用に供する建築物)	災害危険区域(その他の建築物)

6-1-3 類型結果に関する全体的な傾向

全体的な傾向について把握するため、第2章で前述した2つの視点(3区域・災害の種類)から分析を行なった。分析結果を以下に示す。

(1) 3区域の視点

3区域ごとの除外の実態に関する類型についてまとめたものを表6-3に示す。なお、本文中の「市町数(%)」における割合は、(Ⅰ)完全除外区域で43市町、(Ⅱ)原則除外区域で215市町、(Ⅲ)要検討区域で301市町、を各母数としている。

①調査結果

(Ⅰ)完全除外区域では、タイプAは15市町(34.9%)、タイプBは不在で、タイプCは1市(2.3%)、タイプDは不在で、タイプEは27市町(62.8%)であった。

(Ⅱ)原則除外区域では、タイプAは89市町(41.4%)、タイプBは不在で、タイプCは1市(0.5%)、タイプDは9市(4.2%)、タイプEは116市町(54.0%)であった。

(Ⅲ)要検討区域では、タイプAは30市町(10.0%)、タイプBは13市(4.3%)で、タイプCは37市町(12.3%)、タイプDは47市町(15.6%)、タイプEは173市町(57.5%)であった。

②全体的な傾向

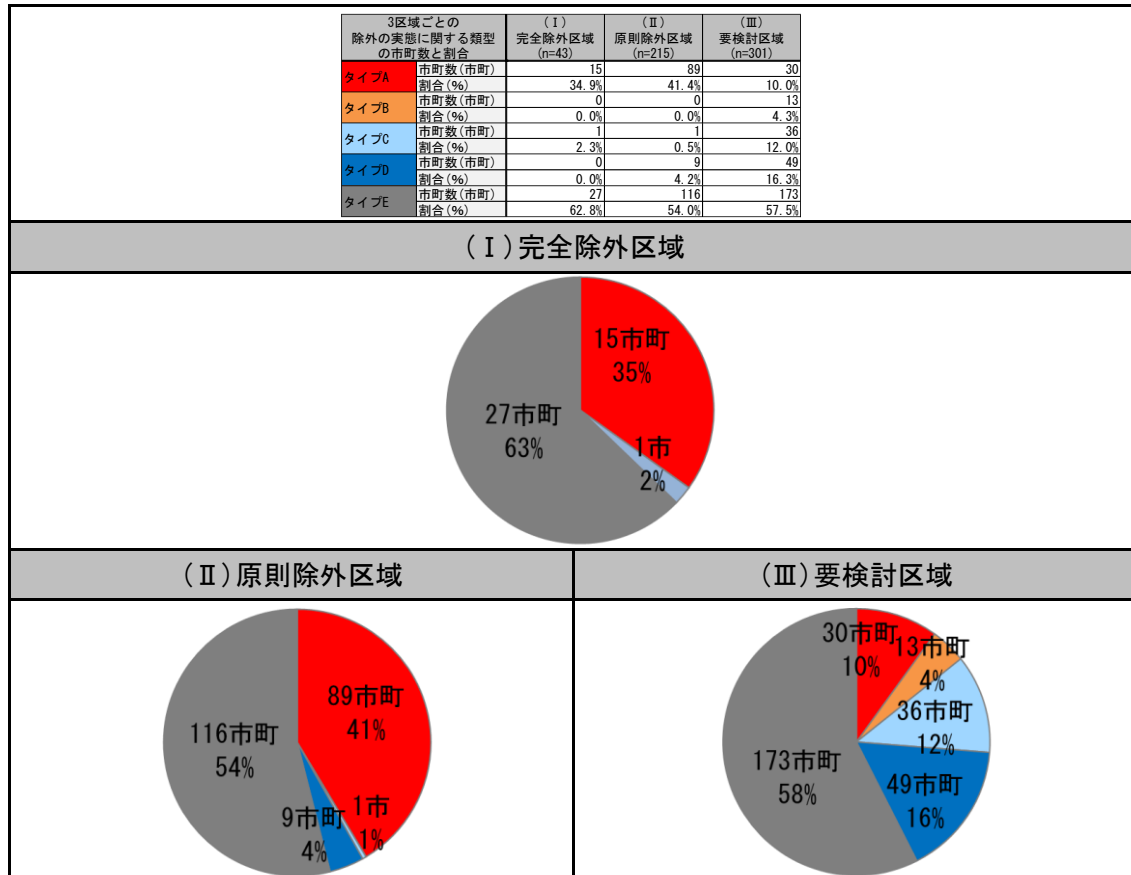
いずれもタイプEが最も多い中、

(Ⅰ)完全除外区域では、次いでタイプAが多くみられた。タイプCは一部の市町でみられたが、タイプB、タイプDはみられなかった。

(Ⅱ)原則除外区域では、次いでタイプAが多くみられた。タイプC、タイプDは一部の市町でみられたが、タイプBはみられなかった。

(Ⅲ)要検討区域では、次いでタイプD、タイプC、タイプA、の順で多くみられた。タイプBは一部の市町でみられた。

表 6-3 3 区域ごとの除外の実態に関する類型の市町数と割合



(2) 災害の種類の見点

災害の種類ごとの除外の実態に関する類型についてまとめたものを表6-4に示す。なお、本文中の「市町数(%)」における割合は、地盤災害で215市町、津波災害で129市町、洪水災害で129市町、その他で86市町、を各母数としている。

① 調査結果

地盤災害では、タイプAは104市町(48.4%)、タイプBは1市(0.5%)、タイプCは3市町(1.4%)、タイプDは25市町(11.6%)、タイプEは82市町(38.1%)であった。

津波災害では、タイプAは1市(0.8%)、タイプBは2市(1.6%)、タイプCは10市町(7.9%)、タイプDは12市(9.5%)、タイプEは104市町(82.5%)であった。

洪水災害では、タイプAは不在で、タイプBは10市(7.9%)、タイプCは24市町(19.0%)、タイプDは18市(14.3%)、タイプEは76市町(60.3%)であった。

その他では、タイプAは29市町(33.7%)、タイプBは不在で、タイプCは2市(2.3%)、タイプDは1市(1.2%)、タイプEは54市町(62.8%)であった。

② 全体的な傾向

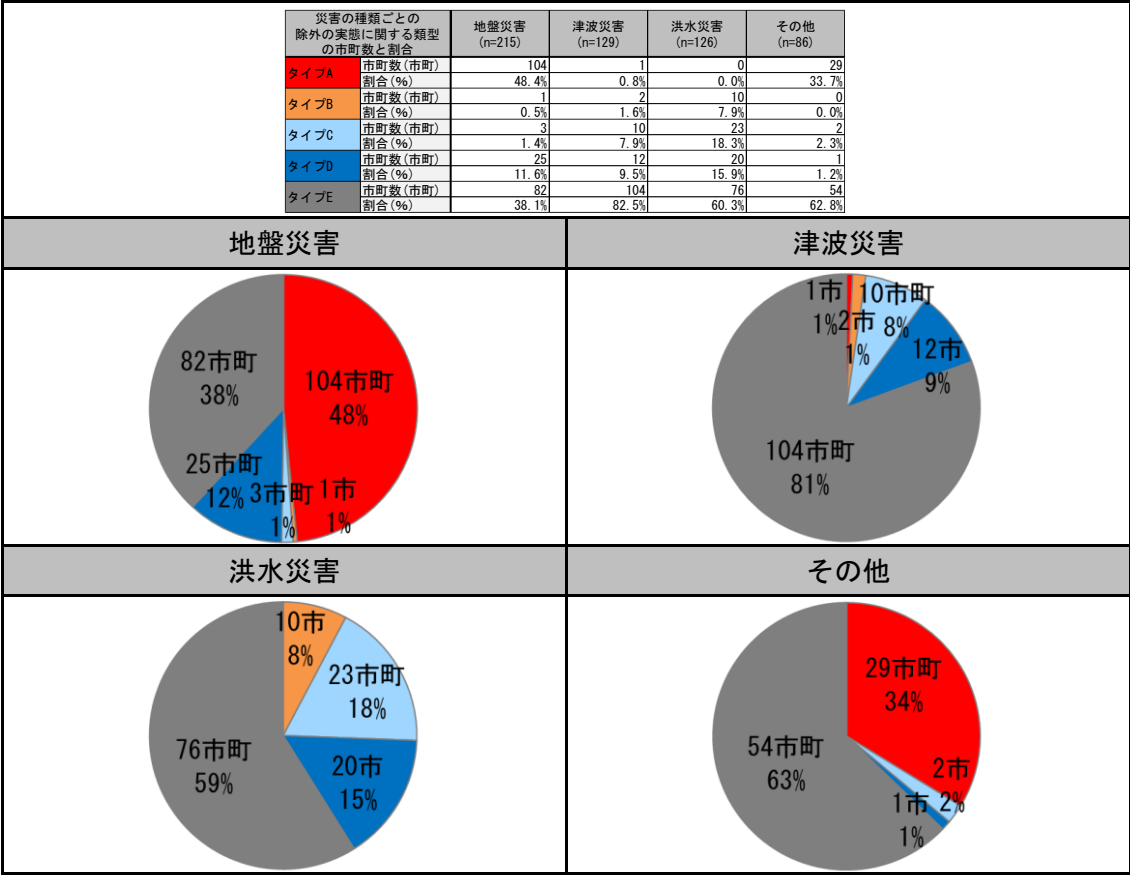
地盤災害では、タイプAが最も多く、次いでタイプE、タイプD、の順で多くみられた。タイプB、タイプCは一部の市町でみられた。

津波災害では、タイプEが最も多く、次いでタイプD、タイプC、の順で多くみられた。タイプA、タイプBは一部の市町でみられた。

洪水災害では、タイプEが最も多く、次いでタイプC、タイプD、タイプB、の順で多くみられたが、タイプAはみられなかった。

その他では、タイプEが最も多く、次いでタイプAが多くみられた。タイプC、タイプDは一部の市町でみられたが、タイプBはみられなかった。

表 6-4 災害の種類ごとの除外の実態に関する類型の市町数と割合



6-2 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状とその要因

6-2-1 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状

前章までの分析の結果、3区域の視点、災害の種類から、災害ハザードエリアの除外の実態が異なることが把握できた。具体的には、以下の通りである。

(1) 3区域の視点

(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では、除外している市町が多いのに対し、(Ⅲ)要検討区域では、除外していない市町が多くみられた。また、除外検討の余地がある理由で除外していない市町が多い中、除外検討の余地がない理由は(Ⅲ)要検討区域で多く、(Ⅱ)原則除外区域ではほとんどみられなかった。

(2) 災害の種類

地盤災害、その他では、除外している市町が多いのに対し、津波災害、洪水災害では、除外していない市町が多くみられた。また、除外検討の余地がある理由で除外していない市町が多い中、除外検討の余地がない理由は洪水災害、津波災害で多く、地盤災害ではほとんどみられなかった。

6-2-2 除外の実態の違いを生み出す要因

6-2-1 で示した、災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状について、その違いを生み出している主な要因は、都市計画運用指針における除外に対する厳格さの程度の違い、災害ハザードエリアにおける開発行為の制限等の有無、の2つであることが考えられる。具体的には以下に示す通りである。

(1) 要因1：都市計画運用指針における除外に対する厳格さの程度の違い

第2章で前述した通り、市町村が立地適正化計画を策定して居住誘導区域を設定するには、国によって示されている都市計画運用指針を参照することから、当然ながら、除外の実態に影響を与えていると考えられる。具体的には、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域で除外している市町が多いのは、方針で厳格さが高いことが影響していると考えられる。一方、(Ⅲ)要検討区域で除外していない市町が多いのは、方針で厳格さが低いことが影響していると考えられる。

(2) 要因2：災害ハザードエリアにおける開発行為の制限等の有無

第2章で前述した通り、災害ハザードエリアの個別法等の記載から、エリアごとに開発行為等の規制の有無が明らかとなっており、規制のある区域は除外状況に影響を与えていると考えられる。具体的には、地盤災害、その他で除外している市町が多いのは、規制があることが影響していると考えられる。一方、洪水災害で除外していない市町が多いのは、規制がないことが影響していると考えられる。また、津波災害で除外していない市町が多いことについては、規制があるのが津波災害特別警戒区域のみで、本研究では、東海4県で指定がみられなかったことが除外状況に大きく影響していると考えられる。

6-3 災害ハザードエリアを除外していないことに関する課題

第2章で前述した通り、本来、災害ハザードエリアは居住誘導区域から除外すること、または除外すべきであることとされているが、東海4県では、これら区域が除外されていないことが現状として明らかとなっており、居住誘導区域の設定において、十分な安全性が確保されていないという立地適正化計画上の課題が生じている。この課題について、国、市町によるものから以下の通りにまとめる。

(1) 国の課題

6-2の要因と関連するが、都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する方針の不明確な定義が課題として考えられる。

具体的に、東海4県で除外されていないのは、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域であり、特に(Ⅲ)要検討区域で多くみられるが、これは、都市計画運用指針において、(Ⅲ)要検討区域が「災害リスク等を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域」と定められており、この中で例示されている災害リスク等が詳細に定義されておらず市町の判断に委ねられているためである。災害ハザードエリアを除外していない理由に、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、が確認されたことから、市町の判断次第で、災害ハザードエリアを除外しないという状況が生み出されている。

(2) 市町の課題

災害ハザードエリアを除外していない市町の実態として、除外検討の余地がない理由[(a), (b)]で除外していないこと(以下、課題1)、除外検討の余地がある理由[(c)～(g)]で除外していないこと(以下、課題2)が課題として考えられる。

具体的に、課題1は指定が広範囲であること、都市機能等を含むこと等から、止むを得ず除外することができないという状況が生み出されているが、課題2は課題1と違い、除外検討の余地がある中、除外していないという状況が生み出されている。都市計画運用指針では、災害ハザードエリアは除外すること、または除外すべきであることとされているため、課題2がみられることは、特に改善すべき課題であると考えられる。

第 7 章

今後の立地適正化計画の在り方と研究の総括

7-1 法改正を踏まえた今後の立地適正化計画 の在り方

7-2 研究の総括

第7章 今後の立地適正化計画の在り方と研究の総括

7-1 法改正を踏まえた今後の立地適正化計画の在り方

最後に、前章までの内容を踏まえ、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を考慮した今後の立地適正化計画の在り方について展望したい。

(1) 国の課題に関する対応

前章で国の課題として述べた「都市計画運用指針における不明確な定義」から、今後の立地適正化計画の在り方について以下の通りに展望する。

第3章で前述した通り、法改正により、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域で除外に関する方針が厳格化されたこと、防災指針の作成に関する方針が定められたことなど、都市計画運用指針に具体的な方針が追加されることとなった。今後は、法改正を踏まえた計画の見直しについて、継続して市町の動向を留意していくことが求められる。

(2) 市町の課題に関する対応

前章で市町の課題として述べた「除外検討の余地がない理由[(a), (b)]で除外していないこと(課題1)」、「除外検討の余地がある理由[(c)～(g)]で除外していないこと(課題2)」から、今後の立地適正化計画の在り方について以下の通りに展望する。

①課題1を抱える市町

図7-1に示す通り、課題1を抱える市町は、津波災害、洪水災害といった広範囲な浸水エリアで多く、止むを得ず除外することができない状況がみられるため、今後は、当該2つの災害を中心に、エリア内での災害リスクの軽減に努めることが求められる。具体的には、以下の2点について検討・実施することが望ましい。

・ 防災指針の作成に伴い、防災対策・避難対策を整備すること

第3章で前述した通り、都市計画運用指針において、新たに防災指針の作成に関する方針が定められた。特に、その基本的な考え方として、様々な災害のうち、洪水、雨水出水、津波、高潮による浸水エリアは広範囲に及び、既に市街地が形成されていることも多いことから、この範囲を居住誘導区域から全て除くことは現実的に困難であることも想定されるため、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められている。

このことから、特に課題1が多い津波災害、洪水災害では、防災指針の作成に伴い、防災対策・避難対策を整備することが重要であると考えられる。

・一部除外の設定について検討すること(津波災害、洪水災害が対象)

一部除外の設定に関して、法改正による新たな方針はみられなかったが、第4章の調査結果より、浸水想定区域、津波浸水想定区域において、一部除外に関して設定し除外している市町がいくつかみられたことを踏まえ、津波災害、洪水災害では、その設定について検討・実施することが重要であると考えられる。

具体的には、浸水想定区域で、3m以上の浸水区域、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)を除外すること、津波浸水想定区域では、2m以上の浸水区域を除外することが考えられる。また、上記だけでなく、避難場所、避難経路、避難時間等による分析結果から災害リスクが高いと思われる箇所を抽出し、積極的に除外していくことも重要であると考えられる。

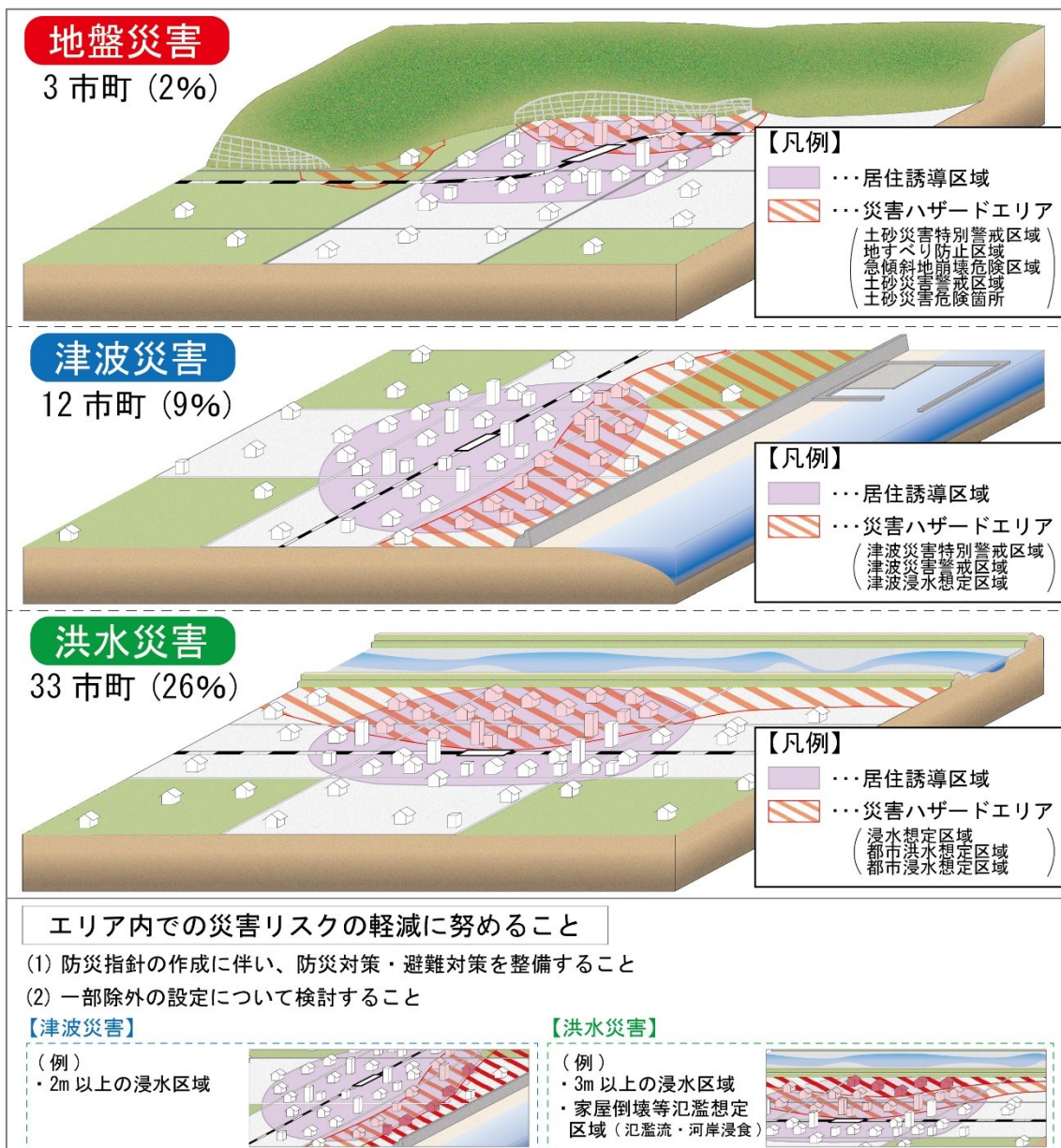


図 7-1 課題 1 を抱える市町の状況と今後の対応

②課題2を抱える市町

図7-2に示す通り、課題2を抱える市町は、いずれの災害にも多く、除外検討の余地がある中除外していない状況がみられるため、今後は、全ての災害に対し、除外検討の見直しを行うことが求められる。具体的には、以下の5点について検討・実施することが望ましい。

・住民と意見交換等を行い、計画に反映させること…(c)

都市計画運用指針において、立地適正化計画を作成する際、住民参加の機会を設け、合意形成プロセスの中で住民の意見を踏まえることが重要であるとされている。^{注20)}

このことから、災害ハザードエリアを除外していない理由でみられた、(c)当該区域内の住民感情を考慮したため、については、全ての市町が住民から意見を聞いていなかったことから、今後は住民と意見交換等を行い、計画に反映させることが重要であると考えられる。

注20)「第11版 都市計画運用指針」における「IV-1-3 立地適正化計画」-「4.作成手続」-「(2)公聴会、都市計画審議会の手続」から引用。

・新たなエリア指定の際には、適時適切に計画の見直しを行うこと…(d)

都市計画運用指針において、新たなハザード情報の確認等により災害に対する都市のリスクが明らかになった場合には、適時適切に計画の見直しの検討を行うことが望ましいとされている。^{注21)}

このことから、災害ハザードエリアを除外していない理由でみられた、(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため、については、全ての市町が指定直後、計画を見直していなかったことから、今後、新たなエリア指定の際には、適時適切に計画の見直しを行うことが重要であると考えられる。

注21)「第11版 都市計画運用指針」における「IV-1-3 立地適正化計画」-「3記載内容」から引用。

・防災対策・避難対策を講じれば、除外しなくてもよいという趣旨ではないことに留意すること…(e)

第3章で前述した通り、都市計画運用指針において、新たに防災指針の作成に関する方針が定められた。ただし、立地適正化計画に防災指針を定めれば、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域を居住誘導区域に含めることが可能になるという趣旨ではないことに留意する必要があるとされている。

このことから、災害ハザードエリアを除外していない理由でみられた、(e)当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、については、今後、防災対策・避難対策を講じれば、除外しなくてもよいという趣旨ではないことに留意することが重要であると考えられる。特に、(e)が最も多くみられた津波災害、洪水災害で留意すべき課題である。

・災害リスクの分析を行い、計画に反映させること…(f)

都市計画運用指針において、居住誘導区域を設定する際、災害リスクの現状を勘案すること、防災指針を検討する際にも、避難路・避難場所の配置等の現状と災害ハザード情報を重ね合わせ、災害リスクを分析することが重要であるとされている。^{注22)}

このことから、災害ハザードエリアを除外していない理由でみられた、(f)当該区域で災害リスクが低いと判断したため、については、今後、災害リスクの分析を行い、計画に反映させることが重要であると考えられる。

注22)「第11版 都市計画運用指針」において、前者は「IV-1-3 立地適正化計画」-「3 記載内容」-「(3)居住誘導区域」-「①基本的な考え方」から引用。後者は「IV-1-3 立地適正化計画」-「3. 記載内容」-「(6)防災指針」-「①基本的な考え方」から引用。

⑤まず除外について積極的に検討すること…(g)

第2章で前述した通り、都市計画運用指針において、本来、災害ハザードエリアは居住誘導区域から除外すること、または除外すべきであることとされている。

災害ハザードエリアを除外していない理由でみられた、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、については、今後、まず除外について積極的に検討することが重要であると考えられる。特に、(g)が最も多くみられた地盤災害で留意すべき課題である。

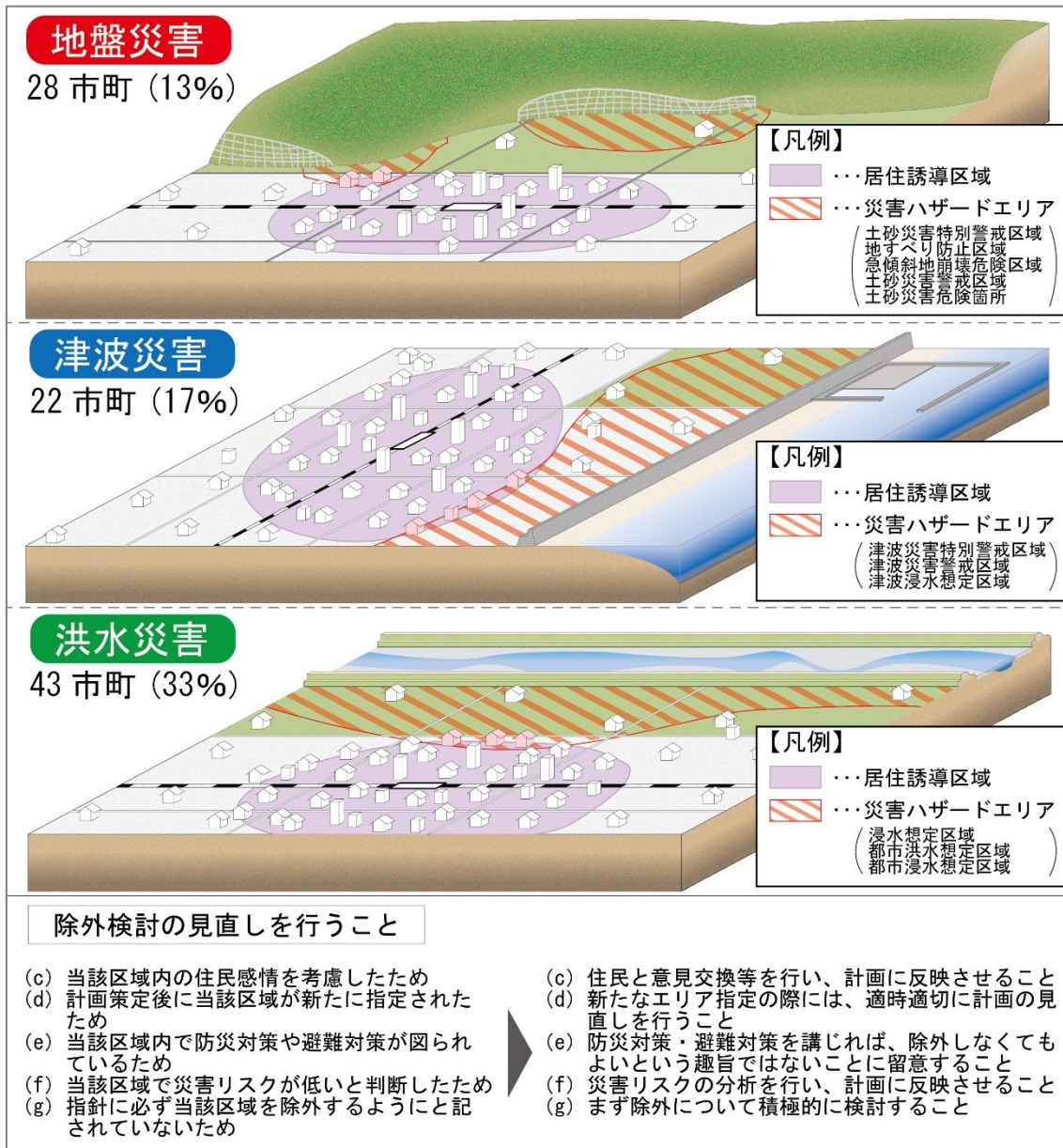


図 7-2 課題 2 を抱える市町の状況と今後の対応

7-2 研究の総括

本研究では、東海4県において、立地適正化計画を作成・公表している市町のうち、アンケート調査の回答が得られた43市町を対象として、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態について調査分析し、除外の実態が異なる現状とそれを生み出す要因、除外していないことに関する課題について考察するとともに、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、今後の立地適正化計画の在り方について展望した。

具体的に、明らかとなったのは以下の通りである。

第一に、3区域の視点では、方針で厳格さが高い(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域で除外している市町が多く、厳格さが低い(Ⅲ)要検討区域で除外していない市町が多くみられた。また、災害の種類別の視点では、開発行為の規制のある地盤災害、その他で除外している市町が多く、規制のない津波災害、洪水災害で除外していない市町が多くみられた。

第二に、本来、災害ハザードエリアは居住誘導区域から除外すること、または除外すべきであることとされている中、東海4県では、除外されていないのが現状として明らかとなった。その実態から、国の課題として、都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する方針の不明確な定義、市町の課題として、止むを得ず除外することができない状況(課題1)、除外検討の余地がある中除外していない状況(課題2)がそれぞれ上げられる。

第三に、法改正より、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域で除外に関する方針が厳格化されたこと、防災指針の作成に関する方針が定められたこと等、都市計画運用指針に具体的な方針が追加されることとなった。今後の対応として、課題1を抱える市町は、エリア内での災害リスクの軽減に努めること、課題2を抱える市町は、除外検討の見直しを行うことがそれぞれ重要であると考えられる。

今後の課題は、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、立地適正化計画の見直し状況について継続して調査分析することである。また、各市町では、都市機能配置や空間編成等の現状も踏まえて立地適正化計画が計画されていると思われるため、これらの視点から災害ハザードエリアの除外の実態に関して分析・考察することも重要であると考えられる。

【参考文献】

- 1) 国土交通省都市局：立地適正化計画の作成状況、2020.7、〈https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001361829.pdf〉、(参照 2020-9-15)
- 2) 内閣府地方創生推進事務局：都市再生基本方針、2018.7、入手先〈<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/toshisaisei/07kanren/pdf/20180723kihonhoushin.pdf>〉、(参照 2019-10-30)
- 3) 国土交通省都市局：第10版 都市計画運用指針、2020.6、入手先〈https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/crd_city_plan_fr_000008.html〉、(参照 2019-10-30)
- 4) 国土交通省：都市計画法、2020.6、入手先〈https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=343AC0000000100_20220401_502AC0000000043〉、(参照 2020-9-15)
- 5) 内閣府地方創生推進事務局：都市再生基本方針、2020.9、入手先〈<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/toshisaisei/07kanren/pdf/2020090102.pdf>〉、(参照 2020-9-15)
- 6) 国土交通省都市局：第11版 都市計画運用指針、2020.9、入手先〈https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001362299.pdf〉、(参照 2020-9-15)
- 7) Miyazaki, S., et al.: STUDY ON THE METHOD OF INDUCTION AREA AND INDUCTION POLICY OF CITY WHICH ESTABLISHED LOCATION OPTIMIZATION PLAN, Vol.25, No.60, pp.881-886, 2019.6 (in Japanese)
宮崎・鶴・小林・宋：立地適正化計画策定都市の誘導区域と誘導施策に関する研究、日本建築学会技術報告集、25巻60号、pp.881～886, 2019.6
- 8) Asano, J. and Kikuchi, R.: A STUDY ON DEVELOPMENT TREND AND RESIDENTIAL PREFERENCES IN URBANIZATION CONTROL AREA OF TSUNAMI HAZARD AREA -IN THE CASE OF IWATA CITY-, Vol.24, No.58, pp.1221-1226, 2018.10 (in Japanese)
浅野・菊池：津波危険区域の市街化調整区域における開発動向と居住者選考に関する研究-磐田市を対象として-、日本建築学会技術報告集、24巻58号、pp.1221～1226, 2018.10
- 9) Warabi, Y., et al.: STUDY ON RELATION BETWEEN URBANIZATION PROMOTION AREA AND DISASTER RISK AREA -FOCUSING ON COMPARISON BETWEEN ORIGINAL AREA AND EXPANDING AREA, Vol.54, No.3, pp.931-937, 2019.10 (in Japanese)
蔵・松川・中出・樋口：市街化区域と災害リスク区域の関係に関する研究-当初決定とその後の拡大に着目して-、日本都市計画学会都市計画論文集、54巻3号、pp.931～937, 2019.10
- 10) 株式会社日経BP：日経アーキテクチュア(2020年8月13日号)特集 耐水建築, 2020.8
- 11) 岐阜県：岐阜市立地適正化計画 2017.3、関市立地適正化計画 2017.3、大垣市立地適正化計画 2018.4、多治見市立地適正化計画 2019.3、美濃加茂市立地適正化計画 2020.3
- 12) 静岡県：磐田市立地適正化計画 2018.3、掛川市立地適正化計画 2018.3、藤枝市立地適正化計画 2018.3、伊豆の国市立地適正化計画 2018.6、長泉町立地適正化計画 2018.7、袋井市立地適正化計画 2018.9、浜松市立地適正化計画 2019.1、静岡市立地適正化計画 2019.

3、沼津市立地適正化計画 2019.3、富士市集約・連携型都市づくり推進戦略 2019.3、裾野市立地適正化計画 2019.3、函南町立地適正化計画 2019.7、三島市立地適正化計画 2019.8、森町立地適正化計画 2020.6

13) 愛知県：豊川市立地適正化計画、2017.3、小牧市立地適正化計画、2017.3、東海市立地適正化計画 2017.3、なごや集約連携型まちづくりプラン 2018.3、春日井市立地適正化計画 2018.3、知立市立地適正化計画 2018.3、刈谷市立地適正化計画 2018.6、第三次安城市都市計画マスタープラン 2019.2、岡崎市立地適正化計画 2019.3、豊田市立地適正化計画 2019.3、東郷町立地適正化計画 2019.3、蒲郡市立地適正化計画 2019.7、江南市立地適正化計画 2020.3、豊明市立地適正化計画 2020.3、田原市立地適正化計画 2020.3、弥富市立地適正化計画 2020.6

14) 三重県：亀山市立地適正化計画 2017.1、伊勢市立地適正化計画 2018.3、伊賀市立地適正化計画 2018.4、津市立地適正化計画 2018.5、朝日町立地適正化計画 2018.6、桑名市立地適正化計画 2019.3、松阪市立地適正化計画 2019.3、四日市市立地適正化計画 2020.3

【謝辞】

本研究を進めるにあたって、多くの方々にご指導を賜りました。

三重大学大学院工学研究科 浅野聡教授には、本研究を進めるにあたって大変貴重なご意見とご指導を賜りました。厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

岐阜市役所都市建設部都市計画課、関市役所基盤整備部都市計画課、大垣市役所都市計画部都市計画課計画グループ、多治見市役所都市計画部都市政策課、美濃加茂市役所建設水道部都市計画課

磐田市役所建設部都市計画課、掛川市役所都市建設部都市政策課計画・土地利用係、藤枝市役所都市建設部都市政策課、伊豆の国市役所都市整備部都市計画課、長泉町役場建設計画課、袋井市役所都市建設部都市計画課、浜松市役所都市整備部都市計画課、静岡市役所都市局都市計画部都市計画課、沼津市役所都市計画部まちづくり政策課、富士市役所都市整備部都市計画課、裾野市役所建設部まちづくり課、函南町役場建設経済部都市計画課、三島市役所計画まちづくり部都市計画課歴史・まちづくり係、森町役場建設課都市計画係

豊川市役所都市整備部都市計画課、小牧市役所都市政策部都市計画課都市計画係、東海市役所都市建設部都市計画課、名古屋市役所住宅都市局都市計画部都市計画課都市計画係、春日井市役所まちづくり推進部都市政策課、知立市役所都市計画課都市企画係、刈谷市役所都市政策部まちづくり推進課、安城市役所都市整備部都市計画課、岡崎市役所都市整備部都市計画課、豊田市役所企画政策部都市計画課、東郷町役場都市建設部都市計画課、蒲郡市役所都市開発部都市計画課計画開発担当、豊明市役所都市計画課、田原市役所都市建設部街づくり推進課、弥富市役所建設部都市整備課都市計画グループ

亀山市役所産業建設部都市整備課都市計画グループ、伊勢市役所都市整備部都市計画課、伊賀市役所都市計画課開発指導室、津市役所都市計画部都市政策課、朝日町役場企画情報課、桑名市役所都市整備部都市整備課、松阪市役所建設部都市計画課、四日市市役所都市整備部都市計画課計画グループ

東海4県43市町の立地適正化計画担当者の方々には、アンケート調査において貴重なご意見とご協力を頂きました。

記して感謝の意を申し上げます。

浅野・大井研究室 M1 の金光香保子氏、B4 の斎藤正樹氏、藤田ゆいか氏には、同じグループとして、研究に関して貴重なご意見とご協力を頂きました。また、同研究室のリサーチフェローの桃原勇二氏、林直孝氏、M2 のチンダカン氏、岡田優太氏、佐藤愛美氏、M1 の西川はるな氏、藤原基義氏、B4 の柿本莉緒氏、神山弘賢氏、西野浩史氏、山本勇紀氏、竹下陽菜氏には研究グループは異なるものの自らの研究に対して責任を持って進める姿勢から、本研究を進めるにあたって刺激を受けました。

研究室の皆様に心から感謝いたします。

その他、多くの方々のご協力によって、この修士論文を完成させることができました。改めてここに感謝の意を申し上げます。

そして最後に、これまでの大学生活を応援し支えてくれた両親に心から感謝いたします。

添付資料

1. 一次調査(令和2年5月25日～令和2年6月17日)
2. 二次調査(令和2年11月6日～令和2年12月2日)
3. 三次調査(令和2年12月18日～令和3年2月10日)

1. 一次調査
(令和2年5月25日～令和2年6月17日)

アンケート実施日	2020/5/29 電話及びアンケート送信 2020/6/1 アンケート返信
担当	都市建設部 都市計画課 山上様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎					<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	？	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	◎	◎					
	土砂災害危険箇所等	？	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／					
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／					
洪水災害	浸水想定区域	×	指定なし 浸水深3m以上					
	特定都市河川浸水 被害対策法	？	／					
	特定都市河川浸水 被害対策法	？	／					
	家屋倒壊等氾濫想定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	×					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	？	◎					
	災害危険区域 （その他の建築物）	◎	／					

アンケート実施日	2020/5/28 電話	
担当	都市計画部 都市計画課 計画グループ	服部様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎				<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>		
	地すべり防止区域	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	／	？	／					
津波災害	津波防災地域づく りに関する法律	／	／						
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／						
	津波防災地域づく りに関する法律	／	浸水深 浸水深2m以上	指定なし 浸水深3m以上	設定なし 設定なし				
	浸水想定区域	×	設定なし	指定あり	設定なし	かなりの広域を含むた め、除外するのはかなり 難しい	いいえ		
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水 被害対策法	？	／	上と同じ	上と同じ	いいえ		
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水 被害対策法	／	上と同じ	上と同じ	いいえ			
	家屋倒壊等氾濫想定区域 （氾濫/河岸浸食）	水防法	？	？					指定があるかわ からない
	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	建築基準法	／	／					
その他	災害危険区域 （その他の建築物）	建築基準法	／	／					

アンケート実施日	2020/5/28 電話	
担当	都市計画部 都市政策課	藤田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地震災害	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎						<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	？	◎						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎						
	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域 に関する法律	／	／						
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／						
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／						
	津波浸水想定区域	／	／						
洪水災害	浸水想定区域	×	◎	◎	土岐川に沿うように市街 地が形成されているの で、除外するのは難しい	ハートは策としては国や県と ともに所管しているの で対象としては、ノザード マップの配布、周知など	はい	去年の8月に指定されたばかりで、4 年ほど経過しているため、浸水深 の調査を進める。今後は難しい中で も、除外を検討していきたい	
	都市洪水想定区域	／	／						
	都市浸水想定区域	／	／						
	家屋倒壊等危険想定区域 （氾濫/河岸浸食）	◎	◎						土岐川（国）で指定、県 での指定はない。以前、 大きな被害があったこと が該当
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	？	◎						
	災害危険区域 （その他の建築物）	◎	◎						

アンケート実施日	2020/5/29 電話	
担当	基盤整備部 都市計画課	長瀬様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地震災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			<div>【凡例】</div> ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	？	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	？	◎					
	土砂災害警戒区域	？	◎					
	土砂災害危険箇所等	◎	◎		区域名 液状化 危険区域			
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波防災地域づくりに関する法律	／	浸水深 指定なし	浸水深3m以上	浸水深 指定なし			
	浸水想定区域	◎	2m以上	指定あり	2m以上			2m以上は一階の浸水ラインとして認識
洪水災害	都市洪水想定区域	？	／					
	都市浸水想定区域	？	／					
	家屋倒壊等危険想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	／					
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	？	／					
その他	災害危険区域（その他の建築物）	？	×	道路等のインフラにかかっていないが住宅には無いため	特になし	はい		平成29年に指定された道路等のインフラにかかっていないが住宅には無い

アンケート実施日	2020/5/25 電話	
担当	都市建設部 都市政策課 計画・土地利用係	原様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ?：不明 /：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	◎	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	◎	◎		区域名			
	土砂災害危険箇所等	×	◎		土砂災害危険箇所			
津波災害	津波災害特別警戒区域	/	/			津波浸水想定区域の浸水深設定時に「三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画運用指針」を推奨されたコンサルタント名は？ → 中央コンサルタント		
	津波災害警戒区域	/	/					
	津波浸水想定区域	◎	◎		浸水深 2m以上			
	浸水想定区域	◎	◎		指定あり 浸水深3m以上			
					指定あり			
洪水災害	都市洪水想定区域	/	/					
	都市浸水想定区域	/	/					
	家屋倒壊等危険指定区域（氾濫/河岸浸食）	?	×	指定時に指定されていない可能性。				次回の変更し時に検討
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	/	/					
	災害危険区域（その他の建築物）	/	/					

アンケート実施日	2020/5/25 電話	
担当	都市整備部 都市計画課	石川様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	◎	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	◎	◎		区域名			
	土砂災害危険箇所等	－	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	？	／					
	津波災害警戒区域	？	／					
	津波浸水想定区域	－	浸水深 指定あり 指定なし	浸水深3m以上 指定あり 指定なし	浸水深 設定なし			浸水深について、津波浸水想定区域の範囲内において、浸水深3m以上の浸水深を想定し、ハード・ソフトを組み合わせた対策を実施する。また、浸水深3m以上の浸水深を想定し、ハード・ソフトを組み合わせた対策を実施する。
	浸水想定区域	×	浸水深 指定あり 指定なし	浸水深3m以上 指定あり 指定なし	浸水深 設定なし			同上
洪水災害	都市洪水想定区域	？	／					
	都市浸水想定区域	？	／					
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	－	×					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	◎	◎					3箇所ある
	災害危険区域 （その他の建築物）	◎	◎					

アンケート実施日	2020/5/25 電話
担当	建設部 都市計画課 河原崎様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害警戒区域 等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎	◎				【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）	
	地すべり防止区域	／	／	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	／	／	◎					
	土砂災害警戒区域	？	◎	◎					
	土砂災害危険箇所等	／	／	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／	／					
	津波浸水想定区域	－	浸水深 設定なし	浸水深2m以上 指定あり	浸水深 2m以上	安全対策実施済み	ポンプ場の整備、河川改修、海岸の堤防等のハード対策実施。地域の防災訓練、市からの防災情報の提供等のソフト対策実施。		2m以上において居住誘導区域はない
	浸水想定区域	×	設定なし	指定あり	設定なし	同上	同上	いいえ	変更の予定はないが、国や県の指標等に変更があればその都度検討する
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／	／					
	都市浸水想定区域	／	／	／					
	家屋倒壊等危険想定区域 （氾濫/河岸浸食）	×	×	？					検討していない
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	◎	◎	◎					
	災害危険区域 （その他の建築物）	？	？	◎					

アンケート実施日	2020/5/27 電話
担当	都市整備部 都市計画課 和久田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてください	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎						【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	◎	◎						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎	区域名	◎				
	土砂災害危険箇所等	／	◎	◎	砂防指定地	◎				
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	◎	◎	浸水深 津波 L2ケース	指定なし 指定あり	浸水深2m以上 浸水深3m以上	／ ×	設定なし 設定なし	「静岡県第4次地震想定」に基づいた津波想定だと含まれるが、300階戸の寄付があり防潮堤の工事あり、このシミュレーションの下では1cmもない。
	浸水想定区域	水防法	×	×	設定なし	指定あり	浸水深3m以上	／	い	「静岡県第4次地震想定」に基づいた津波想定だと含まれるが、300階戸の寄付があり防潮堤の工事あり、このシミュレーションの下では1cmもない。
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	／	／						
	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	／	／						
	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	×						
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	◎	◎						
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	◎	◎						

2-5 静岡市

アンケート実施日	2020/5/27 電話及びアンケート送信 2020/5/29 アンケート返信	
担当	都市局 都市計画部 都市計画課	山西様
	総務局 危機管理課 計画係	栗田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域	／	◎					<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	／	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	？	◎					
	土砂災害警戒区域	×	×	防災対策済み				
	土砂災害危険箇所等	？	×	↓ 危険管理課への問い合わせ	土砂災害 危険箇所			
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波防災地域づくりに関する法律	浸水深 設定なし	浸水深3m以上 指定あり	防災対策済み				
	津波浸水想定区域	◎	◎	同上	設定なし			
	浸水想定区域	◎	◎	同上	設定なし			高潮のみ含んでいない
洪水災害	都市洪水想定区域	？	×	同上				
	都市浸水想定区域	？	×	同上				
	家屋倒壊等氾濫想定区域 （氾濫/河岸浸食）	－	×					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	／	◎					
	災害危険区域 （その他の建築物）	／	◎					

アンケート実施日	2020/5/28 電話
担当	都市計画部 まちづくり政策課 三浦様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	◎	◎					
	土砂災害危険箇所等	×	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波浸水想定区域	？	指定あり 浸水深2m以上	指定あり 浸水深3m以上	設定なし 設定なし	浸水深	浸水深	
	浸水想定区域	×	設定なし	指定あり 浸水深3m以上	設定なし			
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／					
	都市浸水想定区域	／	／					
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	×	同上	同上	いいえ	いいえ	
	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	／	／					
その他	災害危険区域 （その他の建築物）	／	／					

アンケート実施日	2020/5/28	電話
担当	都市建設部 都市計画課	山田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてください	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	／			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）			
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	？	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	／	／						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	／						
	土砂災害危険箇所等	／	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	浸水深 指定なし	浸水深2m以上 指定なし	浸水深 設定なし				
	浸水想定区域	水防法	×	浸水深 指定あり	浸水深3m以上 指定あり	浸水深 設定なし				
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	／	／						
洪水災害	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	／	／						
	家屋倒壊等危険指定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	／						
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	／	／						
その他	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／						
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／						

アンケート実施日	2020/5/28 電話
担当	建設経済部 都市計画課 野澤様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	区域名	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	◎	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎		区域名			
	土砂災害危険箇所等	／	◎	◎		土砂災害危険箇所			
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	◎	／					
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	◎	／					
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	◎	浸水深 浸水深2m以上 指定なし	浸水深 浸水深3m以上 指定あり	浸水深 指定なし			全くなし
	浸水想定区域	水防法	×	設定なし	指定あり	設定なし	浸水想定区域内に当市人口の30%が居住しているため	い	
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	◎	／					
	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	◎	／					
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	◎	／					
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	◎	／					
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	◎	／					

アンケート実施日	2020/5/28	電話
担当	都市政策課	加藤様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎					【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	地すべり防止区域	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	×	×		区域名			
	土砂災害危険箇所等	？	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波浸水想定区域	？	指定なし	浸水深 指定なし	浸水深 指定なし			
	浸水想定区域	？	指定あり	浸水深3m以上 指定あり	浸水深 設定なし	特別な地域のみでなく市会議員が河川に立寄る機会が多い（ハザードマップ（全戸）、避難勧告マニュアル、避難訓練）	いいえ	2m以上が0.4%、6.3ha
	都市洪水想定区域	／	／					
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／					
	都市洪水想定区域	／	／					
	家屋倒壊等危険想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	／					
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	◎	◎					
	災害危険区域（その他の建築物）	◎	◎					

アンケート実施日	2020/5/28 電話
担当	都市整備部 都市計画課 鈴木様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	？	◎	◎					
	急傾斜地崩壊危険区域	？	◎	◎					
	土砂災害警戒区域	？	◎	◎					
	土砂災害危険箇所等	×	×	×	区域名 液状化 危険区域	区域名 液状化 危険区域			
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／	／					
	津波浸水想定区域	／	指定なし	指定なし	浸水深 浸水深2m以上	浸水深 浸水深3m以上			12月国交省が出した最大 浸水想定が今までの1.4倍 だった。
	浸水想定区域	◎	◎	◎	指定あり	指定なし			12月国交省が出した最大 浸水想定が今までの1.4倍 だった。
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／	／					
	都市浸水想定区域	／	／	／					
	家屋倒壊等危険指定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	◎	◎					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	？	◎	◎					
	災害危険区域 （その他の建築物）	？	◎	◎					

アンケート実施日	2020/5/28 電話	
担当	建設部 まちづくり課	坪井様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	『×』に該当した場合 防犯対策（あれば） 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎	◎		【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）			
	地すべり防止区域	◎	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎	◎					
	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎	◎					
	土砂災害危険箇所等	／	／	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域 に関する法律	／	／	／					
	津波災害警戒区域 に関する法律	／	／	／					
	津波浸水想定区域	／	浸水深 指定なし	浸水深2m以上 指定なし	浸水深 指定なし				
	浸水想定区域	／	浸水深 指定なし	浸水深3m以上 指定なし	浸水深 指定なし				
洪水災害	都市洪水想定区域 被害対策法	／	／	／					
	都市浸水想定区域 被害対策法	／	／	／					
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	／	／					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	◎	◎	◎					
	災害危険区域 （その他の建築物）	◎	◎	◎					

アンケート実施日	2020/6/2	電話
担当	建設計画課	木村様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎						【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	？	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	／	？	◎		急傾斜地 危険区域 土石流 危険区域				
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	指定なし 浸水深2m以上	指定なし 浸水深	設定なし				
	浸水想定区域	水防法	×	設定なし 指定あり 浸水深3m以上	設定なし	設定なし				計画規模（50年に1度の確率）の浸水想定区域を除外している。但し、船舶公団付近は公園緑地の除に浸水対策施設の設置も行うことから、居住誘導区域に当たらない。
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	／						
洪水災害	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	／						
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	×						計画規模（50年に1度の確率）の浸水想定区域を除外しているため、重なる部分は除外している。
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	／	／						
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	？	／						

アンケート実施日	2020/5/26 電話及びアンケート送信 2020/5/28 アンケート返信
担当	都市開発部 都市計画課 計画開発担当 大塩様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
増強災害	土砂災害特別警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	◎	◎	◎	【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）				
	地すべり防止区域	／	／	／					市域内に存在しない
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎	◎					
	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	×	×	×		ハザードマップの全戸配布 ハザードマップの説明会の 実施 地域防災活動の支援 など	いいえ		一部を誘導区域に含む
津波災害	土砂災害危険箇所等	／	×	×	鉄道駅周辺地域であること、高層 ビル、人口の集積が沿線を 沿まると、多くて津波に災害 を受ける可能性があること、 「ハザードマップの全戸配布 ハザードマップの説明会の 実施 地域防災活動の支援 など」に資する地域であるため、 など	ハザードマップの全戸配布 ハザードマップの説明会の 実施 地域防災活動の支援 など	いいえ		土砂災害危険箇所（土石流の発生、地すべり、急傾斜地崩壊、急傾斜地崩壊危険箇所）の 一部を誘導区域に含む なお、地すべり危険箇所（市街化調整区域 内）を公表していますが、水防法に基づき、この区域の一部は、土砂災害警戒区域と同様の考え方、居住誘導区域に含んでいます。
	津波災害特別警戒区域 に関する法律	／	／	／					市域内に指定なし
	津波防災地域づく りに関する法律	／	×	×					区域指定が計画策定の直 後 計画策定：2019年7月1日 区域指定：2019年7月30日
	津波浸水想定区域	◎	◎	◎	浸水深 2m以上	浸水深 2m以上			
洪水災害	浸水想定区域	／	／	／	設定なし	指定なし			
	特定都市河川浸水 被害対策法	／	／	／	浸水深 2m以上	浸水深3m以上			水防法に基づく浸水想定区域は、「洪水」「高潮」「雨水出水」によるものに分類されます。 当市の市域内には、いずれの区域も指定がありません。 なお、当市では、愛知県が2014(平成26)年に、高潮浸水想定と汎用浸水想定(落合川・西田 川)を公表していますが、水防法に基づき、この区域の一部は、土砂災害警戒区域と同様の考え方、居住誘導区域に含んでいます。
	特定都市河川浸水 被害対策法	／	／	／	／	／			市域内に指定なし
	家庭用等浸水想定区域 (氾濫/河岸浸食)	？	／	／	／	／			市域内に指定なし
その他	災害危険区域 (住居の用に供する建築物)	◎	／	／	／	／			市域内に存在しない
	災害危険区域 (その他の建築物)	◎	◎	◎	／	／			

アンケート実施日	2020/5/26	電話
担当	都市建設部 都市計画課	稲葉様

一次アンケート調査			これまでの調査結果	電話での回答	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか (はい/いいえ)			『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域 に関する法律	◎	◎	【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である(居住誘導区域に指定なし)					最近、新しく追加されたが、除外した
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊に 関する法律	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域 に関する法律	×	×						
	土砂災害危険箇所等	／	?	／						液状化に関しての区域はあるが、埋立地には入らず、内陸側は下水に因り対策が行われている
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	×						市街化区域内には含まれている
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	×	指定あり 浸水深2m以上	指定なし 浸水深3m以上	津波避難タワー等 区域状況の周知など (地域防災計画)	いいえ			
	浸水想定区域	水防法	×	指定なし	指定なし					
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	?	／						大きな河川なら除外の対象としてより遊水地化され ると思うが
	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	?	×						
	家屋倒壊等浸水想定区域 (氾濫/河岸浸食)	水防法	?	／						
	災害危険区域 (住居の用に供する建築物)	建築基準法	?	◎						
その他	災害危険区域 (その他の建築物)		?	◎						

アンケート実施日	2020/5/28 電話及びアンケート送信 2020/6/2 アンケート返信
担当	住宅都市局 都市計画部 都市計画課 高橋様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	区域名	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地震災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎				【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ?：不明 /：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	/	/						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	/	×	区域名 土砂災害危険箇所	土砂災害危険箇所は市内に存在するが、都市計画部所管の区域において除外を要する区域として、危険箇所区域へは反映していない。				都市再生特別措置法の改正や災害エリア指定状況を踏まえ、居住誘導区域にどのような反映していくのかを今後検討していく予定
津波災害	津波災害特別警戒区域	/	/						
	津波災害警戒区域	/	×						都市再生特別措置法の改正や災害エリア指定状況を踏まえ、居住誘導区域にどのような反映していくのかを今後検討していく予定
	津波防災地域づくりに関する法律	◎	◎	浸水深 2m以上	浸水深2m以上の範囲は、重点的に災害リスクの内容や対応方法の整理が可能なため、居住誘導区域から除外。2m未満の範囲は2階への重畳避難が可能なため居住誘導区域に含めている。	ハザードマップ等による災害リスクの周知			指定が計画策定後
	津波防災地域づくりに関する法律	◎	◎	浸水深 3m以上	浸水深3m以上の範囲は、重点的に災害リスクの内容や対応方法の整理が可能なため、居住誘導区域から除外。3m未満の範囲は2階への重畳避難が可能なため居住誘導区域に含めている。	ハザードマップ等による災害リスクの周知			
洪水災害	特定都市河川浸水被害対策法	×	×		市内のくさくさ部であることかつ浸水深は最大0.5～1m程度であり、2階への重畳避難が可能のため居住誘導区域に含めている。	ハザードマップ等による災害リスクの周知			都市再生特別措置法の改正や災害エリア指定状況を踏まえ、居住誘導区域にどのような反映していくのかを今後検討していく予定
	特定都市河川浸水被害対策法	×	×		市内のくさくさ部であることかつ浸水深は最大0.5～1m程度であり、2階への重畳避難が可能のため居住誘導区域に含めている。	ハザードマップ等による災害リスクの周知			都市再生特別措置法の改正や災害エリア指定状況を踏まえ、居住誘導区域にどのような反映していくのかを今後検討していく予定
	水防法	?	/						指定が計画策定後
	家屋倒壊等危険指定区域（氾濫/河岸浸食）	×	×		本市の災害危険区域は過去の災害状況を踏まえ、1階床高や構造等について制限を定めており、すでに災害に対して十分な配慮がされているため居住誘導区域に含めていない。	左記のとおり、1階床高や構造等について防災上必要な制限をかけることに対応			都市再生特別措置法の改正や災害エリア指定状況を踏まえ、居住誘導区域にどのような反映していくのかを今後検討していく予定
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	×	×						
	災害危険区域（その他の建築物）	×	×						

アンケート実施日	2020/5/27 電話	
担当	都市整備部 都市計画課	神藤様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	区域名	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎						<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	◎	◎						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	◎	◎	土砂災害危険箇所					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／						
	津波災害警戒区域	／	／						受知県から昨年3月に指定があったので、今後検討する
	津波浸水想定区域	×	指定なし	浸水深 指定なし	水路付近等を除くと2m以上を含まないとして、問題ないと判断した	特になし	はい	津波災害警戒区域と同様に、今後は総合的に津波災害に関して除外を検討するかもしれない	
	浸水想定区域	◎	2m以上	2m以上					
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／						
	都市浸水想定区域	／	／						
	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	／						
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	◎	◎						
	災害危険区域（その他の建築物）	◎	◎						

アンケート実施日	2020/5/27	電話
担当	都市整備部 都市計画課	水野様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	区域名	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎				【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）			
	地すべり防止区域	／	／							
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎							
	土砂災害警戒区域	◎	◎							
	土砂災害危険箇所等	？	／	区域名						浸水深は区域としての指定はないが、居住誘導区域を定める際の総合評価の対象となっている
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／							
	津波防災地域づくりに関する法律	／	／							
	津波防災地域づくりに関する法律	／	／							
	津波浸水想定区域	／	／	浸水深 浸水深3m以上 指定なし 浸水深 指定なし						
洪水災害	浸水想定区域	×	×	設定なし 指定あり	全域を除外するのは難しい。よって、利便計画や災害履歴等を踏まえて、総合的に判断している	防災課が防災訓練で情報周知（地区計画）	いいえ		今後、防災指針等を踏直す必要があり、その結果によって変更する可能性はある	「m」という基準ではなく、利便計画や災害履歴等を踏まえて、総合的に決めている
	都市洪水想定区域	／	／							
	特定都市河川浸水被害対策法	／	／							
	特定都市河川浸水被害対策法	／	／							
その他	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	／							
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	◎	◎							
	災害危険区域（その他の建築物）	◎	◎							

アンケート実施日	2020/5/27	電話
担当	都市建設部 都市計画課	小野様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）			
	地すべり防止区域	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	◎	◎		区域名				
	土砂災害危険箇所等	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／						今後は都市型浸水を考え て浸水化も検討したい
	津波災害警戒区域	／	／						
	津波浸水想定区域	／	浸水深 指定なし 浸水深2m以上 指定なし 浸水深3m以上 指定なし	浸水深 指定なし 浸水深3m以上 指定なし	浸水深 指定なし 浸水深3m以上 指定なし				一切含まない
	浸水想定区域	／	／						坂江川流域上流に位置し ており、当初の調査では 基本的に含まないとして いた。
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／						
	都市洪水想定区域	×	×	住民のことを考えても全 域を除外するのは難しい と判断したため	いいえ				次の中間とりまとめで は、議論し直したいといこ ろである
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	／						
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	◎	◎						
	災害危険区域 （その他の建築物）	◎	◎						

アンケート実施日	2020/5/29 電話及びアンケート送信 2020/6/1 アンケート返信
担当	都市政策部 まちづくり推進課 安田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてください	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	／	／						<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	／	／						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	？	／						
	土砂災害危険箇所等	／	？	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	浸水深 浸水深2m以上 浸水深 浸水深3m以上	×	浸水深 浸水深3m以上				
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	？	不明	浸水深 浸水深3m以上	浸水深 浸水深3m以上	いいえ		
	浸水想定区域	水防法	×	設定なし	不明	浸水深 浸水深3m以上	浸水深 浸水深3m以上	いいえ		
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	／						
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	×	本市の計画書P67を参照してください。	本市の計画書P67を参照してください。	いいえ			
	家屋倒壊等危険想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	／						
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	／	／						
その他	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／						

アンケート実施日	2020/5/28 電話	
担当	企画政策部 都市計画課	川口様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎	◎						【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	地すべり防止区域	／	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎	◎						
	土砂災害警戒区域	◎	◎	◎						
	土砂災害危険箇所等	／	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／	／						
	津波災害警戒区域	？	浸水深 設定なし	浸水深が3m以上 指定なし	浸水深 設定なし					
	津波浸水想定区域	／	浸水深 指定なし	浸水深3m以上 指定あり	浸水深 設定なし					
	浸水想定区域	×	設定なし	指定あり	×	設定なし	矢作川が該当するが基本的には堤防を構築したり、掘削等行ったりしている（詳しくは、地域防災計画）	いいえ		
	都市洪水想定区域	／	／	／	／	／				
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／	／	／	／				
	都市洪水想定区域	／	／	／	／	／				
	家屋倒壊等危険想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	／	／	／	／				
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	／	／	／	／	／				
	災害危険区域（その他の建築物）	／	／	／	／	／				

アンケート実施日	2020/5/28 電話及びアンケート送信 2020/6/17 アンケート返信
担当	都市政策部 都市計画課 都市計画係 赤堀様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎					【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	地すべり防止区域	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	×	◎					
	土砂災害警戒区域	×	×	小牧市地域防災計画に基づく土砂災害警戒区域の整備、土砂災害の防止に向けた対策が行われているため	小牧市地域防災計画に基づく土砂災害警戒区域の整備、土砂災害の防止に向けた対策が行われているため	いいえ		
	土砂災害危険箇所等	／	×	急傾斜地崩壊危険箇所	小牧市地域防災計画に基づく土砂災害警戒区域の整備、土砂災害の防止に向けた対策が行われているため	いいえ		
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波浸水想定区域	／	浸水深 指定なし 浸水深3m以上 指定なし	浸水深 指定なし 浸水深3m以上 指定なし	小牧市地域防災計画に基づく津波浸水想定区域の整備、津波の防止に向けた対策が行われているため			
	浸水想定区域	／	水防法	水防法	計画策定時では区域に入っていないため			
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／					
	都市洪水想定区域	／	／					
	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	×	（計画では言及していない）				
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	／	／					
	災害危険区域（その他の建築物）	／	／					39条2項に基づく条例により建築物の建築の禁止されている区域は指定はない。

アンケート実施日	2020/5/28 電話及びアンケート送信 2020/6/3 アンケート返信
担当	まちづくり推進部 都市政策課 林様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	／	／					
	土砂災害警戒区域	×	×					
	土砂災害危険箇所等	？	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／					
	津波災害警戒区域	／	／					
	津波防災地域づくりに関する法律	／	／					
	津波浸水想定区域	？	指定なし					
洪水災害	浸水想定区域	×	不明					
	特定都市河川浸水被害対策法	×	×					
	特定都市河川浸水被害対策法	×	×					
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	×					
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	／	／					
	災害危険区域（その他の建築物）	／	／					

アンケート実施日	2020/5/28 電話及びアンケート送信 2020/6/2 アンケート返信
担当	都市整備部 都市計画課 前田様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域 （土砂災害特別警戒区域に関する法律）	？	／	／						<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	？	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	？	／	／						
	土砂災害警戒区域	？	／	／						
	土砂災害危険箇所等	／	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／	／						
	津波災害警戒区域	／	／	／						
	津波浸水想定区域	／	／	／						
	浸水想定区域	◎	／	／						
洪水災害	都市洪水想定区域	×	／	／						
	都市洪水想定区域	×	×	×						
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	？	／	／						策定時に公表されていない
	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	？	／	／						
その他	災害危険区域 （その他の建築物）	？	／	／						

アンケート実施日	2020/5/28 電話	
担当	都市計画課 都市企画係	藤本様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてください	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	／	／						<div>【凡例】</div> <div>◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</div> <div>×：除外していない</div> <div>？：不明</div> <div>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</div>
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	／	／						
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	／	／						
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	／	／						
	土砂災害危険箇所等	／	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／						
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	浸水深2m以上 指定なし	浸水深 設定なし					
	浸水想定区域	水防法	×	浸水深3m以上 指定なし	浸水深 設定なし	広域部分を除外することになるため難しい。総合的に判断し、含むこととした。	住居による自主防災活動や要知照による河川改修など、行なっている。	いいえ	1m～2mの浸水区域を含む。2m以上も少しだけ含むが9m未満である。	
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	×	×	×	上と同じ	上と同じ	いいえ	1m未満の区域なので、許容できる。5年おきに見直しはしたい。	
洪水災害	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	／	／	／					
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	／	／					今年、新しく洪水ハザードができるので、その際に検討するかもしれない
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	／	／	／					
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／	／					

アンケート実施日	2020/5/29 電話	
担当	都市整備部 都市整備係	加藤様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合		補足
						今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	◎			【凡例】 ◎：除外している （「津波想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	◎	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	×	防災対策済み （本章を参考に）市街化区域内で居住誘導しないと言いつらい	地域にはよるが、防災訓練や非常時の防災無線による情報提供。			
	土砂災害警戒区域	？	×	同上	＋ハードは準備しておらずソフト中心			
	土砂災害危険箇所等	？	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	◎	／					
	津波災害警戒区域	？	／					
	津波浸水想定区域	？	浸水深 2m以上 指定あり 浸水深3m以上	同上	堤防の強化、海岸沿いの液状化防止（スーパー伊勢湾台風に対応できるもの）	いいえ		同上
	浸水想定区域	？	設定なし					
洪水災害	都市洪水想定区域	？	／					
	都市浸水想定区域	？	／					
	家屋倒壊等危険想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	×					
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	◎	／					
	災害危険区域（その他の建築物）	◎	／					

アンケート実施日	2020/5/29 電話	
担当	都市計画部 都市政策課	横田 様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	『×』に該当した場合		補足
				理由	防災対策（あれば） 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）	
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	？	×	策定後追加されたため、中抜きできない。	ハードは地域による。ソフトは、指定時に作成されるハザードマップの配布や、防災訓練、研修会など。	検討
	地すべり防止区域	？	◎			
	急傾斜地崩壊危険区域	×	×	対策工事をを行い、被害軽減できると考えたため、中抜きできない。	ハードは地域による。ソフトは、指定時に作成されるハザードマップの配布や、防災訓練、研修会など。	検討
	土砂災害警戒区域	？	×	策定後追加されたため、中抜きできない	同上	検討
	土砂災害危険箇所等	／	／			
津波災害	津波災害特別警戒区域	？	／			【凡例】 ◎：除外している （「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）
	津波災害警戒区域	？	／			
	津波浸水想定区域	◎	指定あり	浸水深2m以上		
	浸水想定区域	？	設定なし	浸水深3m以上	浸水深 2m以上 設定なし	
洪水災害	都市洪水想定区域	？	／			
	都市浸水想定区域	？	／			
	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	？	×		津波より予測ができる、中心部に多く除外できない。	検討
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	？	／			同上
その他	災害危険区域（その他の建築物）	？	／			
		？	／			

アンケート実施日	2020/6/4 電話
担当	建設部 都市計画課 加藤様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	／	／					<p>【凡例】</p> <p>◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）</p> <p>×：除外していない</p> <p>？：不明</p> <p>／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）</p>
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	／	／					
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	？	／					
	土砂災害危険箇所等	／	？	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／					同様
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	／					
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	？	浸水深 2m以上	浸水深 2m以上	浸水深 2m以上			
	浸水想定区域	水防法	？	浸水深 2m以上	浸水深 2m以上	浸水深 2m以上			
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	指定あり	指定あり	指定あり			<p>H31.3月に策定。作成時の都市計画運用指針(027.1/p.36)を参考とした。「原則含まない」として後述「急な」「～範囲でない場合、急な」「～範囲でない場合、急な」に關しては検討していない。</p> <p>現時点での変更は考えておらず、国や市の土地利用の方針が食われれば、5年ごとの見直しの際に検討する。</p>
	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	浸水深3m以上	浸水深3m以上	浸水深3m以上			
	家屋倒壊等危険浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	設定なし	不明	設定なし			
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	？	／	／	／			
その他	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／	／	／			
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	／	／	／	／			

アンケート実施日	2020/6/4 電話	
担当	企画情報課	高重様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	×	×	×	基本な被害を受ける可能性 が低い区域であるため。	各種HM配布、防災訓練等 による啓発	はい	国から除外するよう指摘を受けている ため	
	地すべり防止区域	／	／	／					
	急傾斜地崩壊危険区域	×	×	×	同上	同上	いいえ		
	土砂災害警戒区域 等における土砂災害 防止対策の推進 に関する法律	×	×	×	同上	同上	いいえ		
	土砂災害危険箇所等	／	／	／					
津波災害	津波災害特別警戒区域 に関する法律	／	／	／					
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／	／					
	津波防災地域づく りに関する法律	／	／	／					
	津波浸水想定区域	／	／	／					
洪水災害	浸水想定区域	／	／	／					
	特定都市河川浸水 被害対策法	／	／	／					
	特定都市河川浸水 被害対策法	／	／	／					
	家屋倒壊等浸水想定区域 （氾濫/河岸浸食）	／	／	／					
その他	災害危険区域 （住居の用に供する建築物）	／	／	／					
	災害危険区域 （その他の建築物）	／	／	／					

【凡例】
◎：除外している
（「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）
×：除外していない
？：不明
／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）

アンケート実施日	2020/5/29 電話
担当	都市整備部 都市計画課 小長谷様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	区域名	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	／	×		指定時は居住誘導区域域内には指定されていなかったが、現在は指定されている。今後の方針については改定時に検討予定。		はい			
	地すべり防止区域	／	／							
	急傾斜地崩壊危険区域	◎	◎							
	土砂災害警戒区域	／	×	急傾斜地崩壊危険箇所	同上		はい			
	土砂災害危険箇所等	／	×	急傾斜地崩壊危険箇所	境界が明確でなく、居住に関する規制がないため		はい			急傾斜地崩壊危険箇所等の災害危険度の評価は、地盤の性状や地質、過去の災害履歴等を踏まえ、居住に関する規制がないため、居住誘導区域とした。（計画書P99）今後の方針については改定時に検討予定。
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／				【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）			
	津波災害警戒区域	／	／							
	津波防災地域づくりに関する法律	浸水深 2m以上	指定あり	浸水深2m以上			はい			平成25年度浸水想定津波浸水深2m以上の範囲は居住誘導区域に含まれていない。（計画書P99）
	津波防災地域づくりに関する法律	浸水深 3m以上	指定あり	浸水深3m以上	計画策定（平成25年度）時点は含まれていないように指定したが、五十鈴川の河川浸食等により、現在は浸水想定区域（3m）が含まれている。（計画書P102）今後の方針については改定時に検討予定。		はい			
洪水災害	都市洪水想定区域	／	／							
	特定都市河川浸水被害対策法	／	／							
	特定都市河川浸水被害対策法	／	／							
その他	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河川浸食）	？	×		指定時は居住誘導区域域内には指定がなかったが、五十鈴川の河川浸食等により、現在は浸水想定区域（3m）が含まれている。（計画書P102）今後の方針については改定時に検討予定。		はい			指定時は居住誘導区域域内には指定がなかったが、五十鈴川の河川浸食等により、現在は浸水想定区域（3m）が含まれている。（計画書P102）今後の方針については改定時に検討予定。
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	／	／							
	災害危険区域（その他の建築物）	／	／							

アンケート実施日	2020/5/29 電話	
担当	産業建設部 都市整備課 都市計画グループ	岡本様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答	理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、調査の予定はあるか （はい/いいえ）	『はい』に該当した場合 可能な範囲で教えてもらう	補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	？	◎		【凡例】 ◎：除外している （「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している） ×：除外していない ？：不明 ／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）		
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	？	◎				
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	？	◎				
	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	？	◎				
	土砂災害危険箇所等	／	？	／				
津波災害	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／				
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	／				
	津波浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	／	指定なし	浸水深2m以上	指定なし	浸水深	
	浸水想定区域	水防法	？	設定なし	浸水深3m以上	指定あり	設定なし	いいえ
洪水災害	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	／				
	都市浸水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	？	／				
	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫/河岸浸食）	水防法	？	◎				
その他	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	建築基準法	？	／				
	災害危険区域（その他の建築物）	建築基準法	？	／				

アンケート実施日	2020/5/29 電話	
担当	都市計画課 開発指導係	吉川様

一次アンケート調査		これまでの調査結果	電話での回答		理由	防災対策（あれば）	『×』に該当した場合 今後、変更の予定はあるか （はい/いいえ）		補足
地盤災害	土砂災害特別警戒区域	◎	×	×	計画策定後の指定	ハザードマップに基づいた対策	はい		
	地すべり防止区域	?	◎						
	急傾斜地崩壊危険区域	?	×		同上	同上			今後は検討
	土砂災害警戒区域	×	×		指針上、必ず除かなければならないため	同上	いいえ		
	土砂災害危険箇所等	／	／						
津波災害	津波災害特別警戒区域	／	／						
	津波災害警戒区域	／	／						
	津波浸水想定区域	／	／						
	浸水想定区域	×	×						0.5m以上除外 3m以上の浸水深の有無は不明
洪水災害	都市洪水想定区域	?	／						
	都市浸水想定区域	?	／						
	家屋倒壊等浸水想定区域（氾濫/河岸浸食）	?	×						部署が別/淀川水系臨部川【国交省hp】
	災害危険区域（住居の用に供する建築物）	?	／						
その他	災害危険区域（その他の建築物）	?	／						

【凡例】
◎：除外している
（「浸水想定区域」「津波浸水想定区域」の場合、設定した浸水深を除外している）
×：除外していない
？：不明
／：対象外である（居住誘導区域に指定なし）

2. 二次調査

(令和2年11月6日～令和2年12月2日)

1-1 岐阜市

アンケート実施日	2020/12/2 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市計画課	山上様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月1日)時点		①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：一部除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由として、「本市の市街地の成立ちや、既存の都市施設等を考慮したため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月1日)時点		(a)当該区域内の住民感情を考慮したため	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「本市の市街地の成立ちや、既存の都市施設等を考慮したため」である。	→	(b)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(c)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
		(d)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
		(e)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
		(f)その他 ()	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (未定)			

1-2 大垣市

アンケート実施日	2020/11/26 アンケート返信	
担当	都市計画部 都市計画課 計画グループ	田中様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
<div> <div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div> </div>	いいえ	
② 当該区域を除外していない理由(広範囲の指定であるため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
<div> <div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「広範囲の指定であるため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きますか。(例：都市構造そのものを移転することになる、土地が無くなる)</div> <div>回答欄 (水害等の危険がある地域に居住している人口は、全人口の8割以上であるため、 浸水想定区域を居住誘導区域から除外することは困難であると考えております。)</div> </div> </div>		
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
(g)その他 (浸水想定区域を居住誘導区域から除外することは困難であると想定しておりますが、本市としては、危機管理体制の整備や地域防災力の向上等、ハード面、ソフト面ともに対策の充実を進めており、災害に強い都市形成を目指しております。)		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		

1-3 多治見市

アンケート実施日	2020/11/16 アンケート返信	
担当	都市計画部 都市政策課	藤田様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div>	<div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	<div>いいえ</div>
②	当該区域を除外していない理由(重要な拠点を含むため)についてさらに詳しく教えてください。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>→</div> <div>②-1 重要な拠点とは具体的に何かお答え下さい。(例：〇〇駅、△△市役所、□□大学)</div> </div>	<div> <div>②-2 ②-1で回答した重要な拠点を含めた当該区域を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きますか。(例：現実的に移転することが厳しくなる)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば ^{全て} 選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		○
	(g)その他(都市計画運用指針に基づき、除外する必要がないと判断したため)		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。		
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (防災指針の策定や、それに伴い居住誘導区域の見直し等について検討する予定)		

1-4 関市

アンケート実施日	2020/12/1	アンケート返信
担当	基盤整備部 都市計画課	長瀬様

Q1 「災害危険区域(その他の建築物) ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
災害危険区域(その他の建築物)は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由として、「インフラに指定がかかっているが、住宅にはかかっていないため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
災害危険区域(その他の建築物)は居住誘導区域から除外していない理由	→	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
は「インフラに指定がかかっているが、住宅にはかかっていないため災害リスクが低いと判断した」である。	→	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
		(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
		(g)その他 (策定当時は完全区域除外の指定が無かったため)	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として○○が導入されることになった)			
回答欄 (道路や水路の一部は区域内にあるものを除外する検討予定)			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (ハザードエリアの除外の関係と合わせて防災指針についても関係課と連携して検討していく予定)			
③-5 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止上必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (今後検討していく)			
Q2 「浸水想定区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(h)その他 (策定当時は完全区域除外の指定が無かったため)			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として○○が導入されることになった)			
回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
④ 一部の範囲を除外するために設定している「浸水深2m以上」の基準について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 本基準を設定する際に参考とした文献名についてお答え下さい。(例：(参考文献)によると、浸水深2m以上は1階の浸水ラインとされているため参考とした)			
回答欄 (なし)			

1-5 美濃加茂市

アンケート実施日	2020/11/25	アンケート返信
担当	建設水道部 都市計画課	有本様

Q1 「浸水想定区域 ^{※3)} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
	浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
②	当該区域を除外していない理由として、「防災対策で安全性が確保されているため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	○
	浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
		(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	○
		(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
		(g)その他 ()	
③	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※10)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		
④	一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深3m以上の区域)		いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 ()		
Q2 「災害危険区域(住居に供する建築物) ^{※4)} 」「災害危険区域(その他の建築物) ^{※5)} 」「地すべり防止区域 ^{※6)} 」「都市洪水想定区域 ^{※7)} 」「都市浸水想定区域 ^{※8)} 」「災害のおそれがある区域 ^{※9)} 」についてお答え下さい。			
①	現在の当該区域の除外状況に関して該当するものを選択して下さい。(○：除外している ×：除外していない /：対象外(市内に指定が無い等))		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果	(a)災害危険区域(住居に供する建築物)	/
	当該区域に関する除外状況について、計画内に記載がみられない。	(b)災害危険区域(その他の建築物)	/
		(c)地すべり防止区域	/
		(d)都市洪水想定区域	/
		(e)都市浸水想定区域	/
		(f)災害のおそれがある区域 区域名()	/
②	(①で「×」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由として該当するものを全て選択して下さい。区域名も記入して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	区域名()	
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	区域名()	
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	区域名()	
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	区域名()	
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	区域名()	
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	区域名()	
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	区域名()	
	(h)その他 ()	区域名()	
③	(①で「×」を選択した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に現在の意向について以下の質問にお答え下さい。区域名も記入して下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	区域名()	
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	区域名()	
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	区域名()	
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※10)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()	区域名()	
	③-5 (①の(b)または(c)で「×」を選択し、③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止上必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{※11)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()	区域名()	

2-1 掛川市

アンケート実施日	2020/11/13 アンケート返信	
担当	都市建設部	原様
	都市政策課	
	計画・土地利用係	

Q1 「浸水想定区域 ^{※1} (3m未満)」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月25日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div>	いいえ	
	<div> <div>浸水想定区域(3m未満)は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> </div>		
	回答欄 ()		
②	除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		○
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(h)その他 (垂直避難等にて対応が可能と思われるため。)		
③	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※3} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 ()		
Q2 「津波浸水想定区域 ^{※2} (2m未満)」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月25日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div>	いいえ	
	<div> <div>津波浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> </div>		
	回答欄 ()		
②	除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		○
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(h)その他 (津波避難等にて対応が可能と思われるため。)		
③	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※3} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 ()		

2-2 富士市

アンケート実施日	2020/11/18 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	新毛様

Q1 「浸水想定区域 ^(※1) 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありませんでした。 いいえ ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
前回の回答(令和2年5月25日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月25日)、当該区域を除外していない理由として「津波及び河川浸水リスクのある一部の区域については、津波避難タワー整備、防潮堤整備(以下、『富士市集約・連携型都市づくり推進戦略 立地適正化計画編(p15)』と同様)といった安全対策を実施している」というご回答頂きました。この点に關しまして、安全性が確保されている理由(根拠)についてももう少し詳しく教えてください。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているなど万全なため) 回答欄 (河川整備やハザードマップの整備などを実施し、警戒避難体制の整備が進んでいるため)
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
(g)その他 ()		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求めらるようになりました ^(※3) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		
Q2 「津波浸水想定区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点 津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありませんでした。 いいえ ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
前回の回答(令和2年5月25日)時点 津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月25日)、当該区域を除外していない理由として「津波及び河川浸水リスクのある一部の区域については、津波避難タワー整備、防潮堤整備(以下、『富士市集約・連携型都市づくり推進戦略 立地適正化計画編(p15)』と同様)といった安全対策を実施している」というご回答頂きました。この点に關しまして、安全性が確保されている理由(根拠)についてももう少し詳しく教えてください。 (※ Q1と同様の場合は未回答の状態でも構いません。) 回答欄 (津波避難タワーの建設やハザードマップの整備などを実施し、警戒避難体制の整備が進んでいるため)
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
(g)その他 ()		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求めらるようになりました ^(※3) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		

Q1 「浸水想定区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありませんでした。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月25日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月25日)、当該区域を除外していない理由として「水害については、海岸堤防整備、ポンプ場整備、河川改修等のハード面の整備(以下、『磐田市立地適正化計画編(p84)』と同様)といった安全対策を実施している」というご回答を頂きました。この点に関しまして、安全性が確保されている理由(根拠)についてもう少し詳しく教えてください。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているなど万全なため) 回答欄 (海岸堤防においては、静岡県第4次地震被害想定レベル2に対応した整備を進めており、またポンプ場や河川改修等については、過去の洪水被害を基に実施されている必要なハード対策整備が進められているため。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			<input type="radio"/>
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			<input type="radio"/>
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (災害リスクの検証や災害対策における取組や事業を整理し、必要であれば見直しの検討をします。)			
Q2 「津波浸水想定区域 ^{*2)} (2m未満)」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点 津波浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、除外状況に変化はありませんでした。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月25日)時点 津波浸水想定区域(2m未満)を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月25日)、当該区域を除外していない理由として「水害については、海岸堤防整備、ポンプ場整備、河川改修等のハード面の整備(以下、『磐田市立地適正化計画編(p84)』と同様)といった安全対策を実施している」というご回答を頂きました。この点に関しまして、安全性が確保されている理由(根拠)についてもう少し詳しく教えてください。 (※ Q1と同様の場合は未回答の状態でも構いません。) 回答欄 (Q1と同様)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			<input type="radio"/>
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			<input type="radio"/>
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (災害リスクの検証や災害対策における取組や事業を整理し、必要であれば見直しの検討をします。)			

2-4 滨松市

アンケート実施日	2020/11/13 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	和久田様

Q1 「浸水想定区域 ^(※1) 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月27日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
前回の回答(令和2年5月27日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「広範囲の指定で市街地を含むため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月27日)、天竜川洪水浸水想定区域を例に当該区域を除外する場合、「市街地としての機能を形成することが困難になる」というご回答を頂きました。この点に関しまして、「機能の形成が困難になる」というのはもう少し具体的に言うと、どういった問題になると考えていますか。 (例：都市構造そのものを変えてしまうことや広大な土地を誘導することがそもそも現実的でない) 回答欄 (上記の例のとおりである。高次都市機能を集積した都心などを誘導区域から除外することなどは、現実的ではない)
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
(g)その他 (洪水に関しては、気象予報等により事前避難が可能であるため)		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※2) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (防災指針の作成し、防災まちづくりの将来像や目標等を明確にし、ハード・ソフトの両面からの安全確保の対策を位置づけることを検討している)		

2-5 静岡市

アンケート実施日	2020/12/1 アンケート返信	
担当	都市局 都市計画部 都市計画課	山西様

Q1 「土砂災害警戒区域 ^(※1) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 「静岡市立地適正化計画 資料編p130-134」には区域ごとに防災対策についての記載がありますが、当該区域における防災対策の具体的な内容はみられませんでした。当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：(ハード)法枠 (ソフト)情報周知、防災訓練) 回答欄 (【ソフト】・静岡市防災情報マップで土砂災害に関するリスク情報について市民に周知。・土砂災害を想定した早めの避難行動の啓発。防災訓練を実施し警戒避難体制の強化。(特に警戒避難の早期避難)【ハード】・急傾斜地に立地した宅地の所有者は、地盤強度を高め土砂災害防止施設の設置。)	
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が図られているため」である。		②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が図られている理由についてお答え下さい。 (例：土砂を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (・住民が事前に避難行動を確認しているため。・土砂を十分にせき止められるため。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q2 「浸水想定区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 「静岡市立地適正化計画 資料編p130-134」には当該区域内における防災対策として、「警戒避難体制の強化、治水機能の推進、雨水貯水浸透施設の設置等」が見られました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：(ハード)堤防 (ソフト)情報周知、防災訓練) 回答欄 (記載にもありますが、具体的には、【ソフト】浸水ひびく地図(内水ハザードマップ)に示す大雨による浸水(内水氾濫)の発生しやすい場所の知識等の災害リスク情報について市民に周知。常時の避難行動の徹底等に努める。)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が図られているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、防災対策で安全性が図られている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (住民が事前に避難行動を確認しているため)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		○	
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		○	
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			

2-5 静岡市

Q3 「都市洪水想定区域 ^(※3) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 「静岡市立地適正化計画 資料編p130-134」には区域ごとに防災対策についての記載がありますが、当該区域における防災対策の具体的な内容はみられませんでした。当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：(ハード)堤防 (ソフト)情報周知、防災訓練)	
都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が図られているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、防災対策で安全性が図られている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (住民が事前に避難行動を確認しているため)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
Q4 「都市浸水想定区域 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 「静岡市立地適正化計画 資料編p130-134」には区域ごとに防災対策についての記載がありますが、当該区域における防災対策の具体的な内容はみられませんでした。当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：(ハード)治水機能の推進 (ソフト)情報周知、防災訓練)	
都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が図られているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、防災対策で安全性が図られている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (Q2の回答と同様)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
Q5 「津波浸水想定区域 ^(※5) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	

2-5 静岡市

② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。	
<p>前回の回答(令和2年5月29日)時点</p> <p>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が図られているため」である。</p>	<p>②-1 「静岡市立地適正化計画 資料編p130-134」には当該区域内における防災対策として、「防潮堤の嵩上げ、水門・河口護岸の新しい耐震基準等、庁舎の再整備等」が見られました。その他、当該区域内では特</p> <p>にどのような防災対策を行なっていますか。(例：(ハード)津波避難施設の整備、住宅地盤の嵩上げ (ソフト)情報周知、防災訓練)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、防災対策で安全性が図られている理由についてお答え下さい。</p> <p>(例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</p> <p>回答欄 (・津波による避難場所を整備し安全を確保しているため。 ・住民が事前に避難行動を確認しているため。)</p>
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため	<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため	<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	<input type="radio"/>
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	<input type="radio"/>
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	<input type="radio"/>
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	<input type="radio"/>
(g)その他 ()	<input type="radio"/>
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	<input type="radio"/>
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	<input type="radio"/>
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	<input type="radio"/>
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)	
回答欄 ()	
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
回答欄 ()	

2-6 沼津市

アンケート実施日	2020/11/25	アンケート返信
担当	都市計画部 まちづくり政策課	上田様

Q1 「急傾斜地崩壊危険区域 ^[※1] 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	はい
急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 (策定時点 (H31.4.1) で急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されています。)	
② 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h)その他 ()			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^[※4] が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
③-5 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^[※5] が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q2 「浸水想定区域 ^[※2] 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	②-1 「沼津市立地適正化計画 p53」には当該区域内における防災対策として、「堤防整備、情報周知、避難体制の整備、新たなハザードマップの作成、事前避難行動の徹底等」が見られました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。 回答欄 (津波洪水等の災害に強い住宅についての調査・研究)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全であるため) 回答欄 (津波深、発生頻度、避難施設の設置状況等、様々な情報を総合的に勘案し、居住誘導区域の在り方を検討していきます。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^[※4] が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (浸水深、発生頻度、避難施設の設置状況等、様々な情報を総合的に勘案し、居住誘導区域の在り方を検討していきます。)			
Q3 「津波浸水想定区域 ^[※3] 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	

2-6 沼津市

② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。	
<p>前回の回答(令和2年5月28日)時点</p> <p>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。</p>	<p>②-1 「沼津市立地適正化計画 p53」には当該区域内における防災対策として、「津波避難困難地区の指定と解消、避難行動の改善等」が見られました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：防波堤の強化、津波避難施設の整備)</p> <p>回答欄 (都市機能誘導施設に耐浪性を条件付け、避難施設の確保を推進しています。)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。(例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</p> <p>回答欄 (住民が避難行動を確認しているため。※津波避難困難地区は居住誘導区域から除外)</p>
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば <u>全て</u> 選択して下さい。	
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため	チェック欄 <input type="radio"/>
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため	<input type="checkbox"/>
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	<input type="checkbox"/>
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	<input type="checkbox"/>
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	<input type="checkbox"/>
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	<input type="checkbox"/>
(g) その他 ()	<input type="checkbox"/>
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	チェック欄 <input type="checkbox"/>
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ <input type="checkbox"/>
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)	
回答欄 ()	
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
回答欄 (津波に対しては、現行の立地適正化計画に対策を位置付けているため、防災指針はこれを踏襲しながら検討していく考えです。)	
⑤ 市独自の取り組みである「津波避難困難地区」について以下の質問にお答え下さい。	
⑤-1 当該地区を指定した理由についてお答え下さい。 (例：広大な指定範囲を除外するのは困難であるため、特に被害想定が大きいと見込まれる地区を一部除外しようと考えたため)	
<small>前答欄(静岡県第4次被害想定を踏まえ、沼津市では津波対策計画を策定しました。策定にあたり、住民たちと避難行動について確認を行いました。どうしても避難が困難な地区がありました。このため、津波避難困難地区を定めています。)</small>	
⑤-2 当該地区について検討する際に参考とした文献等についてお答え下さい。	
回答欄 ()	

2-7 袋井市

アンケート実施日	2020/11/25 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市計画課	山田様

Q1 「浸水想定区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(広範囲の指定であるため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「広範囲の指定であるため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月28日)、当該区域と居住誘導区域の大半が重なっているというご回答を頂きました。 仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる、土地が無くなる、そもそも現実的に厳しい) 回答欄 (まちが成り立たなくなる)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b) 当該区域内の住民感情を考慮したため			<input type="radio"/>
(c) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			<input type="radio"/>
(g) その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (明確には決まっています。国や他市町の状況を見ながらの判断になると思います。)			

アンケート実施日	2020/11/26	アンケート返信
担当	建設経済部 都市計画課	野澤様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大で人口の30%が居住しているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で人口の30%が居住しているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、指定が広大で人口の30%が居住しているため、当該区域を全面的に除外することは到底不可能であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる、土地が無くなる、多くの住民の了承が必要になる)</div> <div>回答欄 (・都市施設の誘導が難しくなる。・用途地域や地区計画を設定しているが、今まで行ってきたまちづくり政策に矛盾が生じる。・重要な拠点が除外されることとなり、計画の方針である集約連携型都市構造の構築を目指すことが難しくなる。)</div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば <u>全て</u> 選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			<input type="radio"/>
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			<input type="radio"/>
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			<input type="radio"/>
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			<input type="radio"/>
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			<input type="radio"/>
(g)その他 (・地形的特徴から河川周辺に中心市街地が形成されているため。 ・すでに一定の生活サービスやコミュニティが構築されているため。 ・居住誘導区域内人口密度は2015年時点で62.4人/haであり、2038年度点においても40人/ha以上の人口密度を確保できる見込みとなっており、将来においても人口が十分に維持されることが見込まれるため。)			<input type="radio"/>
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (当町は、令和5年度に立地適正化計画の見直しを検討しています。それに伴い見直しの前に、関係各課や関係機関との協議を実施しながら「防災指針」を作成し、計画に盛り込んでいくと同時に、浸水想定区域に対する居住誘導区域の見直しや施策等の見直しを行っていきたいと考えています。)			

アンケート実施日	2020/11/24 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市政策課	岩瀬様

Q1 「土砂災害警戒区域 ^(※1) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため			
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			○
(f) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h) その他 ()			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※3) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (現時点で除外に関する見直しは行っていないが、今後、見直しについての検討は行う予定です。)			
Q2 「浸水想定区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「IoT(河川水位、雨量観測システム)、避難勧告マニュアルの作成、ハザードマップの配布、避難訓練等」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。 回答欄 (マイ・タイムラインの作成)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (これまでハードやソフト両面から対策を行ってきた結果、昭和57年の台風18号以降、河川の決壊などの大規模な被害が起きていないため。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため			
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			○
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g) その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※3) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (現時点で除外に関する見直しは行っていないが、今後、見直しについての検討は行う予定です。)			

2-10 伊豆の国市

アンケート実施日	2020/11/16	アンケート返信
担当	都市整備部 都市計画課	鈴木様

Q1 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	はい
急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 (※こちらの表記ミスで当該区域は除外しています。このため、下記の回答欄への記入はありません。)	
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	②-1 都市機能誘導区域の中でも重要な拠点として当該区域から影響されているのは具体的に何かお答え下さい。(例：〇〇駅、△△市役所、□□大学)	回答欄 ()
急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「都市機能誘導区域に接しているため」である。		②-2 仮に重要な拠点を含めた当該区域を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 ()	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が広範囲の指定であるため			
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q2 「浸水想定区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大で居住誘導区域が無くなるため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、指定が広大で居住誘導区域が無くなるため、当該区域を全面的に除外することは到底不可能であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全範囲を居住誘導区域から除外すると、居住誘導区域が無くなる他にどのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる、そもそも現実的に厳しい) 回答欄 (土地価格が下がるなど、住民への影響が考えられる。これらでの都市計画の変遷による市街地形成の方針が根本から覆ってしまう、様々な方針との齟齬が生じてしまう。)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で居住誘導区域が無くなるため」である。			
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			○
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (今年度、国が防災ガイドラインを作成し自治体に示すとしており、今後の計画見直しの際にその方針に基づいた項目を盛り込む予定。また、浸水被害の根本となる内水対策として流域治水の強化を国・県・市町が連携して行っていくことが決定しており、今後、その方針も踏まえて当該区域の在り方を検討していくことになると考えている。)			

2-10 伊豆の国市

Q3 「液状化危険区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			チェック欄
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。	<p>前回の回答(令和2年5月28日)時点</p> <p>液状化危険区域は居住誘導区域から除外されていない。</p>	<p>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</p> <p>回答欄 ()</p>	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大で居住誘導区域が無くなるため)についてさらに詳しく教えて下さい。	<p>前回の回答(令和2年5月28日)時点</p> <p>液状化危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で居住誘導区域が無くなるため」である。</p>	<p>②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、指定が広大で居住誘導区域が無くなるため、当該区域を全面的に除外することは到底不可能であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全範囲を居住誘導区域から除外すると、居住誘導区域が無くなる他にどのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる、そもそも現実的に厳しい)</p> <p>回答欄 (Q2 ②の回答と同様) ()</p>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			<input type="radio"/>
(b) 当該区域内の住民感情を考慮したため			<input type="radio"/>
(c) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			<input type="radio"/>
(g) その他(建築工法により危険リスクが軽減されると考えられるため)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※4} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (一例として、新築・改築時における何らかの支援(建築工法への補助等)が考えられる。)			
⑤ 市独自で「液状化危険区域」を除外検討の対象にした背景について以下の質問にお答え下さい。			
⑤-1 当該区域を除外検討の対象にした理由についてお答え下さい。			
回答欄 ()			
⑤-2 除外について検討する際に参考とした文献等についてお答え下さい。			
回答欄 ()			

2-11 長泉町

アンケート実施日	2020/11/19 アンケート返信	
担当	建設計画課	木村様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div> </div>	<div>いいえ</div>	
②	当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査では、当該区域を除外していないのは貼壺公園付近であり、その防災対策として「浸水対策機能の整備」を行なうことで浸水被害を軽減しているといったご回答を頂きました。その浸水対策について具体的に教えてください。(例：堤防、地盤の嵩上げ、避難訓練)</div> <div>回答欄 (公園区域の一部に雨水を貯留する。)</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 (周辺への浸水が防止できるため。)</div> </div>		
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		○
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (検討中。)		

アンケート実施日	2020/11/18 アンケート返信	
担当	計画まちづくり部 都市計画課	岡本様

Q1 「浸水想定区域 ^{※4} (家屋倒壊等氾濫想定区域以外)」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果 浸水想定区域(家屋倒壊等氾濫想定区域以外)は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 公表日(令和元年8月1日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
記載状況を踏まえた調査結果 浸水想定区域(家屋倒壊等氾濫想定区域以外)を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	→	②-1 「三島市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策として「ハザードマップの配布、警戒避難体制の整備、事前避難の周知と実施」といった記載がありました。これら防災対策以外に当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。(例：堤防、地盤の嵩上げ、治水施設の整備) 回答欄 (狩野川水系河川整備計画(国)や狩野川水系中流田方平野ブロック河川整備計画(県)等により、治水事業を整備。) ②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (安全性が確保されているのではなく、リスク低減の取組を実施していきます。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため	本市では、「防災対策で安全性が確保されているため」ではなく、「ハザードマップ・地域防災計画等によって警戒避難体制の整備等を推進している。また、気象情報、河川水位観測データ等に基づき事前避難を周知・徹底しリスクを低減する。」ことから、居住誘導区域に含むこととしております。(計画書P41)		○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他(家屋倒壊等氾濫想定区域は、「事象発生後瞬時」に人命や財産に甚大な影響が予想されることから除外。それ以外の区域は事前の準備が可能と判断し、含めることとしました。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (計画の見直しについては、市都市計画マスタープランの改訂に合わせ検討していきたいと考えます。)			
⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
⑤-1 一部の範囲を除外するため、家屋倒壊等氾濫想定区域以外に基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深3m以上の区域)			いいえ
⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 ()			

2-13 森町

アンケート実施日	2020/11/19	アンケート返信
担当	建設課 都市計画係	加藤様

Q1 「浸水想定区域 ^{*3)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年6月11日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
記載状況を踏まえた調査結果	→	②-1 「森町立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策として「河川改修、ハザードマップの配布、警戒避難体制の整備」といった記載がありました。これら防災対策以外に当該区域内で行われている防災対策について教えてください。(例：堤防、地盤の嵩上げ、治水施設の整備、防災訓練)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。		回答欄 (なし)	
		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (「安全性が確保されている」とは記載していない。防災対策によりリスクを低減していくこととしている。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (具体的な見直し時期・内容は未定。防災指針を作成した上で、災害リスクのある区域を誘導区域に含める可能性があると考えられる。)			
⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深3m以上の区域、家屋倒壊等氾濫想定区域)			いいえ
⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。			
回答欄 ()			
Q2 「土砂災害警戒区域 ^{*1)} 」についてお答え下さい。			
① 現在の当該区域の除外状況に関して該当するものを1つ選択して下さい。			チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果	→	○：除外している	
当該区域に関する除外状況について、計画内に記載がみられない。		×：除外していない	○
		／：対象外(市内に指定が無い等)	
② (①で「×」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由として該当するものを全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(h)その他 ()			
③ (①で「×」を選択した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (具体的な見直し時期・内容は未定。防災指針を作成した上で、災害リスクのある区域を誘導区域に含める可能性があると考えられる。)			
Q3 「土砂災害危険箇所 ^{*4)} 」についてお答え下さい。			
① 現在の当該区域の除外状況に関して該当するものを1つ選択して下さい。			チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果	→	○：除外している	
当該区域に関する除外状況について、計画内に記載がみられない。		×：除外していない	○
		／：対象外(市内に指定が無い等)	

2-13 森町

② (①で「×」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由として該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため	
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため	
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
(f) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
(h) その他 ()	
③ (①で「×」を選択した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として○○が導入されることになった)	
回答欄 ()	
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが	
求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
回答欄 (具体的な見直し時期・内容は未定。防災指針を作成した上で、災害リスクのある区域を誘導区域に含める可能性があると考えられる。)	

3-1 蒲郡市

アンケート実施日	2020/11/25 アンケート返信	
担当	都市開発部 都市計画課 計画開発担当	大塩様

Q1 「土砂災害警戒区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(鉄道駅周辺等、重要な拠点を含むため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	②-1 前回(令和2年5月28日)、鉄道駅周辺等の重要な拠点を含むため、除外することができないという回答を頂きましたが、その拠点について具体的に教えて下さい。(例：〇〇駅、△△市役所、□□大学)	
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「鉄道駅周辺等、重要な拠点を含むため」である。		回答欄 (JR三河大塚駅・三河三谷駅・蒲郡駅・三河塩津駅、名鉄蒲郡駅・蒲郡競艇場前駅・三河鹿島駅・形原駅・西浦駅(市内の全拠点))	
		②-2 仮に重要な拠点を含めた当該区域を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい)	
		回答欄 (特に重大な問題の発生は想定されない)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が広範囲の指定であるため			
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 (鉄道駅周辺地域であること、基盤整備の状況、人口の集積状況等を踏まえると、『歩いて便利に生活できる拠点の形成(まちづくり基本方針)』に資する地域であるため。(前回アンケート回答内容))			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (防災指針の検討時に他のバグドエリアや都市構造等も踏まえて除外の可否を検討したい。防災指針の検討は、立適の定期見直し(5年ごと)に合わせて行いたい。)			
Q2 「津波災害警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 愛知県が公表している「津波災害警戒区域の指定について ^{*7)} 」と「蒲郡市立地適正化計画(2-1~2-17)」に記載されている居住誘導区域を照らし合わせてみたところ、一部の居住誘導区域が当該区域を含めているように見えました。令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	チェック欄 いいえ
津波災害警戒区域は対象外(市内に指定が無い、居住誘導区域外である等)である。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容についてお答え下さい。	
		回答欄 ()	
② (①-2で「除外していない」と回答した場合) 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			○
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h)その他 ()			
③ (①-2で「除外していない」と回答した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (防災指針の検討時に他のバグドエリアや都市構造等も踏まえて除外の可否を検討したい。防災指針の検討は、立適の定期見直し(5年ごと)に合わせて行いたい。)			
Q3 「浸水想定区域 ^{*3)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	

3-1 蒲都市

②	除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(h)その他（浸水想定区域が設定されていないため）		
③	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄（ ）		
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。（答えられる範囲で構いません） 回答欄（水防法に基づく浸水想定区域が設定されれば、防災指針の検討時に他の「ハードエリア」や都市構造等も踏まえて除外の要否を検討したい。防災指針の検討は、立地の定期見直し(5年ごと)に合わせて行いたい。）		
Q4	「津波浸水想定区域 ^(※4) (2m未満)」についてお聞かせ下さい。		
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>津波浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	<div> <div>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄（ ）</div> </div>	<div>いいえ</div>
②	除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		○
	(h)その他（鉄道駅周辺地域であること、基盤整備の状況、人口の集積状況等を踏まえると、「歩いて便利に生活できる拠点の形成(まちづくり基本方針)」に資する地域であるため。）		
③	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄（ ）		
	③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。（答えられる範囲で構いません） 回答欄（防災指針の検討時に他の「ハードエリア」や都市構造等も踏まえて除外の要否を検討したい。防災指針の検討は、立地の定期見直し(5年ごと)に合わせて行いたい。）		
④	一部の範囲を除外するために2m以上の基準を設定した背景について以下の質問にお答え下さい。		
	①-1 当該基準を設定した理由についてお答え下さい。 回答欄（木造建築物で全壊となる割合が飛躍的に増加する傾向があるため）		
	①-2 当該基準を設定する際に参考とした文献等についてお答え下さい。 回答欄（津波被災市街地復興手法検討調査(H24.4国土交通省都市局)）		
Q5	「土砂災害危険箇所 ^(※5) 」についてお聞かせ下さい。		
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>土砂災害危険箇所は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	<div> <div>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄（ ）</div> </div>	<div>いいえ</div>
②	当該区域を除外していない理由(鉄道駅周辺等、重要な拠点を含むため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月28日)時点</div> <div>土砂災害危険箇所を居住誘導区域から除外していない理由は「鉄道駅周辺等、重要な拠点を含むため」である。</div> </div>	<div> <div>②-1 前回(令和2年5月28日)、鉄道駅周辺等の重要な拠点を含むため、除外することができないという回答を頂きましたが、その拠点について具体的に教えて下さい。(例：〇〇駅、△△市役所、□□大学) 回答欄（JR三河大塚駅・三河三谷駅・蒲郡駅・三河塩津駅・名鉄蒲郡駅・蒲郡競艇場前駅・三河鹿島駅・形原駅・西浦駅(市内の全拠点)）</div> <div>②-2 仮に重要な拠点を含めた当該区域を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄（特に重大な問題の発生は想定されない）</div> </div>	

3-1 蒲郡市

③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が広範囲の指定であるため	
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
	(g)その他（ 鉄道駅周辺地域であること、基盤整備の状況、人口の集積状況等を踏まえると、『歩いて便利に生活できる拠点の形成(まちづくり基本方針)』に資する地域であるため。 ）	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	はい
	④-2 （④-1で「はい」を選択した場合） 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ
	④-3 （④-2で「はい」を選択した場合） 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として○○が導入されることになった) 回答欄（ ）	
	④-4 （④-2で「いいえ」を選択した場合） 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*6} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。（答えられる範囲で構いません） 回答欄（ 防災指針の検討時に他のハザードエリアや都市構造等も踏まえて除外の要否を検討したい。防災指針の検討は、立地の定期見直し(5年ごと)に合わせて行いたい。 ）	

3-2 名古屋市

アンケート実施日	2020/11/27 アンケート返信	
担当	住宅都市局 都市計画部 都市計画課	高橋様

Q1 「災害危険区域(住居に供する建築物)^(※1)」についてお聞かせ下さい。

① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。	チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点 災害危険区域(住居に供する建築物) は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div> ①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 () </div> </div>	<input type="text" value="いいえ"/>
② 当該区域を除外していない理由(1階床高や構造等に関する制限といった防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。	
<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点 災害危険区域(住居に供する建築物) を居住誘導区域から除外していない理由 は「1階床高や構造等に関する制限 といった防災対策で安全性が確保 されているため」である。</div> <div>→</div> <div> ②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「1階床高や構造等に関する制限」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：防災訓練、情報周知、地盤の嵩上げ) 回答欄 (この区域に限定した対策ではないですが、地域防災計画や災害対策実施計画等において防災対策が位置付けられています。) ②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (過去最大規模(伊勢湾台風)の被害想定を踏まえ、1階床高や構造等についての制限を定めており、すでに災害に対して十分な配慮がされているため) </div> </div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため	<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため	<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	<input type="radio"/>
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	<input type="radio"/>
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	<input type="radio"/>
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	<input type="radio"/>
(g)その他 ()	<input type="radio"/>
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	<input type="text" value="はい"/>
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	<input type="text" value="いいえ"/>
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※8) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (臨海部防災区域の指定が安全確保策の一つであると考えており、防災指針に位置づけることも含めて検討していきたいと考えています。)	

Q2 「災害警戒区域(その他の建築物)^(※1)」についてお聞かせ下さい。

① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。	チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点 災害危険区域(その他の建築物)は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div> ①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 () </div> </div>	<input type="text" value="いいえ"/>
② 当該区域を除外していない理由(1階床高や構造等に関する制限といった防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。	
<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点 災害危険区域(その他の建築物)を居住誘導区域から除外していない理由 は「1階床高や構造等に関する制限 といった防災対策で安全性が確保 されているため」である。</div> <div>→</div> <div> ②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「1階床高や構造等に関する制限」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：防災訓練、情報周知、地盤の嵩上げ) 回答欄 (この区域に限定した対策ではないですが、地域防災計画や災害対策実施計画等において防災対策が位置付けられています。) ②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (過去最大規模(伊勢湾台風)の被害想定を踏まえ、1階床高や構造等についての制限を定めており、すでに災害に対して十分な配慮がされているため) </div> </div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため	<input type="radio"/>
(b)当該区域が広範囲の指定であるため	<input type="radio"/>
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	<input type="radio"/>
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	<input type="radio"/>
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	<input type="radio"/>
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	<input type="radio"/>
(g)その他 ()	<input type="radio"/>
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	<input type="text" value="はい"/>
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	<input type="text" value="いいえ"/>
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※8) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (臨海部防災区域の指定が安全確保策の一つであると考えており、防災指針に位置づけることも含めて検討していきたいと考えています。)	
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^(※9) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (三河湾沿岸低地(臨海部防災区域)は、過去最大規模(伊勢湾台風)の被害想定を踏まえ、1階床高や構造等についての制限を定めており、すでに災害に対して十分な配慮がされていると考えています。)	

3-2 名古屋市

Q3 「津波災害警戒区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点	→	①-1 愛知県が公表している「津波災害警戒区域の指定について ^(※10) 」と「なごや集約連携型まちづくりプラン(p126-135)」に記載されている居住誘導区域を照らし合わせてみたところ、一部の居住誘導区域が当該区域を含めているように見えました。令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波災害警戒区域は対象外(市内に指定が無い、居住誘導区域外である等)である。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	
② (①-2で「除外していない」と回答した場合) 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			○
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h)その他 ()		津波災害警戒区域は現行計画策定後に指定されたため、現居住誘導区域については考慮されていません。ただし、愛知県が平成26年に公表した津波浸水想定は考慮しているため、現行の範囲となっています。	
③ ②で「除外していない」と回答した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことに基づき、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例:当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※8) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (ハザードの一つとして捉え、居住誘導区域及び防災指針の作成について検討していきたいと考えています。)			
Q4 「浸水想定区域 ^(※3) (3m未満)」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点	→	①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域(3m未満)は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例:除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(事前避難といった防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年6月2日)時点	→	②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「事前避難の実施、ハザードマップによる情報周知」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例:堤防の整備、地盤の嵩上げ、治水施設の整備) 回答欄 (この区域に限定した対策ではないですが、地域防災計画や災害対策実施計画等に基づき防災対策が位置付けられています。)	
浸水想定区域(3m未満)を居住誘導区域から除外していない理由は「事前避難といった防災対策で安全性が確保されているため」である。		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例:浸水に十分に抑えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (防災対策ではないが、浸水深が3m未満の場合は一般的な住宅の2階床高以下の浸水であると示されており、3m未満であれば2階への垂直避難により人命を確保することができると考えられるため)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例:当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※8) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (ハザードの一つとして捉え、居住誘導区域及び防災指針の作成について検討していきたいと考えています。)			
Q5 「都市洪水想定区域 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点	→	①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例:除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(市内のごく一部で災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年6月2日)時点	→	②-1 前回(令和2年6月2日)、当該区域が市内のごく一部の指定であることから、災害リスクが低いと判断したというご回答を頂きました。その他、その判断の要因となったものがあれば教えて下さい。 回答欄 (区域がごく一部かつ、浸水深は最大で0.5~1m程度であり、2階への垂直避難が可能のため)	
都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「市内のごく一部で災害リスクが低いと判断したため」である。		②-2 仮に当該区域を除外した場合、どのような問題が起きると考えられますか。 (例:居住誘導区域の中抜きすることになり、一部の住民に移転を要することになる) 回答欄 (他の水害と居住誘導区域から除外する基準に違いが生じる)	

3-2 名古屋市

<p>③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。</p> <p>(a)当該区域が重要な拠点を含むため</p> <p>(b)当該区域が広範囲の指定であるため</p> <p>(c)当該区域内の住民感情を考慮したため</p> <p>(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため</p> <p>(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため</p> <p>(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため</p> <p>(g)その他 ()</p>	<p>チェック欄</p>
<p>④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。</p> <p>④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。</p> <p>④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。</p> <p>(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました^(※5)が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)</p> <p>回答欄 (当該区域は洪水浸水想定区域の区域内であるので、洪水浸水想定区域において検討をしていきたいと考えています。)</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>Q6 「都市浸水想定区域^(※5)」についてお聞かせ下さい。</p>	
<p>① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。</p> <p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</p> <p>→</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>② 当該区域を除外していない理由(市内のごく一部で災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えてください。</p> <p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「市内のごく一部で災害リスクが低いと判断したため」である。</p> <p>→</p>	<p>②-1 前回(令和2年6月2日)、当該区域が市内のごく一部の指定であることから、災害リスクが低いと判断したというご回答を頂きました。その他、その判断の要因となったものがあれば教えてください。</p> <p>回答欄 (区域がごく一部かつ、浸水深は最大で0.5～1m程度であり、2階への垂直避難が可能のため)</p> <p>②-2 仮に当該区域を除外した場合、どのような問題が起きると考えられますか。</p> <p>(例：居住誘導区域を中抜きすることになり、一部の住民に移転を強要することになる)</p> <p>回答欄 (他の水害と居住誘導区域から除外する基準に違いが生じる)</p>
<p>③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。</p> <p>(a)当該区域が重要な拠点を含むため</p> <p>(b)当該区域が広範囲の指定であるため</p> <p>(c)当該区域内の住民感情を考慮したため</p> <p>(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため</p> <p>(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため</p> <p>(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため</p> <p>(g)その他 ()</p>	<p>チェック欄</p>
<p>④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。</p> <p>④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。</p> <p>④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。</p> <p>(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました^(※5)が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)</p> <p>回答欄 (当該区域は洪水浸水想定区域の区域内であるので、洪水浸水想定区域において検討をしていきたいと考えています。)</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>Q7 「津波浸水想定区域^(※6)(2m未満)」についてお聞かせ下さい。</p>	
<p>① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。</p> <p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>津波浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。</p> <p>→</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>② 当該区域を除外していない理由(事前避難といった防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。</p> <p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>津波浸水想定区域(2m未満)を居住誘導区域から除外していない理由は「事前避難といった防災対策で安全性が確保されているため」である。</p> <p>→</p>	<p>②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「事前避難の実施、ハザードマップによる情報周知」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：堤防の整備、地盤の嵩上げ、治水施設の整備)</p> <p>回答欄 (この区域に限定した対策ではないですが、地域防災計画や災害対策実施計画等において防災対策が位置付けられています。)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</p> <p>(例：浸水に十分に抑えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</p> <p>回答欄 (防災対策ではないが、津波の場合は浸水深が2m以上から建物が倒壊する可能性が高くなるという調査結果が示されており、2m未満であれば2階への垂直避難により人命を確保することができると考えられるため)</p>
<p>③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。</p> <p>(a)当該区域が重要な拠点を含むため</p> <p>(b)当該区域が広範囲の指定であるため</p> <p>(c)当該区域内の住民感情を考慮したため</p> <p>(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため</p> <p>(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため</p> <p>(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため</p> <p>(g)その他 ()</p>	<p>チェック欄</p>

3-2 名古屋市

④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※8)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (ハザードの一つとして捉え、居住誘導区域及び防災指針の作成について検討していきたいと考えています。)		
Q8 「土砂災害危険箇所 ^{※7)} 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点 土砂災害危険箇所は居住誘導区域から除外されていない。	①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由として、「指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点 土砂災害危険箇所を居住誘導区域から除外していない理由は「指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため」である。	(a)当該区域が重要な拠点を含むため (b)当該区域が広範囲の指定であるため (c)当該区域内の住民感情を考慮したため (d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため (f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため (g)その他 ()	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※8)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (土砂災害危険箇所については、公表時点の危険箇所であり、その後土砂災害危険箇所の要件がなくなっている箇所もあるとのこと、必ずしも危険な箇所というわけではないので、考慮に入れる予定はありません。)		

3-3 豊川市

アンケート実施日	2020/11/19 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	神藤様

Q1 「津波災害警戒区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月27日)時点 津波災害警戒区域は対象外(市内に指定が無い、居住誘導区域外である等)である。	→	①-1 愛知県が公表している「津波災害警戒区域の指定について ^{※5} 」と「豊川市立地適正化計画(p103-153)」に記載されている居住誘導区域を照らし合わせてみたところ、一部の居住誘導区域が当該区域を含めているように見えました。令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ
② (①-2で「除外していない」と回答した場合) 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h)その他 (除外基準等を整理し、計画を改定予定。)			
③ (①-2で「除外していない」と回答した場合) 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※4} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (除外基準等を整理し、計画を改定予定。)			
Q2 「浸水想定区域 ^{※2} (2m未満)」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月27日)時点 浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	チェック欄 いいえ
② 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			○
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h)その他 ()			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※4} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (防災指針についての対応は検討中。)			
④ 一部の範囲を除外するために2m以上の基準を設定した背景について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 当該基準を設定する際に参考とした文献として「豊川市洪水ハザードマップ」がありますが、当該文献には浸水深2m以上が「家屋の軒下が浸水し、市民と個人資産の安全性が著しく低下するライン」と記載されています。この根拠となった文献(国土交通省、愛知県の報告等)について教えてください。 回答欄 (本市立地適正化計画においては、「津波被災市街地復興手法検討調査(平成24年4月国土交通省都市局)」の内容を踏まえ、豊川市洪水ハザードマップによる浸水深2m以上のエリアを除外しています。)			
Q3 「津波浸水想定区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月27日)時点 津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	チェック欄 いいえ
② 当該区域を除外していない理由(水路付近を除くと2m以上を含まないことから問題ないと判断したため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月27日)時点 津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「水路付近を除くと2m以上を含まないことから問題ないと判断したため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月27日)のアンケート調査で、被災状況が大きく変わるとされる「2m以上の浸水区域」を含まないため、居住誘導区域から当該区域を除外しないといったご回答を頂きました。居住誘導区域に含めている「2m未満の浸水区域」に関しては、現在どのような対応を取られていますか。 回答欄 (策定当初から変更なし。) ②-2 仮に当該区域を全て除外した場合、どのような問題が起きると考えられますか。 回答欄 (不明。)	

3-3 豊川市

③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
	(g)その他 ()	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)	
	回答欄 ()	
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが	
	求められるようになりました ^(※4) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
	回答欄 (防災指針についての対応は検討中。)	

3-4 弥富市

アンケート実施日	2020/11/16 アンケート返信	
担当	建設部 都市整備課	大河内様

Q1 「津波災害警戒区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年6月5日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
記載状況を踏まえた調査結果	→	②-1 「弥富市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策の具体的な記載が見られませんでした。当該区域内で行われている防災対策について教えてください。 (例：地盤の嵩上げ、防災訓練、警戒避難体制の整備、防波堤の強化、津波避難タワーの設置)	
津波災害警戒区域は居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。		回答欄 (防災部局と連携しつつ、避難場所への指定の協力を引き続き呼び掛けていくものとしています。また、平成31年3月に策定した「第2次弥富市総合計画」の施策目標1「防災対策の推進」でその目標を掲げており、浸水時の緊急避難場所の確保を重点施策と位置付けています。その他にも、「弥富市津波避難計画」、「津波避難計画ガイド・津波ハザードマップ」などを策定し、津波への対策は他の計画で位置付けを行い、その実現化を進めています。以上のことより、「弥富市立地適正化計画」で具体的な記載はしていません。)	
		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (Q1 ②-1と同様)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>	
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ	
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (現時点では、取扱いの変更はないが、今後、「防災指針」の記載について検討を進める必要があると考えております。)			
⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深2m以上の区域)		いいえ	
⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。			
回答欄 ()			
Q2 「浸水想定区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年6月5日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
記載状況を踏まえた調査結果	→	②-1 「弥富市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策の具体的な記載が見られませんでした。当該区域内で行われている防災対策について教えてください。 (例：河川改修、地盤の嵩上げ、治水施設の整備、防災訓練、警戒避難体制の整備、堤防の強化)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。		回答欄 (Q1 ②-1と同様)	
		②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (Q1 ②-1と同様)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>	
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			

3-4 弥富市

<p>④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。</p> <p>④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。</p> <p>④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()</p> <p>④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました^{*4}が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (現時点では、取扱いの変更はないが、今後、「防災指針」の記載について検討を進める必要があると考えております。)</p>	<p>チェック欄</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p>			
<p>⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深3m以上の区域、家屋倒壊等氾濫想定区域)</p> <p>⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>			
<p>Q3 「津波浸水想定区域^{*3}」についてお聞かせ下さい。</p>				
<p>① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。</p> <table border="1" data-bbox="209 595 662 707"> <tr> <td data-bbox="209 595 478 707"> <p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</p> </td> <td data-bbox="478 595 662 707"> <p>→</p> </td> <td data-bbox="662 595 1348 707"> <p>①-1 公表日(令和2年6月5日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()</p> </td> </tr> </table>	<p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</p>	<p>→</p>	<p>①-1 公表日(令和2年6月5日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</p>	<p>→</p>	<p>①-1 公表日(令和2年6月5日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()</p>		
<p>② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。</p> <table border="1" data-bbox="209 730 662 920"> <tr> <td data-bbox="209 730 478 920"> <p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</p> </td> <td data-bbox="478 730 662 920"> <p>→</p> </td> <td data-bbox="662 730 1348 920"> <p>②-1 「弥富市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策の具体的な記載が見られませんでした。当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。 (例：地盤の嵩上げ、防災訓練、警戒避難体制の整備、防波堤の強化、津波避難タワーの設置) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p> </td> </tr> </table>	<p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</p>	<p>→</p>	<p>②-1 「弥富市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策の具体的な記載が見られませんでした。当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。 (例：地盤の嵩上げ、防災訓練、警戒避難体制の整備、防波堤の強化、津波避難タワーの設置) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p>	
<p>記載状況を踏まえた調査結果</p> <p>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</p>	<p>→</p>	<p>②-1 「弥富市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策の具体的な記載が見られませんでした。当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。 (例：地盤の嵩上げ、防災訓練、警戒避難体制の整備、防波堤の強化、津波避難タワーの設置) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p> <p>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (Q1 ②-1と同様)</p>		
<p>③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。</p> <p>(a)当該区域が重要な拠点を含むため</p> <p>(b)当該区域が広範囲の指定であるため</p> <p>(c)当該区域内の住民感情を考慮したため</p> <p>(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため</p> <p>(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため</p> <p>(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため</p> <p>(g)その他 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>○</p>			
<p>④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。</p> <p>④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。</p> <p>④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()</p> <p>④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました^{*4}が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (現時点では、取扱いの変更はないが、今後、「防災指針」の記載について検討を進める必要があると考えております。)</p>	<p>チェック欄</p> <p>はい</p> <p>いいえ</p>			
<p>⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。</p> <p>⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深2m以上の区域)</p> <p>⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>			

アンケート実施日	2020/11/20 アンケート返信	
担当	都市建設部 街づくり推進課	武田様

Q1 「津波浸水想定区域 ^{※5} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果 津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
②	当該区域を除外していない理由(避難が十分に可能であるため)についてさらに詳しく教えてください。		
	記載状況を踏まえた調査結果 津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「避難が十分に可能であるため」である。	②-1 「田原市立地適正化計画」では、3拠点の内2拠点で当該区域の検討を行っており、いずれもほとんどの浸水深が1.0m未満で津波到達時間が80～100分であることから、十分な避難が可能であると考え居住誘導区域に含めています。このように避難可能の観点から居住誘導区域を設定しているのは他の市町では全く見られませんでした。当該観点から検討した理由についてお答え下さい。 回答欄 (浸水深は最大クラスの想定であること。また、既に立地している居住や都市機能があるため。)	
		②-2 当該観点から検討した際に参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 (愛知県津波浸水想定、他市町村の立地適正化計画)	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		<input type="radio"/>
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		<input type="radio"/>
	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		<input type="radio"/>
	(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(h)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※7} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		
⑤	一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深2m以上の区域)		いいえ
	⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。 回答欄 ()		

アンケート実施日	2020/11/19 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	藤埴様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月27日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
②	当該区域を除外していない理由(指定が広大で除外するのが難しいため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	前回の回答(令和2年5月27日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で除外するのが難しいため」である。	②-1 前回(令和2年5月27日)のアンケート調査で、全ての範囲を除外するのは難しいため、利便性評価や災害履歴などを踏まえて総合的に判断しているといったご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい)	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (R3年度から防災指針の作成準備を行うため、その中で検討を行う予定)		

3-7 東郷町

アンケート実施日	2020/11/17	アンケート返信
担当	都市建設部 都市計画課	野々山様

Q1 「都市浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月27日)時点	→	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(住民感情を考慮すると全域を除外するのは難しいと判断したため)についてさらに詳しく教えてください。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月27日)時点	→	②-1 除外について検討する際、実際に住民の方から意見を聞きましたか。	いいえ
都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「住民感情を考慮すると全域を除外するのは難しいと判断したため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) その内容と直面した問題についてお答え下さい。 (例：住宅移転に関して財政的に厳しい、今の住んでいる地域から離れたくない) 回答欄 ()	
		②-3 仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 ()	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			○
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (該当地域について河川改修の計画や治水対策、住民へのハザードマップ周知、防災訓練の推進などの取組を進めることから除外しない。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (具体的に見直し内容は決まっていないが、今後立地適正化計画の改定又は見直しの際に追加していく。)			

アンケート実施日	2020/11/16 アンケート返信	
担当	都市政策部 まちづくり推進課	安田様

Q1 「津波災害警戒区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>津波災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	いいえ
② 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため			
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(h) その他 (前回の回答(令和2年6月1日)の際に、回答の入力を忘れています。他の区域同様、本市の計画書P67を参照してください。)			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (当該区域に関する法の記載、実際の区域、現地の状況ともに変化はありません。今回の法改正のみを背景に取扱いが変わるものではないと考えます。)			
Q2 「浸水想定区域 ^{※2} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 前回(令和2年6月1日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「ハザードマップの配布、警戒避難体制の強化、防災無線の整備等」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：地盤の嵩上げ、堤防、河川改修)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため			
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g) その他 (過去調査で回答済み【計画書P67】)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (当該区域に関する法の記載、実際の区域、現地の状況ともに変化はありません。今回の法改正のみを背景に取扱いが変わるものではないと考えます。)			
Q3 「都市浸水想定区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	いいえ

3-8 刈谷市

② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div>	→	<div> <div>②-1 前回(令和2年6月1日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「ハザードマップの配布、警戒避難体制の強化、防災無線の整備等」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：地盤の嵩上げ、治水施設の整備)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div> </div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			チェック欄
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (過去調査で回答済み【計画書P67】)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			チェック欄
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。			
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (当該区域に関する法の記載、実際の区域、現地の状況ともに変化はありません。今回の法改正のみを背景に取扱いが変わるものではないと考えます。)			
Q4 「津波浸水想定区域 ^{*4)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div> <div>①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	<div> <div>チェック欄</div> <div>いいえ</div> </div>
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月1日)時点</div> <div>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div>	→	<div> <div>②-1 前回(令和2年6月1日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「ハザードマップの配布、警戒避難体制の強化、防災無線の整備等」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：地盤の嵩上げ、防波堤、津波避難タワー)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 (過去調査で回答済み【計画書P67】)</div> </div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			チェック欄
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (過去調査で回答済み【計画書P67】)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			チェック欄
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。			
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (当該区域に関する法の記載、実際の区域、現地の状況ともに変化はありません。今回の法改正のみを背景に取扱いが変わるものではないと考えます。)			

3-9 豊田市

アンケート実施日	2020/11/24 アンケート返信	
担当	企画政策部 都市計画課	川口様

Q1 「浸水想定区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→ ①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
②	当該区域を除外していない理由(指定が広大で豊田駅周辺の中心市街地を含むため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で豊田駅周辺の中心市街地を含むため」である。	→ ②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、豊田駅周辺の中心市街地が3m以上の浸水区域を含めていること等から、全ての範囲を除外するのは難しいという回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (都市構造そのものが変わってしまう。そもそも移転することが難しい)	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		<input type="radio"/>
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(d)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 (現時点では、浸水想定区域における居住誘導区域の除外について十分な検討ができていない。)		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 (今後、「立地適正化計画作成の手引き」に応じて防災指針の作成及び居住誘導区域の再検討を実施する予定)		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (防災指針を作成し、浸水想定区域等を踏まえた居住誘導区域の設定を検討する予定)		

アンケート実施日	2020/11/24	アンケート返信
担当	都市政策部 都市計画課	白木様

Q1 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 (崩壊危険区域について、市域内で指定なし(前回回答が誤りです。))</div> </div>		
②	当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 前回(令和2年6月17日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「小牧市防災ガイドブックの配布による情報周知、警戒避難体制の整備、避難訓練の実施」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：法枠等のハード対策)</div> <div>回答欄 ()</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*6} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 ()		
	④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないことすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止上必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*7} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 ()		
Q2 「土砂災害警戒区域 ^{*2} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		いいえ
②	当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 前回(令和2年6月17日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「小牧市防災ガイドブックの配布による情報周知、警戒避難体制の整備、避難訓練の実施」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：えん堤、法枠等のハード)</div> <div>回答欄 (特になし)</div> <div>②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)</div> <div>回答欄 (前回回答のとおり)</div> </div>		
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		○
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*6} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (中間見直しの折に、防災指針の作成にあわせ検討する)		

3-10 小牧市

Q3 「浸水想定区域 ^(※3) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月17日)時点	→	①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(計画策定後に新たに指定されたため)についてさらに詳しく教えてください。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月17日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に新たに指定されたため」である。	→	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、指定が広大であるため) 回答欄 ()	
	→	②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため) 回答欄 (中間見直しの折に検討する)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		○	
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ	
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (中間見直しの折に、防災指針の作成にあわせ検討する)			
Q4 「都市浸水想定区域 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月17日)時点	→	①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		○	
(h)その他 ()			
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい	
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ	
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※6) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (中間見直しの折に、防災指針の作成にあわせ検討する)			
Q5 「急傾斜地崩壊危険箇所 ^(※5) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月17日)時点	→	①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
急傾斜地崩壊危険箇所は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年6月17日)時点	→	②-1 前回(令和2年6月17日)のアンケート調査では、当該区域内の防災対策として「小牧市防災ガイドブックの配布による情報周知、警戒避難体制の整備、避難訓練の実施」といったご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。(例：えん堤、法枠等のハード) 回答欄 (特になし)	
急傾斜地崩壊危険箇所を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	→	②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水被害に十分耐えられるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄 (前回回答のとおりに)	

3-10 小牧市

③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
	(g)その他 ()	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として○○が導入されることになった)	
	回答欄 ()	
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*6} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
	回答欄 (中間見直しの折に、防災指針の作成にあわせ検討する)	

3-11 春日井市

アンケート実施日	2020/11/13 アンケート返信	
担当	まちづくり推進部 都市政策課	梅山様

Q1 「土砂災害警戒区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月3日)時点	→	①-1 令和2年6月3日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(計画策定後に新たに指定されたため)についてさらに詳しく教えてください。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月3日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に新たに指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが困難であると判断したため)	
		回答欄 ()	
		②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)	
		回答欄 (指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
(g)その他 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)			
Q2 「浸水想定区域 ^{※2} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月3日)時点	→	①-1 令和2年6月3日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年6月3日)時点	→	②-1 前回(令和2年6月3日)のアンケート調査で、指定が広大で都市機能や住宅が集積しているところを含めていることから除外は困難であるというご回答を頂きました。また、前々回(令和元年1月20日)の電話でのアンケート調査でも、当該区域は居住誘導区域の約20%を含めているというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため」である。		回答欄 (既に都市機能や住宅が集積しているため、居住誘導区域から除外しても現実的に移転が困難。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)			
Q3 「都市洪水想定区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月3日)時点	→	①-1 令和2年6月3日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	

3-11 春日井市

②	当該区域を除外していない理由(指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため)についてさらに詳しく教えて下さい。	チェック欄
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 前回の回答(令和2年6月3日)時点 都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため」である。 </div> <div style="margin: 0 10px; text-align: center;"> </div> <div style="width: 60%;"> ②-1 前回(令和2年6月3日)のアンケート調査で、指定が広大で都市機能や住宅が集積しているところを含めていることから除外は困難であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (既に都市機能や住宅が集積しているため、居住誘導区域から除外しても現実的に移転が困難。) </div> </div>	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
	(g)その他 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)	
Q4	「都市洪水想定区域 ^(※5) 」についてお聞かせ下さい。	
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。	チェック欄
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 前回の回答(令和2年6月3日)時点 都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。 </div> <div style="margin: 0 10px; text-align: center;"> </div> <div style="width: 60%;"> ①-1 令和2年6月3日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 () </div> </div>	いいえ
②	当該区域を除外していない理由(指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため)についてさらに詳しく教えて下さい。	
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 前回の回答(令和2年6月3日)時点 都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大で都市機能や住宅が集積していたため」である。 </div> <div style="margin: 0 10px; text-align: center;"> </div> <div style="width: 60%;"> ②-1 前回(令和2年6月3日)のアンケート調査で、指定が広大で都市機能や住宅が集積しているところを含めていることから除外は困難であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (既に都市機能や住宅が集積しているため、居住誘導区域から除外しても現実的に移転が困難。) </div> </div>	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
	(g)その他 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (令和4～5年度の計画見直し時に考え方を整理予定。)	

3-12 安城市

アンケート実施日	2020/11/18 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	宮地様

Q1 「浸水想定区域 ^{※1} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄 いいえ
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div> <div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> </div> <div> <div>回答欄 ()</div> </div>		
②	当該区域を除外していない理由(最大雨量に耐えうる堤防により災害リスクを軽減しているため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>→</div> <div>②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査で、浸水は最悪を想定していることに加え、堤防は150年に1度の雨量に耐えうるものであるため、2m以上の浸水区域では甚大な被害はないと判断しているというご回答を頂きました。その他、当該区域内では特にどのような防災対策を行なっていますか。 (例：防災訓練、情報周知、警戒避難体制の整備等のソフト対策)</div> </div> <div> <div>回答欄 (避難勧告等の判断・伝達マニュアルの整備、浸水被害に対する事前周知、自主防災訓練の実施)</div> </div>		
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄 いいえ
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※3} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (除外に関する見直しの予定はないが、今後関係部局と検討していく必要があると考えている。)		
Q2 「都市浸水想定区域 ^{※2} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄 いいえ
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div> <div> <div>都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> <div>→</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> </div> <div> <div>回答欄 ()</div> </div>		
②	当該区域を除外していない理由(浸水深が0.5m未満で災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月2日)時点</div> <div>→</div> <div>②-1 前回(令和2年6月2日)のアンケート調査で、浸水深が0.5m未満であることから災害リスクが低いと判断し居住誘導区域に含めたというご回答を頂きました。そのように判断した理由について具体的に教えてください。(例：浸水深0.5m未満は(文献)より想定される被害が小さいと考えられるため)</div> </div> <div> <div>都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「浸水深が0.5m未満で災害リスクが低いと判断したため」である。</div> <div>→</div> <div>②-2 仮に当該区域を除外した場合、どのような問題が起きると考えられますか。</div> </div> <div> <div>回答欄 (住民に移転を強要することになる)</div> </div>		
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄 いいえ
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※3} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (除外に関する見直しの予定はないが、今後関係部局と検討していく必要があると考えている。)		

3-13 知立市

アンケート実施日	2020/11/27	アンケート返信
担当	都市整備部 都市計画課 都市企画係	得能様

Q1 「浸水想定区域 ^{#1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大であるため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大であるため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、指定が広大なため除外は困難であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (現在、居住されている方の移転場所の確保などが現実的に厳しい)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (引き続き河川改修が進められるとともに住民の防災活動が継続的に実施されているため災害リスクが軽減される見込みと判断している為)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{#3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (本市における災害が主に河川等氾濫による浸水のため、浸水想定高の高い地域についての防災対策等の記載)			
Q2 「都市洪水想定区域 ^{#2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点 都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
② 当該区域を除外していない理由(指定が広大であるため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点 都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が広大であるため」である。	→	②-1 前回(令和2年5月28日)のアンケート調査で、指定が広大なため除外は困難であるというご回答を頂きました。仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものが変わってしまう、そもそも移転することが現実的に厳しい) 回答欄 (現在、居住されている方の移転場所の確保などが現実的に厳しい)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (引き続き河川改修が進められるとともに住民の防災活動が継続的に実施されているため災害リスクが軽減される見込みと判断している為)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{#3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (本市における災害が主に河川等氾濫による浸水のため、浸水想定高の高い地域についての防災対策等の記載)			

アンケート実施日	2020/11/25	アンケート返信
担当	都市計画課	伊藤様

Q1 「浸水想定区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
	浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
②	当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	記載状況を踏まえた調査結果	②-1 「豊明市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策として「河川改修、ハザードマップの作成と公表、防災訓練、防災行政無線の設置」といった記載がありました。これら防災対策以外に当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。(例：地盤の嵩上げ、治水施設の整備)	
	浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (愛知県の河川整備計画)	
		回答欄 (防災訓練実施、ただし近年の災害を考えると100%の安全性確保とは言い切れない)	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (未定)		
⑤	一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深3m以上の区域、家屋倒壊等氾濫想定区域)		いいえ
	⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。		
	回答欄 ()		
Q2 「都市洪水想定区域 ^(※3) 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	記載状況を踏まえた調査結果	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
	都市洪水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
②	当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	記載状況を踏まえた調査結果	②-1 「豊明市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策として「雨水排水施設等の整備、防災教育、防災訓練、情報周知」といった記載がありました。これら防災対策以外に当該区域内で行われている防災対策について教えて下さい。(例：堤防の強化、地盤の嵩上げ、河川改修)	
	都市洪水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
		回答欄 (愛知県の河川整備計画)	
		回答欄 (防災訓練実施、ただし近年の災害を考えると100%の安全性確保とは言い切れない)	
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (未定)		

3-14 豊明市

⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深0.5m以上の区域)		いいえ
⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。		
回答欄 ()		
Q3 「都市浸水想定区域 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
都市浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
	回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。		
記載状況を踏まえた調査結果	②-1 「豊明市立地適正化計画」では、当該区域内の防災対策として「雨水排水施設等の整備、防災教育、防災訓練、情報周知」といった記載がありました。これら防災対策以外に当該区域内で行われている防災対策について教えてください。(例：地盤の嵩上げ、治水施設の整備)	
都市浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。	②-2 当該区域内での防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため)	
	回答欄 (防災訓練実施、ただし近年の災害を考えると100%の安全性確保とは言い切れない)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
(g)その他 ()		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
回答欄 (未定)		
⑤ 一部の範囲を除外するための基準等の設定について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
⑤-1 一部の範囲を除外するため、基準等の設定は行なっていますか。(例：浸水深0.5m以上の区域)		いいえ
⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) その内容と参考とした文献についてお答え下さい。		
回答欄 ()		

4-1 桑名市

アンケート実施日	2020/11/9 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市整備課	佐藤様

Q1 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 当該区域内でどのような防災対策を行っていますか。ハード、ソフトに分けてお答え下さい。 (例：(ハード)法枠、堤防、津波避難タワー (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>回答欄 (ソフト)情報周知 ()</div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 (安全を確保されているとはいいい難いため、今後区域から除外予定です。)</div>	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 (土砂法のレッド指定など、随時指定区域が追加されるものについては、区域除外として次期の計画更新時に反映させる予定です。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (土砂法のレッド指定など、随時指定区域が追加されるものについては、区域除外として次期の計画更新時に反映させる予定です。)			
Q2 「土砂災害警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性を確保されているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 当該区域内でどのような防災対策を行っていますか。ハード、ソフトに分けてお答え下さい。 (例：(ハード)法枠、堤防、津波避難タワー (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>回答欄 (ソフト)情報周知 ()</div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 (安全を確保されているとはいいい難いため、今後区域から除外予定です。)</div>	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (土砂法のレッド指定など、随時指定区域が追加されるものについては、区域除外として次期の計画更新時に反映させる予定です。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (土砂法のレッド指定など、随時指定区域が追加されるものについては、区域除外として次期の計画更新時に反映させる予定です。)			

4-1 桑名市

Q3 「浸水想定区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 当該区域内でどのような防災対策を行っていますか。ハード、ソフトに分けてお答え下さい。 (例：(ハード)法枠、堤防、津波避難タワー (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>回答欄 ((ハード)堤防、津波避難タワー (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 (浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div>	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (浸水想定区域については、計画更新時に、ハード、ソフト対策を確認したうえで、必要に応じて区域除外を検討します。)			
Q4 「津波浸水想定区域 ^{※4} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性が確保されているため)についてさらに詳しく教えてください。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「防災対策で安全性が確保されているため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 当該区域内でどのような防災対策を行っていますか。ハード、ソフトに分けてお答え下さい。 (例：(ハード)法枠、堤防、津波避難タワー (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>回答欄 ((ハード)堤防、河川防災センター (ソフト)情報周知、防災訓練)</div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 (浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div>	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (津波浸水想定区域については、計画更新時に、ハード、ソフト対策を確認したうえで、必要に応じて区域除外を検討します。)			

4-2 津市


アンケート実施日	2020/11/25	アンケート返信
担当	都市計画部 都市政策課	水谷様

Q1 「土砂災害特別警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(計画策定後に指定されたため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため) 回答欄 ()	
②-3 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため) 回答欄 (計画策定後概ね5年の見直し時に検討する予定であったため)			
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域の防災対策が図られているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (計画策定後に指定されたため)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 (当該区域の除外)			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			
Q2 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(対策工事を行うことで被害軽減できると考えたため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 前回(令和2年5月29日)のアンケート調査では、当該区域を除外していない理由として、「対策工事を行うことで被害軽減できる」といったご回答を頂きました。また、「津市立地適正化計画」のp.38においても「急傾斜地崩壊危険区域は、市街化区域内に3箇所存在するが、安全対策が実施済みであることから区域に含める」と記載されています。これらの点に関しまして、当該区域(3箇所)で災害リスクまたは安全性を確保するために行われている対策について具体的に教えて下さい。 回答欄 (安全対策として急傾斜地崩壊防止施設が施工済みであるため)	
急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「対策工事を行うことで被害軽減できると考えたため」である。			
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 (当該区域の除外)			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			

4-2 津市

Q3 「土砂災害警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	いいえ	
②	(①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(計画策定後に指定されたため)についてさらに詳しく教えて下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に指定されたため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。</div> <div>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため)</div> <div>回答欄 ()</div> <div>②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)</div> <div>回答欄 (計画策定後概ね5年の見直し時に検討する予定であったため)</div> </div>	いいえ	
③	(①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(e)当該区域内の防災対策が図られているため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (未定)		
Q4 「浸水想定区域 ^{*3)} 」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	いいえ	
②	(①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(指定が(市街地)中心部に多いため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が(市街地)中心部に多いため」である。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>②-1 前回(令和2年5月29日)のアンケート調査では、当該区域を除外していない理由として、「指定が(市街地)中心部に多いため」というご回答を頂きました。この点に関しまして、仮に当該区域の全ての範囲を除外する場合、どのような問題が起きると考えられますか。 (例：都市構造そのものを変えてしまうことや広大な土地を誘導することがそもそも現実的でない)</div> <div>回答欄 (これまで投資を進めてきた賑化市街地への影響が大きく、災害リスクのない範囲での市街地形成が難しいため。)</div> </div>		
③	(①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		○
	(b)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		
	(e)当該区域内の防災対策が図られているため		
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 (洪水対策は、天候、河川の状況等について事前の状況を把握でき、状況に応じた避難等も可能であるため。)		
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)		
	回答欄 ()		
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)		
	回答欄 (未定)		
Q5 「津波浸水想定区域 ^{*4)} (2m未満)」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>津波浸水想定区域(2m未満)は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div> <div>→</div> <div> <div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>	いいえ	

4-2 津市

②	①で「いいえ」を選択した場合 当該区域を除外していない理由(指定が(市街地)中心部に多いため)についてさらに詳しく教えて下さい。							
前回の回答(令和2年5月29日)時点 津波浸水想定区域(2m未満)を居住誘導区域から除外していない理由は「指定が(市街地)中心部に多いため」である。		②-1 前回(令和2年5月29日)のアンケート調査では、当該区域を除外していない理由として、「指定が(市街地)中心部に多いため」というご回答を頂きました。また、前々回(令和元年11月28日)のアンケート調査でも、「沿岸部に市街地が形成されている都市が多い」というご回答を頂きました。これらの点に関しまして、仮に当該区域の全ての範囲を除外する場合、どのような問題が起きると考えられますか。(例：都市構造そのものを壊してしまうことや広大な土地を誘導することがそもそも現実的でない) 回答欄 (これまで投資を進めてきた既成市街地への影響が大きく、災害リスクのない範囲での市街地形成が難しいため。)						
③	①で「いいえ」を選択した場合 その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。							
(a)当該区域が重要な拠点を含むため (b)当該区域内の住民感情を考慮したため (c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため (e)当該区域内の防災対策が図られているため (f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため (g)その他 ()	<table border="1"> <tr> <th>チェック欄</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	チェック欄	○					
チェック欄								
○								
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。							
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。 ④-2 ④-1で「はい」を選択した場合 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。 ④-3 ④-2で「はい」を選択した場合 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 () ④-4 ④-2で「いいえ」を選択した場合 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)	<table border="1"> <tr> <th>チェック欄</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">いいえ</td> </tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> <tr><td> </td></tr> </table>	チェック欄	いいえ					
チェック欄								
いいえ								

4-3 松阪市

アンケート実施日	2020/12/1	アンケート返信
担当	建設部 都市計画課	青木様

Q1 「浸水想定区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div>	<div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		いいえ
<div> <div>② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため)についてさらに詳しく教えて下さい。</div> </div>			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>→</div> <div>②-1 前回(令和2年6月17日)、都市計画運用指針に記載されている「原則含まないこととすべきである区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」及び「～適当でない場合、含まないこととすべきである区域(浸水想定区域等)」について、前者は除外の検討をしているが、後者は検討をしていないということをアンケートにて回答して頂きました。後者について、除外の検討をしていない理由についてお答え下さい。</div> </div>	<div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全選で選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。			
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (立地適正化計画の見直し時期に併せて取り扱ひの検討を行っていく。)			
Q2 「津波浸水想定区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>→</div> <div>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> </div>	<div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		いいえ
<div> <div>② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(防災対策で安全性を確保されているため)についてさらに詳しく教えて下さい。</div> </div>			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div>→</div> <div>②-1 当該区域内でどのような防災対策を行っていますか。ハード、ソフトに分けてお答え下さい。</div> </div>	<div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>		
<div> <div>②-2 ②-1で回答した防災対策により、安全性が確保されている理由についてお答え下さい。</div> <div>(例：土砂、浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</div> <div>回答欄 ()</div> </div>			
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全選で選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。			
(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*3)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (立地適正化計画の見直し時期に併せて取り扱ひの検討を行っていく。)			

4-4 朝日町

アンケート実施日	2020/11/10	アンケート返信
担当	企画情報課	高重様

Q1 「土砂災害特別警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月4日)時点</div> <div>土砂災害特別警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	いいえ
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(住民感情を考慮したため)についてさらに詳しく教えて下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月4日)時点</div> <div>土砂災害特別警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「住民感情を考慮したため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 除外について検討する際、実際に住民の方から意見を聞きましたか。</div> <div>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) その内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：住宅移転に関して財政的に厳しい、今の住んでいる地域から離れたくない)</div> <div>回答欄 ()</div> <div>②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 聞かなかった理由についてお答え下さい。(例：指定範囲が大きくなり、住民全員の意見を把握しきれないと判断したため)</div> <div>回答欄 (現在において調査未実施のため。)</div>	いいえ
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 (当該区域から除外する予定)			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
Q2 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年6月4日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。(例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	いいえ
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
<div> <div>前回の回答(令和2年6月4日)時点</div> <div>急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「災害リスクが低いと判断したため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。(例：指定範囲がインフラまたは狭小的であり、住宅に影響がないため)</div> <div>回答欄 (既に崩壊防止の対策が講じられているため。)</div> <div>②-2 当該区域を居住誘導区域から外すと、どのような問題が起きますか。(例：一部の指定範囲を中抜きすることになり、その住民のみ移転を強要することになる)</div> <div>回答欄 ()</div>	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			○
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (未定)			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (既に対策防止が講じられている)			

4-4 朝日町

Q3 「土砂災害警戒区域 ^{※2} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月4日)時点	→	①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年6月4日)時点	→	②-1 災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。(例：指定範囲がインフラまたは狭小的であり、住宅に影響がないため) 回答欄 (レッドゾーンほどの影響が見られないため。)	
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「災害リスクが低いと判断したため」である。	→	②-2 当該区域を居住誘導区域から外すと、どのような問題が起きますか。(例：一部の指定範囲を中抜きすることになり、その住民のみ移転を強要することになる) 回答欄 (影響範囲が広く、除外してから住民移転等のケアができない。)	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		○	
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			
Q4 「浸水想定区域 ^{※3} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月4日)時点	→	①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
前回の回答(令和2年6月4日)時点	→	②-1 災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。(例：指定範囲がインフラまたは狭小的であり、住宅に影響がないため) 回答欄 (浸水深が比較的浅いこと、避難等による対策で補完できると考えるため。)	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「災害リスクが低いと判断したため」である。	→	②-2 当該区域を居住誘導区域から外すと、どのような問題が起きますか。(例：一部の指定範囲を中抜きすることになり、その住民のみ移転を強要することになる) 回答欄 (影響範囲が広く、除外してから住民移転等のケアができない。)	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		○	
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)			
Q5 「津波浸水想定区域 ^{※4} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
前回の回答(令和2年6月4日)時点	→	①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	

4-4 朝日町

② ①で「いいえ」を選択した場合 当該区域を除外していない理由(災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えて下さい。	
前回の回答(令和2年6月4日)時点 津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「災害リスクが低いと判断したため」である。	②-1 災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。(例：指定範囲がインフラまたは狭小的であり、住宅に影響がないため) 回答欄 (浸水深が比較的浅いこと、避難による対策で補完できると考えるため。)
	②-2 当該区域を居住誘導区域から外すと、どのような問題が起きますか。(例：一部の指定範囲を中抜きすることになり、その住民のみ移転を強要することになる) 回答欄 (影響範囲が広く、除外してから住民移転等のケアができない。)
③ ①で「いいえ」を選択した場合 その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。	
(a)当該区域が重要な拠点を含むため	チェック欄
(b)当該区域が広範囲の指定であるため	○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	
(g)その他 ()	
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	いいえ
④-2 ④-1で「はい」を選択した場合 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	
④-3 ④-2で「はい」を選択した場合 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()	
④-4 ④-2で「いいえ」を選択した場合 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (未定)	

4-5 伊勢市

アンケート実施日	2020/11/25	アンケート返信
担当	都市整備部 都市計画課	大野様

Q1 「土砂災害特別警戒区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	①-1 令和2年6月12日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(計画策定後に指定されたため)についてさらに詳しく教えて下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため)	
		回答欄 ()	
		②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)	
		回答欄 (計画見直しについては、令和3年度より着手する予定であるため)	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 (災害レッドゾーンの居住誘導区域からの除外、より詳細な災害リスク分析と防災指針の策定(リスク軽減のためのハード・ソフト両面からの対策検討))			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*6)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			
Q2 「土砂災害警戒区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	①-1 令和2年6月12日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(計画策定後に指定されたため)についてさらに詳しく教えて下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため)	
		回答欄 ()	
		②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)	
		回答欄 (計画見直しについては、令和3年度より着手する予定であるため)	
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 (より詳細な災害リスク分析による居住誘導区域からの除外検討、防災指針の策定(リスク軽減のためのハード・ソフト両面からの対策検討))			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 ()			

4-5 伊勢市

Q3 「浸水想定区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	①-1 令和2年6月12日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(計画策定後に指定されたため)についてさらに詳しく教えてください。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため) 回答欄 ()	
②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため) 回答欄 (計画見直しについては、令和3年度より着手する予定であるため)			()
③ (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 (浸水深3m以上の区域の居住誘導区域からの除外、より詳細なリスク分析による防災指針の策定(リスク軽減のためのハード・ソフト両面からの対策検討))			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q4 「津波浸水想定区域 ^(※3) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	①-1 令和2年6月12日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			○
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 (計画見直しについては、令和3年度より着手する予定であるため)			()
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			はい
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 (より詳細な災害リスク分析による居住誘導区域の見直し検討、防災指針の策定(リスク軽減のためのハード・ソフト両面からの対策検討))			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q5 「急傾斜地崩壊危険箇所 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	①-1 令和2年6月12日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
急傾斜地崩壊危険箇所は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② (①で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由(災害リスクが低いと判断したため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年6月12日)時点	→	②-1 災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。(例：指定範囲がインフラまたは狭小的であり、住宅に影響がないため) 回答欄 (左記のように回答していない(別紙参照)。境界が明確でなく、居住に関する規制がないため)	
急傾斜地崩壊危険箇所を居住誘導区域から除外していない理由は「災害リスクが低いと判断したため」である。		②-2 当該区域を居住誘導区域から外すと、どのような問題が起きますか。(例：一部の指定範囲を中抜きすることになり、その住民のみ移転を強要することになる) 回答欄 (そもそも境界が明確でないので、除外することが困難)	

4-5 伊勢市

③	①で「いいえ」を選択した場合 その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。	チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
	(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため	
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
	(g)その他 (境界が明確でなく、居住に関する規制がないため)	
④	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
	④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。	はい
	④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。	いいえ
	④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。	
	(例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)	
	回答欄 ()	
	④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*5} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)	
	回答欄 (境界が明確でないことから、詳細な分析を行うことが難しいと考えられる。リスク分析が可能かどうか、その必要性も併せて今後検討していく。)	

4-6 四日市市

アンケート実施日	2020/11/18 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	杉浦様 計画グループ

Q1 「土砂災害警戒区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由として、「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」である。		(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
		(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
		(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
		(g)その他 ()	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q2 「浸水想定区域 ^(※3) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由として、「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」である。		(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
		(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
		(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
		(g)その他 ()	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q3 「津波浸水想定区域 ^(※4) 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
津波浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由として、「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい		チェック欄	
記載状況を踏まえた調査結果	→	(a)当該区域が重要な拠点を含むため	
津波浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「避難の迅速化に向けた体制の整備等の防災対策が図られているため」である。		(b)当該区域が広範囲の指定であるため	
		(c)当該区域内の住民感情を考慮したため	
		(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
		(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
		(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	○
		(g)その他 ()	
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄	
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ	
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			

4-6 四日市市

Q4 「地震被害が想定される区域」「液状化の危険度が高い区域」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
記載状況を踏まえた調査結果	→	①-1 公表日(令和2年3月31日)から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
地震被害が想定される区域、液状化の危険度が高い区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(指定が全域であり、除外することが現実的でないため)についてさらに詳しく教えてください。			
記載状況を踏まえた調査結果	→	②-1 四日市市立地適正化計画のp.26には、当該区域を除外していない理由として「指定が全域であり、除外することが現実的でないため」といった記載があります。その詳細として、p.35には当該区域の指定範囲が示されており、客観的な視点からも除外することは難しいように考えられます。本質問では、この「困難である」という根拠を客観的に明らかにするため、現実的でない背景についてもう少し詳しくお聞きしたいと思います。具体的に「除外することが現実的でない」というのは、どのような問題が考えられますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる、土地が無くなる) 回答欄 (幹線道路や鉄道などがあり、臨海部を中心に発展してきた本市のまちづくりが成り立たなくなる。)	
地震被害が想定される区域、液状化の危険度が高い区域は居住誘導区域から除外していない理由は「指定が全域であり、除外することが現実的でないため」である。			
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため			
(b) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e) 当該区域内で防災対策が図られているため			
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			○
(g) その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくかと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()			
Q5 その他、災害ハザードエリアの取り扱いについてお聞かせ下さい。			
① 市独自で「地震被害が想定される区域」「液状化の危険度が高い区域」を除外検討の対象にした背景について以下の質問にお答え下さい。			
①-1 当該区域を除外検討の対象にした理由についてお答え下さい。 回答欄 (運用指針に記載はないものの、南海トラフ地震や活断層の地震による被害が想定される本市において、災害リスクの程度とその対応の整理が必要と考えたため。)			
①-2 除外について検討する際に参考とした文献等についてお答え下さい。 回答欄 (国や県の公表資料等。)			
② 四日市市立地適正化計画のp.26に記載されている「ハザードエリアの有無や安全対策の状況等」という表について以下の質問にお答え下さい。			
②-1 本表は他の市町に見られなかったことから、災害ハザードエリアの取り扱いについて先進的な一面が伺えました。本表を作成した理由についてお答え下さい。 回答欄 (運用指針に従い、市内に存在する各種災害のリスクの有無と危険度の把握、その対応状況を確認が必要だと考えたため。)			
②-2 2020年6月 都市再生特別措置法等改正の追加事項における「防災指針」 ^(※5) にも、非常に類似している印象を持ちました。近年の国の動向にも注意していましたか。 回答欄 (各部局から制度改正や新たな取組の方向性、支援策など様々な情報が発信されるため、国の動向は常に注視している。)			

4-7 亀山市

アンケート実施日	2020/11/11 アンケート返信	
担当	産業建設部 都市整備課	伊藤様 都市計画グループ

Q1 「浸水想定区域 ^{*1} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。</div> </div>	→	<div>①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。</div> <div>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)</div> <div>回答欄 ()</div>	<div>いいえ</div>
② 当該区域を除外していない理由(重要な拠点を含むため)についてさらに詳しく教えて下さい。			
<div> <div>前回の回答(令和2年5月29日)時点</div> <div>浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「重要な拠点を含むため」である。</div> </div>	→	<div>②-1 重要な拠点とは具体的に何かお答え下さい。(例：〇〇駅、△△市役所、□□大学)</div> <div>回答欄 (大型商業施設、文化会館、ホテル、銀行、郵便局、商工会館、病院)</div> <div>②-2 ②-1で回答した重要な拠点を含めた当該区域を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きますか。(例：現実的に移転することが厳しくなる)</div> <div>回答欄 (JR亀山駅周辺の既成市街地となっており、居住誘導に必要な日常生活サービス機能が集積しているため)</div>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば ^{全て} 選択して下さい。			チェック欄
(a) 当該区域が広範囲の指定であるため			
(b) 当該区域内の住民感情を考慮したため			
(c) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(d) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e) 当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g) その他 (市街地の移転は困難であることから、必要な防災対策を講じる方針としているため。)			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった)			
回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません)			
回答欄 (5年ごとの評価・見直しの際に防災指針の記載を検討しています。)			

4-8 伊賀市

アンケート実施日	2020/11/27	アンケート返信
担当	都市計画課 開発指導室	吉川様

Q1 「土砂災害特別警戒区域 ^{*2)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(計画策定後に当該区域が新たに指定されたため)についてさらに詳しく教えてください。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	いいえ
土砂災害特別警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」である。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 見直ししてもなお、除外できなかった理由についてお答え下さい。 (例：重要な拠点を含むため、移転することが難しいと判断したため) 回答欄 ()	
		②-3 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐに、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため) <small>回答欄(都市再生特別措置法上、「軽微な変更」にあらず、通常の変更手続きが必要であるため、今後の都市マスタープラン策定に伴う総合的な見直しとあわせて行う予定です。)</small>	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (今後の取り扱いについては、まだ未定です。)			
④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^{*5)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (今後の取り扱いについては、まだ未定です。)			
Q2 「急傾斜地崩壊危険区域 ^{*1)} 」についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
急傾斜地崩壊危険区域は居住誘導区域から除外されていない。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	
② 当該区域を除外していない理由(他の計画で既に防災対策等が図られているため)についてさらに詳しく教えてください。			
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 令和2年11月18日の電話対応の際、当該区域を除外していない理由として「他の計画で既に防災対策等が図られているため」といったご回答を頂きました。これについて、電話でも仰ったかと思いますが、改めて「他の計画」とされる文献と防災対策等について詳しく教えてください。 <small>回答欄(当該区域で急傾斜地法第7条に定められている制限行為を行う場合には、三重県知事の許可が必要のため、立地適正化計画上特別な位置づけはしていません。)</small>	
急傾斜地崩壊危険区域を居住誘導区域から除外していない理由は「他の計画で既に防災対策等が図られているため」である。		②-2 もう少し深掘りすると、「安全性がある程度確保されているため」居住誘導区域に含めているということが考えられますが、この安全性が確保されている根拠について具体的に教えてください。 回答欄 (安全対策を行うなどの三重県の基準を満たさなければ、三重県知事の許可を得られないため。)	
③ その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。			チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため			
(b)当該区域が広範囲の指定であるため			
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため			
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため			
(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため			
(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため			
(g)その他 ()			
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。			チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。			はい
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。			いいえ
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()			
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{*4)} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (今後の取り扱いについては、まだ未定です。)			

4-8 伊賀市

	④-5 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、「原則として居住誘導区域に含まないこととすべき区域(急傾斜地崩壊危険区域等)」を居住誘導区域に含める場合には、あらかじめ急傾斜地崩壊防止工事等の災害防止に必要な整備を行なうことが求められるようになりました ^(※5) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 (今後の取り扱いについては、まだ未定です。)	
Q3 「土砂災害警戒区域 ^(※2) 」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 いいえ
土砂災害警戒区域は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例: 除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()
② 当該区域を除外していない理由として、「指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため」以外に該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	(a)当該区域が重要な拠点を含むため
土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外していない理由は「指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため」である。	→	(b)当該区域が広範囲の指定であるため
	→	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため
	→	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため
	→	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため
	→	(f)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため
	→	(g)その他 ()
③ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
③-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
③-3 (③-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例: 当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
③-4 (③-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※4) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		
Q4 「浸水想定区域 ^(※3) (0.5m未満)」についてお聞かせ下さい。		
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 いいえ
浸水想定区域(0.5m未満)は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例: 除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()
② 当該区域を除外していない理由(浸水深が低いことから、ソフト面で十分対応できるため)についてさらに詳しく教えて下さい。		
前回の回答(令和2年5月29日)時点	→	②-1 前々回(令和元年12月23日)のアンケート調査で、当該基準を設定した理由として「0.5m未満であれば、ソフト面で対応可能と判断したため」というご回答を頂きました。これについて、そのように判断する根拠となった文献について詳しく教えて下さい。(何故、0.5m未満であればソフト面で対応できるのかについても詳しく教えて下さい。)また、ソフト面というのは具体的にどういった防災対策になりますか。
浸水想定区域(0.5m未満)を居住誘導区域から除外していない理由は「浸水深が低いことから、ソフト面で十分対応できるため」である。	→	<small>田舎瀬(災害リスク等について総合的に判断した結果、除外しないこととしました。伊賀市において、浸水想定区域を含む居住誘導区域は上野居住誘導区域と青山支所支所周辺居住誘導区域です。その各区域の設定方針について、伊賀市立地適正化計画P53.56に記載していますので、ご確認ください。また、防災対策についてもP63に記載がありますので、ご確認ください。)</small>
③ 当該区域を除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
(a)当該区域が重要な拠点を含むため		○
(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
(e)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		○
(f)その他 ()		
④ 2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
④-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		いいえ
④-2 (④-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		
④-3 (④-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例: 当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄 ()		
④-4 (④-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^(※4) が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていこうと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄 ()		

3. 三次調査

(令和2年12月18日～令和3年1月20日)

1-1 岐阜市

アンケート実施日	2021/1/14 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市計画課	山上様

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄	
前回の回答(令和2年5月28日)時点	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 いいえ	
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 チェック欄 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 チェック欄 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要があると判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他(避難場所や避難体制等が整備されているとともに、災害が発生するまでに避難する時間があること、また河川改修や流域対策などの総合的な治水対策が今後も図られることから。)	
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 チェック欄 はい	
	①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在のところ未定)	
	② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄
	前回の回答(令和2年5月28日)時点	②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 いいえ
	当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 ()
		②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) 氾濫流 河岸浸食 (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()
		②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) 氾濫流 河岸浸食 (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他(避難場所や避難体制等が整備されているとともに、災害が発生するまでに避難する時間があること、また河川改修や流域対策などの総合的な治水対策が今後も図られることから。)
②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 チェック欄 はい		
②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在のところ未定)		

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^(※3)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域)
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (区域のすべて)

Q3 浸水想定区域^(※1)を除外していない理由の「既存の都市施設等」についてお聞かせ下さい。

① 既存の都市施設等について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
(a)鉄道駅	名称(複数あるため、名称までは回答しかねます) ○
(b)行政施設	名称(//) ○
(c)商業施設	名称(//) ○
(d)医療・福祉施設	名称(//) ○
(e)教育・文化施設	名称(//) ○
(f)金融施設	名称(//) ○
(g)その他 ()	名称() ○

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

<p>前回の回答(令和2年5月28日)時点</p>	<p>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでした。</p>	<p>チェック欄 いいえ</p>
	<p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p>	
	<p>回答欄 ()</p>	
	<p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p>	<p>チェック欄</p>
	<p>(a)設定した際、対象範囲が小さかったため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(c)その他 ()</p>	<input type="checkbox"/>
<p>浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。</p>	<p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。</p>	<p>チェック欄</p>
	<p>(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(d)防災対策が図られているため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(e)現在まで全く検討していなかったため</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>(f)その他 (浸水想定の高さについての目安はありますが、浸水想定区域が広範囲に指定され、区域内に居住する人口も全体の8割以上であるため、浸水深を設定した上で居住誘導区域から一部除外することは困難であると考えております。)</p>	<input type="checkbox"/>
	<p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p>	<p>チェック欄</p>
	<p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p>	
	<p>回答欄 ()</p>	

② 家屋倒壊等氾濫想定区域※²⁾(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。

前回の回答(令和2年5月28日)時点		②-1 現在、当該区域の指定はありますか。		はい
		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。		いいえ
		②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)		
		(a)対象範囲が小さかったため	氾濫流	河岸浸食
		(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため		
		(c)その他()		
		②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)		
		(a)対象範囲が大きいため	氾濫流	河岸浸食
		(b)対象範囲内に住宅が多いため		
		(c)防災対策が図られているため		
		(d)現在まで全く検討していなかったため		
		(e)その他 (当該区域が指定されている地域には住宅が多いことに加え、生活拠点となる地域が当該区域内に含まれている、または当該区域に近いため)		
当該区域の指定は不明ということでした。		②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。		チェック欄 いいえ
		②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。		
		回答欄 ()		

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※3)}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄（土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域）
・一部除外に関する設定内容	回答欄（土砂災害により建築物に破損が生じ、住民等の生命又は、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域を設定しております。）

1-3 多治見市

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信	
担当	都市計画部 都市政策課	藤田様

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点		いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	
	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)	
	回答欄 ()	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
	(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため	
	(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c) その他 ()	
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
	(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
	(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
	(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため	
	(d) 防災対策が図られているため	
	(e) 現在まで全く検討していなかったため	
	(f) その他 (都市再生特別措置法改正による防災指針を踏まえて検討する予定です。)	
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
	①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	はい
	回答欄 (内容については国からの方針等を踏まえて検討します。)	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点		氾濫流のみ
当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。	②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。	
	②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	氾濫流 河岸浸食
	(a) 対象範囲が小さかったため	
	(b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c) その他 (計画規模の氾濫流と平成23年に起きた内水氾濫を考慮し除外しています。)	
	②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	氾濫流 河岸浸食
	(a) 対象範囲が大きいため	
	(b) 対象範囲内に住宅が多いため	
	(c) 防災対策が図られているため	
	(d) 現在まで全く検討していなかったため	
	(e) その他 ()	
	②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
	②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
	回答欄 ()	
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。		
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()	
・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()	

1-4 関市

アンケート実施日	2020/12/21 アンケート返信	
担当	基盤整備部 都市計画課	長瀬様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年5月29日)時点		①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。
	浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	(a)設定した際、対象範囲が小さかったため
			(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
			(c)その他 (特に被害が大きくなる浸水深2m以上 (1階が水につかるエリア))
			チェック欄
②	家屋倒壊等氾濫想定区域※2(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年5月29日)時点		②-1 令和2年5月29日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。
			②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。
			②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)
			(a)対象範囲が小さかったため
			(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
			(c)その他 ()
			氾濫流 河岸浸食
			②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)
			(a)対象範囲が大きいため
			(b)対象範囲内に住宅が多いため
			(c)防災対策が図られているため
			(d)現在まで全く検討していなかったため
			(e)その他 (市役所関係部所も含めて防災指針についての検討を含めたものにする必要がある)
			氾濫流 河岸浸食
			②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定は
			ありますか。
			②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。
			回答欄 (②-4の回答と同文)
			チェック欄
			はい
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア※3について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
	・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域)	
	・一部除外に関する設定内容	回答欄 (水路や道路の一部除外)	
Q3 浸水想定区域※1を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。		
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		チェック欄
	(a)鉄道駅	名称(長良川鉄道／岐阜バス)	○
	(b)行政施設	名称(市役所／わかさプラザ等)	○
	(c)商業施設	名称(本町通り商店街／マーゴ／スーパー等)	○
	(d)医療・福祉施設	名称(関中濃病院・関中央病院他)	○
	(e)教育・文化施設	名称(市内の小中学校／保育園や幼稚園他)	○
	(f)金融施設	名称(銀行／郵便局)	○
	(g)その他 ()	名称()	
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		
	回答欄(まち自体の配置が変わってしまう／新たなまちを形成することになる)		
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。		
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地がなくなる)		
	回答欄(都市機能・都市構造そのものを移転することになるための財源確保／移転先の安全な土地の確保や財源確保)		

1-5 美濃加茂市

アンケート実施日	2020/12/22	アンケート返信
担当	建設水道部 都市計画課	有本様

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。																	
前回の回答(令和2年11月25日)時点 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>														
①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。			チェック欄 いいえ														
①-3 ①-2で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()																	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。																	
前回の回答(令和2年11月25日)時点 当該区域の設定・除外に関して、美濃加茂市立地適正化計画に記載がみられなかった、	→	②-1 現在、当該区域の指定はありますか。 ②-2 ②-1で「はい」を選択した場合 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 ②-2で「はい」を選択した場合 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 ②-2で「いいえ」を選択した場合 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()	チェック欄 いいえ <table border="1"> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table>	氾濫流	河岸浸食					氾濫流	河岸浸食						
氾濫流	河岸浸食																
氾濫流	河岸浸食																
②-5 ②-2で「いいえ」を選択した場合 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。			チェック欄 														
②-6 ②-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()																	
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。																	
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。																	
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 ()															
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()															
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」についてお聞かせ下さい。																	
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。																	
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄														
(a)鉄道駅	名称(美濃太田駅)		<input type="radio"/>														
(b)行政施設	名称(美濃加茂市役所、生涯学習センター、中央体育館)		<input type="radio"/>														
(c)商業施設	名称(スーパーマーケットコノミヤ)		<input type="radio"/>														
(d)医療・福祉施設	名称(太田病院、木沢記念病院、保健センター)		<input type="radio"/>														
(e)教育・文化施設	名称(太田小学校)		<input type="radio"/>														
(f)金融施設	名称(十六銀行、大垣共立銀行、東濃信用金庫)		<input type="radio"/>														
(g)その他(子育て支援機能)	名称(古井第二保育園、太田第一保育園)		<input type="radio"/>														
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)																	
回答欄(都市機能の配置を大幅に変更せざるを得なくなる)																	
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。																	
(例：都市構造そのものを移転することになる/土地が無くなる)																	
回答欄(都市構造そのものを移転することになる)																	

2-1 掛川市

アンケート実施日	2020/12/21 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市政策課	原様
	計画・土地利用係	

Q1 浸水想定区域 ^{※1)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年5月25日)時点		①-1 浸水深として3mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。
	浸水深を3mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	(a)設定した際、対象範囲が小さかったため
			(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
			(c)その他 (災害リスク (参照:別ファイル) から3 m以上は、原則として立退避難が望ましいため。)
			チェック欄
②	家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月25日)時点		②-1 令和2年5月25日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。
			いいえ
			②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。
			(例: 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)
			回答欄 ()
			②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)
			(a)対象範囲が小さかったため
			(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
			(c)その他 ()
			②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)
			(a)対象範囲が大きいため
			(b)対象範囲内に住宅が多いため
			(c)防災対策が図られているため
			(d)現在まで全く検討していなかったため
			(e)その他 (居住誘導区域の検討時に、家屋倒壊等氾濫想定区域の指定が無かったため。)
			②-5 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定は
			ありますか。
			チェック欄
			はい
			②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。
			回答欄 (現時点は未定。次回の立地適正化計画見直し時に検討予定。)
Q2 津波浸水想定区域 ^{※3)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年5月25日)時点		①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。
	浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	(a)設定した際、対象範囲が小さかったため
			(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
			(c)その他 (災害リスク (参照:別ファイル) から2 m以上は、壊滅的被害の可能性が高まるため。)
			チェック欄
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^{※4)} について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
	・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()	
	・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()	
Q4 浸水想定区域 ^{※1)} を除外していない理由である「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」についてお聞かせ下さい。			
①	(e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。		
	(例: 防災対策が図られているため/浸水深が低く、十分に避難できるため)		
	回答欄(災害リスク (参照:別ファイル) から垂直避難等にて対応が可能となるため。)		
Q5 津波浸水想定区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」についてお聞かせ下さい。			
①	(e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。		
	(例: 防災対策が図られているため/浸水深が低く、十分に避難できるため)		
	回答欄(災害リスク (参照:別ファイル) から津波避難等にて対応が可能となるため。)		

2-2 富士市

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	新毛様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄 いいえ
前回の回答(令和2年5月25日)時点		
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	
	①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。	
	(例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)	
	回答欄 ()	
	①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
	(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため	
(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため		
(c) その他 ()		
①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄	
(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため	○	
(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	○	
(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため	○	
(d) 防災対策が図られているため		
(e) 現在まで全く検討していなかったため		
(f) その他 ()		
①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄	
①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。	いいえ	
回答欄 ()		

② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄							
前回の回答(令和2年5月25日)時点 当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。	②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。 ②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食					
	氾濫流	河岸浸食							
	②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食			○	○	
氾濫流	河岸浸食								
○	○								
②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>チェック欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">はい</td> </tr> </tbody> </table>	チェック欄	はい						
チェック欄									
はい									
②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現段階で内容は検討していないが、防災指針を策定する際、災害リスクを考慮した上で検討する可能性がある)									

Q2 津波浸水想定区域^{※3}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点	①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/>
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ

Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア※4)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()
・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()


2-2 富士市

Q 4 浸水想定区域 ^{※1)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
	(a)鉄道駅 名称(J R 富士駅、岳南電車吉原本町駅 など)	<input type="radio"/>
	(b)行政施設 名称(市役所、フィランセ)	<input type="radio"/>
	(c)商業施設 名称(エスポート富士店、ジャンボスポーピアシタトリ富士店 など)	<input type="radio"/>
	(d)医療・福祉施設 名称(富士市立中央病院、(一財)恵愛会聖隷富士病院 など)	<input type="radio"/>
	(e)教育・文化施設 名称(文化会館(ロゼシアター)、中央図書館 など)	<input type="radio"/>
	(f)金融施設 名称(静岡銀行富士支店、富士郵便局 など)	<input type="radio"/>
	(g)その他 () 名称()	<input type="radio"/>
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
	回答欄(都市機能の配置が変わってしまう)	
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。	
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)	
	回答欄(都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる/上位計画である都市計画マスタープランとの整合性がとれなくなる)	
Q 5 津波浸水想定区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
	(a)鉄道駅 名称(J R 吉原駅)	<input type="radio"/>
	(b)行政施設 名称()	
	(c)商業施設 名称()	
	(d)医療・福祉施設 名称()	
	(e)教育・文化施設 名称()	
	(f)金融施設 名称()	
	(g)その他 () 名称()	
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
	回答欄(地域拠点として位置づけられる吉原駅周辺において、利便性の高い公共交通の維持が困難となる)	
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。	
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)	
	回答欄(①-2と同様)	

2-3 磐田市

アンケート実施日	2020/12/24 アンケート返信	
担当	建設部 都市計画課	河原崎様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。				<div>チェック欄</div> <div>いいえ</div>
前回の回答(令和2年5月25日)時点				
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。		
		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)		
		回答欄 ()		
		①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。		<div>チェック欄</div>
		(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため		<input type="checkbox"/>
		(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため		<input type="checkbox"/>
(c) その他 ()				

② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月25日)時点 当該区域の指定は不明ということでした。	②-1 現在、当該区域の指定はありますか。	はい
	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	いいえ
	②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	
	(a)対象範囲が小さかったため	氾濫流 河岸浸食
	(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c)その他 ()	
当該区域の指定は不明ということでした。	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	
	(a)対象範囲が大きいため	氾濫流 河岸浸食
	(b)対象範囲内に住宅が多いため	○
	(c)防災対策が図られているため	○
	(d)現在まで全く検討していなかったため	
	(e)その他 ()	
当該区域の指定は不明ということでした。	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 いいえ
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	

Q2 津波浸水想定区域^{※3)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	
<p>前回の回答(令和2年5月25日)時点</p> <p>浸水深2mの設定について検討はあったが、結果的に除外には至らなかった。 (令和2年12月23日電話にて再確認)</p>	<div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック欄 いいえ</div> <hr/> <p>①-1 令和2年5月25日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでした。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを<u>全て</u>選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック欄</div> <hr/> <p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深2mの設定は検討したが、<u>除外していない理由</u>について、以下の項目に該当するものを<u>全て</u>選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 (浸水深2m以上の区域には居住誘導区域に設定される住宅地が少ないため)</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック欄</div> <hr/> <p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">チェック欄 いいえ</div> <hr/> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()</p>

2-3 磐田市

Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。	
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。 <div> <div>・一部除外している災害ハザードエリアの名称</div> <div>回答欄 ()</div> </div> <div> <div>・一部除外に関する設定内容</div> <div>回答欄 ()</div> </div>
Q4 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」「(c)当該区域内の住民感情を考慮したため」についてお聞かせ下さい。	
①	<div>(a)について、以下の質問にお答え下さい。</div> <div> <div>①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。</div> <div> <div> <div>(a)鉄道駅</div> <div>名称(JR豊田町駅)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(b)行政施設</div> <div>名称(磐田市役所豊田支所・竜洋支所・福田支所)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(c)商業施設</div> <div>名称(マックスバリュ、遠鉄ストア、フードマーケットマム)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(d)医療・福祉施設</div> <div>名称(豊田えいせい病院、子育て支援センター、保育園等)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(e)教育・文化施設</div> <div>名称(アミューズ豊田、小学校、中学校、図書館)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(f)金融施設</div> <div>名称(静岡銀行、浜松磐田信用金庫、遠州信用金庫)</div> <div>○</div> </div> <div> <div>(g)その他 ()</div> <div>名称()</div> <div></div> </div> </div> <div> <div>①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)</div> <div>回答欄(都市計画マスタープランなどの上位計画と乖離し、まちづくりの方向性に相違が生じてしまうため。)</div> </div> </div>
②	<div>(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。</div> <div> <div>(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)</div> <div>回答欄(市街化区域の約半数が居住誘導区域から外れてしまい、居住誘導する適地が大幅に減少する。)</div> </div>
③	<div>(c)について、以下の質問にお答え下さい。</div> <div> <div>③-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。</div> <div> <div>③-2 (③-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない)</div> <div>回答欄(地域別説明会を実施したが、居住誘導区域からの除外に関する意見はなかった。)</div> </div> </div>
Q5 津波浸水想定区域 ^(※3) を除外していない理由である「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」「(c)当該区域内の住民感情を考慮したため」についてお聞かせ下さい。	
①	<div>(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。</div> <div> <div>(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)</div> <div>回答欄(最大クラスのレベル2に対応する防潮堤整備が進められているため、現時点での想定区域での除外は実情と乖離してしまう。)</div> </div>
②	<div>(c)について、以下の質問にお答え下さい。</div> <div> <div>②-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。</div> <div> <div>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない)</div> <div>回答欄(地域別説明会を実施したが、居住誘導区域からの除外に関する意見はなかった。)</div> </div> </div>

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	和久田様

Q1 浸水想定区域^{※1)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄	
前回の回答(令和2年5月27日)時点	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 いいえ	
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 チェック欄	
	(a)設定した際、対象範囲が小さかったため	
	(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c)その他 ()	
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 チェック欄	
	(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
	(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
	(c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため	
	(d)防災対策が図られているため	
(e)現在まで全く検討していなかったため		
(f)その他(洪水関係に関しては、気象予報等により事前避難が可能であるため)		
①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 いいえ	チェック欄	
①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()		

② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄	
前回の回答(令和2年5月27日)時点	②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。 いいえ	
当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。	②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 氾濫流 河岸浸食	
	(a)対象範囲が小さかったため	
	(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c)その他 ()	
	②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 氾濫流 河岸浸食	
	(a)対象範囲が大きいため	
	(b)対象範囲内に住宅が多いため	
	(c)防災対策が図られているため	
	(d)現在まで全く検討していなかったため	
	(e)その他(洪水関係に関しては、気象予報等により事前避難が可能であるため)	
②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 いいえ	チェック欄	
②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()		

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※3)}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。
・一部除外している災害ハザードエリアの名称 回答欄(津波浸水想定区域)
・一部除外に関する設定内容 回答欄(静岡県第4次地震被害想定L2ケース①の防潮堤整備後の浸水区域を除外している)

Q3 浸水想定区域^{※1)}を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。

① (a)について、以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	
(a)鉄道駅 名称(JR浜松駅)	<input type="radio"/>
(b)行政施設 名称(国合同庁舎、県総合庁舎、浜北区役所)	<input type="radio"/>
(c)商業施設 名称(浜松駅周辺の大型商業施設)	<input type="radio"/>
(d)医療・福祉施設 名称(遠州病院、浜松赤十字病院)	<input type="radio"/>
(e)教育・文化施設 名称(小中学校(複数)、静岡文化芸術大学)	<input type="radio"/>
(f)金融施設 名称()	<input type="radio"/>
(g)その他 () 名称()	<input type="radio"/>
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(都心である浜松駅周辺をはじめ、低地部のほとんどを誘導区域を外すことになることから、完全に都市構造が変わってしまう。)	

2-5 静岡市

アンケート実施日	2020/12/28 アンケート返信	
担当	都市局 都市計画部 都市計画課	山西様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。			チェック欄 いいえ
	前回の回答(令和2年5月29日)時点		①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでした。 ①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	
		→	①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 (浸水深は設定しているが、居住誘導区域から除外していない。)	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
			①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 <input type="checkbox"/>
			①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ

② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄								
前回の回答(令和2年5月29日)時点	②-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例: 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ								
当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを <u>全て</u> 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食						
氾濫流	河岸浸食									
	②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを <u>全て</u> 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食			○	○	○	○
氾濫流	河岸浸食									
○	○									
○	○									
	②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>チェック欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いいえ</td> </tr> </tbody> </table>	チェック欄	いいえ						
チェック欄										
いいえ										
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()									

Q2 津波浸水想定区域^{※3}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。				
	前回の回答(令和2年5月29日)時点				チェック欄 いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでした。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 () ①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が少なかった/なかったため (c) その他 ()		→	チェック欄 <div></div> <div></div>
		①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものも (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 (浸水深は設定しているが、居住誘導区域から除外していない。)			チェック欄 <div></div> <div></div> <div></div> <div></div> <div></div>
		①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定がありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()			チェック欄 いいえ

2-5 静岡市

Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※7) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 ()	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()	
Q4 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a)鉄道駅	名称()		
(b)行政施設	名称()		
(c)商業施設	名称()		
(d)医療・福祉施設	名称()		
(e)教育・文化施設	名称()		
(f)金融施設	名称()		
(g)その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄()			
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。			
(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)			
回答欄()			
Q5 都市洪水想定区域 ^(※4) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a)鉄道駅	名称()		
(b)行政施設	名称()		
(c)商業施設	名称()		
(d)医療・福祉施設	名称()		
(e)教育・文化施設	名称()		
(f)金融施設	名称()		
(g)その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄()			
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。			
(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)			
回答欄()			
Q6 都市浸水想定区域 ^(※5) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a)鉄道駅	名称()		
(b)行政施設	名称()		
(c)商業施設	名称()		
(d)医療・福祉施設	名称()		
(e)教育・文化施設	名称()		
(f)金融施設	名称()		
(g)その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄()			
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。			
(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)			
回答欄()			
Q7 津波浸水想定区域 ^(※3) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a)鉄道駅	名称()		
(b)行政施設	名称()		
(c)商業施設	名称()		
(d)医療・福祉施設	名称()		
(e)教育・文化施設	名称()		
(f)金融施設	名称()		
(g)その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄()			
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。			
(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)			
回答欄()			
Q8 土砂災害危険箇所 ^(※6) についてお聞かせ下さい。			
① 当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点		①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。	いいえ
土砂災害危険箇所は居住誘導区域から除外されていない。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため)	
		回答欄 ()	

2-5 静岡市

② 除外していない理由として該当するものがあれば 全て 選択して下さい。	チェック欄
(a) 当該区域が重要な拠点を含むため	
(b) 当該区域が広範囲の指定であるため	
(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため	
(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため	
(e) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため	
(f) 防災対策、避難対策が図られているため	<input checked="" type="radio"/>
(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため	<input type="radio"/>
(h) その他 ()	

2-6 沼津市

アンケート実施日	2020/12/21 アンケート返信	
担当	都市計画部 まちづくり政策課	上田様

Q1 浸水想定区域^{※1)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	<p>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()</p> <p>①-4 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 (洪水浸水については、気象予報などから事前に予測し、避難を行うことができるため)</p> <p>①-5 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p>	<p>いいえ</p> <p>チェック欄</p> <p>はい</p>
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		
<p>② 家屋倒壊等氾濫想定区域^{※2)}(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。</p>		
前回の回答(令和2年5月28日)時点	<p>②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が小さかったため (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()</p> <p>②-4 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が大きいため (b) 対象範囲内に住宅が多いため (c) 防災対策が図られているため (d) 現在まで全く検討していなかったため (e) その他 (洪水浸水については、気象予報などから事前に予測し、避難を行うことができるため)</p> <p>②-5 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p>	<p>いいえ</p> <p>氾濫流</p> <p>河岸浸食</p> <p>チェック欄</p> <p>はい</p>
当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)		

Q2 津波浸水想定区域^{※3)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	<p>①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()</p> <p>①-4 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()</p> <p>①-5 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p>	<p>いいえ</p> <p>チェック欄</p> <p>はい</p>
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		

2-6 沼津市

Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア※4)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。		
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
	・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄（津波浸水想定区域）
	・一部除外に関する設定内容	回答欄（津波浸水想定区域のうち津波避難困難地区については、解消されるまで居住誘導区域から除外）
Q4 浸水想定区域※1)を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	
	(a)鉄道駅	名称()
	(b)行政施設	名称()
	(c)商業施設	名称()
	(d)医療・福祉施設	名称()
	(e)教育・文化施設	名称()
	(f)金融施設	名称()
	<small>(g)その他（前回のアンケートで回答した「重要な拠点」というのは、施設単体を指すものではなく、本市が沼津港や沼津駅を中心に発展してきたという歴史的な背景から、当該地域全体を今後のまちづくりにつなげる「重要な拠点エリア」として回答させていただきました。）</small>	
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
回答欄(当該拠点エリアは、沼津市の将来像の核となるエリアであり、仮に居住誘導区域から除外とした場合は、都市全体に影響を与えることになります。)		
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。	
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)	
	回答欄(都市構造そのものを移転することになる。)	
Q5 津波浸水想定区域※3)を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	
	(a)鉄道駅	名称()
	(b)行政施設	名称()
	(c)商業施設	名称()
	(d)医療・福祉施設	名称()
	(e)教育・文化施設	名称()
	(f)金融施設	名称()
	<small>(g)その他（前回のアンケートで回答した「重要な拠点」というのは、施設単体を指すものではなく、本市が沼津港や沼津駅を中心に発展してきたという歴史的な背景から、当該地域全体を今後のまちづくりにつなげる「重要な拠点エリア」として回答させていただきました。）</small>	
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
回答欄(当該拠点エリアは、沼津市の将来像の核となるエリアであり、仮に居住誘導区域から除外とした場合は、都市全体に影響を与えることになります。)		

2-7 袋井市

アンケート実施日	2020/12/28 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市計画課	山田様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
	チェック欄		
前回の回答(令和2年5月28日)時点		①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	
		①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄
		①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものも全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	チェック欄
		①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
		①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	いいえ
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
	チェック欄		
前回の回答(令和2年5月28日)時点		②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。	いいえ
当該区域の指定はなかった。		②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	
		②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が小さかったため (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	氾濫流 河岸浸食
		②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものも全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が大きいため (b) 対象範囲内に住宅が多いため (c) 防災対策が図られているため (d) 現在まで全く検討していなかったため (e) その他 ()	氾濫流 河岸浸食
		②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
		②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (未定です。)	はい
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 (なし)	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()	
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(c)当該区域内の住民感情を考慮したため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a) 鉄道駅	名称(袋井駅、愛野駅)		<input type="radio"/>
(b) 行政施設	名称(市役所、支所)		<input type="radio"/>
(c) 商業施設	名称(COOP、掛川スーパー、スーパーラック、マムなど)		<input type="radio"/>
(d) 医療・福祉施設	名称(多すぎて今は把握していません)		<input type="radio"/>
(e) 教育・文化施設	名称(袋井西小学校、袋井中学校 など)		<input type="radio"/>
(f) 金融施設	名称(静岡銀行、清水銀行、JAなど)		<input type="radio"/>
(g) その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起こると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(未検討のためわかりませんが、都市機能がほぼ無くなることから生活ができないのでは・・・。)			
② (c)について、以下の質問にお答え下さい。			
②-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。			チェック欄
②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない) 回答欄()			いいえ

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信	
担当	建設経済部 都市計画課	野澤様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
①-1 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 いいえ
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/>	
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい	
	①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (後は防災指針を作成し、それに伴い、居住誘導区域の見直しや、施策について検討していく予定。)		
② 家屋倒壊等氾濫想定区域※2(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
②-1 当該区域の指定はなかった。	②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が小さかったため (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	氾濫流 河岸浸食	チェック欄 いいえ
	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が大きいため (b) 対象範囲内に住宅が多いため (c) 防災対策が図られているため (d) 現在まで全く検討していなかったため (e) その他 (計画策定時には氾濫流等のハザードマップが完成しておらず、検討ができなかったため。) ②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	氾濫流 河岸浸食	チェック欄 <input type="radio"/>
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()		
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア※3について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 (土砂災害特別警戒区域などのレットゾーン及び浸水想定区域を除くイエローゾーン)	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 (特になし)	
Q3 浸水想定区域※1を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。 詳細は別添資料のとおり	(a) 鉄道駅 (b) 行政施設 (c) 商業施設 (d) 医療・福祉施設 (e) 教育・文化施設 (f) 金融施設 (g) その他 ()		チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		回答欄(別添資料のとおり、当町は既にコンパクトな市街地を形成しており、将来的に現状を維持していくこととしている。拠点を区域から除外することで都市機能の配置が変わってしまい、集約連携型都市構造が構築されない場合があると考える。)	

2-9 藤枝市

アンケート実施日	2021/1/12	アンケート返信
担当	都市建設部 都市政策課	岩瀬様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
①-1 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 いいえ
①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要があると判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在検討は行っていないですが、今後の台風や豪雨の被害状況によっては検討が必要だと考えます。)	チェック欄 はい	チェック欄 はい
② 家屋倒壊等氾濫想定区域※2(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が小さかったため (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が大きいため (b) 対象範囲内に住宅が多いため (c) 防災対策が図られているため (d) 現在まで全く検討していなかったため (e) その他 ()	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在検討は行っていないですが、今後の台風や豪雨の被害状況によっては検討が必要だと考えます。)	チェック欄 はい
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア※4について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称 ・一部除外に関する設定内容	回答欄 (土砂災害特別警戒区域、災害危険区域、急傾斜地崩壊危険区域) 回答欄 (災害レッドゾーンを居住誘導区域から除外をしています。)		
Q3 浸水想定区域※1を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。 (a) 鉄道駅 名称() (b) 行政施設 名称() (c) 商業施設 名称() (d) 医療・福祉施設 名称() (e) 教育・文化施設 名称() (f) 金融施設 名称() (g) その他 () 名称()	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(重要な拠点は、都市機能誘導区域のことを示していますので、上記への回答は回答無しとさせていただきます。そのうえで、浸水想定区域を除外する場合、その条件設定(浸水深など)により、仮にすべての浸水想定区域を除外した場合、本市の都市形成に重要な役割を果たしてきた都市機能誘導区域も一部除外されることになり、その機能の配置換えは、都市の活力を減退させるものとなる考えられます。)		
② (e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。 (例：防災対策が図られているため/浸水深が低く、十分に避難できるため) 回答欄(防災対策が図られているため。)			
Q4 土砂災害警戒区域※3を除外していない理由である「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」「(f)防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。			
① (e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。 (例：防災対策が図られているため/浸水深が低く、十分に避難できるため) 回答欄(防災対策が図られているため。)			
② (f)について、以下の質問にお答え下さい。			
②-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠/(ソフト)情報周知、防災訓練) 回答欄((ハード) 擁壁、法枠、IoT水位計による河川水位情報周知/ (ソフト) 町内会への情報周知、ハザードマップの配布、マイタイムラインの作成) ②-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため) 回答欄 (土砂災害の安全性、洪水災害の安全性の確保に取り組んでいるため)			

2-10 伊豆の国市

アンケート実施日	2020/12/28 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	鈴木様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月28日)時点	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 <input type="text"/> いいえ ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 () ①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 <input type="checkbox"/> チェック欄 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため <input type="checkbox"/> (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため <input type="checkbox"/> (c) その他 () ①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを選択して下さい。 <input type="checkbox"/> チェック欄 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため <input type="checkbox"/> (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため <input type="checkbox"/> (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため <input type="checkbox"/> (d) 防災対策が図られているため <input type="checkbox"/> (e) 現在まで全く検討していなかったため <input type="checkbox"/> <small>※その他（今年度末、国の防災ガイドラインが作成され自治体に示される。現在、国、県、市が連携して流域治水に対するアクションプログラムの見直しが進められている。上記の取組を進める上で今後の取組を検討する等）</small> ①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 <input type="text"/> いいえ ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	
	浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	
Q2 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
②	家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月28日)時点	②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。 <input type="text"/> はい ②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 <input type="checkbox"/> 氾濫流 <input type="checkbox"/> 河岸浸食 (a) 対象範囲が小さかったため <input type="checkbox"/> (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため <input type="checkbox"/> (c) その他 (計画策定前の平成28年12月に国が示す浸水最大想定公表があったため) ②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 <input type="checkbox"/> 氾濫流 <input type="checkbox"/> 河岸浸食 (a) 対象範囲が大きいため <input type="checkbox"/> (b) 対象範囲内に住宅が多いため <input type="checkbox"/> (c) 防災対策が図られているため <input type="checkbox"/> (d) 現在まで全く検討していなかったため <input type="checkbox"/> (e) その他 () ②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 <input type="checkbox"/> チェック欄 ②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	
	当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。	→	
Q3 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
③	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
	・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()	
	・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()	
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域内の住民感情を考慮したため」「(e)防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。			
④	(a)について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	④-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		
	(a) 鉄道駅	名称(伊豆長岡駅、原木駅、田京駅、大仁駅)	<input type="radio"/>
	(b) 行政施設	名称()	<input type="radio"/>
	(c) 商業施設	名称()	
	(d) 医療・福祉施設	名称()	
	(e) 教育・文化施設	名称()	
	(f) 金融施設	名称()	
	(g) その他 ()	名称()	
	④-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が生じると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	回答欄(これまでの都市計画方針等の変遷が根底から崩れる。様々な分野において財政的負担が生じてしまう。)	
⑤	(b)について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑤-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。		<input type="text"/> いいえ
	⑤-2 (⑤-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない)	回答欄()	
⑥	(e)について、以下の質問にお答え下さい。		
	⑥-1 当該区域内で安全性を確保するために行っている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠／(ソフト)情報周知、防災訓練)	回答欄(流域治水に対するアクションプログラムに基づく樋管等薄整備 ほかに ハザードマップの作成 防災訓練(地震対策も含めた))	
	⑥-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)	回答欄(防災に対する意識高揚)	

2-10 伊豆の国市

Q4 液状化危険区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域内の住民感情を考慮したため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	
	(a)鉄道駅	名称(伊豆長岡駅、原木駅、田京駅、大仁駅)
	(b)行政施設	名称()
	(c)商業施設	名称()
	(d)医療・福祉施設	名称()
	(e)教育・文化施設	名称()
	(f)金融施設	名称()
	(g)その他 ()	名称()
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
回答欄(東・南海地震による被害発生が危惧されている中、狩野川周辺は液状化危険区域が広範囲に渡るため、すべての区域を除外できない。一方で、建築土木の技術による基礎杭の設置等で住宅被害の軽減は可能と考える)		
②	(b)について、以下の質問にお答え下さい。	
	②-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。	
	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない)	
	回答欄()	

2-11 裾野市

アンケート実施日	2021/1/20 アンケート返信	
担当	建設部 まちづくり課	坪井様 都市計画係

Q1 「浸水想定区域 ^{※1} 」を除外していない理由」についてお聞かせ下さい。			
①	当該区域における現在の除外状況についてお答え下さい。		チェック欄
	前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域は居住誘導区域から除外されていない。	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、除外状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更内容と変更できた理由についてお答え下さい。 (例：除外することになった。除外できた理由は当該区域内の住民から協力を得られたため) 回答欄 ()	いいえ
②	当該区域を除外していない理由(指定が広大で居住誘導区域が無くなるため)についてさらに詳しく教えてください。		
	前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない理由は「市街化区域内の黄瀬川周辺で指定されているが浸水深1m未満のため、防災対策等と連携することにより居住誘導区域からは除外しない」である	②-1 裾野市立地適正化計画には「防災対策等を連携することにより居住誘導区域から除外しない」といった記載がみられます。当該区域内では、具体的にどのような防災対策を行なっていますか。 回答欄(自主防災会防災対策等の支援、戸別無線受信機の整備による情報伝達など) ②-2 上記の防災対策を行なうことにより、防災上の安全性は確保されていますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 安全性が確保されている理由についてお答え下さい。 (例：浸水を十分にせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認している等万全なため) 回答欄(自主防災会防災対策等の支援により地域ぐるみで防災に対する意識の共有を図っているため)	はい
③	その他、除外していない理由として該当するものがあれば全て選択して下さい。		チェック欄
	(a)当該区域が重要な拠点を含むため		
	(b)当該区域が広範囲の指定であるため		
	(c)当該区域内の住民感情を考慮したため		
	(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため		
	(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため		○
	(f)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため		
	(g)その他 ()		
④	(③で(a)を選択した場合) 「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」について、以下の質問にお答え下さい。		
	④-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		チェック欄
	(a)鉄道駅	名称()	
	(b)行政施設	名称()	
	(c)商業施設	名称()	
	(d)医療・福祉施設	名称()	
	(e)教育・文化施設	名称()	
	(f)金融施設	名称()	
	(g)その他 ()	名称()	
	④-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄()		
⑤	(③で(b)を選択した場合) 「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる) 回答欄()		
⑥	(③で(c)を選択した場合) 「(c)当該区域内の住民感情を考慮したため」について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑥-1 当該区域内の住民から居住誘導区域からの除外に関してご意見を聞く機会がありましたか。		
	⑥-2 (⑥-1で「はい」を選択した場合) ご意見の内容と直面した問題についてお答え下さい。(例：移転が財政的に厳しい／今の住んでいる地域から離れたくない) 回答欄()		
⑦	(③で(d)を選択した場合) 「(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑦-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。		
	⑦-2 (⑦-1で「はい」を選択した場合) 見直した結果、除外しなかった理由についてお答え下さい。(例：重要な拠点を含むため／指定が広大であるため) 回答欄()		
	⑦-3 (⑦-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐ、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため) 回答欄()		
⑧	(③で(e)を選択した場合) 「(e)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。 (例：防災対策が図られているため／浸水深が低く、十分に避難できるため) 回答欄(浸水深が低く、十分に避難できると判断したため)		
⑨	2020年6月に都市再生特別措置法等が改正されたことを背景に、現在の意向について以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
	⑨-1 除外に関する見直しを既に行っていますか。また、今後行う予定はありますか。		はい
	⑨-2 (⑨-1で「はい」を選択した場合) 見直しの内容については既に具体的に決まっていますか。		いいえ
	⑨-3 (⑨-2で「はい」を選択した場合) 見直しの内容についてお答え下さい。 (例：当該区域は除外できないが、リスク軽減の防災対策として〇〇が導入されることになった) 回答欄()		
	⑨-4 (⑨-2で「いいえ」を選択した場合) 立地適正化計画の追加事項として、居住誘導区域を設定する際に、防災対策・安全確保策を定める「防災指針」を作成することが求められるようになりました ^{※2} が、これを受け、当該区域を今後どのように取り扱っていくかと考えていますか。(答えられる範囲で構いません) 回答欄(次の定期見直しで検討する。)		

2-11 裾野市

Q2 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点		①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	チェック欄 いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が0.5m以上の範囲を一部除外することになった。)	
		回答欄 ()	
		①-3 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
		(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)計画策定後に新しく指定されたため	
		(d)防災対策、避難対策が図られているため	
		(e)災害リスクが低いと判断したため	○
		(f)現在まで全く検討していなかったため	
		(g)計画見直し等、今後検討する予定であったため	
(h)指針に必ず除外するように記載されていないため			
(i)設定したが、除外には至っていないため			
(j)その他 ()			
①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい		
①-5 (①-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。			
回答欄 (次の定期見直しで検討する。)			
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※3) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年5月28日)時点		②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。	チェック欄 いいえ
当該区域の指定はなかった。 ↓ 回答修正：当該区域の指定がある。	→	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住	坪井 正人: 前回の回答(令和2年5月28日)を修正
		②-3 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除	に該当する 河岸浸食
		ものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当	
		(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)計画策定後に新しく指定されたため	
		(d)防災対策、避難対策が図られているため	
		(e)災害リスクが低いと判断したため	
		(f)現在まで全く検討していなかったため	
		(g)計画見直し等、今後検討する予定であったため	
(h)指針に必ず除外するように記載されていないため	○ ○		
(i)設定したが、除外には至っていないため			
(j)計画規模のハザードマップを参照したため	○ ○		
(k)その他 ()			
②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい		
②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。			
回答欄 (次の定期見直しで検討する。)			

アンケート実施日	2021/1/4	アンケート返信
担当	建設計画課	木村様

Q1 浸水想定区域 ^{※1)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
<p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>浸水対策機能の整備を行うことによる当該区域の一部除外が見受けられるが、浸水深の設定による一部除外はみられなかった。</p>	<p>①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()</p> <p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 ()</p> <p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p> <p>チェック欄</p> <p>いいえ</p> <p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
<p>前回の回答(令和2年6月2日)時点</p> <p>站壺公園周辺以外の計画規模(50年に1度の確率)の浸水想定区域を除外しているため、当該区域と重なる部分は除外していた。</p>	<p>②-1 令和2年6月2日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()</p> <p>②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()</p> <p>②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>いいえ</p> <p>氾濫流</p> <p>河岸浸食</p> <p>氾濫流</p> <p>河岸浸食</p> <p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>	
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^{※3)} について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
<p>・一部除外している災害ハザードエリアの名称 回答欄 (なし)</p> <p>・一部除外に関する設定内容 回答欄 (なし)</p>			
Q3 浸水想定区域 ^{※1)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
<p>①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。</p> <p>(a)鉄道駅 名称()</p> <p>(b)行政施設 名称()</p> <p>(c)商業施設 名称()</p> <p>(d)医療・福祉施設 名称()</p> <p>(e)教育・文化施設 名称()</p> <p>(f)金融施設 名称()</p> <p>(g)その他 (站壺公園)</p> <p>①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)</p> <p>回答欄(站壺公園の整備の際に浸水対策の整備も併せて行うため、浸水想定区域を居住誘導区域から除外していない。しかし、重要な拠点が誘導施設であれば居住誘導区域外になっても問題はないと思う。 今回の質問が、重要な拠点が居住誘導区域から除外するという意味なのか、浸水想定区域に絡めた質問なのかよくわからなかった。)</p>			

アンケート実施日	2020/12/22	アンケート返信
担当	計画まちづくり部 都市計画課	岡本様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月18日)時点 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 (ハザードマップ等による警戒避難体制の整備の推進、事前避難の周知・徹底等、リスク低減を図るため) ①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> チェック欄 いいえ
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月18日)時点 当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。(「三島市立地適正化計画p.40」より)	→	②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。 ②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (事象発生後瞬時に人命や財産に基大な影響が予想されることから、除外する必要があると判断したため) ②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 () ②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 はい 氾濫流 河岸浸食 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 氾濫流 河岸浸食 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> チェック欄 <input type="checkbox"/>
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域)		
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (計画書P37～42、55参照)		
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含まため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。			チェック欄
(a)鉄道駅	名称(大場駅)		<input type="radio"/>
(b)行政施設	名称()		<input type="radio"/>
(c)商業施設	名称(小規模の商業施設(店舗の集積)、中規模の商業施設)		<input type="radio"/>
(d)医療・福祉施設	名称(病院、診療所、老人ホーム)		<input type="radio"/>
(e)教育・文化施設	名称()		<input type="radio"/>
(f)金融施設	名称()		<input type="radio"/>
(g)その他(集会所等)	名称(集会所・公民館)		<input type="radio"/>
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄(上記施設の集積状況を調査し、重要な拠点については、「居住誘導区域」かつ「都市機能誘導区域」としている。よって、都市マス等との整合が図れなくなる。)			

2-14 森町

アンケート実施日	2020/12/22	アンケート返信
担当	建設課 都市計画係	加藤様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。																			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。																			
前回の回答(令和2年11月19日)時点 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 () ①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> チェック欄 いいえ																
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。																			
前回の回答(令和2年11月19日)時点 当該区域の指定は不明となっています。(未調査)	→	②-1 現在、当該区域の指定はありますか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 () ②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ <table border="1"> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </table> チェック欄	氾濫流	河岸浸食					氾濫流	河岸浸食								
氾濫流	河岸浸食																		
氾濫流	河岸浸食																		
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。																			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。																			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 (土砂災害特別警戒区域等を一律で除外している。その中の一部だけの除外はしていない。)																	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()																	
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。																			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。																			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。 (a)鉄道駅 名称(天竜浜名湖鉄道遠州森駅、天竜浜名湖鉄道森町病院前駅) (b)行政施設 名称(森町役場、袋井警察署森分庁舎、袋井消防署森分署) (c)商業施設 名称(フーズアイランド森町店) (d)医療・福祉施設 名称(公立森町病院) (e)教育・文化施設 名称(静岡県立遠江総合高校、森町立森小学校、森町文化会館) (f)金融施設 名称(静岡銀行森町支店、浜松磐田信用金庫森町支店、遠州中央農協森支店) (g)その他 () 名称(森町総合体育館)			チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>																
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(都市機能の配置を大きく見直すこととなり、誘導区域の設定が困難になる。区域を設定したとしても、計画の実現可能性が乏しくなる。)																			
② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。																			
(例：都市構造そのものを移転することになる/土地が無くなる)																			
回答欄(都市機能の配置を大きく見直すこととなり、誘導区域の設定が困難になる。区域を設定したとしても、計画の実現可能性が乏しくなる。)																			

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)	
	回答欄 ()	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	チェック欄
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 (浸水想定区域が指定されていないため) ()	チェック欄
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
	①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	いいえ
Q2 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		
前回の回答(令和2年5月28日)時点	②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。	チェック欄
当該区域の指定はなかった。	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	いいえ
	②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
	(a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	
	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
	(a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()	
	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄
②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()		
Q2 津波浸水想定区域 ^(※3) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。		
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	前回の回答(令和2年5月28日)時点	①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (誘導区域にふさわしくないと判断したため。また、誘導区域候補地(鉄道駅徒歩圏(800m)内 or 国勢調査人口密度が40人/ha)の外だったため)
浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。		チェック欄
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※5) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。		
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	一部除外している災害ハザードエリアの名称 回答欄 (土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域(浸水深2m未満)、土砂災害危険箇所等(急傾斜地崩壊危険箇所)) 一部除外に関する設定内容 回答欄 (誘導区域が指定されていること、事業計画の決定、人口の集積状況等から「歩いて安全に生活できる範囲の範囲(まちづくり基本方針)」に照準を定め、指定区域としている。)	
Q4 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(h)その他(浸水想定区域が設定されていないため)」についてお聞かせ下さい。		
① (h)について、以下の質問にお答え下さい。	①-1 「当該区域が設定されていない」というのは、「本市において当該区域が現在指定されていない」ということでよろしいでしょうか。 (※「はい」を選択した場合、本研究において当該区域は「除外していない」ではなく、「対象外(指定なし)」ということになります。)	チェック欄
	①-2 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 「当該区域が設定されていない」というのは具体的にどういうことかお答え下さい。 回答欄 ()	はい
Q5 津波災害警戒区域 ^(※4) を除外していない理由である「(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」についてお聞かせ下さい。		
① (d)について、以下の質問にお答え下さい。	①-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。	チェック欄
	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 見直した結果、除外しなかった理由についてお答え下さい。(例：重要な拠点を含むため/指定が広大であるため)	いいえ
	①-3 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐ、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)	
	①-4 (5年ごとの施策評価・見直しに合わせて、立適策定後に制度化された防災指針の検討と合わせて行うこととしたため)	

Q1 浸水想定区域 ^{※1)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年6月2日)時点		
	浸水深を3mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	①-1 浸水深として3mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (人命を確保することができる基準を検討して、居住誘導区域の除外範囲を定めています。) ①-2 浸水深を3mとして設定する際に、根拠となった文献についてお答え下さい。 (例: [国土交通省] 住民目線にたった水害ハザードマップのあり方について) 回答欄 (洪水浸水想定区域図作成マニュアル[国土交通省]を参考にしています。)
②	家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年6月2日)時点		
	当該区域の指定はなかった。 ⇒(補足) 国管理の一部河川については、計画策定前に指定されていましたが、県管理の河川については計画策定時点では指定されていません。 なお、令和2年6月まで指定がなかったという意味ではありませんのでご留意ください。	→	②-1 令和2年6月2日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 (計画規模降雨による浸水想定を考慮したため) ②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (居住誘導区域から除外するかも含めて検討していきたいと考えています。)
Q2 津波浸水想定区域 ^{※3)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		
	前回の回答(令和2年6月2日)時点		
	浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (人命を確保することができる基準を検討して、居住誘導区域の除外範囲を定めています。) ①-2 浸水深を2mとして設定する際に、根拠となった文献についてお答え下さい。 (例: [国土交通省都市局] 津波被災市街地復興手法検討調査) 回答欄 (東日本大震災による被災現況調査結果について[国土交通省]を参考にしています。)
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^{※4)} について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
	一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()	
	一部除外に関する設定内容	回答欄 ()	
Q4 浸水想定区域 ^{※1)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。		
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		
	(a)鉄道駅 名称()		
	(b)行政施設 名称()		
	(c)商業施設 名称()		
	(d)医療・福祉施設 名称()		
	(e)教育・文化施設 名称()		
	(f)金融施設 名称()		
	(g)その他 () 名称(なごや集約連携型まちづくりプランに定める拠点市街地(都心域及び地域拠点))		
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例: 都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(拠点市街地は交通結節機能が高い駅の周辺等としており、すでに一定の都市機能の集積や市街化ははかられているなか、都市機能を移転したり、居住を抑制していくことは困難である)		
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。 (例: 都市構造そのものを移転することになる/土地が無くなる) 回答欄(広範囲におよぶため、本市の人口に対して十分な土地を確保することができない。また、区単位で除外される地域もあり、すでに市街化が進んでいるなかで、居住を抑制していくことは市民の理解を得ることができない。)		
Q5 津波災害警戒区域 ^{※4)} を除外していない理由である「(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」についてお聞かせ下さい。			
①	(d)について、以下の質問にお答え下さい。		
	①-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。		
	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 見直した結果、除外しなかった理由についてお答え下さい。(例: 重要な拠点を含むため/指定が広大であるため) 回答欄()		
	①-3 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐ、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例: 5年を経て長期的に検討するため) 回答欄(基本的に5年ごとにプランを評価し、必要な見直しを行うこととしているため。)		

3-2 名古屋市

Q6 災害危険区域(住居の用に供する建築物) ^(※5) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
	(a)鉄道駅 名称()	
	(b)行政施設 名称()	
	(c)商業施設 名称()	
	(d)医療・福祉施設 名称()	
	(e)教育・文化施設 名称()	
	(f)金融施設 名称()	
	(g)その他 () 名称(<u>なごや集約連携型まちづくりプランに定める拠点市街地（地域拠点）</u>)	<input type="radio"/>
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	(補足)
	回答欄(<u>拠点市街地は交通結節機能が高い駅の周辺等としており、すでに一定の都市機能の集積や市街化がはかられているなか、都市機能を移転したり、居住を抑制していくことは困難である</u>)	左記のとおり回答させていただきますが、本市の災害危険区域（臨海部防災区域）は過去の災害による被害をもとに、必要な
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。	
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)	
	回答欄(<u>広範囲におよぶため、本市の人口に対して十分な土地を確保することができない。また、区単位で除外される地域もあり、すでに市街化が進んでいるなかで、居住を抑制していくことは市民の理解を得ることができない。</u>)	
Q7 災害危険区域(その他の建築物) ^(※5) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
	(a)鉄道駅 名称()	
	(b)行政施設 名称()	
	(c)商業施設 名称()	
	(d)医療・福祉施設 名称()	
	(e)教育・文化施設 名称()	
	(f)金融施設 名称()	
	(g)その他 () 名称(<u>なごや集約連携型まちづくりプランに定める拠点市街地（地域拠点）</u>)	<input type="radio"/>
	①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
	回答欄(<u>拠点市街地は交通結節機能が高い駅の周辺等としており、すでに一定の都市機能の集積や市街化がはかられているなか、都市機能を移転したり、居住を抑制していくことは困難である</u>)	
②	(b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。	(補足)
	(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)	同上
	回答欄(<u>広範囲におよぶため、本市の人口に対して十分な土地を確保することができない。また、区単位で除外される地域もあり、すでに市街化が進んでいるなかで、居住を抑制していくことは市民の理解を得ることができない。</u>)	


① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

<p>前回の回答(令和2年5月27日)時点</p>		<p>①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a)設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c)その他 (豊川市洪水ハザードマップによる浸水深2m以上のエリアは、ほとんどが市街化調整区域であり、都市計画用途指針に基づき居住誘導区域から除外することとされている。市街化区域は、洪水に脆弱であると考えられるため、浸水深2m以上の区域を居住誘導区域から除外することとしている。)</p> <p>①-2 令和2年11月19日のアンケート調査で、浸水深2mを設定している根拠として「津波被災市街地復興手法検討調査(平成24年4月国土交通省都市局)」を上げて頂きました。当該文献について内容を確認してみたところ、津波浸水の浸水深2mに関する記載はありましたが、河川の洪水浸水に関する記載は確認することができませんでした。そのため、豊川市では河川の洪水浸水の浸水深を設定する際、当該文献の津波浸水の浸水深2mを参考にしていないのではないかと考えられたのですが、その内容についてはお間違いないでしょうか。</p>	<p>チェック欄</p>
<p>浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。</p>	<p>→</p>	<p>①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 津波浸水の方を参考にした理由についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 (①-2でご記載いただいたとおり。)</p> <p>①-4 (①-2で「いいえ」を選択した場合) 具体的に当該文献のどの箇所を参考にしたかお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p>はい</p>

前回の回答(令和2年5月27日)時点

当該区域の指定はなかった。	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	いいえ										
	②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食								
	氾濫流	河岸浸食										
	(a)対象範囲が小さかったため											
	(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため											
	(c)その他 ()											
	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食								
	氾濫流	河岸浸食										
(a)対象範囲が大きいため												
(b)対象範囲内に住宅が多いため												
(c)防災対策が図られているため												
(d)現在まで全く検討していなかったため												
(e)その他 (今後検討予定。)												
②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>チェック欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> </tr> </tbody> </table>	チェック欄	はい									
チェック欄												
はい												
②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	回答欄 (今後検討予定。)											

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

<p>前回の回答(令和2年5月27日)時点</p>		<p>①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんか。</p>	<p>いいえ</p>
<p>浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。</p>		<p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p>	
		<p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを <u>全て</u> 選択して下さい。</p> <p>(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>
		<p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に</p> <p>(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p> <p>(d) 防災対策が図られているため</p> <p>(e) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(f) その他 (設定はしているが、本件に基づき除外しているエリアはない。)</p>	<p>チェック欄</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>
		<p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p>	<p>チェック欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>
		<p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p>	<p>いいえ</p>

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄（災害に関する除外規定については、本市計画書P.105～112に記載していますので、ご確認ください。）
・一部除外に関する設定内容	い。）

① (e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。

(例：防災対策が図られているため／浸水深が低く、十分に避難できるため)
回答欄(本市計画書P112に記載していますので、ご確認ください。)

アンケート実施日	2020/12/21	アンケート返信
担当	建設部 都市整備課	大河内様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月16日)時点		①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。	チェック欄
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	<input type="radio"/>
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	<input type="radio"/>
		(c)浸水深が低く、除外する必要があると判断したため	
		(d)防災対策が図られているため	
		(e)現在まで全く検討していなかったため	
		(f)その他 ()	
		①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 いいえ
		①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
		回答欄 ()	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月16日)時点		②-1 現在、当該区域の指定はありますか。	チェック欄 はい
当該区域の指定は不明となっています。(未調査)	→	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	いいえ
		②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
		(a)対象範囲が小さかったため	
		(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
		(c)その他 ()	
		②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
		(a)対象範囲が大きいため	
		(b)対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)防災対策が図られているため	
		(d)現在まで全く検討していなかったため	
(e)その他 (指針に必ず当該区域を除外するように明記されていないため。)			
		②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 いいえ
		②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	↑未定
		回答欄 ()	
Q2 津波浸水想定区域 ^(※3) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月16日)時点		①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。	チェック欄
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	<input type="radio"/>
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	<input type="radio"/>
		(c)浸水深が低く、除外する必要があると判断したため	
		(d)防災対策が図られているため	
		(e)現在まで全く検討していなかったため	
		(f)その他 ()	
		①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 いいえ
		①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
		回答欄 ()	
Q3 Q1,Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※5) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 ()	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()	
Q4 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。			
① (a)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		チェック欄	
(a)鉄道駅	名称(近鉄弥富駅、佐古木駅、JR弥富駅、名鉄弥富駅)	<input type="radio"/>	
(b)行政施設	名称(弥富市役所)	<input type="radio"/>	
(c)商業施設	名称(イオンタウン、ウイングプラザバディー、DCMカーマ など)	<input type="radio"/>	
(d)医療・福祉施設	名称(海南病院、弥富市保健センター、弥富市地域包括支援センター など)	<input type="radio"/>	
(e)教育・文化施設	名称(図書館 など)	<input type="radio"/>	
(f)金融施設	名称(UFJ、郵便局 など)	<input type="radio"/>	
(g)その他 ()	名称()		
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)			
回答欄(大前提として、本市ほぼ全域が、浸水想定区域や津波浸水区域、津波災害警戒区域に指定されていることから、居住誘導区域から除外することは、現実的ではないと考えている。)			

3-4 弥富市

Q5 津波浸水想定区域 ^(注3) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		チェック欄
(a)鉄道駅	名称(近鉄弥富駅、佐古木駅、JR弥富駅、名鉄弥富駅)	<input type="radio"/>
(b)行政施設	名称(弥富市役所)	<input type="radio"/>
(c)商業施設	名称(イオンタウン、ウイングプラザパディー、DCMカーマ など)	<input type="radio"/>
(d)医療・福祉施設	名称(海南病院、弥富市保健センター、弥富市地域包括支援センター など)	<input type="radio"/>
(e)教育・文化施設	名称(図書館 など)	<input type="radio"/>
(f)金融施設	名称(UFJ、郵便局 など)	<input type="radio"/>
(g)その他 ()	名称()	
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		
回答欄(大前提として、本市ほぼ全域が、浸水想定区域や津波浸水区域、津波災害警戒区域に指定されていることから、居住誘導区域から除外することは、現実的ではないと考えている。)		
Q6 津波災害警戒区域 ^(注4) を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		チェック欄
(a)鉄道駅	名称(近鉄弥富駅、佐古木駅、JR弥富駅、名鉄弥富駅)	<input type="radio"/>
(b)行政施設	名称(弥富市役所)	<input type="radio"/>
(c)商業施設	名称(イオンタウン、ウイングプラザパディー、DCMカーマ など)	<input type="radio"/>
(d)医療・福祉施設	名称(海南病院、弥富市保健センター、弥富市地域包括支援センター など)	<input type="radio"/>
(e)教育・文化施設	名称(図書館 など)	<input type="radio"/>
(f)金融施設	名称(UFJ、郵便局 など)	<input type="radio"/>
(g)その他 ()	名称()	
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		
回答欄(大前提として、本市ほぼ全域が、浸水想定区域や津波浸水区域、津波災害警戒区域に指定されていることから、居住誘導区域から除外することは、現実的ではないと考えている。)		

3-5 田原市

アンケート実施日	2020/12/25 アンケート返信	
担当	都市建設部 街づくり推進課	武田様

<p>Q1 津波浸水想定区域^{※1}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。</p>			
<p>① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。</p>	<p>前回の回答(令和2年11月16日)時点</p> <p>浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。</p>	<p>①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを<u>全て</u>選択して下さい。</p> <p>(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p> <p>(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p> <p>(d)防災対策が図られているため</p> <p>(e)現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(f)その他 ()</p> <p>①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p>	<p>チェック欄</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
<p>Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※3}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。</p>			
<p>① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。</p>	<p>・一部除外している災害ハザードエリアの名称</p> <p>・一部除外に関する設定内容</p>	<p>回答欄 (なし)</p> <p>回答欄 ()</p>	
<p>Q3 津波浸水想定区域^{※1}を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。</p>			
<p>① (a)について、以下の質問にお答え下さい。</p>	<p>①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。</p> <p>(a)鉄道駅 名称(三河田原駅)</p> <p>(b)行政施設 名称(文化会館、総合体育館、図書館)</p> <p>(c)商業施設 名称(田原ショッピングセンターパオ、カーマ、ショッピングセンターレイほか)</p> <p>(d)医療・福祉施設 名称()</p> <p>(e)教育・文化施設 名称()</p> <p>(f)金融施設 名称()</p> <p>(g)その他 () 名称()</p> <p>①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)</p> <p>回答欄(都市機能や居住地がなくなる／人口減少)</p>	<p>チェック欄</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	
<p>② (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。</p> <p>(例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる)</p> <p>回答欄(都市機能や居住地がなくなる／人口減少)</p>			
<p>③ (e)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。</p> <p>(例：防災対策が図られているため／浸水深が低く、十分に避難できるため)</p> <p>回答欄(浸水深が低く、津波の到達までに時間があるため海拔の高いところまで避難することが可能であるため。)</p>			
<p>④ (f)について、以下の質問にお答え下さい。</p>	<p>④-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠／(ソフト)情報周知、防災訓練)</p> <p>回答欄(情報周知(防災マップ、地震・津波避難マップの配布)、避難訓練の実施。)</p> <p>④-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</p> <p>回答欄(住民が事前に避難行動を確認しているため。)</p>		

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	藤埴様

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄
前回の回答(令和2年5月27日)時点	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月27日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 () ①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 () ①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()

② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄
前回の回答(令和2年5月27日)時点	いいえ
当該区域の指定はなかった。	②-1 令和2年5月27日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 () ②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^(※3)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所・急傾斜地崩壊危険区域)

3-7 東郷町

アンケート実施日	2020/12/24 アンケート返信	
担当	都市建設部 都市計画課	野々山様

Q1 都市浸水想定区域 ^{※1} を除外していない理由である「(d)当該区域で災害リスクが低いと判断したため」「(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。	
①	<p>(d)について、災害リスクが低いと判断した理由についてお答え下さい。</p> <p>(例：防災対策が図られているため／浸水深が低く、十分に避難できるため)</p> <p>回答欄(防災対策が図られており、十分に避難できるため。【東郷町立地適正化計画P50参照】)</p>
②	<p>(e)について、以下の質問にお答え下さい。</p> <p>②-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠／(ソフト)情報周知、防災訓練)</p> <p>回答欄((ハード面) 境川水系河川整備計画による河川改修の計画/雨水貯留浸透施設の設置の義務付けなどによる治水対策/浸水深を低減するための排水路の改修)</p> <p>((ソフト面) ハザードマップによる周知、地区の自主防災会による防災訓練の推進)</p> <p>②-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)</p> <p>回答欄(上記のハード面における防災対策を行うことで、浸水深の低減に繋がるとともに、ソフト面における防災対策を行うことで、住民が事前に避難行動を確認)</p> <p>することができていると判断しているため。)</p>
Q2 災害ハザードエリア ^{※2} について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。	
①	<p>居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。</p> <p>・一部除外している災害ハザードエリアの名称 回答欄 ()</p> <p>・一部除外に関する設定内容 回答欄 ()</p>

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。								
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。				チェック欄			
	前回の回答(令和2年6月1日)時点		①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。		いいえ			
	浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()					
①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()			チェック欄					
①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものも、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 (過去調査で回答済み【計画書P67】)			チェック欄					
①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。			チェック欄	いいえ				
①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()								
② 家屋倒壊等氾濫想定区域^(※2)(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。								
			前回の回答(令和2年6月1日)時点		②-1 令和2年6月1日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。		いいえ	
当該区域の指定はなかった。				②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。				
				②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	氾濫流	河岸浸食		
				②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 ()	氾濫流	河岸浸食		
	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄						
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()							
	Q2 津波浸水想定区域^(※3)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。							
	①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。					チェック欄	
		前回の回答(令和2年6月1日)時点			①-1 令和2年6月1日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。		いいえ	
	浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。			①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()				
				①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	チェック欄			
①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 (過去調査で回答済み【計画書P67】)			チェック欄					
①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。			チェック欄	いいえ				
①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()								
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア^(※4)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。								
①			居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。					
			・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()				
			・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()				

アンケート実施日	2021/1/4 アンケート返信	
担当	企画政策部 都市計画課	川口様

Q1 浸水想定区域^{※1)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)	
	回答欄 ()	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
	(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため	
	(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c) その他 ()	
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
	(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
	(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
	(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため	
	(d) 防災対策が図られているため	
	(e) 現在まで全く検討していなかったため	○
	(f) その他 (防災指針等について、今後検討を進めていく予定)	
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい
	①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
	回答欄 ()	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年5月28日)時点	②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。	いいえ
当該区域の指定はなかった。	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。	
	②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
	(a) 対象範囲が小さかったため	
	(b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
	(c) その他 ()	
	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	氾濫流 河岸浸食
	(a) 対象範囲が大きいため	
	(b) 対象範囲内に住宅が多いため	
	(c) 防災対策が図られているため	
	(d) 現在まで全く検討していなかったため	
	(e) その他 (防災指針等について、今後検討を進めていく予定)	
	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
	回答欄 ()	

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※3)}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域)
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (上記区域の全域を居住誘導区域から除外)

Q3 浸水想定区域^{※1)}を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。

① (a)について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		
(a) 鉄道駅	名称(豊田市駅、新豊田駅)	○
(b) 行政施設	名称(市役所、中央図書館、美術館、総合体育館 等)	○
(c) 商業施設	名称()	
(d) 医療・福祉施設	名称()	
(e) 教育・文化施設	名称()	
(f) 金融施設	名称()	
(g) その他 ()	名称()	
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		
回答欄(都市機能の配置が変わってしまう)		

Q1 浸水想定区域^{*1)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄
<p>前回の回答(令和2年6月17日)時点</p> <p>浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。</p>	<p>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 ①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 ①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p> <p>(d) 防災対策が図られているため</p> <p>(e) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(f) その他 (計画策定後に浸水想定区域に指定がされたため。)</p> <p>①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 ①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在において検討はしておらず、R4年度に予定する見直し時に検討する。)</p> <p>チェック欄 はい</p>
<p>② 家屋倒壊等氾濫想定区域^{*2)}(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。</p> <p>前回の回答(令和2年6月17日)時点</p> <p>当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)</p>	<p>②-1 令和2年6月17日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>②-2 ②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>②-3 ②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>②-4 ②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 防災対策が図られているため</p> <p>(d) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(e) その他 ()</p> <p>②-5 ②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>②-6 ②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現在において検討はしておらず、R4年度に予定する見直し時に検討する。)</p> <p>氾濫流 河岸浸食</p> <p>氾濫流の指定なし</p> <p>チェック欄 はい</p>

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{*3)}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	回答欄 ()
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()
・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()

3-11 春日井市

アンケート実施日	2021/2/10 アンケート返信	
担当	まちづくり推進部	梅山様
	都市政策課	

Q1 浸水想定区域^(※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

①-1 令和2年6月3日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	チェック欄 いいえ
①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)計画策定後に新しく指定されたため (d)防災対策、避難対策が図られているため (e)災害リスクが低いと判断したため (f)現在まで全く検討していなかったため (g)計画見直し等、今後検討する予定であったため (h)指針に必ず除外するように記載されていないため (i)設定したが、除外には至っていないため (j)その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (令和4～5年度の計画見直しで考え方を整理する予定)	チェック欄 はい

② 家屋倒壊等氾濫想定区域^(※2)(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。

②-1 令和2年6月3日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 ()	チェック欄 いいえ																		
②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
氾濫流	河岸浸食																		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)計画策定後に新しく指定されたため (d)防災対策、避難対策が図られているため (e)災害リスクが低いと判断したため (f)現在まで全く検討していなかったため (g)計画見直し等、今後検討する予定であったため (h)指針に必ず除外するように記載されていないため (i)設定したが、除外には至っていないため (j)計画規模のハザードマップを参照したため (k)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th> <th>河岸浸食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> <tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
氾濫流	河岸浸食																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																		
②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (令和4～5年度の計画見直しで考え方を整理する予定)	チェック欄 はい																		

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^(※3)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (土砂災害特別警戒区域、災害危険区域、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域)
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (市街化区域内に指定があるのは土砂災害特別警戒区域のみ。 居住誘導区域の当初設定時には全て除外していたが、その後居住誘導区域内に土砂災害特別警戒区域が追加指定されたため、R3.3を目処に全て除外予定。)

3-12 安城市

アンケート実施日	2020/12/24 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課	宮地様

Q1 浸水想定区域※1)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点	<p>①-1 令和2年6月2日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p> <p>(d) 防災対策が図られているため</p> <p>(e) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(f) その他 ()</p> <p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p>	<p>いいえ</p> <p>チェック欄</p> <p>いいえ</p>
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。		
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月2日)時点	<p>②-1 令和2年6月2日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。</p> <p>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。</p> <p>②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 防災対策が図られているため</p> <p>(d) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(e) その他 ()</p> <p>②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p>	<p>いいえ</p> <p>氾濫流 河岸浸食</p> <p>氾濫流 河岸浸食</p> <p>チェック欄</p>
当該区域の指定はなかった。		

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^(※3)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。	
一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()
一部除外に関する設定内容	回答欄 ()

3-13 知立市

アンケート実施日	2020/12/24 アンケート返信	
担当	都市整備部 都市計画課 都市企画係	得能様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
①-1 前回の回答(令和2年5月28日)時点 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月28日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	チェック欄 いいえ	
	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/>	
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/>	
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
②-1 前回の回答(令和2年5月28日)時点 当該区域の指定はなかった。	②-1 令和2年5月28日から現在にかけて、当該区域の新たな指定はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 ②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が小さかったため (b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c) その他 ()	チェック欄 いいえ	氾濫流 <input type="checkbox"/>
	②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a) 対象範囲が大きいため (b) 対象範囲内に住宅が多いため (c) 防災対策が図られているため (d) 現在まで全く検討していなかったため (e) その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/>	河岸浸食 <input type="checkbox"/>
	②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	チェック欄 いいえ	
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 ()	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()	
Q3 浸水想定区域 ^(※1) を除外していない理由である「(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。			
① (e)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠/(ソフト)情報周知、防災訓練) 回答欄(水防訓練(年1回開催)、河川拐改修)			
①-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため) 回答欄(訓練を通じ住民の防災意識が高まっているため)			
Q4 都市洪水想定区域 ^(※3) を除外していない理由である「(e)当該区域内の防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。			
① (e)について、以下の質問にお答え下さい。			
①-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠/(ソフト)情報周知、防災訓練) 回答欄(水防訓練(年1回開催)、河川拐改修)			
①-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため) 回答欄(訓練を通じ住民の防災意識が高まっているため)			

アンケート実施日	2020/1/4 電話	
担当	都市計画課	伊藤様

Q1 浸水想定区域^{※1}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

前回の回答(令和2年11月25日)時点

検討中で、回答できない

浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。

①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを**全て**選択して下さい。 **チェック欄**

- (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため
(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため
(c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため
(d)防災対策が図られているため
(e)現在まで全く検討していなかったため
(f)その他 ()

①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 **チェック欄**

①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。

回答欄 ()

② 家屋倒壊等氾濫想定区域^{※2}(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。

前回の回答(令和2年11月25日)時点

指定の管轄は愛知県だが、現時点では指定されていない

当該区域の指定は不明となっています。(未調査)

②-1 現在、当該区域の指定はありますか。 **チェック欄**

②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。 **いいえ**

②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを**全て**選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)

- (a)対象範囲が小さかったため
(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため
(c)その他 ()

氾濫流	河岸浸食

②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを**全て**選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)

- (a)対象範囲が大きい
(b)対象範囲内に住宅が多い
(c)防災対策が図られているため
(d)現在まで全く検討していなかったため
(e)その他 ()

氾濫流	河岸浸食

②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 **チェック欄**

②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。

回答欄 ()

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※3}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

- 一部除外している災害ハザードエリアの名称
- 一部除外に関する設定内容

回答欄 ()

回答欄 ()

検討中で、回答できない

4-1 桑名市

アンケート実施日	2020/12/24	アンケート返信
担当	都市整備部 都市整備課	佐藤様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
①-1 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 () ①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 () ①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現時点では検討していませんが、今後、国の指針に基づき検討する予定としています。)	チェック欄 いいえ チェック欄 はい チェック欄 はい	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
②-1 当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	②-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ②-2 ②-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 () ②-3 ②-1で「はい」を選択した場合 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 ②-1で「いいえ」を選択した場合 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 () ②-5 ②-1で「いいえ」を選択した場合 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 ②-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現時点では検討していませんが、今後、国の指針に基づき検討する予定としています。)	チェック欄 氾濫流 河岸浸食 氾濫流 河岸浸食 チェック欄 はい	
Q2 津波浸水想定区域 ^(※3) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
①-1 浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 () ①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 () ①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (現時点では検討していませんが、今後、国の指針に基づき検討する予定としています。)	チェック欄 いいえ チェック欄 はい	
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称 ・一部除外に関する設定内容	回答欄 (急傾斜地崩壊危険区域) 回答欄 (居住誘導区域から除外)		

4-2 津市

アンケート実施日	2021/1/8 アンケート返信	
担当	都市計画部 都市政策課	水谷様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。				
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄		
前回の回答(令和2年5月29日)時点		①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ	
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	チェック欄	
		①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。 (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 (洪水災害は、天候、河川の状況等について事前の状況を把握でき、状況に応じた避難等も可能であるため。)	チェック欄	
		①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄	
		①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	いいえ	
Q2 家屋倒壊等氾濫想定区域※2(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。				
② 家屋倒壊等氾濫想定区域の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄		
前回の回答(令和2年5月29日)時点		②-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ②-2 ②-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ	
当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	→	②-3 ②-1で「はい」を選択した場合 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	氾濫流 河岸浸食	
		②-4 ②-1で「いいえ」を選択した場合 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 (洪水災害は、天候、河川の状況等について事前の状況を把握でき、状況に応じた避難等も可能であるため。)	氾濫流 河岸浸食	
		②-5 ②-1で「いいえ」を選択した場合 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄	
		②-6 ②-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ()	いいえ	
Q3 津波浸水想定区域※3の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。				
③ 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄		
前回の回答(令和2年5月29日)時点		③-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (『三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針』における許容浸水深の基準に基づき、都市機能の集約を目指す中心となる施設である拠点施設や交通結節点を含まない「過去最大クラスの許容浸水深(2m以上)」の区域を基準として設置している。)	チェック欄	
浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→			
Q4 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア※4について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。				
④ 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。				
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()			
・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()			
Q5 浸水想定区域※1を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。				
⑤ (a)について、以下の質問にお答え下さい。		チェック欄		
⑤-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。				
(a)鉄道駅	名称(津新町駅、江戸橋駅)		○	
(b)行政施設	名称(津市本庁舎)		○	
(c)商業施設	名称(複数店舗)		○	
(d)医療・福祉施設	名称(国立大学病院三重大学医学部附属病院等)		○	
(e)教育・文化施設	名称(三重大学等)		○	
(f)金融施設	名称(複数店舗)		○	
(g)その他 ()	名称()			
⑤-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が生じると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう) 回答欄(これまで投資を進めてきた既成市街地への影響が大きく、災害リスクのない範囲での市街地形成が難しい。)				

4-2 津市

Q5 津波浸水想定区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。			
	①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	
	①-1	重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。	チェック欄
	(a)鉄道駅	名称(津新町駅、江戸橋駅)	<input type="radio"/>
	(b)行政施設	名称(津市本庁舎)	<input type="radio"/>
	(c)商業施設	名称(複数店舗)	<input type="radio"/>
	(d)医療・福祉施設	名称(国立大学病院三重大学医学部附属病院等)	<input type="radio"/>
	(e)教育・文化施設	名称(三重大学等)	<input type="radio"/>
	(f)金融施設	名称(複数店舗)	<input type="radio"/>
	(g)その他 ()	名称()	
	①-2	仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)	
回答欄(これまで投資を進めてきた既成市街地への影響が大きく、災害リスクのない範囲での市街地形成が難しい。)			

4-3 松阪市

アンケート実施日	2020/12/25 アンケート返信	
担当	建設部 都市計画課	青木様

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄 いいえ
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div> <p>浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。</p> </div> </div>	<div> <div>回答できない</div> <div>→</div> </div>	<div> <p>①-1 令和2年6月17日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでした。</p> <p>①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)</p> <p>回答欄 ()</p> <p>①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため</p> <p>(d) 防災対策が図られているため</p> <p>(e) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(f) その他 ()</p> <p>①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p> </div>
②	家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div> <p>当該区域の指定は不明となっています。(未調査)</p> </div> </div>	<div> <div>→</div> </div>	<div> <p>②-1 現在、当該区域の指定はありますか。</p> <p>②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を居住誘導区域から除外していますか。</p> <p>②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> <p>②-4 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)</p> <p>(a) 対象範囲が大きいため</p> <p>(b) 対象範囲内に住宅が多いため</p> <p>(c) 防災対策が図られているため</p> <p>(d) 現在まで全く検討していなかったため</p> <p>(e) その他 ()</p> <p>②-5 (②-2で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。</p> <p>②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。</p> <p>回答欄 ()</p> </div>
Q2	津波浸水想定区域 ^(※3) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。		
①	浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
	<div> <div>前回の回答(令和2年6月17日)時点</div> <div> <p>浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。</p> </div> </div>	<div> <div>→</div> </div>	<div> <p>①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。</p> <p>(a) 設定した際、対象範囲が小さかったため</p> <p>(b) 設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため</p> <p>(c) その他 ()</p> </div>
Q3	Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。		
①	居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。		
	<div> <div>一部除外している災害ハザードエリアの名称</div> <div> <p>回答欄 ()</p> </div> </div>		
	<div> <div>一部除外に関する設定内容</div> <div> <p>回答欄 ()</p> </div> </div>		

4-4 朝日町

アンケート実施日	2020/12/21 アンケート返信	
担当	企画情報課	高重様

Q1 浸水想定区域※1の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月4日)時点	①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a) 設定した際、対象範囲が小さかったため (b) 設定した際、対象範囲内に住宅が少なかった/なかったため (c) その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に (a) 仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b) 仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c) 浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d) 防災対策が図られているため (e) 現在まで全く検討していなかったため (f) その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (次年度計画改定予定のため、一部除外について検討はするが適用する可能性は低い。)	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

②	家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。	チェック欄 いいえ					
	前回の回答(令和2年6月4日)時点						
当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	②-1 令和2年6月4日から現在にかけて、設定状況に変化はありませんでしたか。						
	②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)						
	回答欄 ()						
	②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)						
	(a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が少なかった/なかったため (c)その他 ()	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氾濫流</th><th>河岸浸食</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	氾濫流	河岸浸食			
氾濫流	河岸浸食						
	→						
	②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)						
	(a)対象範囲が大きいため						
	(b)対象範囲内に住宅が多いため						
	(c)防災対策が図られているため						
	(d)現在まで全く検討していなかったため						
	(e)その他 ()						
	②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。	チェック欄 はい					
	②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。						
	回答欄 (①-6に同じ)						

Q2 津波浸水想定区域※3)の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。		チェック欄
前回の回答(令和2年6月4日)時点	①-1 令和2年6月4日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ①-2 ①-1で「はい」を選択した場合 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が2m以上の範囲を一部除外することになった。) 回答欄 ()	いいえ
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	①-3 ①-1で「はい」を選択した場合 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 ()	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	①-4 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に (a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため (b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため (c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため (d)防災対策が図られているため (e)現在まで全く検討していなかったため (f)その他 ()	チェック欄 <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	①-5 ①-1で「いいえ」を選択した場合 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。 ①-6 ①-5で「はい」を選択した場合 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 ①-6に同じ ()	チェック欄 はい

Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア※4)について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 ()
・一部除外に関する設定内容	回答欄 ()

4-5 伊勢市

アンケート実施日	2020/12/23	アンケート返信
担当	都市整備部 都市計画課	大野様

Q1 浸水想定区域 ^{※1)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年6月12日)時点 浸水深を3mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。(五十鈴川の当該区域指定以前について)	→	①-1 浸水深として3mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他(伊勢市立地適正化計画P103「洪水の浸水深からの居住誘導区域の設定について」参照。)本市における浸水想定区域は、P34に示しているように、用途地域の指定のある地域の過半に及び、特に中心市街地はほぼ大半が浸水想定区域に含まれている。また、用途地域内人口の約58.3%が浸水区域内に居住している。 このことから、居住誘導区域の指定に当たり、浸水想定区域全てを除外することは現実的ではないため、P103に示すように2階建て以上の建築物であれば垂直避難が可能な浸水深3mを一つの基準とし、居住誘導区域を設定した。	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^{※2)} (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年6月12日)時点 当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(五十鈴川の当該区域指定以後について)	→	②-1 令和2年6月12日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。 ②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。) 回答欄 () ②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が小さかったため (b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 () ②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に) (a)対象範囲が大きいため (b)対象範囲内に住宅が多いため (c)防災対策が図られているため (d)現在まで全く検討していなかったため (e)その他 (令和3年度より検討予定) ②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。 ②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。 回答欄 (未定)	チェック欄 いいえ 氾濫流 河岸浸食 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 氾濫流 河岸浸食 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> チェック欄 はい
Q2 津波浸水想定区域 ^{※3)} の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年6月12日)時点 浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。 (a)設定した際、対象範囲が小さかったため (b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため (c)その他 (P105「津波の浸水深からの居住誘導区域の設定について」参照。) 本市における津波浸水想定区域は、P35に示しているように、用途地域の指定のある区域の約4割に及び、用途地域内人口の約4割が津波浸水区域内に居住している。 このことから、洪水浸水想定区域と同様に、居住誘導区域の指定に当たり津波浸水想定区域全てを除外することは現実的ではないことから、P105に示した三重県指針の考え方に則り、浸水深2mを基準とし居住誘導区域を設定した。	チェック欄 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^{※4)} について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称 ・一部除外に関する設定内容	回答欄 (一部除外のものは無い(すべて除外しているか、計画策定後の区域指定のため除外していないかのいずれか)) 回答欄 ()		
Q4 津波浸水想定区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(b)当該区域が広範囲の指定であるため」についてお聞かせ下さい。			
① (b)について、仮に当該区域の全ての範囲を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。 (例：都市構造そのものを移転することになる／土地が無くなる) 回答欄(津波浸水想定区域は本市の中心市街地を含んでいることから、都市構造そのものの移転が必要となる。移転には莫大な費用と時間を要する上に、平野部に移転の適地はほとんどない。山間部への移転については、本市の山間部は伊勢志摩国立公園に指定されていることや神宮林が多く存在することなどから開発は難しく、また開発が可能となったとしても、自然環境への多大なる悪影響が想定される。)			

4-6 四日市市

アンケート実施日	2020/12/28 アンケート返信		
担当	都市整備部	都市計画課	杉浦様
	計画グループ		

Q1 浸水想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月18日)時点		①-1 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。	チェック欄
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)浸水深が低く、除外する必要がないと判断したため	
		(d)防災対策が図られているため	
		(e)現在まで全く検討していなかったため	
(f)その他（都市計画運用指針において除外が義務付けられていないことに加え、河川護岸整備や河川改修などのハード対策、ハザードマップによるリスクの周知や河川水位の監視による避難情報の発令体制、市民総ぐるみ防災訓練の実施などソフト対策も図られていることから、浸水区域は広範囲にわたるものの、事前にある程度の予測・準備ができる点なども考慮し、ハード・ソフト両面の対策の推進を前提に除外しない。）			
①-2 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、今後検討していく予定はありますか。		チェック欄	いいえ
①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。			
回答欄 ()			
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月18日)時点		②-1 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを 全て 選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)	
当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から一部を除外している状況はみられなかった。(居住誘導区域に含めている)	→	(a)対象範囲が大きいため	氾濫流 河岸浸食
		(b)対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)防災対策が図られているため	
		(d)現在まで全く検討していなかったため	
		(e)その他（都市計画運用指針において除外が義務付けられていないことに加え、河川護岸整備や河川改修などのハード対策、ハザードマップによるリスクの周知や河川水位の監視による避難情報の発令体制、市民総ぐるみ防災訓練の実施などソフト対策も図られていることから、浸水区域は広範囲にわたるものの、事前にある程度の予測・準備ができる点なども考慮し、ハード・ソフト両面の対策の推進を前提に除外しない。）	
②-2 当該区域の除外について、今後検討していく予定はありますか。		チェック欄	いいえ
②-3 (②-2で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。			
回答欄 ()			
Q2 津波浸水想定区域 ^(※3) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			
前回の回答(令和2年11月18日)時点		①-1 浸水深として2mを設定し、それ以上を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを 全て 選択して下さい。	チェック欄
浸水深を2mに設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していた。	→	(a)設定した際、対象範囲が小さかったため	
		(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
		(c)その他（「三重県地震・津波被害の低減に向けた都市計画指針(平成28年8月)」において、津波浸水深2.0m以上で木造建築物が全壊となる割合が飛躍的に増加する傾向があることが示されており、危険性が高いと判断したため。）	
Q3 Q1.Q2以外で、災害ハザードエリア ^(※4) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称		回答欄 ()	
・一部除外に関する設定内容		回答欄 ()	

4-7 亀山市

アンケート実施日	2020/12/22 アンケート返信		
担当	産業建設部 都市整備課 都市計画グループ		伊藤様

Q1 浸水深想定区域 ^(※1) の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。			
① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点		①-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。	いいえ
		①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。 (例：浸水深が3m以上の範囲を一部除外することになった。)	
		回答欄 ()	
		①-3 (①-1で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	チェック欄
		(a)設定した際、対象範囲が小さかったため	
		(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
		(c)その他 ()	
浸水深を設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。	→	①-4 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に	チェック欄
		(a)仮に設定しても、対象範囲が大きいため	<input type="radio"/>
		(b)仮に設定しても、対象範囲内に住宅が多いため	<input type="radio"/>
		(c)浸水深が低く、除外する必要があると判断したため	
		(d)防災対策が図られているため	
		(e)現在まで全く検討していなかったため	
		(f)その他 (市の中心部である商業施設や文化施設がある区域が指定されており、市街地の移転が困難であることから、災害を防止する施設の整備など市街地を災害から守る対策を行うため)	
		①-5 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、	チェック欄
		今後検討していく予定はありますか。	いいえ
		①-6 (①-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
		回答欄 ()	
② 家屋倒壊等氾濫想定区域 ^(※2) (氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。			チェック欄
前回の回答(令和2年5月29日)時点		②-1 当該区域は氾濫流、河岸浸食のいずれも除外していますか。	氾濫流のみ
		②-2 (②-1で「除外している」方に対して) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを全て選択して下さい。	
		(a)対象範囲が小さかったため	氾濫流 河岸浸食
		(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため	
		(c)その他 (河川氾濫時に家屋倒壊が発生することにより、垂直避難が難しいことから)	
当該区域の指定があり、居住誘導区域から除外していた。	→	②-3 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。	氾濫流 河岸浸食
		(a)対象範囲が大きいため	
		(b)対象範囲内に住宅が多いため	
		(c)防災対策が図られているため	
		(d)現在まで全く検討していなかったため	
		(e)その他 ()	
		②-4 (②-1で「除外していない」方に対して) 当該区域の除外について、今後検討していく予	チェック欄
		定はありますか。	
		②-5 (②-4で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。	
		回答欄 ()	
Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア ^(※3) について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。			
① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。			
・一部除外している災害ハザードエリアの名称	回答欄 (土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜崩壊危険区域)		
・一部除外に関する設定内容	回答欄 (立地適正化計画は都市マスタープランの一部となりますが、立地適正化計画策定後(H29.10)に都市マスタープランの改定(H31.3)を行い、居住誘導区域に上記のエリアを含まないこととしました。)		

アンケート実施日	2021/1/4 アンケート返信	
担当	都市計画課 開発指導室	吉川様

Q1 浸水想定区域^{※1)}の一部除外に関する設定状況についてお聞かせ下さい。

① 浸水深の設定状況についてお答え下さい。

前回の回答(令和2年5月29日)時点

除外している地区
に関して

①-1 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを**全て**選択して下さい。

(a)設定した際、対象範囲が小さかったため

チェック欄

(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため

(c)その他(浸水深0.5m以上の区域は、災害リスク等を総合的に判断して、原則的に除外する方針としていま

①-2 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。

いいえ

①-3 (①-2で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。

(例：浸水深が0.5m以上の範囲を一部除外することになった。)

回答欄()

①-4 (①-2で「はい」を選択した場合) 浸水深を設定し、一部除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを**全て**選択して下さい。

チェック欄

(a)設定した際、対象範囲が小さかったため

(b)設定した際、対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため

(c)その他()

①-5 (①-2で「いいえ」を選択した場合) 浸水深を設定していない理由について、以下の項目に該当するも

チェック欄

(a)対象範囲が大きいため

(b)対象範囲内に住宅が多いため

(c)災害リスクが低いと判断したため

(d)防災対策、避難対策が図られているため

(e)計画策定後に新しく指定されたため

(f)現在まで全く検討していなかったため

(g)次回の計画見直しの際に検討する予定であったため

(h)指針に必ず除外するように記載されていないため

(i)その他(計画的に都市基盤を整備した土地区画整理事業地であるため、歴史的風致維持向上計画の重点区域として、拠点まちづくり実施予定と位置付けられているため)

①-6 (①-2で「いいえ」を選択した場合) 浸水深の設定による当該区域の一部除外について、

チェック欄

今後検討していく予定はありますか。

はい

①-7 (①-6で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。

回答欄(具体的な内容については未定です。)

一部の地区で浸水深0.5m以上を設定し、それ以上を居住誘導区域から除外していたが、それ以外の地区では含めていた。(令和2年12月24日の電話で確認)

含めている地区
に関して

② 家屋倒壊等氾濫想定区域^{※2)}(氾濫流、河岸浸食)の設定状況についてお答え下さい。

チェック欄

前回の回答(令和2年5月29日)時点

②-1 令和2年5月29日から現在にかけて、設定状況に変化はありましたか。

いいえ

②-2 (②-1で「はい」を選択した場合) 変更された設定内容についてお答え下さい。

(例：家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸浸食)を除外することになった。)

回答欄()

②-3 (②-1で「はい」を選択した場合) 当該区域を除外することができた理由について、以下の項目で該当するものを**全て**選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)

氾濫流 河岸浸食

(a)対象範囲が小さかったため

(b)対象範囲内に住宅が(少なかった/なかった)ため

(c)その他()

②-4 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域を除外していない理由について、以下の項目に該当するものを**全て**選択して下さい。(氾濫流、河岸浸食の該当する方に)

氾濫流 河岸浸食

(a)対象範囲が大きいため

(b)対象範囲内に住宅が多いため

(c)災害リスクが低いと判断したため

(d)防災対策、避難対策が図られているため

(e)計画策定後に新しく指定されたため

(f)現在まで全く検討していなかったため

(g)次回の計画見直しの際に検討する予定であったため

(h)指針に必ず除外するように記載されていないため

(i)その他()

②-5 (②-1で「いいえ」を選択した場合) 当該区域の除外について、今後検討していく予定は

チェック欄

ありますか。

はい

②-6 (②-5で「はい」を選択した場合) 検討している内容についてお答え下さい。

回答欄(具体的な内容については未定です。)

当該区域の指定はあったが、設定し、居住誘導区域から除外している状況はみられなかった。(令和2年12月24日の電話で確認)

→

Q2 Q1以外で、災害ハザードエリア^{※4)}について居住誘導区域から一部除外している場合、以下の質問にお答えください。

① 居住誘導区域から一部除外している災害ハザードエリアの名称とその設定内容についてお答え下さい。

・一部除外している災害ハザードエリアの名称

回答欄(土砂災害特別警戒区域)

・一部除外に関する設定内容

回答欄(計画策定時の指定区域は原則すべて除外)

4-8 伊賀市

Q3 浸水想定区域 ^{※1)} を除外していない理由である「(a)当該区域が重要な拠点を含むため」についてお聞かせ下さい。		
①	(a)について、以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
①-1 重要な拠点について、以下の項目に該当するものを全て選択して下さい。各施設の名称もお答え下さい。		
(a)鉄道駅	名称()	
(b)行政施設	名称(青山支所)	○
(c)商業施設	名称()	
(d)医療・福祉施設	名称()	
(e)教育・文化施設	名称()	
(f)金融施設	名称()	
(g)その他()	名称()	
①-2 仮に上記の重要な拠点を居住誘導区域から除外すると、どのような問題が起きると考えていますか。(例：都市機能の配置が変わってしまう)		
回答欄(歴史的風致維持向上計画の重点区域に指定されており、その計画では現在の集落を維持し、かつ拠点となるようにまちづくりを進める方針となっているため、居住誘導区域から除外すると整合性が図れない。)		
Q4 土砂災害警戒区域 ^{※3)} を除外していない理由である「(d)計画策定後に当該区域が新たに指定されたため」「(f)防災対策で安全性が確保されているため」についてお聞かせ下さい。		
①	(d)について、以下の質問にお答え下さい。	チェック欄
①-1 当該区域が新たに指定されてから直ぐに、計画の見直しは行われましたか。		いいえ
①-2 (①-1で「はい」を選択した場合) 見直した結果、除外しなかった理由についてお答え下さい。(例：重要な拠点を含むため/指定が広大であるため)		
回答欄()		
①-3 (①-1で「いいえ」を選択した場合) 指定されてから直ぐ、計画の見直しが行われなかった理由についてお答え下さい。(例：5年を経て長期的に検討するため)		
回答欄(指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため)		
②	(f)について、以下の質問にお答え下さい。	
②-1 当該区域内で安全性を確保するために行なっている防災対策についてお答え下さい。(例：(ハード)法枠/(ソフト)情報周知、防災訓練)		
回答欄(ハード：法面保護等の施設整備の実施 / ソフト：対象区域のハザードマップの作成)		
②-2 上記の防災対策を行うことで安全性が確保される理由についてお答え下さい。(例：土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)		
回答欄(土砂をせき止められるため、住民が事前に避難行動を確認しているため)		

修士論文梗概

立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態に関する研究

－東海4県を対象として－

三重大学大学院工学研究科 建築学専攻 浅野・大井研究室 興津 舜也

1. 研究の概要

1-1 研究の背景

近年の人口減少と高齢化等を背景に、将来の都市構造について「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方で進めていくことが重要であるとして、平成26年8月に「都市再生特別措置法」が改正され、「立地適正化計画制度」が創設された。国土交通省が公表している「立地適正化計画の作成状況¹⁾」によると、令和2年7月31日時点では、全国1,724の市町村のうち、339の市町が立地適正化計画を作成・公表している。1-3で後述する通り、東海4県(岐阜、静岡、愛知、三重)に関しては、同時点で全160の市町村のうち、44市町が同計画を作成・公表している。

立地適正化計画の作成・公表が進められる中、第2章で後述する通り、国は都市再生基本方針及び都市計画運用指針において、同計画の策定に関する防災を踏まえた方針を定めており、特に都市計画運用指針では、居住誘導区域の設定における災害発生リスクのあるハザードエリア(以下、災害ハザードエリア)の除外に関する具体的な方針を定めている。また、第3章で後述する通り、令和元年10月の東日本台風や令和2年7月豪雨といった近年の頻発・激甚化する自然災害により、居住誘導区域内で相次いで深刻な浸水被害等が生じている。この課題に対応すべく、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等では、災害ハザードエリアに対する除外の厳格化等から、居住誘導区域での安全性確保の推進が図られている。しかし、近年の頻発・激甚化する自然災害に加え、南海トラフ地震による甚大な被害も想定されている東海4県では、依然として災害ハザードエリアを除外していない状況が確認されている。



写真1.2 令和元年10月東日本台風(左)及び令和2年7月豪雨(右)での被害の状況

(出典：令和元年台風第19号による被害等(左)、令和2年7月豪雨による被害と対応(右)、国土交通省HP)

このように、立地適正化計画を通して都市構造の再構築のための具体的な施策の推進がなされる中、居住誘導区域の設定においては、災害ハザードエリアの除外に対して、「災害に強いまちづくり」の考え方を取り入れ、適切な施策を講じていくことが切迫した課題であると考えられる。

1-2 研究の目的

本研究は、東海4県(岐阜、静岡、愛知、三重)の市町によって作成・公表されている立地適正化計画を対象として、同計画の策定の際に、国によって示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針の内容、近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組等を踏まえた上で、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態について調査分析し、除外の実態が異なる現状とそれを生み出す要因、除外していないことに関する課題について考察することを目的とする。また、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、今後の立地適正化計画の在り方についても展望する。

1-3 研究の方法

(1) 調査1：都市再生基本方針及び都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、立地適正化計画策定の際の指針として、国から示されている都市再生基本方針及び都市計画運用指針である。前者は平成30年7月に一部改正・公表された「都市再生基本方針²⁾」、後者は令和2年6月に一部改正・公表された「第10版 都市計画運用指針³⁾」である。

②調査項目

調査項目は、災害ハザードエリアの除外に関する記載事項である。両者の記載状況を分析することにより、居住誘導区域の設定における位置づけについて把握する。

(2) 調査2：災害ハザードエリアの個別法及び都市計画法における開発行為の規制に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、災害ハザードエリアにおける開発行為について、建築物単体に関して規制される災害ハザードエリアの個別法(以下、個別法)及び市街地全体に関して規制される都市計画法である。前者における各個別法の詳細は第2章で後述する通りで、後者は令和2年6月に一部改正・公表された「都市計画法⁴⁾」である。

②調査項目

調査項目は、開発行為の規制に関する記載事項である。両者の記載状況を分析することにより、災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況について把握する。

(3) 調査3：三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアの現地状況調査

①調査対象

調査対象は、三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアである。各エリアにおける対象地の詳細は第2章で後述する通りである。

②調査項目

調査項目は、防災対策の整備状況及び住宅等の立地状況である。両者の状況を分析することにより、居住誘導区域内における災害ハザードエリアの現地状況について把握する。

(4) 調査4：近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた都市計画基本問題小委員会での取組、令和2年6月の法改正を踏まえ、同年9月に一部改正・公表された「都市再生基本方針⁵⁾」、「第11版 都市計画運用指針⁶⁾」である。

②調査項目

調査項目は、災害ハザードエリアの除外に関する記載事項である。前者は近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた取組の経緯とその内容、後者の2つは改正された内容について把握する。

(5) 調査5：立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外に関する記載状況調査

①調査対象

調査対象は、令和2年7月31日時点で立地適正化計画を作成・公表している東海4県の44市町である。ただし、後述するアンケートの回答状況から、記載状況調査も、図1に示す43市町を最終的な対象とする。

②調査項目

調査項目は、「災害ハザードエリアの除外状況」及び「災害ハザードエリアを除外していない理由」に関する記載事項である。前者は、居住誘導区域から災害ハザードエリアをどのように除外しているかについて把握する。後者は、災害ハザードエリアの除外状況を踏まえ、同エリアを除外していない市町を対象に、その実態について把握する。

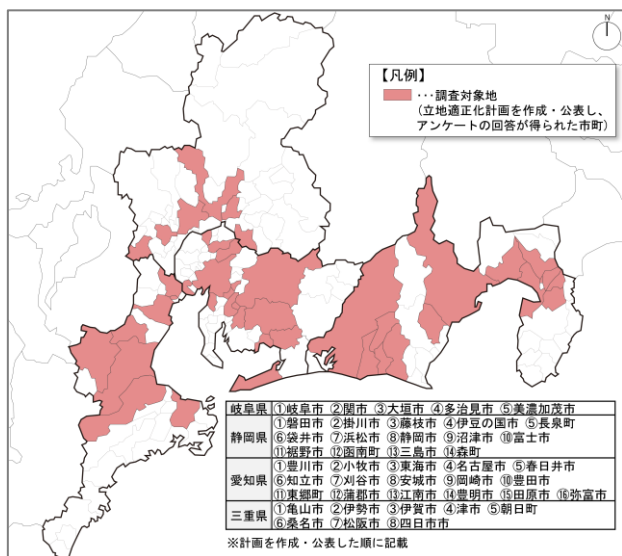


図1 記載状況調査及びアンケート調査の調査対象
(国土交通省国土地理院における「地理院地図」を基に作成)

(6) 調査6：立地適正化計画の居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外に関するアンケート調査

①調査対象

調査対象は、(5)と同様である。図1に示す通り、立地適正化計画を作成・公表している東海4県44市町からアンケートの回答が得られた43市町を対象とする。

②調査項目

調査項目は、(5)と同様である。記載状況調査より得られた調査結果から、市町の実態について深掘り調査を行なう。

③アンケートの回答状況

アンケート調査は、令和2年5月25日から6月17日にかけて行なった一次調査、令和2年11月6日から12月2日にかけて行なった二次調査、令和2年12月18日から令和3年2月10日にかけて行なった三次調査で構成される。

立地適正化計画の担当者に対し、一次調査は電子メール、電話で行ない、回答状況は35市町中35市町(100%)であった。二次調査は電子メールで行ない、回答状況は43市町中42市町(98%)であった。三次調査は電子メールで行ない、回答状況は42市町中42市町(100%)であった。

1-4 研究の構成

本研究の構成を図2に示す。

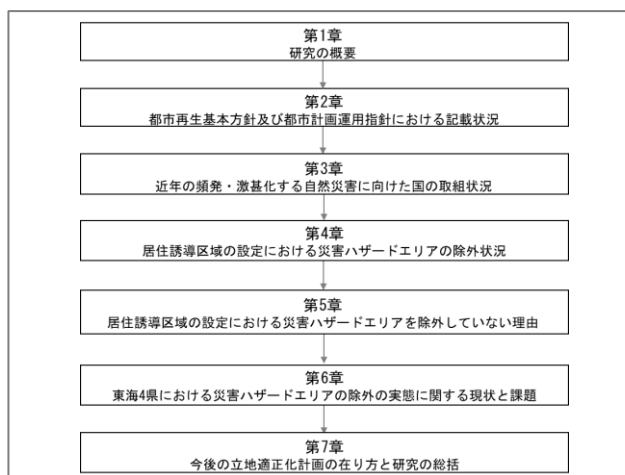


図2 研究の全体フロー

1-5 用語の定義

本研究における用語の定義を以下に示す。

「居住誘導区域」とは、人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域のことを指す。

「災害ハザードエリア」とは、災害発生リスクのあるハザードエリアのことを指す。具体的には、第2章で後述する通り、都市計画運用指針において市町村が居住誘導区域を設定する際に、災害上、居住誘導区域に含まないこと、または含まないこととすべきものとして、除外に関して3つの方針が定められている区域のことである。

「災害ハザードエリアの一部除外」とは、災害ハザードエリアの全域のうち、特に災害リスクが高いと思われる箇所を除外することを指す。具体的には、第4章で後述する通り、浸水想定区域において浸水深 3m 以上の浸水区域を除外することや、津波浸水想定区域において浸水深 2m 以上の浸水区域を除外することである。

「災害ハザードエリアの除外検討」とは、市町村が居住誘導区域の設定の際に、災害ハザードエリアの除外について検討することを指す。

2. 都市再生基本方針及び都市計画運用指針における記載状況

2-1 都市再生基本方針

本方針は、我が国の活動の源泉である都市の魅力と国際競争力を高め、都市再生を実現するための取組の共通指針として、内閣府が作成したものである。

「第五 立地適正化計画の作成に関する基本事項」において立地適正化計画に関する記載がみられる。ここでは、都市のコンパクト化に向けた包括的なマスタープランとして作成することや作成時の基本的な視点等が記載されているが、災害に関しては、立地適正化計画は防災に配慮する必要があるために防災や土木等を担当する部局と十分な連携や共同での検討作業を行っていくこと、といった作成時の合意形成や連携・調整に関する記載のみであり、災害ハザードエリアの除外に関する記載は不在である。

なお、本方針の根拠法である都市再生特別措置法^{注1)}では、同法第 81 条第 19 項において、災害危険区域(建築基準法第 39 条第 1 項(第 2 項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されているものに限る))^{注 2)}は居住誘導区域に定めないものとする、といった災害ハザードエリアの除外に関する記載がある。

2-2 都市計画運用指針

本指針は、都市計画制度の運用について解説した指針と

して、国土交通省が作成したものである。

「IV-1-3 立地適正化計画」において立地適正化計画に関して記載されている。ここでは、立地適正化計画の基本的な考え方や策定主体等について記載されており、災害ハザードエリアの除外に関しては、その中の「3. 記載内容」-「(3) 居住誘導区域」-「②居住誘導区域の設定」において記載がみられる。具体的には、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外に関する方針として、以下に示すように、除外に対する厳格さの程度の違いから、3 区域に区分して記載されている。

第一に、「居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅰ)完全除外区域)」であり、災害危険区域(住居の用に供する建築物)^{注 3)}が該当する。

第二に、「原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅱ)原則除外区域)」であり、土砂災害特別警戒区域、津波災害特別警戒区域、災害危険区域(その他の建築物)^{注 4)}、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域が該当する。

第三に、「それぞれの区域の災害リスク、警戒避難体制の整備状況、災害を防止し、又は軽減するための施設の整備状況や整備見込み状況等(以下、災害リスク等)を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域(以下、(Ⅲ)要検討区域)」であり、土砂災害警戒区域、津波災害警戒区域、浸水想定区域、都市洪水想定区域、都市浸水想定区域、災害の発生のおそれのある区域(土砂災害防止対策の推進に関する法律に規定する基礎調査、津波防災まちづくり法に規定する津波浸水想定における浸水の区域や調査結果等に基づくもの)が該当する。

また、「7. 策定に当たって配慮すべき事項」においても災害ハザードエリアの除外に関する記載がある。ここでは居住誘導区域に災害ハザードエリアを含める場合には、当該区域の災害リスク、防災対策を検討・記載することが考え

表 1 災害ハザードエリアの個別法と開発行為の規制に関する記載

災害ハザードエリアの個別法と開発行為の規制に関する記載		災害ハザードエリアの個別法	記載箇所	開発行為の規制に関する記載
(Ⅰ) 完全除外区域	災害危険区域 (住居の用に供する建築物)	建築基準法	第39条	記載あり。条例で住居の用に供する建築物の建築が禁止されている。
	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第9条	記載あり。一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制がされている。
(Ⅱ) 原則除外区域	津波災害特別警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	第53条	記載あり。一定の開発行為及び一定の建築物の建築又は用途の変更の制限がされている。
	災害危険区域 (その他の建築物)	建築基準法	第39条	記載あり。条例で住居の用に供する建築物を除いたその他の建築物の建築が制限されている。
	地すべり防止区域	地すべり等防止法	第3条	記載あり。地すべりの発生を助長・誘発するおそれのある一定の行為(例：地すべり防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。
	急傾斜地崩壊危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	第3条	記載あり。急傾斜地の崩壊を助長・誘発するおそれのある一定の行為(例：急傾斜地崩壊防止施設以外の施設の建築)について制限がされている。
(Ⅲ) 要検討区域	土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律	第7条	記載なし。当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。
	津波災害警戒区域	津波防災地域づくりに関する法律	第72条	記載なし。当該区域における津波による人的災害を防止するために警戒避難体制が特に整備されている。
	浸水想定区域	水防法	第14条	記載なし。河川の氾濫、雨水の排除ができないことによる出水、高潮による氾濫が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。
	都市洪水想定区域	特定都市河川浸水被害対策法	第32条	記載なし。特定都市河川のはん濫による都市洪水、都市浸水が想定される区域を指す。
	都市浸水想定区域	津波防災地域づくりに関する法律	第8条	記載なし。津波が起きた場合に浸水が想定される区域を指す。
	土砂災害危険箇所			(個別法はなし)

られることについて記載されている。

2-3 災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況

居住誘導に影響を与える災害ハザードエリアにおける開発行為の規制状況について、個別法及び都市計画法の記載から以下の通りに整理する。

(1) 個別法における規制状況

表 1 に個別法と記載内容、図 3 に例として、土砂災害特別警戒区域における開発行為の規制状況について示す。なお、第 4 章で後述する通り、災害の発生のおそれのある区域については、津波浸水想定区域と土砂災害危険箇所等がみられたことから、当該 2 つの区域を対象としている。

全体的に、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では建築物の建築や用途の変更等が規制されているが、(Ⅲ)要検討区域では規制されていない、警戒避難体制の確保のため、災害リスク情報の提供等が市町によって実施されている。



図 3 土砂災害特別警戒区域における開発行為の規制状況
(国土交通省 HP における「土砂災害防止法の概要」を基に作成)

(2) 都市計画法における規制状況

都市計画法では、第 33 条第 1 項第 8 号において、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域で自己の居住の用に供する住宅以外を対象に、建築の前段階としての宅地造成等が規制されている。

以上より、個別法は建築物単体、都市計画法は市街地全体に関する規制で、相互補完的に(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域が規制されているといった特徴がみられる。

2-4 災害ハザードエリアの分類

災害ハザードエリアは災害の種類別の視点から、4 つに分類することができる。具体的には以下の通りである。なお、第 4 章からは、3 区域を含めた 2 つの視点から、災害ハザードエリアの除外の実態に関する全体的な傾向について分析を行なっている。

地盤災害には、土砂災害特別警戒区域、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所等が該当する。

津波災害には、津波災害特別警戒区域、津波災害警戒区域、津波浸水想定区域が該当する。

洪水災害には、浸水想定区域、都市洪水想定区域、都市浸水想定区域が該当する。

その他には、災害危険区域(住居の用に供する建築物)、

災害危険区域(その他の建築物)が該当する。

また、開発行為の規制状況について、表 1 を踏まえると、地盤災害、津波災害、その他では規制のある区域を含むが、洪水災害は一つも含まないといった特徴がみられる。

2-5 災害ハザードエリアの現地状況

三重県津市の居住誘導区域内における災害ハザードエリアについて、各災害における対象地と現地状況の詳細を図 4 に示す。

津市では居住誘導区域に 3 つの災害(地盤災害、津波災害、洪水災害)を含めており、災害ごとに、擁壁工、防潮堤、河岸堤防といったハード対策が整備されているが、いずれも居住誘導が進む現在で、既にエリア内に住宅等が建ち並んでいる状況がみられる。



図 4 各災害における対象地と現地状況

(三重県津市 HP における「津市立地適正化計画」を基に作成)

2-6 小括

以上より、災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられたのは、都市計画運用指針であり、具体的には、災害ハザードエリアが、除外に対する厳格さの程度の違いから、3 区域((Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域)に区分して記載されていた。また、これらの区域は災害の種類別の視点から 4 つ(地盤災害、津波災害、洪水災害、その他)に分類することができた。さらに、災害ハザードエリアの開発行為の規制状況から、地盤災害、津波災害、その他では規制のある区域を含むが、洪水災害は一つも含まないといった特徴がみられた。

3. 近年の頻発・激甚化する自然災害に向けた国の取組状況

3-1 近年の頻発・激甚化する自然災害と今後のまちづくりの方向性

地盤災害、津波災害、洪水災害と様々な災害を受けやすい我が国では、近年、地球温暖化による気温上昇の影響から、地盤災害や洪水災害を引き起こす大雨や短時間強雨の回数が増加している(図 5, 6)。「日経アーキテクチャ」⁷⁾

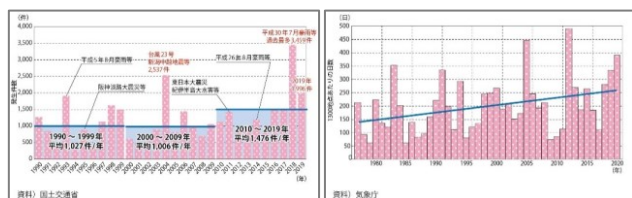


図 5.6 地盤災害(左)及び洪水災害(右)の発生件数の推移
(出典：国土交通白書 2020、国土交通省 HP)

によると、この影響で、令和元年 10 月の東日本台風による福島県須賀川市、令和 2 年 7 月豪雨による福岡県大牟田市では、居住誘導区域内の相次ぐ深刻な浸水被害等により、いずれも 2 名が死亡する事態となった。

このような頻発・激甚化する自然災害に対応するため、今後の我が国のまちづくりにおいては、コンパクトシティに向けた取組の中で、近年の災害の発生状況を踏まえ、水災害リスクの低減にも配慮して居住や都市機能の立地を誘導することが極めて重要であるとされている。^{注5)}

3-2 都市計画基本問題小委員会

本委員会は、近年における都市のスポンジ化、コンパクトシティの在り方に対し、解決に向けた施策の方向性を幅広く検討するため、平成 29 年 2 月に国土交通省が所管する社会資本整備審議会に設立されたものである。

近年の頻発・激甚化する自然災害を背景に、災害ハザードエリアの除外に関して、最初に具体的な提言がなされたのは第 9 回(令和元年 2 月)であり、第 16 回(令和 2 年 1 月)では、防災・減災等のための都市計画法・都市再生特別措置法等の改正内容(案)が提言された。

3-3 都市再生特別措置法等の改正

近年、居住誘導区域内で相次ぐ深刻な浸水被害や都市計画基本問題小委員会での取組を背景に、令和 2 年 6 月に都市再生特別措置法が改正されることとなった。

(1) 都市再生基本方針の改正

令和 2 年 9 月に一部改正・公表された都市再生基本方針では、改正前にみられなかった災害ハザードエリアの除外に関する記載が新たに追加されている。具体的には、「第五立地適正化計画の作成に関する基本的事項」において、災害の発生のおそれのある区域が(Ⅲ)要検討区域に該当することについての記載がみられる。

(2) 都市計画運用指針の改正

令和 2 年 9 月に一部改正・公表された都市計画運用指針では、改正前の災害ハザードエリアの除外に関する方針に、新たな記載が追加されている。具体的には、以下に示す通り、「IV-1-3 立地適正化計画」-「3. 記載内容」-「(3)居住誘導区域」-「②居住誘導区域の設定」において、除外に関する方針の厳格化が示されている。

第一に、(Ⅱ)原則除外区域を居住誘導区域に含める場合には、前提として、地すべり防止工事や急傾斜地崩壊防止工事などの災害防止上必要な対策を行い、関係部局と協議

を行なう必要があるとしている。

第二に、(Ⅲ)要検討区域を居住誘導区域に含める場合には、防災指針において当該区域の災害リスクを踏まえた防災・減災対策を明らかにする必要があるとしている。

また、この防災指針において、「IV-1-3 立地適正化計画」-「3. 記載内容」-「(6)防災指針」-「①基本的な考え方」では、居住誘導区域を設定する際の防災指針の位置づけに関する記載がみられる。具体的には、様々な災害のうち、洪水、雨水出水、津波、高潮による浸水エリアは広範囲に及び、既に市街地が形成されていることも多いことから、この範囲を居住誘導区域から全て除くことは現実的に困難であることも想定されるため、居住誘導区域における災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、防災・減災対策を計画的に実施する必要があるとしている。

3-4 小括

以上より、近年の頻発・激甚化する自然災害を背景に、コンパクトシティに向けた取組の一つである立地適正化計画においては、居住や都市機能の立地を誘導する際、災害リスクの低減に配慮することが重要であるとされていた。また、改正前から災害ハザードエリアの除外に関する記載がみられる都市計画運用指針では、法改正により、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域に対する除外の厳格化や防災指針の作成に関する方針が新たに追加されており、居住誘導区域での安全性確保の推進が図られていた。

4. 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外状況

4-1 調査分析の概要

記載状況調査、アンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアの除外状況に関する評価基準を以下のように定める。なお、災害の発生のおそれのある区域について、東海 4 県では、津波浸水想定区域、土砂災害危険箇所、砂防指定地、液状化や地震に関する区域がみられたことから、津波浸水想定区域以外を土砂災害危険箇所等にまとめて調査分析を行っている。これは、第 5 章以降も同様である。

「◎：除外している」

災害ハザードエリアを居住誘導区域から完全に除外していることを指す。

「×：除外していない」

災害ハザードエリアを居住誘導区域から一部でも除外していないことを指す。

「－：対象外である」

災害ハザードエリアが居住誘導区域に指定がなく対象外であることを指す。

4-2 災害ハザードエリアの除外状況

災害ハザードエリアごとの除外状況に関する市町数と割合について、表 2 にその詳細を示す。なお、本文中の「市町数 (%)」は当該区域における、除外している、除外して

いない、対象外である、の順に示している。

(1) 地盤災害

土砂災害特別警戒区域では、32 市町(74.4%)、4 市町(9.3%)、7 市(16.3%)であった。地すべり防止区域では、13 市町(30.2%)、不在、30 市町(69.8%)であった。急傾斜地崩壊危険区域では、30 市町(69.8%)、4 市町(9.3%)、9 市(20.9%)であった。土砂災害警戒区域では、23 市町(53.5%)、13 市町(30.2%)、7 市(16.3%)であった。土砂災害危険箇所等では、7 市町(16.3%)、8 市町(18.6%)、28 市町(65.1%)であった。

(2) 津波災害

津波災害特別警戒区域では、全ての市町が対象外であった。津波災害警戒区域では、不在、6 市(14.0%)、37 市町(86.0%)であった。津波浸水想定区域では、1 市(2.3%)、18 市町(41.9%)、24 市町(55.8%)であった。

また、津波浸水想定区域に関して、災害リスクが高いと思われる箇所を除外(以下、一部除外)している市町がいくつかみられた。具体的には、浸水深による設定として、2m 以上の浸水区域^{注6)}を除外している市町が 7 市(16.3%)みられた。

(3) 洪水災害

浸水想定区域では、不在、39 市町(90.7%)、4 市町(9.3%)であった。都市洪水想定区域では、不在、5 市(11.6%)、38 市町(88.4%)であった。都市浸水想定区域では、不在、9 市町(20.9%)、34 市町(79.1%)であった。

また、浸水想定区域に関して、一部除外している市町がいくつかみられた。具体的には、浸水深による設定として、3m 以上の浸水区域^{注7)}、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)^{注8)}を除外している市町が 3 市(7.0%)、6 市(14.0%)、2 市(4.7%)でそれぞれみられた。

(4) その他

災害危険区域(住居の用に供する建築物)では、15 市町(34.9%)、1 市(2.3%)、27 市町(62.8%)であった。災害危険区域(その他の建築物)では、14 市町(32.6%)、2 市(4.7%)、

27 市町(62.8%)であった。

4-3 災害ハザードエリアの除外状況に関する全体的な傾向

(1) 3 区域の視点

3 区域とも指定がない市町の方が多いが、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では、指定のある中で除外している市町がそれぞれ多くみられた。(Ⅲ)要検討区域では、指定のある中で除外していない市町が多くみられた。

(2) 災害の種類の視点

地盤災害では、指定のある市町の方が多く、除外している市町が多くみられた。津波災害、洪水災害、その他では、指定のない市町の方が多いが、指定のある市町の中でその他では除外している市町、津波災害、洪水災害では除外していない市町がそれぞれ多くみられた。

4-4 特徴的な市町の事例

除外状況で特徴がみられたのは、浜松市と名古屋市である。浜松市では、津波浸水想定区域に関して、大半の市町が当該区域を除外していない中、唯一除外していた。また、名古屋市では、災害危険区域(住居の用に供する建築物)に関して、大半の市町が当該区域を除外している中、唯一除外していなかった。

4-5 小括

以上より、災害ハザードエリアの除外状況について以下のようにまとめる。

第一に、3 区域の視点において、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では、除外している市町が多いのに対し、(Ⅲ)要検討区域では、除外していない市町が多くみられた。

第二に、災害の種類の視点において、地盤災害、その他では、除外している市町が多いのに対し、津波災害、洪水災害では、除外していない市町が多くみられた。

また、災害ハザードエリアの一部除外に関しては、津波浸水想定区域、浸水想定区域で浸水深による設定(津波浸水想定区域で 2m、浸水想定区域で 3m)、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸浸食)による設定がそれぞれみられた。

表 2 災害ハザードエリアごとの除外状況に関する市町数と割合

地盤災害					その他	
(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域
土砂災害特別警戒区域	地すべり防止区域	急傾斜地崩壊危険区域	土砂災害警戒区域	土砂災害危険箇所等	災害危険区域(住宅に供する建築物)	災害危険区域(その他の建築物)
津波災害			洪水災害			
(Ⅱ) 原則除外区域	(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅲ) 要検討区域			
津波災害特別警戒区域	津波災害警戒区域	津波浸水想定区域	浸水想定区域	都市洪水想定区域	都市浸水想定区域	都市浸水想定区域

5. 居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアを除外していない理由

5-1 調査分析の概要

記載状況調査、アンケート調査を踏まえ、災害ハザードエリアを除外していない理由に関する評価基準を以下のように定める。なお、調査で得られた7つの理由を除外検討の余地の有無から2つに大別しており、(b), (c), (d)については、各市町の実態に応じて、余地があるかどうか判断されるが、大半の市町で、(b)は都市機能や市街地全体を重要な拠点としていたこと、(c)は住民から意見を聞いていなかったこと、(d)は指定直後、計画を見直していなかったことから、最終的な結果は以下の通りとしている。

「除外検討の余地がない理由」

(a) 当該区域が広範囲の指定であるため、(b) 当該区域が重要な拠点を含むため、が該当する。

「除外検討の余地がある理由」

(c) 当該区域内の住民感情を考慮したため、(d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため、(e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため、(f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため、(g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、が該当する。

5-2 災害ハザードエリアを除外していない理由

災害ハザードエリアごとの除外していない理由に関する市町数と割合について、表3にその詳細を示す。なお、本文中の理由の番号と「市町数(%)」は、該当した数の多い順に示している。

(1) 地盤災害

土砂災害特別警戒区域では、4市町のうち、(d)は3市(75.0%)、(c)は1町(25.0%)であった。急傾斜地崩壊危険区域では、4市町のうち、(e)は4市町(100.0%)、(f)は1町(25.0%)、(g)は1市(25.0%)であった。土砂災害警戒区域では、13市町のうち、(g)は7市町(53.8%)、(e)は6市町(46.2%)、(d)は4市町(30.8%)、(f)は2市町(15.4%)、(a)は1町(7.7%)、(d)は1市(7.7%)であった。土砂災害

危険箇所等では、8市町のうち、(g)は8市町(100.0%)、(a)は2市町(25.0%)、(b)は2市町(25.0%)、(e)は2市(12.5%)、(c)は1市(12.5%)であった。

(2) 津波災害

津波災害警戒区域では、6市のうち、(d)は3市(50.0%)、(e)は3市(50.0%)、(b)は2市(33.3%)、(a)は1市(16.7%)、(f)は1市(16.7%)であった。津波浸水想定区域では、18市町のうち、(e)は12市(66.7%)、(a)は8市(44.4%)、(b)は6市(33.3%)、(f)は4市(22.2%)、(g)は4市(22.2%)、(c)は1市(5.6%)であった。

(3) 洪水災害

浸水想定区域では、39市町のうち、(b)は21市町(53.8%)、(a)は20市町(51.3%)、(e)は20市町(51.3%)、(g)は12市町(30.8%)、(f)は6市町(15.4%)、(c)は4市(10.3%)、(d)は1市(2.6%)であった。都市洪水想定区域では、5市のうち、(a)は3市(60.0%)、(e)は3市(60.0%)、(b)は1市(20.0%)、(f)は1市(20.0%)であった。都市浸水想定区域では、9市町のうち、(e)は4市町(44.4%)、(a)は3市(33.3%)、(f)は3市町(33.3%)、(c)は2市町(22.2%)、(b)は1市(11.1%)、(g)は1市(11.1%)であった。

(4) その他

災害危険区域(住居の用に供する建築物)では、当該区域を除外していない1市は(a), (b), (e)であった。災害危険区域(その他の建築物)では、2市のうち、(a)は1市(50.0%)、(b)は1市(50.0%)、(e)は1市(50.0%)、(f)は1市(50.0%)、(g)は1市(50.0%)であった。





















































5-3 災害ハザードエリアを除外していない理由に関する全体的な傾向

(1) 3区域の視点

(Ⅰ) 完全除外区域では、(a), (b), (e)に該当した。(Ⅱ) 原則除外区域では、(e)に該当した市町が最も多く、次いで(d)が多くみられた。(Ⅲ) 要検討区域では、(e)に該当した市町が最も多く、次いで(a), (b), (g)の順で多くみられた。

(2) 災害の種類の視点

表3 災害ハザードエリアごとの除外していない理由に関する市町数と割合

地盤災害					その他	
(Ⅱ) 原則除外区域			(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅰ) 完全除外区域	(Ⅱ) 原則除外区域
土砂災害 特別警戒区域	地すべり 防止区域	急傾斜地 崩壊危険区域	土砂災害 警戒区域	土砂災害 危険箇所	災害危険区域 (住宅に供する建築物)	災害危険区域 (その他の建築物)
(a)	除外していない 市町は不在	(a)	(a)  1町, 7.7%	(a)  2市町, 25.0%	(a)  1市, 100.0%	(a)  1市, 50.0%
(b)		(b)  1市, 7.7%	(b)  2市町, 25.0%	(b)  1市, 100.0%	(b)  1市, 50.0%	
(c) 		(c)	(c)	(c)  4市町, 30.8%	(c)  1市, 12.5%	(c)
(d) 		(d)	(d)	(d)  4市町, 30.8%	(d)  2市, 25.0%	(d)
(e)		(e)  4市町, 100.0%	(e)	(e)  6市町, 46.2%	(e)	(e)  1市, 50.0%
(f)		(f)  1町, 25.0%	(f)	(f)  2市町, 15.4%	(f)	(f)  1市, 50.0%
(g)		(g)  1市, 25.0%	(g)	(g)  7市町, 53.8%	(g)  8市町, 100.0%	(g)  1市, 50.0%
津波災害			洪水災害			除外検討の余地がない理由 (a) 当該区域が広範囲の指定であるため (b) 当該区域が重要な拠点を含むため
(Ⅱ) 原則除外区域	(Ⅲ) 要検討区域		(Ⅲ) 要検討区域			
津波災害 特別警戒区域	津波災害 警戒区域	津波浸水 想定区域	浸水想定区域	都市洪水 想定区域	都市浸水 想定区域	除外検討の余地がある理由 (c) 当該区域内の住民感情を考慮したため (d) 計画策定後に当該区域が新たに指定されたため (e) 当該区域内で防災対策や避難対策が図られているため (f) 当該区域で災害リスクが低いと判断したため (g) 指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため
除外していない 市町は不在	(a)  1市, 16.7%	(a)  8市, 44.4%	(a)  20市町, 51.3%	(a)  3市, 60.0%	(a)  3市, 33.3%	
	(b)  2市, 33.3%	(b)  6市, 33.3%	(b)  21市町, 53.8%	(b)  1市, 20.0%	(b)  1市, 11.1%	
	(c)	(c)  1市, 5.6%	(c)  4市, 10.3%	(c)	(c)  2市町, 22.2%	
	(d)  3市町, 50.0%	(d)	(d)  1市, 2.6%	(d)	(d)	
	(e)  3市, 50.0%	(e)  12市, 66.7%	(e)  20市町, 51.3%	(e)  3市, 60.0%	(e)  4市町, 44.4%	
	(f)  1市, 16.7%	(f)  4市, 22.2%	(f)  6市町, 15.4%	(f)  1市, 20.0%	(f)  3市町, 33.3%	
	(g)	(g)  4市, 22.2%	(g)  12市町, 30.8%	(g)	(g)  1市, 11.1%	

地盤災害では、(g)に該当した市町が最も多く、次いで(e), (d)の順で多くみられた。津波災害では、(e)に該当した市町が最も多く、次いで(a), (b)の順で多くみられた。洪水災害では、(e)に該当した市町が最も多く、次いで(a), (b), (g)の順で多くみられた。その他では、(a), (b), (e)に該当した市町が最も多くみられた。

5-4 特徴的な市町の事例

除外していない理由で特徴がみられたのは、関市と名古屋市である。関市では、災害危険区域(その他の建築物)を除外していない理由(f)に関して、居住地ではなく、水路や道路等のインフラストラクチャーに指定されていることから、災害リスクが低いと判断していた。また、名古屋市では、災害危険区域(住居の用に供する建築物)を除外していない理由(e)に関して、条例にて、既に過去最大規模(伊勢湾台風)の被害想定を踏まえ、1階床高や構造等についての制限を定めていることから、災害に対して十分に配慮されていると判断していた。

5-5 小括

以上より、災害ハザードエリアを除外していない理由について以下のようにまとめる。

第一に、3区域の視点において、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域では、いずれも除外検討の余地がある理由が多く、特に(e)を理由に除外していない市町が最も多くみられた。また、(Ⅲ)要検討区域では、除外検討の余地がない理由が(Ⅱ)原則除外区域よりも多くみられた。

第二に、災害の種類の視点において、地盤災害、津波災害、洪水災害では、いずれも除外検討の余地がある理由が多く、特に地盤災害では(g)、津波災害、洪水災害では(e)を理由に除外していない市町がそれぞれ最も多くみられた。また、津波災害、洪水災害では、除外検討の余地がない理由が地盤災害よりも多くみられた。

6. 東海4県における災害ハザードエリアの除外の実態に関する現状と課題

6-1 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状とその要因

(1) 災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状

前章までの分析の結果、3区域の視点、災害の種類の視点から、災害ハザードエリアの除外の実態が異なることが把握できた。具体的には、以下の通りである。

①3区域の視点

(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域では、除外している市町が多いのに対し、(Ⅲ)要検討区域では、除外していない市町が多くみられた。また、除外検討の余地がある理由で除外していない市町が多い中、除外検討の余地がない理由は(Ⅲ)要検討区域で多く、(Ⅱ)原則除外区域ではほとんどみられなかった。

②災害の種類の視点

地盤災害、その他では、除外している市町が多いのに対し、津波災害、洪水災害では、除外していない市町が多くみられた。また、除外検討の余地がある理由で除外していない市町が多い中、除外検討の余地がない理由は洪水災害、津波災害で多く、地盤災害ではほとんどみられなかった。

(2) 除外の実態の違いを生み出す要因

災害ハザードエリアの除外の実態が異なる現状について、その違いを生み出している主な要因は、都市計画運用指針における除外に対する厳格さの程度の違い、災害ハザードエリアにおける開発行為等の規制の有無、の2つであることが考えられる。具体的には以下に示す通りである。

①要因1：都市計画運用指針における除外に対する厳格さの程度の違い

第2章で前述した通り、市町村が立地適正化計画を策定して居住誘導区域を設定する際には、国によって示されている都市計画運用指針を参照することから、当然ながら、除外の実態に影響を与えていると考えられる。具体的には、(Ⅰ)完全除外区域、(Ⅱ)原則除外区域で除外している市町が多いのは、方針で厳格さが高いことが影響していると考えられる。一方、(Ⅲ)要検討区域で除外していない市町が多いのは、方針で厳格さが低いことが影響していると考えられる。

②要因2：災害ハザードエリアにおける開発行為等の規制の有無

第2章で前述した通り、災害ハザードエリアの個別法等の記載から、エリアごとに開発行為等の規制の有無が明らかとなっており、規制のある区域は除外状況に影響を与えていると考えられる。具体的には、地盤災害、その他で除外している市町が多いのは、規制があることが影響していると考えられる。一方、洪水災害で除外していない市町が多いのは、規制がないことが影響していると考えられる。また、津波災害で除外していない市町が多いことについては、規制があるのが津波災害特別警戒区域のみで、本研究では、東海4県で指定がみられなかったことが除外状況に大きく影響していると考えられる。

6-2 災害ハザードエリアを除外していないことに関する課題

第2章で前述した通り、本来、災害ハザードエリアは居住誘導区域から除外すること、または除外すべきであることとされているが、東海4県では、これら区域が除外されていないことが現状として明らかとなっており、居住誘導区域の設定において、十分な安全性が確保されていないという立地適正化計画上の課題が生じている。この課題について、国、市町によるものから以下の通りにまとめる。

(1) 国の課題

都市計画運用指針における災害ハザードエリアの除外に関する方針の不明確な定義が課題として考えられる。具体的に、東海4県で除外されていないのは、(Ⅱ)原則除外

区域、(Ⅲ)要検討区域であり、特に(Ⅲ)要検討区域で多くみられるが、これは、都市計画運用指針において、(Ⅲ)要検討区域が「災害リスク等を総合的に勘案し、居住を誘導することが適当ではないと判断される場合は、原則として、居住誘導区域に含まないこととすべき区域」と定められており、この中で例示されている災害リスク等が詳細に定義されておらず市町の判断に委ねられているためである。災害ハザードエリアを除外していない理由に、(g)指針に必ず当該区域を除外するようにと記されていないため、が確認されたことから、市町の判断次第で、災害ハザードエリアを除外しないという状況が生み出されている。

(2) 市町の課題

災害ハザードエリアを除外していない市町の実態として、除外検討の余地がない理由[(a), (b)]で除外していないこと(以下、課題 1)、除外検討の余地がある理由[(c)～(g)]で除外していないこと(以下、課題 2)が課題として考えられる。具体的に、課題 1 は指定が広範囲であること、都市機能等を含むこと等から、止むを得ず除外することができないという状況が生み出されているが、課題 2 は課題 1 と違い、除外検討の余地がある中、除外していないという状況が生み出されている。都市計画運用指針では、災害ハザードエリアは除外すること、または除外すべきであることとされているため、課題 2 がみられることは、特に改善すべき課題であると考えられる。

7. 今後の立地適正化計画の在り方と研究の総括

7-1 法改正を踏まえた今後の立地適正化計画の在り方

最後に、前章までの内容を踏まえ、令和 2 年 6 月に改正された都市再生特別措置法等を考慮した今後の立地適正

化計画の在り方について展望したい。

(1) 国の課題に関する対応

第 3 章で前述した通り、法改正により、(Ⅱ)原則除外区域、(Ⅲ)要検討区域で除外に関する方針が厳格化されたこと、防災指針の作成に関する方針が定められたことなど、都市計画運用指針に具体的な方針が追加されることとなった。今後は、法改正を踏まえた計画の見直しについて、継続して市町の動向を留意していくことが求められる。

(2) 市町の課題に関する対応

① 課題 1 を抱える市町

図 7 に示す通り、課題 1 を抱える市町は、津波災害、洪水災害といった広範囲な浸水エリアで多く、止むを得ず除外することができない状況がみられるため、今後は、当該 2 つの災害を中心に、エリア内での災害リスクの軽減に努めることが求められる。具体的には、以下の 2 点について検討・実施することが望ましい。

第一に、防災指針の作成に伴い、防災対策・避難対策を整備することが考えられる。

第二に、一部除外の設定について検討することが考えられる。これは、第 4 章で設定がみられた津波災害、洪水災害が該当する。

② 課題 2 を抱える市町

図 8 に示す通り、課題 2 を抱える市町は、いずれの災害にも多く、除外検討の余地がある中除外していない状況がみられるため、今後は、全ての災害に対し、除外検討の見直しを行うことが求められる。具体的には、以下の 5 点について検討・実施することが望ましい。

第一に、住民と意見交換等を行い、計画に反映させることが考えられる。これは、(c)の理由で除外していない市町

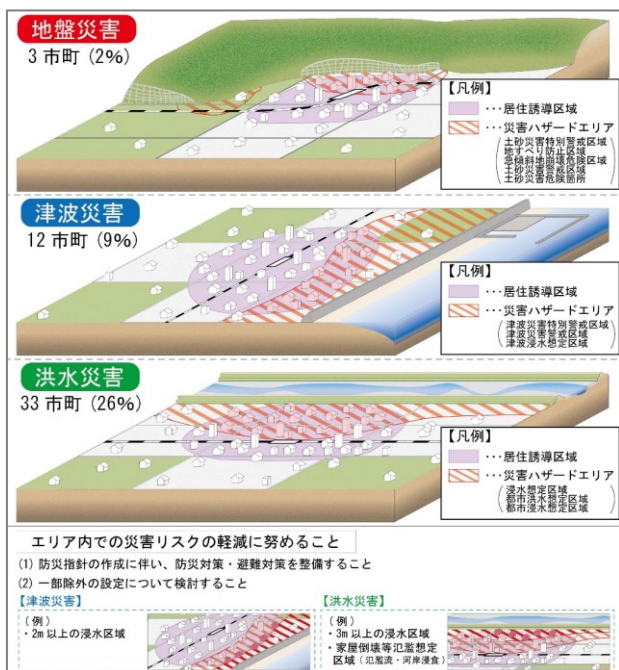


図 7 課題 1 を抱える市町の状況と今後の対応

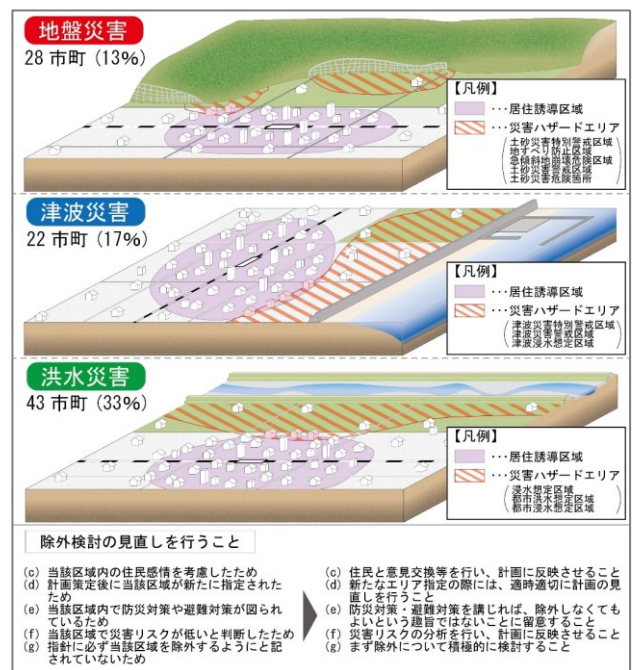


図 8 課題 2 を抱える市町の状況と今後の対応

が該当する。

第二に、新たなエリア指定の際には、適時適切に計画の見直しを行うことが考えられる。これは、(d)の理由で除外していない市町が該当する。

第三に、防災対策・避難対策を講じれば、除外しなくてもよいという趣旨ではないことに留意することが考えられる。これは、(e)の理由で除外していない市町が該当し、最も多くみられた津波災害、洪水災害で留意すべき課題である。

第四に、災害リスクの分析を行い、計画に反映させることが考えられる。これは、(f)の理由で除外していない市町が該当する。

第五に、まず除外について積極的に検討することが考えられる。これは、(g)の理由で除外していない市町が該当し、最も多くみられた地盤災害で留意すべき課題である。

7-2 研究の総括

本研究では、東海4県において、立地適正化計画を作成・公表している市町のうち、アンケート調査の回答が得られた43市町を対象として、居住誘導区域の設定における災害ハザードエリアの除外の実態について調査分析し、除外の実態が異なる現状とそれを生み出す要因、除外していないことに関する課題について考察するとともに、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、今後の立地適正化計画の在り方について展望した。

今後の課題は、令和2年6月に改正された都市再生特別措置法等を踏まえ、立地適正化計画の見直し状況について継続して調査分析することである。また、各市町では、都市機能配置や空間編成等の現状も踏まえて立地適正化計画が計画されていると思われるため、これらの視点から災害ハザードエリアの除外の実態に関して分析・考察することも重要であると考えられる。

【謝辞】

本研究を行うにあたり、東海4県43市町の立地適正化計画担当者の皆様にアンケート調査にご協力頂きました。記して感謝申し上げます。

【注釈】

注1) 本文中の「都市再生特別措置法」は令和2年6月10日に改正されたものを指す。

注2) 本文中の「災害危険区域(建築基準法第39条第1項(第2項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されているものに限る))」は、後述する「災害危険区域(住居の用に供する建築物)」と同等のものである。

注3) 都市計画運用指針では、建築基準法第39条第1項に規定する災害危険区域のうち、同条第2項の規定に基づく条例により住居の用に供する建築物の建築が禁止されている区域と記載しているが、本研究では、これを「災害危険区域(住居の用に供する建築物)」と呼称している。

注4) 都市計画運用指針では、建築基準法第39条第1項に規定する災害危険区域のうち、災害危険区域(住居の用に供する建築物)を除いた区域と記載しているが、本研究では、これを「災害危険区域(その他の建築物)」と呼称している。

注5) 令和2年8日に、国土交通省が公表した「水災害対策とまちづくりの連携のあり方について 提言」から引用している。

注6) 平成23年8月に、国土交通省が公表した「津波被災市街地復興手法検討調査」によると、2m以上の浸水深は木造建築物に関して再生不可能な全壊となる割合が飛躍的に増加する傾向がある値を指す。

注7) 平成28年1月に、国土交通省が公表した「住民目線にたった水害ハザードマップのあり方について」によると、3m以上の浸水深は2階建ての建築物であっても、立ち退き避難が必要とされる値を指す。

注8) 平成29年10月に、国土交通省が公表した「洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)」によると、家屋倒壊等氾濫想定区域とは、浸水想定区域の中でも、洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらすような氾濫が発生するおそれがある範囲のことを指し、その要因には氾濫流と河岸浸食によるものの2種類がある。

【参考文献】

- 1) 国土交通省都市局：立地適正化計画の作成状況、2020.7、<https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001361829.pdf>、(参照 2020-9-15)
- 2) 内閣府地方創生推進事務局：都市再生基本方針、2018.7、入手先<<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/toshisaisei/07kanren/pdf/20180723kihonhoushin.pdf>>、(参照 2019-10-30)
- 3) 国土交通省都市局：第10版 都市計画運用指針、2020.6、入手先<https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/crd_city_plan_fr_000008.html>、(参照 2019-10-30)
- 4) 国土交通省：都市計画法、2020.6、入手先<https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=343AC0000000100_20220401_502AC0000000043>、(参照 2020-9-15)
- 5) 内閣府地方創生推進事務局：都市再生基本方針、2020.9、入手先<<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/toshisaisei/07kanren/pdf/202009102.pdf>>、(参照 2020-9-15)
- 6) 国土交通省都市局：第11版 都市計画運用指針、2020.9、入手先<https://www.mlit.go.jp/toshi/city_plan/content/001362299.pdf>、(参照 2020-9-15)
- 7) 株式会社日経BP：日経アーキテクチャ(2020年8月13日号)特集 耐水建築、2020.8
- 8) 岐阜県：岐阜市立地適正化計画 2017.3、関市立地適正化計画 2017.3、大垣市立地適正化計画 2018.4、多治見市立地適正化計画 2019.3、美濃加茂市立地適正化計画 2020.3
- 9) 静岡県：磐田市立地適正化計画 2018.3、掛川市立地適正化計画 2018.3、藤枝市立地適正化計画 2018.3、伊豆の国市立地適正化計画 2018.6、長泉町立地適正化計画 2018.7、袋井市立地適正化計画 2018.9、浜松市立地適正化計画 2019.1、静岡市立地適正化計画 2019.3、沼津市立地適正化計画 2019.3、富士市集約・連携型都市づくり推進戦略 2019.3、裾野市立地適正化計画 2019.3、函南町立地適正化計画 2019.7、三島市立地適正化計画 2019.8、森町立地適正化計画 2020.6
- 10) 愛知県：豊川市立地適正化計画、2017.3、小牧市立地適正化計画、2017.3、東海市立地適正化計画 2017.3、なごや集約連携型まちづくりプラン 2018.3、春日井市立地適正化計画 2018.3、知立市立地適正化計画 2018.3、刈谷市立地適正化計画 2018.6、第三次安城市都市計画マスタープラン 2019.2、岡崎市立地適正化計画 2019.3、豊田市立地適正化計画 2019.3、東郷町立地適正化計画 2019.3、蒲郡市立地適正化計画 2019.7、江南市立地適正化計画 2020.3、豊明市立地適正化計画 2020.3、田原市立地適正化計画 2020.3、弥富市立地適正化計画 2020.6
- 11) 三重県：亀山市立地適正化計画 2017.1、伊勢市立地適正化計画 2018.3、伊賀市立地適正化計画 2018.4、津市立地適正化計画 2018.5、朝日町立地適正化計画 2018.6、桑名市立地適正化計画 2019.3、松阪市立地適正化計画 2019.3、四日市市立地適正化計画 2020.3